はじめに

お使いいただく前に

このたびは、ラベルライター「テプラ」PRO SR-R690をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本書は「テプラ」PRO SR-R690の使いかたを説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。
取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。

「テプラ」PRO SR-R690を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。
なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

本製品を、テレビ・ラジオ等の電波受信機に近づけて使用すると、雑音などが発生することがありますのでご了承ください。
・本製品は、日本国内専用です。FOR USE ONLY IN JAPAN.
・本書や基本操作マニュアルの内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
・本書や基本操作マニュアルの内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
・本書や基本操作マニュアルの作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

注意

・本機で保存する文章などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・本書や基本操作マニュアルに記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。
・本体のソフトウェアのバージョンは常に最新にしてください。
「テプラ」本体のソフトウェア情報は当社ホームページ（https://kingjim.jp/tepra-update/）でご確認ください。

MEMO

・オープンソースソフトウェアのライセンス契約について

オープンソースライセンス契約の詳細は、当社ホームページ（https://kingjim.jp/tepra_creator/）より「テプラ クリエイター」をダウンロードいただき、[License]フォルダ内にある「OSSLicense.pdf」ファイルをご覧ください。

本機はラベルソフト/アプリの利用規約に基づいてご利用いただけます。
利用規約につきましては、ラベルソフト/アプリでご確認ください。
キングジム、KING JIM、テプラ、TEPRA、テプラ クリエイター、Pテープマーク、Rテープマークは株式会社キングジムの商標または登録商標です。
ATOKは株式会社ジャストシステムの登録商標です。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Mac、macOSはApple Inc.の商標です。
その他記載の会社名、商品名、サービス名およびロゴマークは、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意…必ずお守りください！

安全上のご注意

お使いになる方やほかの人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
本機をご使用のときは、必ず本書や基本操作マニュアルをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

・表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。

⚠危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
⚠警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

・次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	⚠表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⃠表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	❗表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

危険

⚠危険

電池の取り扱いについて

❗	電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明などの障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。	

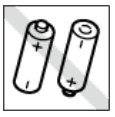
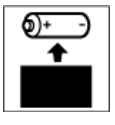
警告

⚠警告

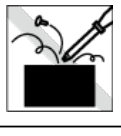
ACアダプタについて

🚫	専用のACアダプタ(AC1116J)以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。	
🚫	ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。	
🚫	ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。	

電池の取り扱いについて

	電池の ⊕ と ⊖ を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。	
	電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。	
	電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。	
	新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。	
	本製品を長時間使わない場合や、電池を使い切った場合は、本体から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液・発熱・破裂・発火させるおそれがあります。	
	電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。	
	充電式ニッケル水素電池を使用する場合には、お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。	

その他

	本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	
	ぬれた手で本機やACアダプタ、USBケーブル、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。	
	本機が入っていた袋は、お子様がかぶったり、飲み込んだりしないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。	
	本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	
	本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書や基本操作マニュアルに記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。	

注意

⚠注意

オートトリマーのお手入れについて

⃠	トリマーカバーをはずすときは、必ず電源を切ってください。トリマーカバーをはずしたまま作動させると、刃で指を切ったりするなど大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。	

オートカッターについて

⃠	印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。	

その他

⃠	本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。	
⃠	電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。	

「テプラ」で得られるラベルについて

⚠	塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を十分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。	

テープカートリッジの取り扱いについて

テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。	
テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。	
テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。 テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。	

MEMO

・使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。
印刷済みのインクリボンは必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

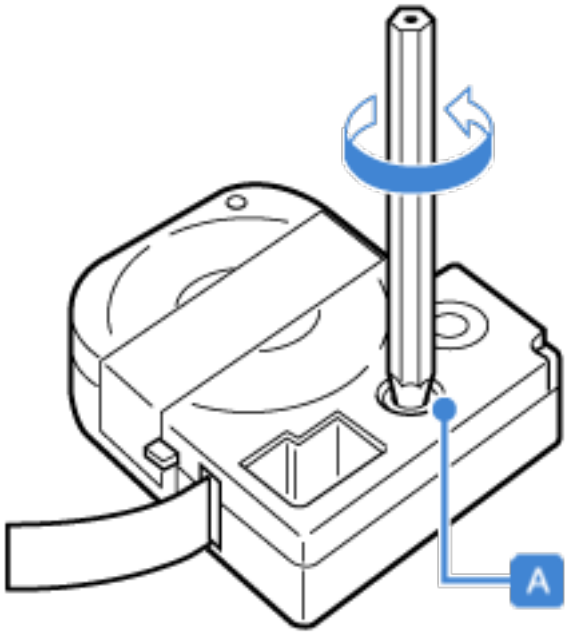
テープカートリッジの回収およびリユース(再利用)について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。

使用済みの「テプラ」テープカートリッジは、当社にてリユース(再利用)をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、当社までお送りください。回収方法については、当社ホームページをご確認ください。
https://kingjim.jp/tepra_recycle/

テープカートリッジをセットするときのご注意

1 インクリボンのたるみを取る

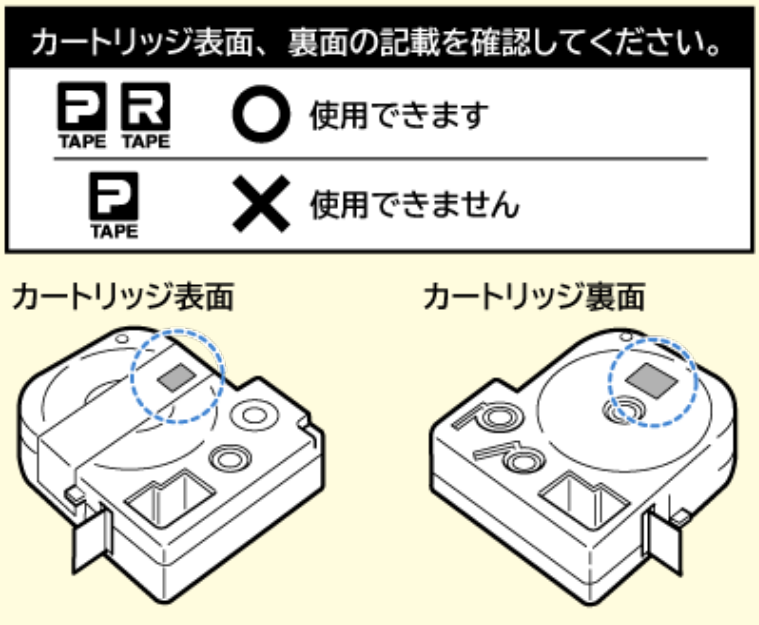


セットするテープカートリッジの穴(A)に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、たるみを取ってください。

インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破けたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。必ずインクリボンのたるみを取ってから本機にセットしてください。

注意

・本機では、R TAPE マークのついたテープカートリッジを使用してください。その他のテープカートリッジを使用すると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。



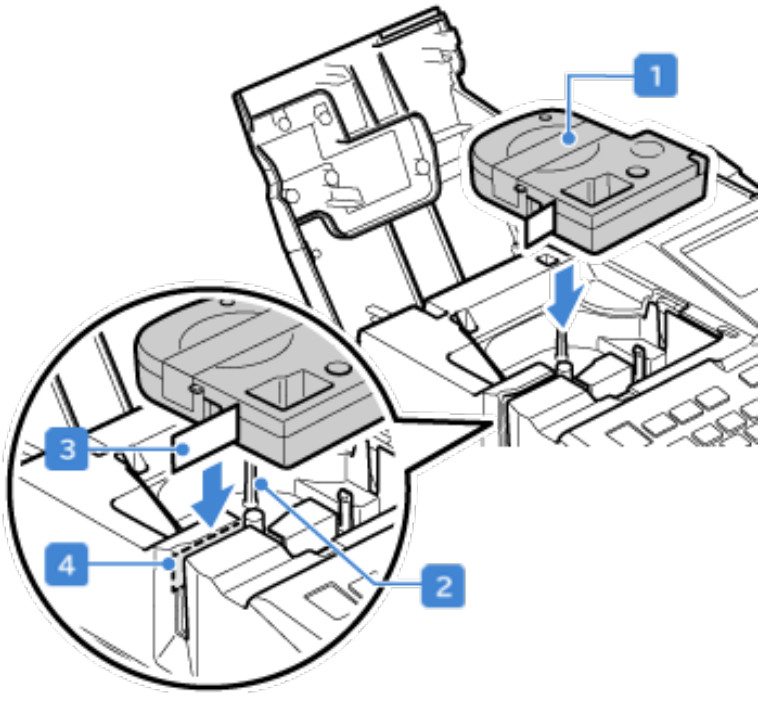
2 つまみ部分を持って、上カバーを開ける

上カバーつまみ部分を持ち上げてカバーを開けます。

注意

・必ず、電源を切ってからおこなってください。
・上カバーは図の位置で止まります。無理に開けないでください。
・上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。カバーがはずれて本体が落下すると、けがや本体が破損するおそれがあります。

3 テープカートリッジをセットする



テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして(1)、右上の穴に本体のガイドピンを通し(2)、しっかりと押し込みます。

正しくセットすると、本機の固定フックにテープカートリッジが固定されます。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし(3)、テープを「テープ通路」のミゾに通します(4)。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照 「各部の名前」

参照 「3. テープカートリッジをセットする」

4 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押してしっかり閉じます。

注意

・テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
・上カバーはしっかり閉じてください。

5 必ず「テープ送り」をする

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。

そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

参照 ☞「5. テープ送りをする」

注意

・「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

その他のご注意

本機のご使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。

・ACアダプタやUSBケーブルは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
・直射日光の当たる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
・人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
・ACアダプタ差し込み口、USBコネクタ、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
・印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
・本機の性能を十分に発揮するため、キングジム純正「テプラ」PROテープカートリッジ（4、6、9、12、18、24mm幅）をお使いください。キングジム純正テープカートリッジ以外を使用した場合の不具合については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに 印刷 を押したりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
・テープ送りは、必ず シフト ＋ 印刷 （＝テープ送り）でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
・テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
・キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
・テープカットをするときやテープ排出時などに動作音がしますが、異常ではありません。
・幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
・テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
・オートトリマーには「テプラ」PROテープカートリッジ（9、12、18、24mm幅）以外のラベルを差し込まないでください。
・ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げてオートトリマーに差し込んでください。
・オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切り、ACアダプタをご使用の場合は抜いてください。
・電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
・長時間使わないときは、電池、ACアダプタ、USBケーブル、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、USBケーブル、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
・長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
・寿命となった電池は、定められた条例に従って廃棄してください。
・本書や基本操作マニュアルに記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
・本書や基本操作マニュアルに記載された内容、仕様、デザインなどは予告なく変更されることがあります。
・本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。
・素材の特性上、製品の外観にばらつきが生じる場合がありますが、品質に問題はありません。
・同梱のUSBケーブルはデータ通信専用です。本機への給電には使用できません。

本書の使いかた

本書の見かた

本書は次の表記で記述します。

表記	説明
1、2	操作手順を示しています。
M、O5	文字ボタンを示しています。 ボタン上側の文字は省略して表記している場合があります。
文字サイズ、縦・横、編集	機能ボタンを示しています。
←、↑、↓、→	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!!注意!!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。
参照 ☞	関連する事項の参照ページを案内します。必要に応じて参照先をお読みください。

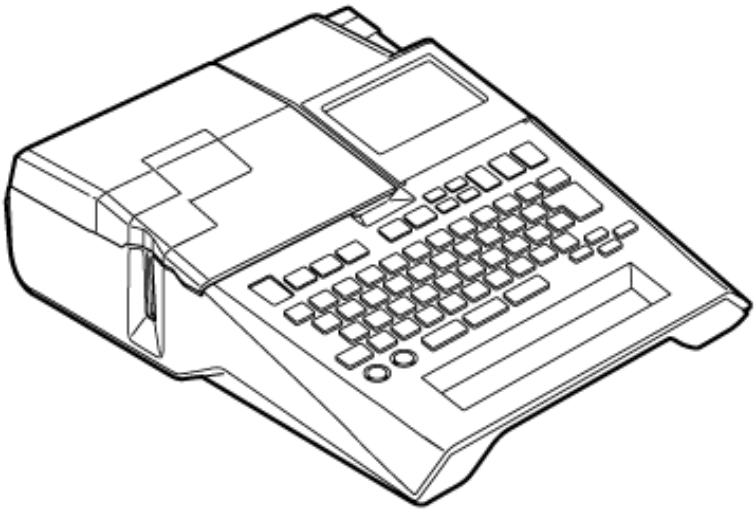
・ラベル見本について
本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

同梱品/別売品について

同梱品の確認

同梱品がすべて揃っているか、確認してください。

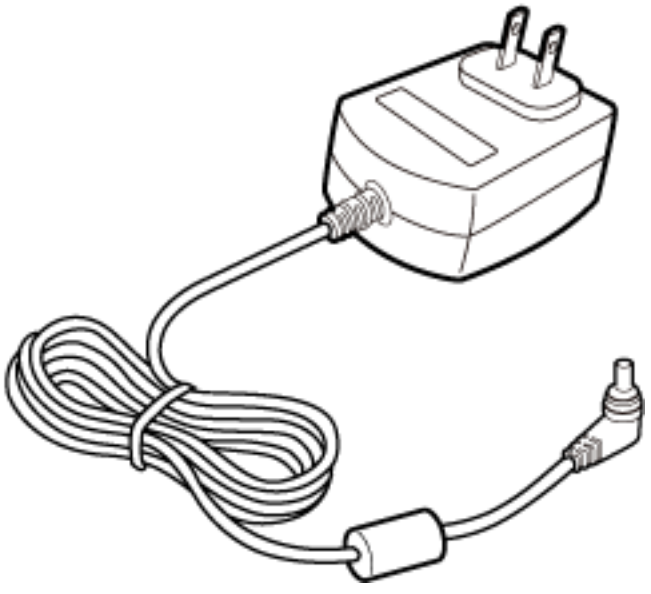
■「テプラ」PRO SR-R690本体



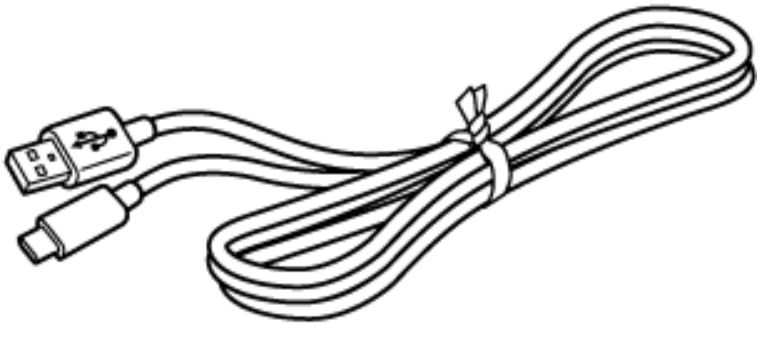
■基本操作マニュアル（保証書付）



■ACアダプタ（AC1116J）



■USBケーブル(A-Cタイプ)



MEMO

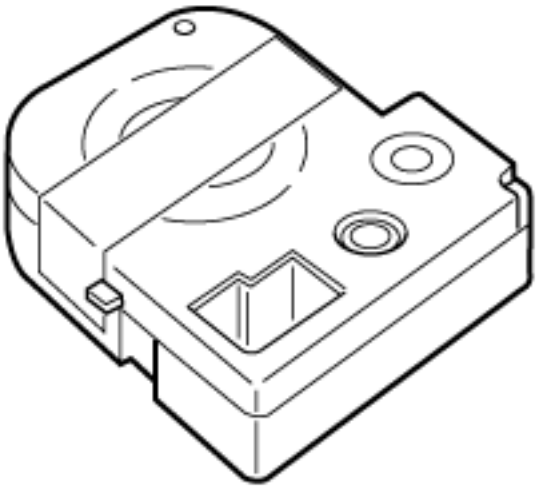
・本機には、電池は同梱しておりません。電池でお使いになる場合は、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形×6本)をお買い求めください。
・CD-ROM、PCラベルソフト取扱説明書は同梱されていません。当社ホームページ(https://www.kingjim.co.jp/)からダウンロードしてください。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。

別売品のご案内

本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。

■ヘッド・クリーニングテープ(SR24C)

「テプラ」本体のヘッドクリーニング用のテープです。

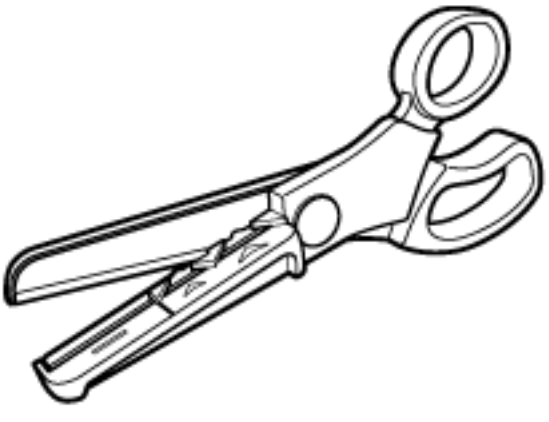


■トリマー(RT36W)

ラベルのカドを丸くカットして、はがれに強い、きれいなラベルに仕上げるハサミ型トリマーです。ラベルの前後余白調整にも便利です。

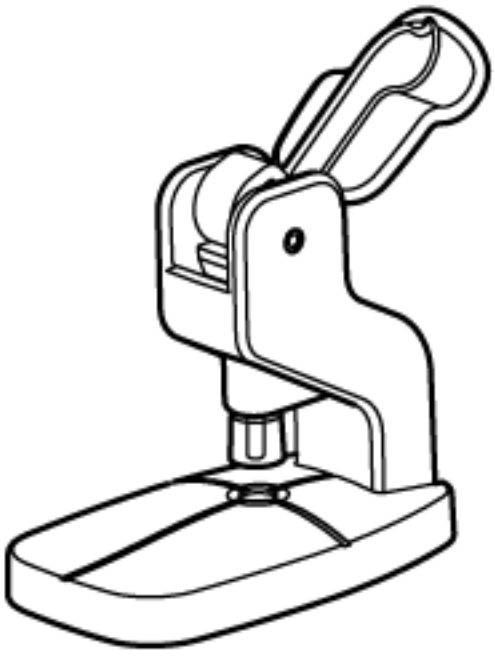
対応ラベル:4～36mm幅

※本機の対応ラベルは4～24mm幅です。

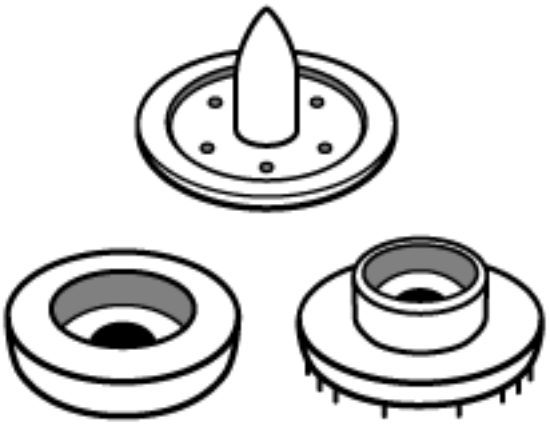


■お名前タグメーカー(SRT10)

「テプラ」PROテープカートリッジ りぼんに「スナップボタン」を取り付けて、オリジナルのお名前タグが作れます。



■スナップボタン（SRTB1）
プラスチック製のボタンが20組入った「お名前タグメーカー」専用のオプション品です。



■テープカートリッジケース（SR4TH）
A4ボックスサイズにテープカートリッジ（12mm幅 40個分）が収納可能です。4つのボックスでテープ色・幅・種類ごとに整理できます。



■キャリングバッグ（SR9B）
EVA素材を使用した軽くて丈夫なバッグです。持ち運びに便利な、肩掛けストラップを付属しています。「テプラ」本体とテープカートリッジ、同梱品、別売品、取扱説明書が収納可能です。



■システムトランク（SR10BT）

耐衝撃性に優れたトランクです。「テプラ」本体をはじめ、テープカートリッジ、同梱品、別売品などを一括して持ち運び、また保管することができます。



MEMO

・詳細については、当社ホームページ（https://www.kingjim.co.jp/）をご覧いただくか、お買い上げ販売店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

参照 ☞「アフターサービスについて」

すぐ使いたい人のために

1. 準備

ラベル作成の準備をします。

参照 ☞「使う前の準備」

1 ACアダプタを本機に接続する

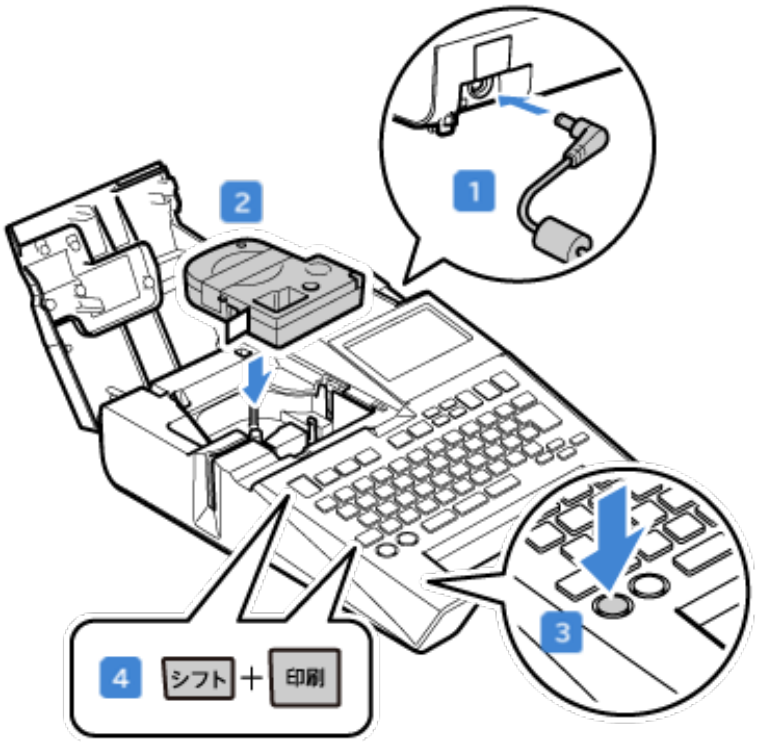
2 テープカートリッジをセットする

3 電源を入れる

本機ではテープ種類によって表示される画面が異なります。

4 テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は必ずテープ送りをしてください。



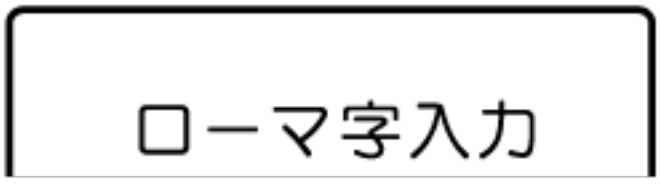
2. 文字を入力する(例:伊藤)

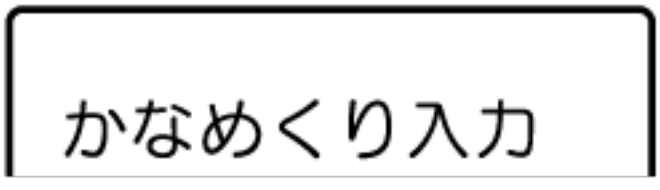
印刷する文字を入力します。

参照 ☞「文字を入力する」

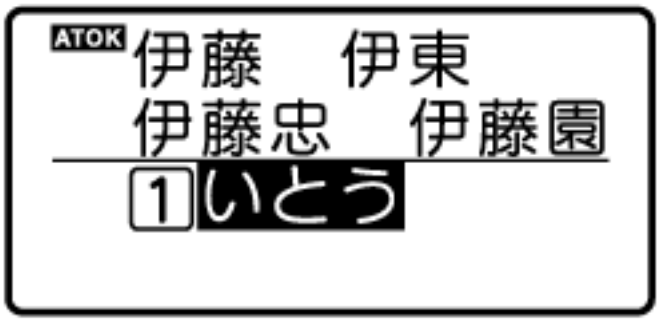
1 入力切換 を押して、「ローマ字入力」または「かなめくり入力」を選ぶ







2 文字を入力する→仮確定文字(反転表示)で入力されます



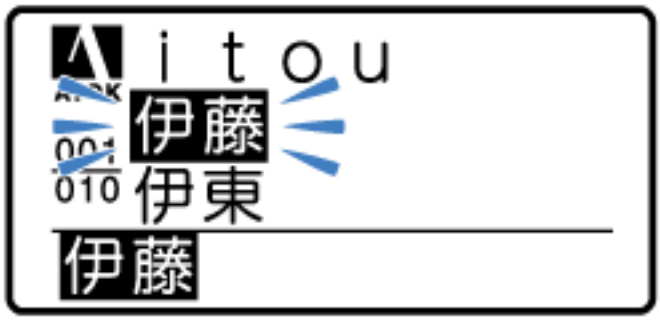
ローマ字入力: I や 、T な 、O ら 、U ま

かなめくり入力: Q あ ×2回、R た ×5回、Q あ ×3回

入力直後は ↑ ↓ で予測入力の候補から単語を選択できます。

参照 ☞「予測入力を使う(入力例:大きな)」

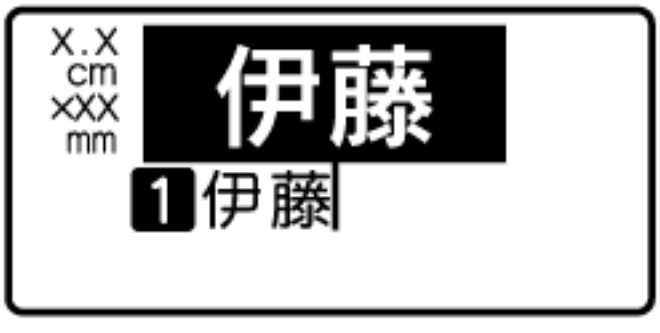
3 「伊藤」が表示されるまで 変換 スペース を押す



候補が表示されます。

変換 スペース を押すたびに候補が変わります。

4 選択 改行 を押す→「伊藤」が確定します



行頭マークが 1 に変わります。

MEMO

・ラベルの見栄えを変更するには…

書体 …押すたびに書体を切り換えます。

文字サイズ …押すたびに文字サイズを切り換えます。

縦・横 …押すたびにラベルの向きを切り換えます。

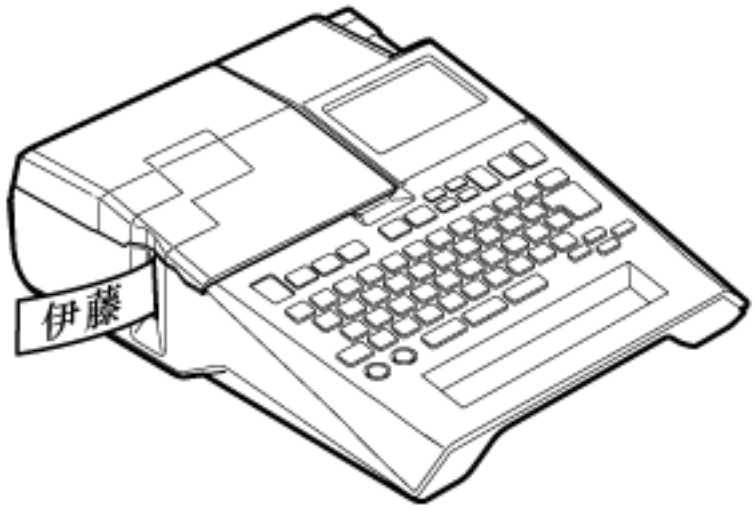
外枠 …押すと直接外枠メニューに移動します。

・その他の機能については、下記ページを参照してください。

参照 ☞「ラベルの見栄えをよくする(編集)」

3. 印刷する

1 印刷 を押す→ラベルが印刷されます



印刷終了後、テープは自動カットされます(一部テープを除く)。
テープは絶対に手で引っ張らないでください。

参照 ☞「ラベルを印刷する」

4. ラベルを貼る

裏紙をはがし、しっかりとこすって貼り付ける

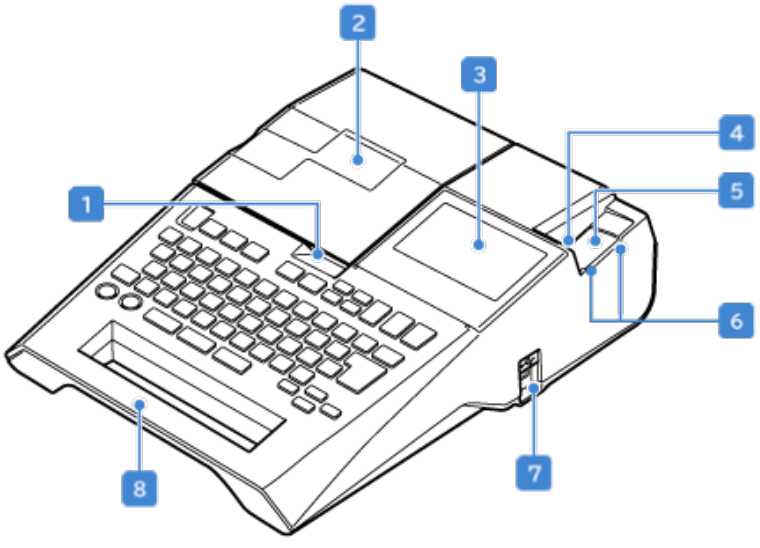
参照 ☞「印刷したラベルを貼る」



2026年11月 第1版

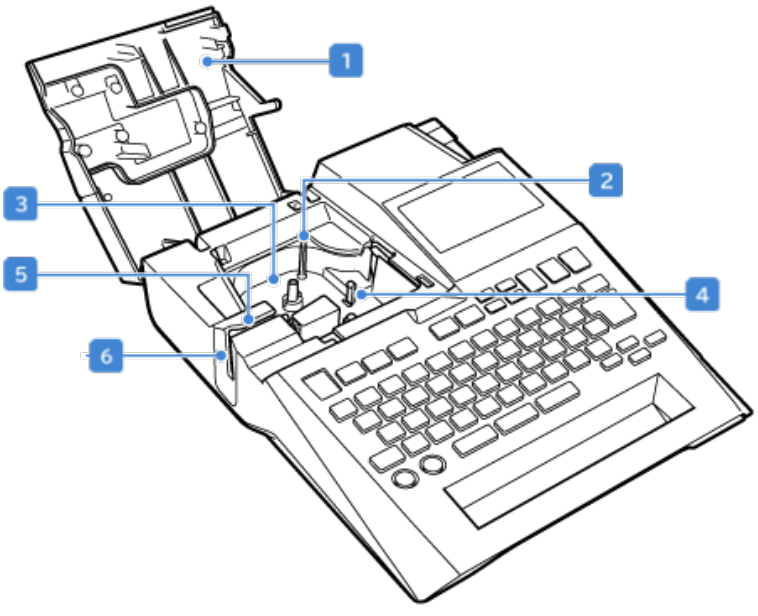
各部の名前

本機各部の名前(表)



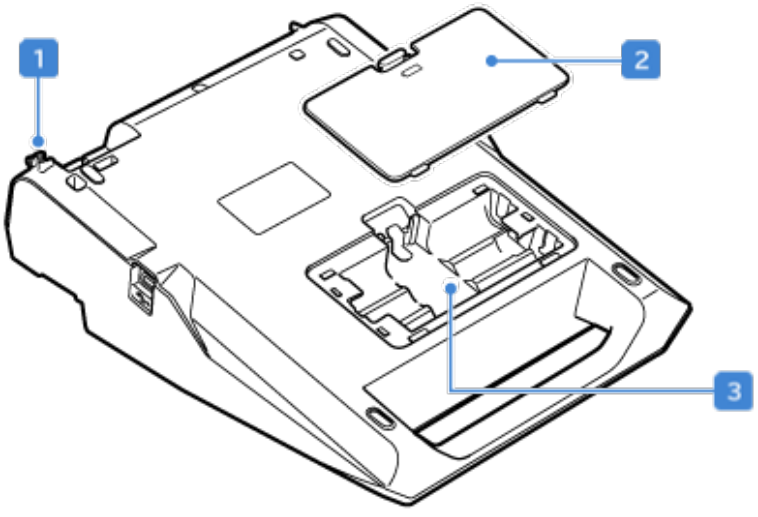
1 上カバーつまみ
2 テープ確認窓
3 ディスプレイ
4 オートトリマー:トリマー差し込み口
5 オートトリマー:トリマーテーブル
6 オートトリマー:トリマーガイド
7 USBコネクタ
8 ハンドル

本機各部の名前(内部)



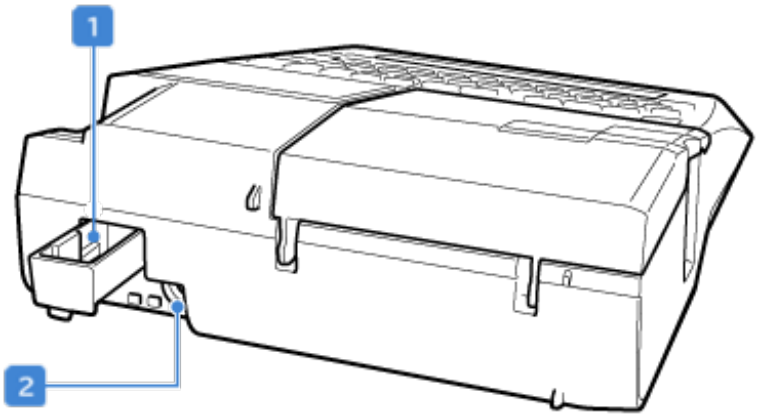
1 上カバー
2 ガイドピン
3 テープカートリッジセット部
4 固定フック
5 テープ通路
6 テープ出口

本機各部の名前(裏)



1 ケーブルガイド
2 電池カバー
3 電池ケース

本機各部の名前(背面)

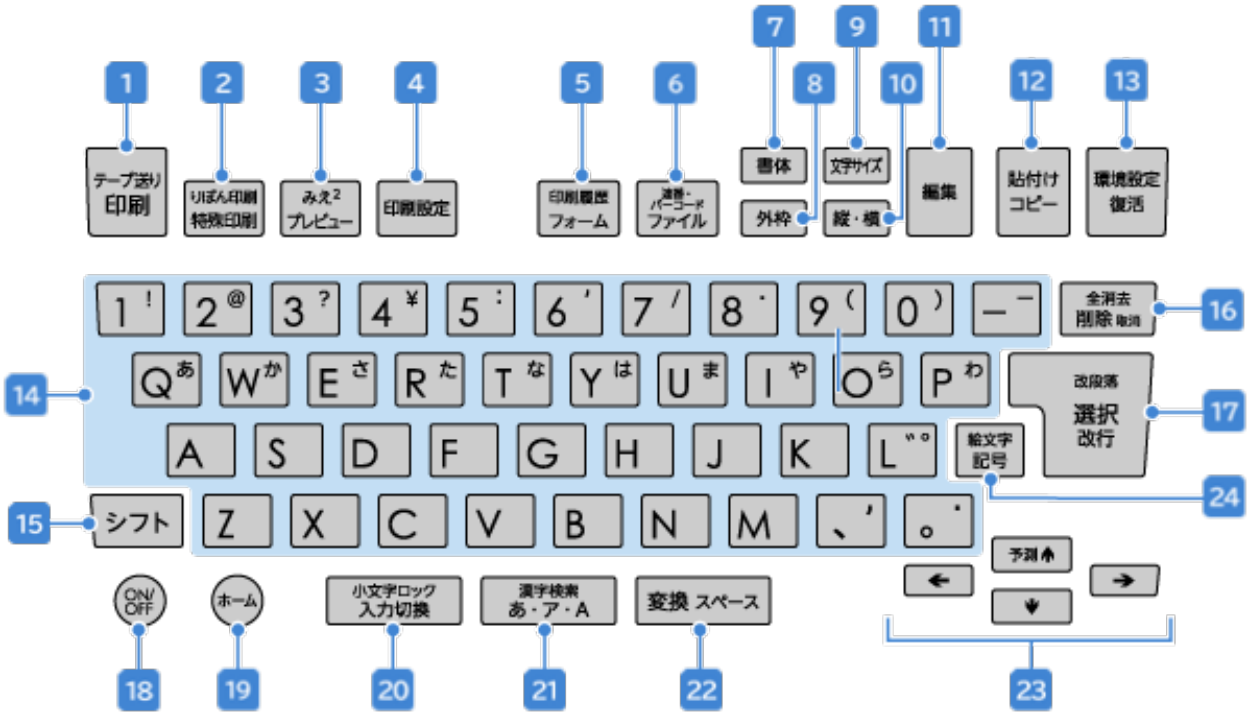


1 トリマーカバー
2 ACアダプタ差し込み口

操作パネルの名前とはたらき

各ボタンの機能

各ボタンの機能を説明します。シフト + [ ] となっている表記は、シフト を押しながらそのボタンを押したときの機能です。



1 印刷 (印刷)	入力内容をテープに印刷します。 参照 ☞「ラベルを印刷する」 シフト+ 印刷 (＝テープ送り) テープを約19mm空送り、またはカットします。送り長さを指定して空送りすることもできます。 参照 ☞「5. テープ送りをする」
2 特殊印刷 (特殊印刷)	連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷、ピッとコード印刷をします。 参照 ☞「特殊印刷」 シフト+ 特殊印刷 (＝りぼん印刷) りぼん連続印刷、お名前タグ印刷をします。 参照 ☞「りぼん印刷」
3 プレビュー (プレビュー)	印刷イメージを確認します。 参照 ☞「プレビュー機能を使う」 シフト+ プレビュー (＝みえ^2) テキスト画面の表示を切り換えます。 参照 ☞「表示の切り換え(みえ^2)」
4 印刷設定 (印刷設定)	カット設定、印刷濃度、ハーフカット連続の設定をします。 参照 ☞「印刷設定」
5 フォーム (フォーム)	デザインフォーム、ビジネスフォームの呼び出しをおこないます。 参照 ☞「ビジネスフォームを使う」

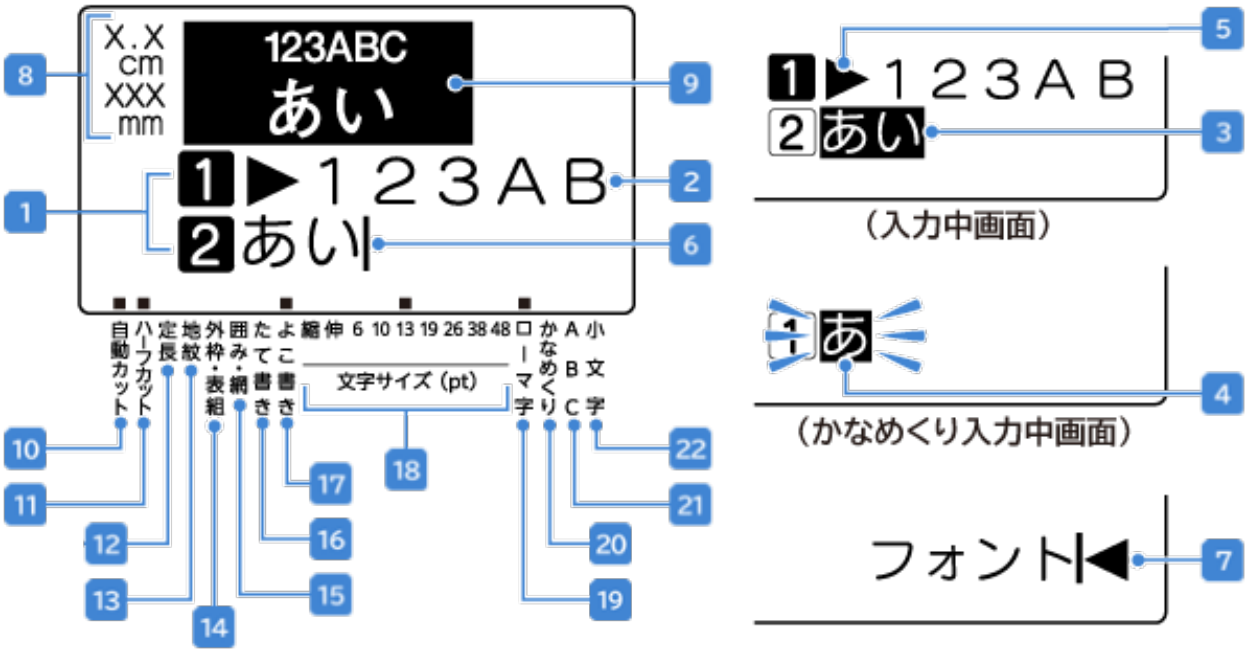
	参照 「デザインフォームを使う」 シフト+ フォーム (＝印刷履歴) 印刷履歴の呼び出しをおこないます。 参照 「印刷履歴を呼び出す」
6 ファイル (ファイル)	作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録します。 参照 「文章を呼び出す・登録する(ファイル)」 シフト+ ファイル (＝連番・バーコード) 連続番号やQRコード・バーコードの入力をおこないます。 参照 「連番を入力する」 参照 「バーコード/QRコードを入力する」
7 編集 (編集)	文字の装飾や文字サイズ、ラベルのレイアウト、ラベルの長さなどを指定します。 参照 「ラベルの見栄えをよくする(編集)」
8 縦・横 (縦・横)	たて書き/よこ書きを切り換えます。 参照 「縦・横ボタンを使う」
9 文字サイズ (文字サイズ)	文字サイズを指定します。 参照 「文字サイズボタンを使う」
10 外枠 (外枠)	外枠を指定します。 参照 「外枠ボタンを使う」
11 書体 (書体)	書体を指定します。 参照 「書体ボタンを使う」
12 コピー (コピー)	入力済みの文字をコピーします。 参照 「文字をコピーする」 シフト+ コピー (＝貼付け) コピーした文字を貼り付けます。 参照 「文字を貼り付ける(ペースト)」
13 復活 (復活)	削除した文字や文章をもとに戻します。 参照 「削除した文字をもとに戻す(復活)」 シフト+ 復活 (＝環境設定) おすすめ印刷、おすすめフォーム、画面の表示濃度、編集機能の保存値など、各種設定を変更します。 参照 「環境設定を変更する」
14 文字ボタン	文字を入力します(T な E さ P わ R た A など)。 参照 「文字入力をはじめる前に」
15 シフト (シフト)	機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能が働きます。 文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力できます。
16 削除 取消 (削除、取消)	カーソル位置(カーソルの左側)の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。 参照 「文字を削除/挿入する」 シフト+ 削除 取消 (＝全消去) 文章を消去します。 参照 「すべての文章を消去する」

17 選択 改行（選択、改行）	機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。仮確定文字がないときは、新しい行を作ります（改行）。 参照 「新しい行を作る」 シフト + 選択 改行（＝改段落） 新しい段落を作ります。 参照 「新しい段落を作る」
18 ON/OFF（電源）	電源をON/OFFします。 参照 「4. 電源を入れる」
19 ホーム（ホーム）	メニュー画面やフォームの入力画面からテキスト画面に戻ります。 USBケーブルでPCと接続しているときは、パソコンリンク画面に戻ります。
20 入力切換（入力切換）	入力状態を「かなめくり→ABC→ローマ字」の順で切り換えます。 参照 「入力状態を切り換える」 QRコードの用途「一般」では「ローマ字→かなめくり→ABC【半角】→ABC」の順で切り換えます。 「ABC入力、ABC【半角】入力」時のみ シフト + 入力切換（＝小文字ロック） 小文字入力状態に切り換えます。 参照 「英字を入力する」
21 あ・ア・A（無変換）	反転表示のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かなめくり入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。 参照 「文字を入力する（入力例：セット）」 シフト + あ・ア・A（＝文字変換/漢字検索） 反転表示のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「かなめくり入力」時は、押すたびに「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。 参照 「文字を入力する（入力例：セット）」 仮確定文字がないときは、読みのわからない漢字を検索します。 参照 「読みのわからない漢字を入力する」
22 変換 スペース（漢字変換、スペース入力）	反転表示のひらがな文字を漢字に変換します。仮確定文字がないときは、スペースを入力します。 ATOK変換画面では、次の変換候補を表示します。 参照 「文字を入力する（入力例：セット）」
23 ←　↑　↓　→（カーソルボタン）	カーソルや選択候補を上下左右に移動します。 参照 「カーソルボタンの使いかた」 ATOK予測入力画面では ↑ ↓ で予測候補を選択します。 ATOK変換画面では ← → で変換対象の文節長さを変更し、 ↓ で確定します。 参照 「文字入力をはじめる前に」 シフト + ← ↑ ↓ →（＝カーソルジャンプ） カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。 参照 「カーソルボタンの使いかた」 ATOK変換画面では変換対象の文節を切り換えます。

	参照 ☞「文字入力をはじめる前に」
24 記号 (記号)	記号の入力や外字を登録します。 参照 ☞「記号(絵文字)を入力する」 シフト+ 記号 (＝絵文字) 絵文字やイラストを入力します。 参照 ☞「記号(絵文字)を入力する」

ディスプレイの見かたとはたらき

テキスト画面の見かた



1 行頭マーク(1 2 … ☒ 、[1] [2] … ☒)	行頭に表示され、何行目かを示します。 1 、 2 は印刷できる行を表し、[1] 、[2] はその行に文字がまだ入力されていない(確定していない)ことを表しています。 ☒ 、☒ は印刷できない行を表しています。 ☒ が表示されているときは、印刷できません。 参照 ☞「テープ幅と印刷できる行数について」
2 確定文字(例:123AB)	入力が確定した文字で、印刷されます。
3 仮確定文字(反転表示)(例:あい)	仮確定の文字で、印刷されません。 変換 スペース で漢字、カタカナ、英数字に、 あ・ア・A でひらがな、カタカナ、英字に変換できます。
4 点滅文字	かなめくり入力途中の未確定の文字で、同じボタンを連続して押すと文字候補が順に表示されます。 点滅表示の文字は、印刷されません。
5 文字モード指定マーク(▶)	文字、行、段落単位で、書体、飾り字などの機能を変更すると表示されます。 参照 ☞「編集を指定する」
6 カーソル(┃)	操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入・削除できます。 参照 ☞「カーソルボタンの使いかた」
7 フルメモリーマーク(◀)	入力可能文字数(約175文字)をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。
8 印刷情報	セットされているテープ幅と印刷したときの目安の長さを表示します。「みえ^2」の設定によっては表示されないこともあります。 参照 ☞「表示の切り換え(みえ^2)」

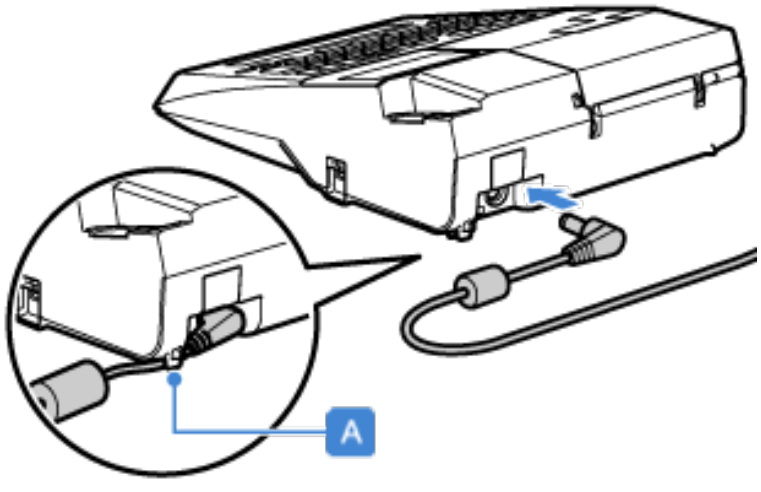
9 印刷イメージ	印刷したときのイメージを表示します。「みえ^2」の設定によっては表示されないこともあります。 参照 ☞「表示の切り換え(みえ^2)」
10 自動カットインジケーター	自動カットがおこなわれるとき点灯します。 参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」
11 ハーフカットインジケーター	ハーフカットがおこなわれるとき点灯します。 参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」
12 定長インジケーター	定長印刷が指定されているときに点灯します。
13 地紋インジケーター	地紋印刷が指定されているときに点灯します。
14 外枠・表組インジケーター	外枠や表組みが指定されているときに点灯します。
15 囲み・網インジケーター	囲みや網が指定されているときに点灯します。
16 たて書きインジケーター	「たて書き」が指定されているときに点灯します。
17 よこ書きインジケーター	「よこ書き」が指定されているときに点灯します。
18 文字サイズインジケーター	カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケーターが点灯します。 数字はポイント数(pt)を表しています。 ※1ptは約1/72インチ(約0.35mm)です。
19 ローマ字入力インジケーター	「ローマ字入力」状態のときに点灯します。
20 かなめくり入力インジケーター	「かなめくり入力」状態のときに点灯します。
21 ABC入力インジケーター	「ABC入力」状態のときに点灯します。 QRコード入力時の「ABC入力【半角】」状態のときに点滅します。 参照 ☞「QRコードを入力する」
22 小文字入力インジケーター	シフトを押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。 参照 ☞「英字を入力する」

使う前の準備

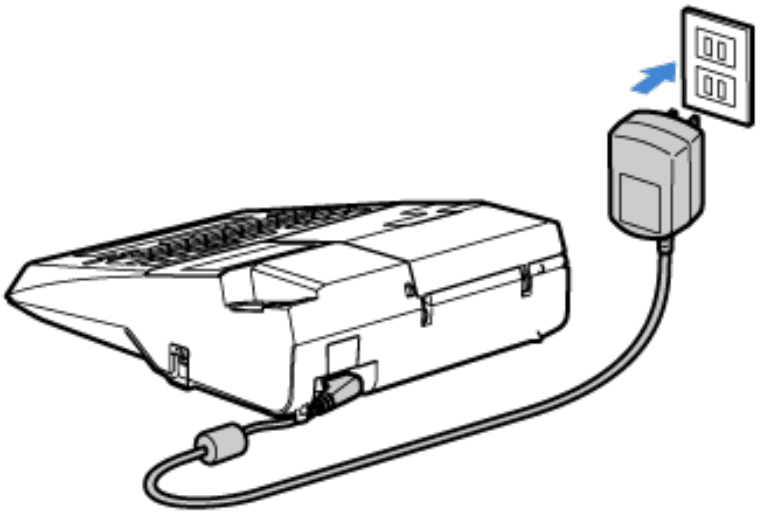
1. ACアダプタを接続する

専用のACアダプタ(AC1116J)で、家庭用コンセント(AC100V)から電源を取ります。

1 ACアダプタのプラグを本機背面のACアダプタ差し込み口にしっかりと差し込み、ケーブルガイド(A)を通す



2 ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



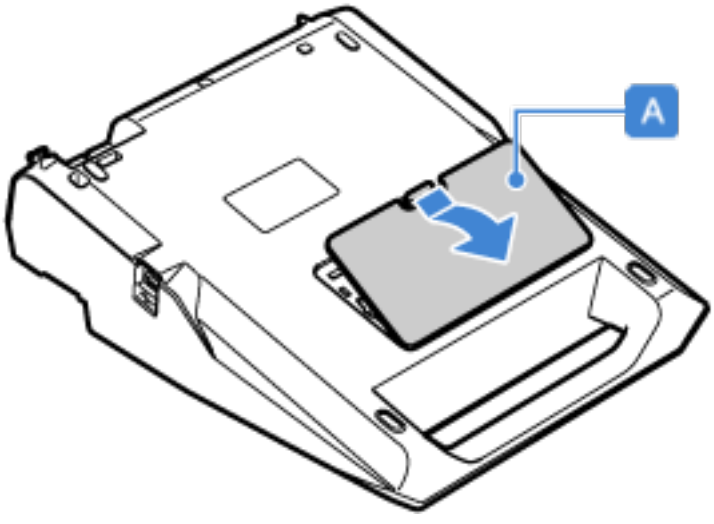
注意

・ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ(AC1116J)をお使いください。
・差し込みが不十分だと電源が入らない場合があります。
・使い終わったらすぐにACアダプタをコンセントから抜き、本機からも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
・ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げると、断線することがあります。
・プラグのショートなどで、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
・ACアダプタは保証対象外です。

2. 電池(別売)を入れて使用するときは

本機にアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形×6本:別売)をセットします。
外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷できます。

1 電池カバーをはずす

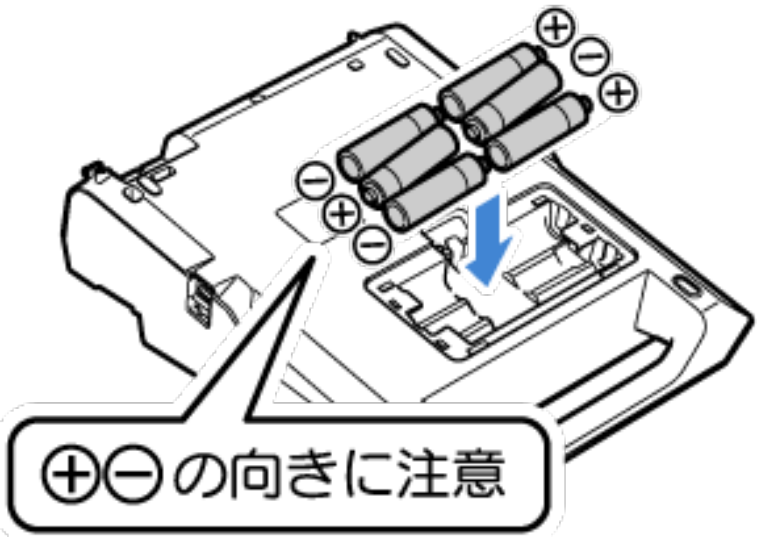


レバーを手前に引きながら電池カバー(A)を持ち上げてはずします。

注意

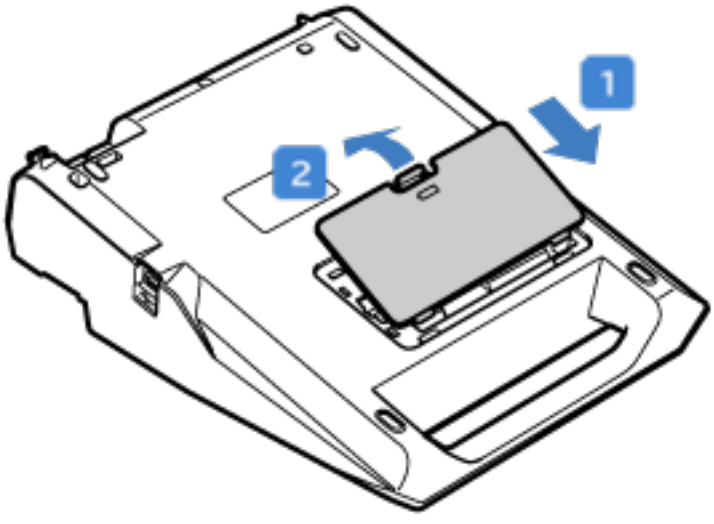
・必ず、電源を切ってからおこなってください。

2 電池を入れる



電池の向きに注意して、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形×6本)を入れます。

3 電池カバーをはめる



電池カバーの上の爪を本機のミゾに合わせ(1)、「パチン」と音がするまでしっかりカバーをはめます(2)。

注意

・本機には単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池をお使いください。その他の電池は使用できません。
・電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
・ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ(AC1116J)をお使いください。
・ニッケル水素電池を使用するときは、環境設定で電池種類を「ニッケル水素」に変更してください。設定変更をしないと、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。ただし設定を変更しても、電池の状態や使用条件によっては、消耗を知らせるメッセージが表示されないことがありますのでご了承ください。
参照 ☞「電池種類を設定する」
・本機に充電機能はありません。ニッケル水素電池を使用する際には、必ず専用の充電器を使って、充電してください。
・充電式ニッケル水素電池について
ニッケル水素電池は専用の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。
ニッケル水素電池をお使いの際には、以下のことをお守りください。
・ ⊕ ⊖ 極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。 ⊕ ⊖ 極と充電器の端子を乾いたやわらかい布でていねいにふいてください。
・お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので、異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
・電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります(メモリー効果といいます)。
・メモリー効果が発生したときは、印刷できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
・ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下することがあります。
・お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。
・ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われますので、新しい電池をお買い求めください。
・寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。

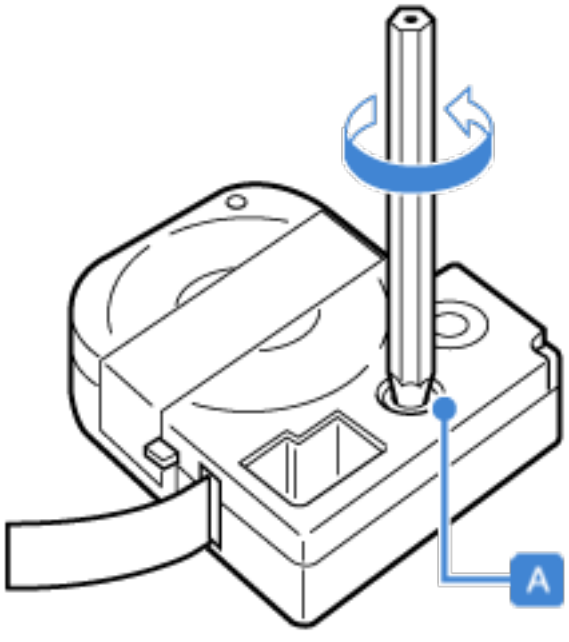
・不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄せずに最寄りの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページ（https://www.jbrc.com/）をご参照ください。

MEMO

・電池での印刷の場合、ACアダプタ使用時より印刷速度が遅くなります。
・広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電圧が低下！」と表示されることがありますが、故障ではありません。
・電池が消耗すると、印刷速度が低速になります。さらに使い続けるとディスプレイに「電圧が低下！」と表示されます。直ちにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）に交換するか、専用のACアダプタ（AC1116J）をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
・新品のアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）では、常温で18mm幅のテープカートリッジ（8m）を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、広い幅のテープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、専用のACアダプタ（AC1116J）を利用することをおすすめします。
・ご使用後は必ず電源を切ってください。
・ディスプレイのバックライトをオフにすると電池を節約できます。
参照 ☞「バックライトの切り換え」
・長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
・寿命となった電池は、定められた条例に従って廃棄してください。

3. テープカートリッジをセットする

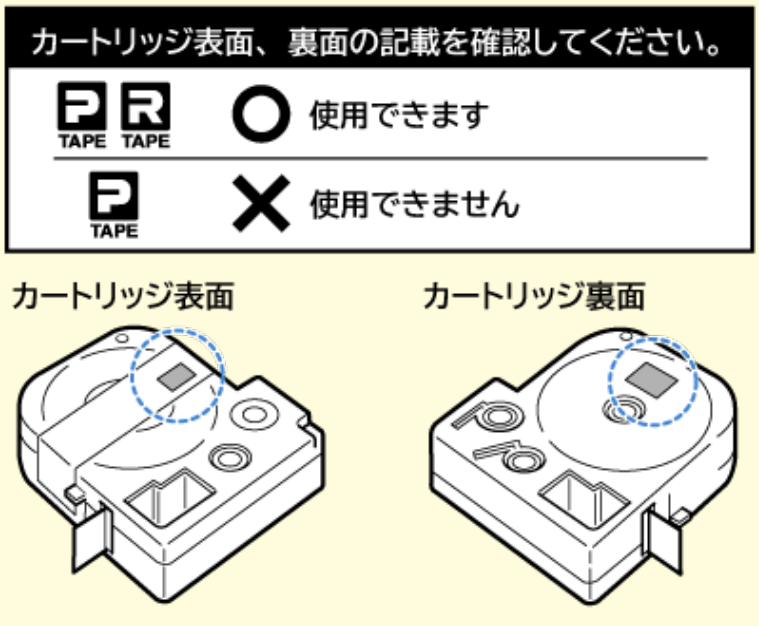
1 インクリボンのたるみを取る



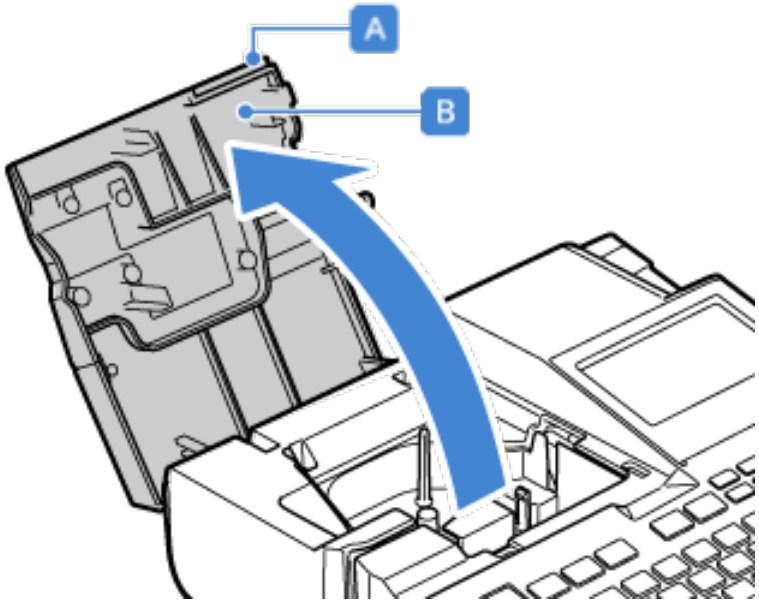
セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、たるみを取ってください。

注意

・本機では、R TAPE マークのついたテープカートリッジを使用してください。その他のテープカートリッジを使用すると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。



2 上カバーつまみ部分を持って、上カバーを開ける

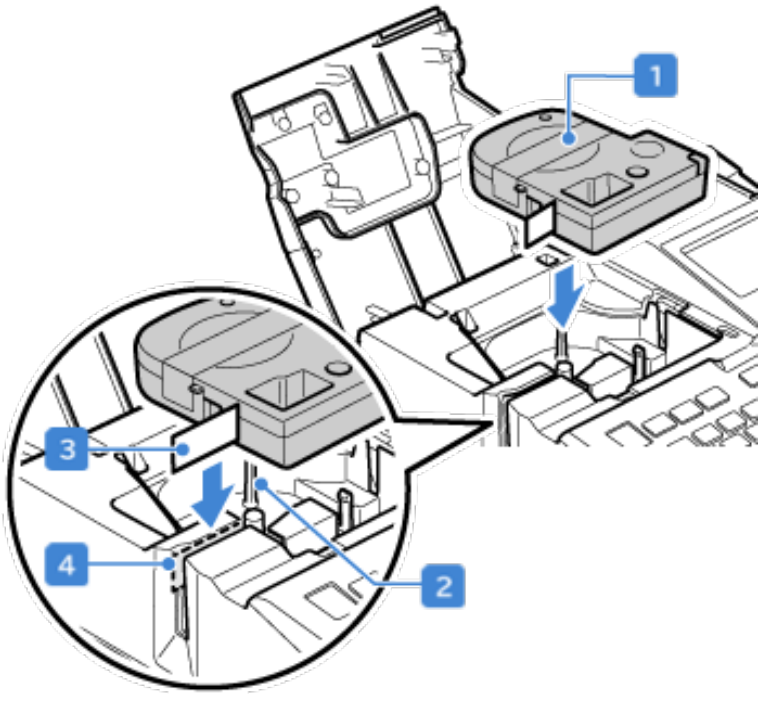


上カバーつまみ部分(A)を持ち上げて上カバー(B)を開けます。

注意

・必ず、電源を切ってからおこなってください。
・上カバーは図の位置で止まります。無理に開けないでください。
・上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。カバーがはずれて本体が落下すると、けがや本体が破損するおそれがあります。

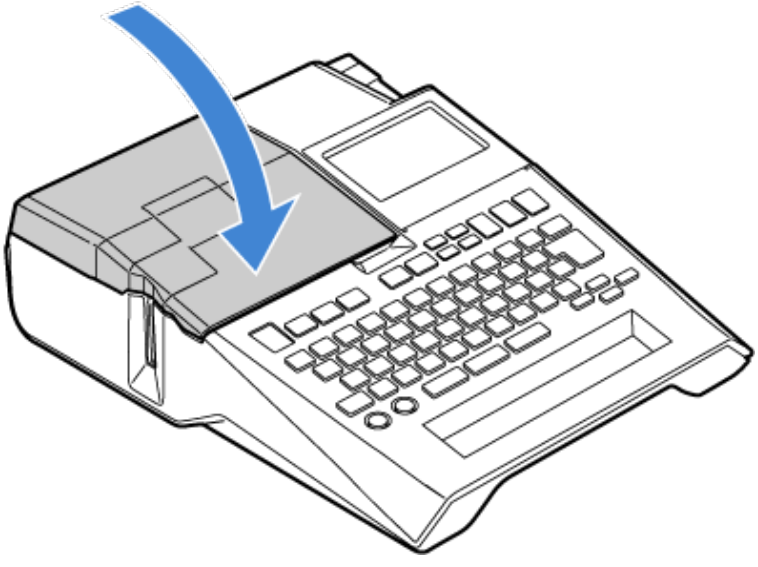
3 テープカートリッジをセットする



セットするテープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして(1)、右上の穴に本体のガイドピンを通し(2)、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機の固定フックにテープカートリッジが固定されます。

テープの先端が長めに出ているときや、新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし(3)、テープを「テープ通路」のミゾに通します(4)。

4 上カバーを閉じる



上カバーを指で軽く押してしっかり閉じます。

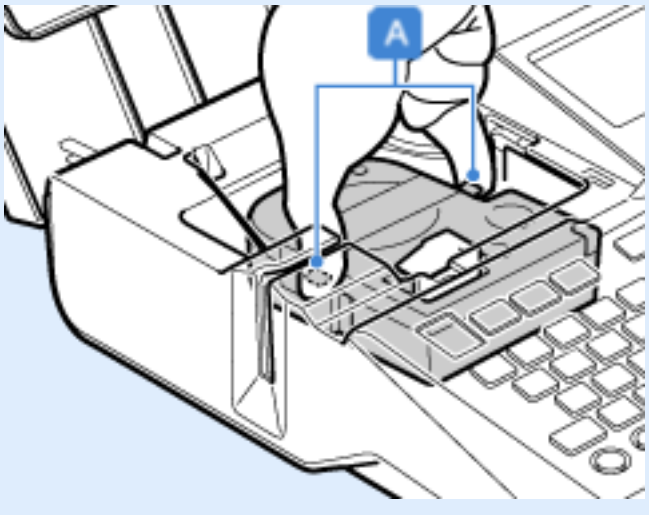
注意

・テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
・上カバーはしっかり閉じてください。

MEMO

テープカートリッジの取り出しかた

・美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されていますが、上カバーを開けると同時にテープの保持が解除され、取り出しやすい状態になります。取り出すときは、カートリッジ側面の指かけ部(A)に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



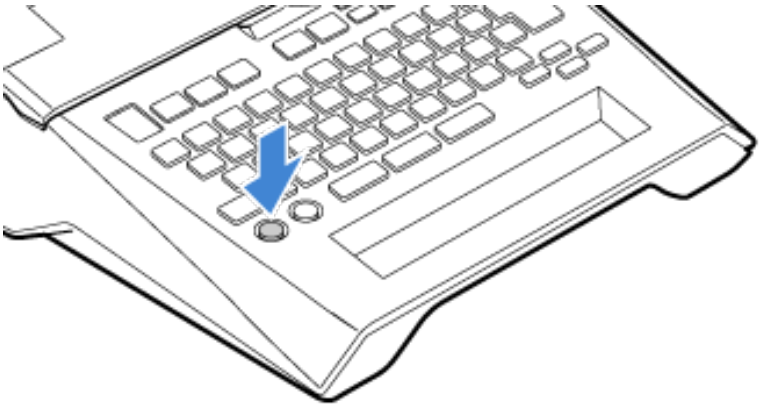
注意

・テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
・本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mmの6種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。
参照 ☞「テープ幅と印刷できる行数について」
・テープカートリッジは、直射日光、高温、多湿、ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
・テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
・テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。
・本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合や正しくセットしていない場合は、「非対応テープ」や「テープ無し！」と表示されます。本機で使用可能なテープカートリッジを正しくセットしてください。

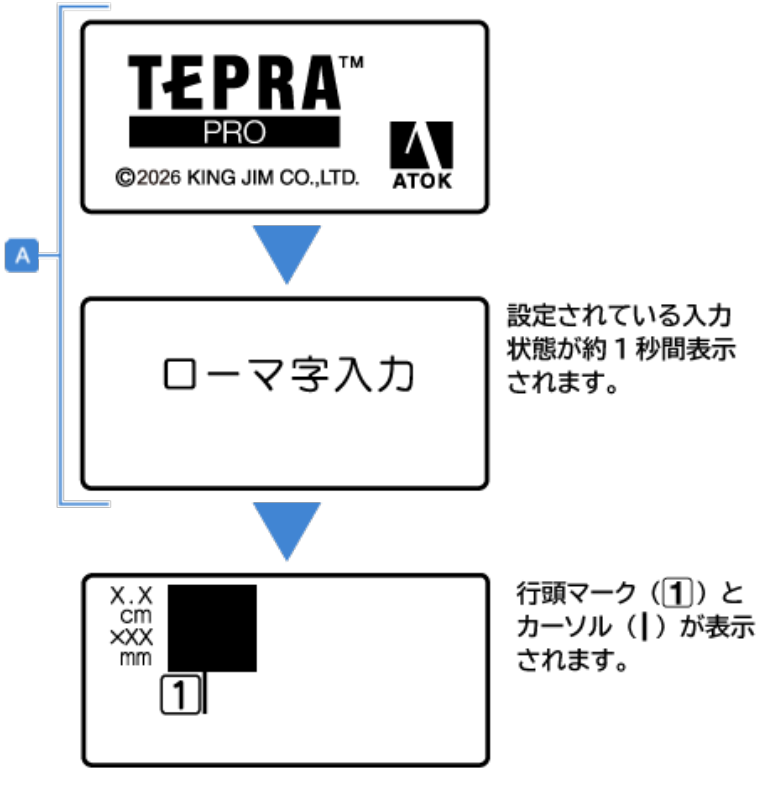
4. 電源を入れる

電源を入れる前にもう一度確認してください。
・ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
・電池は正しくセットされていますか？（電池で使用する場合）

1 ON/OFF を押す



電源が入るとバックライトが点灯し、タイトル画面（ A ）が表示されます。



すでにテキストが入力されているときは、タイトル画面のあとにテキストが表示され、指定されている機能のインジケーターが点灯します。

参照 ☞「テキスト画面の見かた」

「環境設定」で「おすすめフォーム」を表示するに設定している場合は、一部テープで、タイトル画面の後にビジネスフォームのメニューが表示されます。

参照 ☞「おすすめフォームを設定する」



USBケーブルでPCと接続している場合は、表示および操作手順が異なります。

参照 ☞「PCに接続して使う」



MEMO

オート・パワーオフ

・電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます(電源が切れても入力した文章はなくなりません)。ON/OFF をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。
外字データの作成、修正をしているとき、テープが終了して印刷再開が可能な状態またはパソコンリンクの状態では、オート・パワーオフ機能ははたらきません。使わないときは、こまめに電源を切るとオート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。

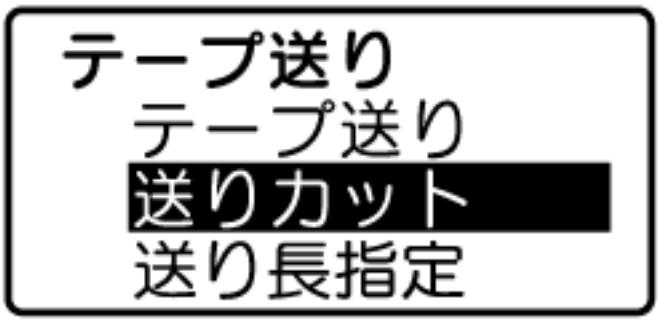
5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

1 シフト を押しながら 印刷 (＝テープ送り)を押す

「テープ送り」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ



3 選択 改行 を押す

「テープ送り」の場合は、テープが約19mm空送りされます。

「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます(一部テープを除く)。

注意

・「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンのたるみが取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。
・自動カットインジケーターが消灯しているときは、「送りカット」はできません。
参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

MEMO

・「送り長指定」を使うと、指定した長さ分だけテープ送りすることができます。
参照 ☞「指定したラベルの長さに、同じ文章を繰り返し印刷する(りぼん連続印刷)」－「指定した長さでテープ送りをする(送り長指定)」
・ヘッド・クリーニングテープでは「テープ送り」をおこなったあと、続けて「テープ送り」をおこなうことができます。
参照 ☞「ヘッド・クリーニングテープ(別売)を使う」

6. 使い終わったら電源を切る

1 を押す

電源が入っている状態で を押すと、電源が切れます。電源を切っても、入力したテキストやファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力したテキストが表示されます。

2 専用のACアダプタ(AC1116J)をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

注意

・電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
・長時間使わないときは、ACアダプタ、テープカートリッジ、電池を本機から取りはずしてください。
・本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。電池を取りはずしても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
・電源は必ず を押して切ってください。入力されているデータが正しく保持されない可能性があります。

2026年11月 第1版

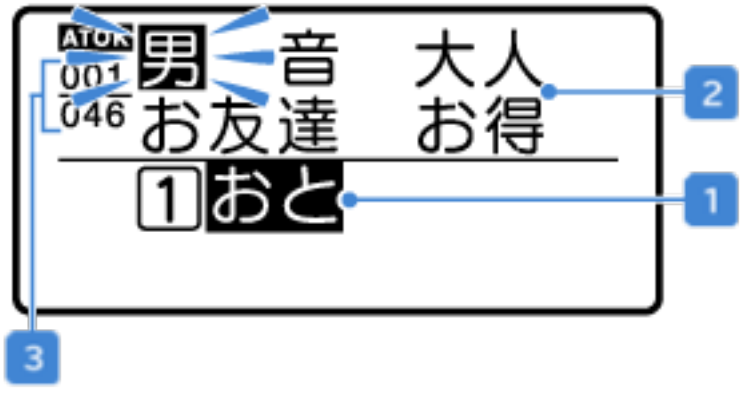
文字入力をはじめる前に

本機は、日本語入力システム「ATOK」を採用しており、文字変換のときに予測入力がはたらきます。
予測入力は、予測候補を次々に表示して、スムーズな入力を支援します。また、連文節変換により、高度な変換精度を実現しています。

ATOK予測入力画面の見かた

本機は、何文字かを入力した時点で、入力しようとする単語を予測し画面上に候補として表示します。

予測候補が表示されている状態で ↑ ↓ を押すと、候補を選択する予測入力画面になります。予測入力画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



1 入力文字	入力した文字が反転表示されます。 選択 改行 を押すと、選択している入力候補で確定します。
2 予測入力候補一覧	予測される入力候補を表示します。反転表示の候補は、現在選択されている候補です。
3 予測候補番号/予測候補数	選択されている予測候補の順番と予測候補の総数です。

ATOK予測入力画面で使用するボタン

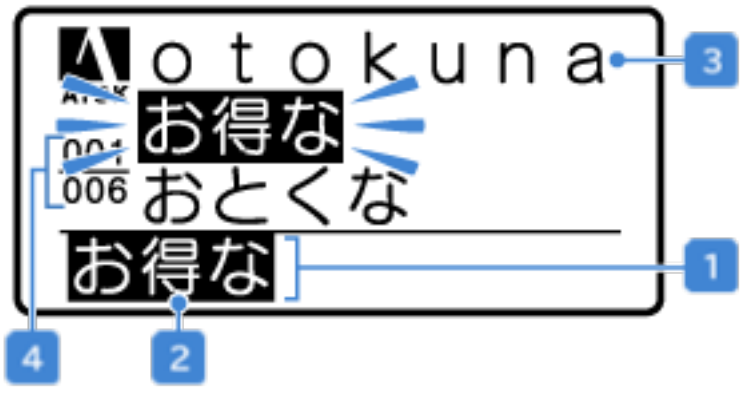
ボタン名	機能
↑ ↓	予測入力候補の選択、および次の予測入力候補の選択
← →	次の予測入力候補の選択
シフト + ↑、シフト + ←	最初の入力候補の選択
シフト + ↓、シフト + →	最後の入力候補の確定
選択 改行	入力候補の確定
変換 スペース	変換画面への移行
あ・ア・A	ひらがな、カタカナ、英字(ローマ字入力の場合のみ)への変換
削除 取消	予測入力画面を終了し、テキスト画面に戻る テキスト画面では文字を削除する
文字ボタン	予測入力画面を終了し、テキスト画面で文字を入力する

← → は、予測入力画面になる前のテキスト画面では、カーソルの移動動作になります。

シフト + [ ] となっている表記は、シフト を押しながらそのボタンを押す操作です。

ATOK変換画面の見かた

本機は、文字を入力した状態で 変換 スペース を押すと、変換候補を選択する変換画面になります。変換画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



1 仮確定文字	変換 スペース を押したとき、変換対象となる入力部分が仮確定文字として表示されます。
2 変換対象	仮確定文字中、反転表示されている部分が現在の変換対象です。 ↓ を押すと確定します。
3 変換候補一覧	変換対象の変換候補を表示します。反転表示の候補は、現在選択されている候補です。
4 変換候補番号/変換候補数	選択されている変換候補の順番と仮確定文字の変換候補数です。

文字の変換中に使用するボタン

ボタン名	機能
変換 スペース	変換候補の表示、および次の変換候補の選択
↑	前の変換候補の選択
シフト + ↑	変換候補番号001の候補の選択
↓	変換対象を確定し、次の文節を変換対象とする
←	変換対象の文節長さを短くする
→	変換対象の文節長さを長くする
シフト + ←	左の文節を変換対象とする（確定されていない場合のみ）
シフト + →	右の文節を変換対象とする（確定されていない場合のみ）
あ・ア・A、 シフト + あ・ア・A	ひらがな、カタカナ、英字（ローマ字入力の場合のみ）への変換
選択 改行	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面へ戻る
削除 取消	確定されていない文節を「読み」にし、テキスト画面へ戻る
復活	直前に確定した文節を「読み」に戻す
文字ボタン	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面に文字を入力する

シフト + [ ] となっている表記は、シフト を押しながらそのボタンを押す操作です。

MEMO

・変換候補には、漢字など通常の日本語のほかに、カタカナ語を正しいスペルに変換する「カタカナ語英語」や「記号」「絵文字」も含まれます。
・本機には、変換で簡単に呼び出せるように、業務向け用途で活用できる補助辞書の語彙があらかじめ登録されています。

入力状態を切り換える

文字入力をする前に、入力状態を確認してください。

入力状態の切り換え

入力切換 を押すたびに「かなめくり入力」→「ABC入力」→「ローマ字入力」の順で文字入力状態が切り換わります。

入力状態はインジケーターで確認できます。

（初期設定値はローマ字に設定されています。）

参照 「テキスト画面の見かた」

文字入力のしかた

■ローマ字入力

文字ボタンの A 、B 、C でローマ字読みを入力します。

参照 「ローマ字変換表」

■かなめくり入力

文字ボタンの Q あ 、W か 、E さ でかなを入力します。

1つの文字ボタンには、複数の文字が割り当てられています。文字ボタンを繰り返し押して、目的の文字を表示させます。

例:

文字ボタン ＼ 押す回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	……
R た	た	ち	つ	て	と	っ	た	……

・目的の文字を通り過ぎたときは シフト を押しながら文字ボタンを押すことで前の文字に戻すことができます（リバース機能）。

・「た」と「て」など、同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力する場合は、1文字目を入力したあとに、→ または 選択 改行 を押してカーソルを移動します。

■ABC入力

文字ボタンを押す、または シフト を押しながら文字ボタンを押すことで直接入力します。

参照 「英字を入力する」

MEMO

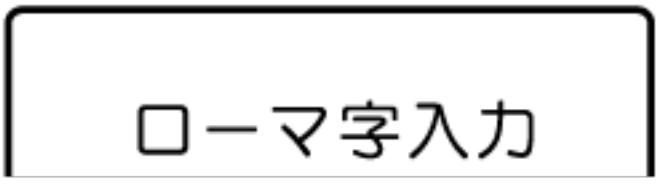
・各文字ボタンに割り当てられている文字は、下記ページを参照してください。

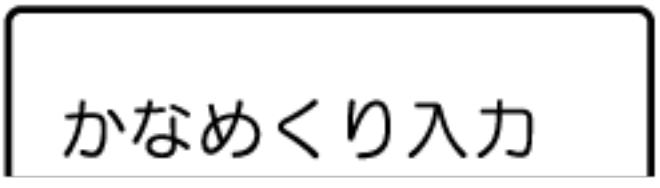
参照 「入力文字一覧表」

文字を入力する(入力例:セット)

ひらがなは文字ボタンで入力し、漢字やカタカナは、「読み」をひらがなで入力してから変換します。

1 入力切換 を数回押して「ローマ字入力」または「かなめくり入力」を選ぶ





2 「せっと」を入力する

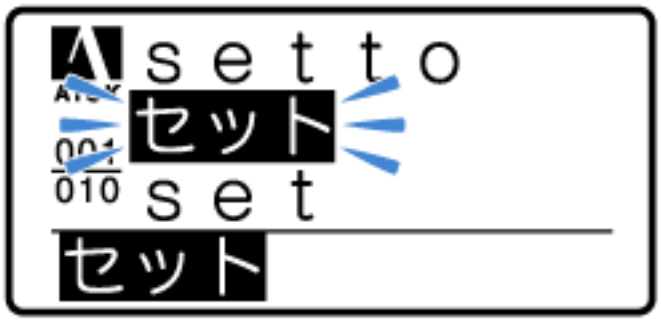


ローマ字入力: S 、E さ 、T な 、T な 、O ら

かなめくり: E さ ×4回、R た ×6回、➔ (または 選択 改行)×1回(=カーソル移動)、R た ×5回

仮確定文字(反転表示)で入力されます。

3 変換 スペース を押す



変換対象の1番目の候補が表示されます。

さらに 変換 スペース を押すと、変換候補一覧が表示され、次の候補が選択されます。

4 「セット」になっている状態で 選択 改行 を押す



「セット」が確定します。

行頭マークが 1 から 1 に変わります。

MEMO

・文字を間違えたときは、削除 取消 で文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
・一度選択した語句は、次回から優先して表示されます(学習機能)。
・「読み」を入力した直後に 選択 改行 を押すと、ひらがなのまま確定します。
・「かなめくり入力」のとき、「っ」「と」のように、同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは ➔ または 選択 改行 を押して前の文字を反転表示にしてください。
・入力した直後に あ・ア・A を押すと、「ローマ字入力」時は押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に、「かなめくり入力」時は「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。また、シフト を押しながら あ・ア・A を押すと、「ローマ字入力」時は「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かなめくり入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。変換後は、選択 改行 を押して確定します。
・2文節目以降の語句を変換しなおす操作や変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。
参照 「予測入力を使う(入力例:大きな)」−「長い文章を変換する」、「変換する「読み」の長さを変える」
・ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考にしてください。
参照 「ローマ字変換表」
・一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、最大8文字です。
・数字ボタンに表記された記号「！」「￥」などは、シフト を押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。
・2行目を作成するときは、選択 改行 を押して改行します。
参照 「行を増やす(改行)」

参考:濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

ローマ字入力

濁音(「ざ」「ば」) 半濁音(「ぱ」「ぺ」)	拗音(「ゃ」「ゅ」「ょ」) 促音(「っ」)
濁音、半濁音用のスペルで入力します。 参照 ☞「ローマ字変換表」	次のいずれかの方法で入力します。 ・「きゃ」(K 、 Y は 、 A)などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照 ☞「ローマ字変換表」 ・促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例: S 、 A 、 K 、 K 、 A …「さっか」 ・ L ゛゜ を押してから通常の文字ボタンを押す。 例: L ゛゜ 、 T な 、 U ま …「っ」、 L ゛゜ 、 U ま …「う」

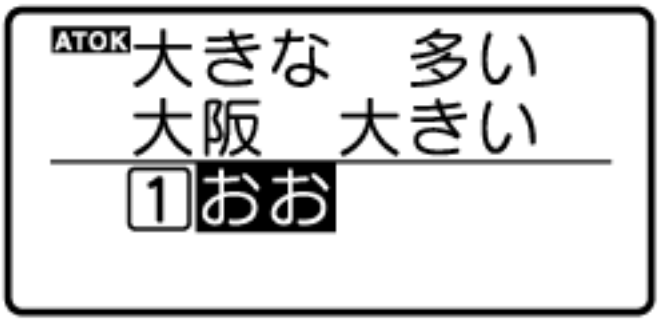
かなめくり入力

濁音(「ざ」「ば」) 半濁音(「ぱ」「ぺ」)	拗音(「ゃ」「ゅ」「ょ」) 促音(「っ」)
清音のあとに、「゛」や「゜」を入力します(L ゛゜)。 直前の文字が、濁音・半濁音の両方がつく文字の場合(は行)には、濁音・半濁音が入力できます。 直前の文字が、濁音のみがつく文字の場合(か行、さ行、た行)には、濁音のみ入力できます。	該当する文字ボタンを数回押します。 例: R た ×6回…「っ」、 I や ×4回…「ゃ」

予測入力を使う(入力例:大きな)

1 入力切換 を数回押して「ローマ字入力」または「かなめくり入力」を選ぶ

2 「おお」を入力する

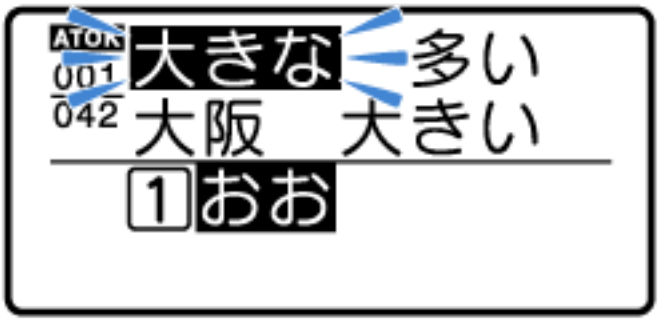


ローマ字入力: O(ら)、O(ら)

かなめくり入力: Q(あ) ×5回、→ (または 選択改行)×1回(＝カーソル移動)、Q(あ) ×5回

仮確定文字(反転表示)で入力され、予測入力の候補が上半分に表示されます。

3 ↑ ↓ を押す



予測入力画面になり、1番目の候補が選択されます。

さらに ↑ ↓ を押すと次の候補を選択します。

MEMO

・シフト ＋ プレビュー で予測入力候補表示を一時停止し、みえ^{2}表示に切り換えます。続けてテキスト入力または文字の削除をすると、予測入力候補表示を再開します。

4 「大きな」が選択されている状態で 選択 改行 を押す



「大きな」が確定します。

MEMO

・一度選択した予測入力候補は、次回から優先して表示されます（学習機能）。予測入力の学習内容は「学習初期化」で初期化できます。
参照 「初期化する」－「学習内容を初期化する」
・予測候補のないテキストの場合は候補が表示されません。

参考：長い文章を変換する

入力した文章が長く、ATOK変換画面で表示されている仮確定文字の状態では正しくない場合は、↓ を押して文節ごとに変換します。
例：「あすははれますか」を「明日は晴れますか」に変換する

1 「あすははれますか」を入力して 変換 スペース を押す

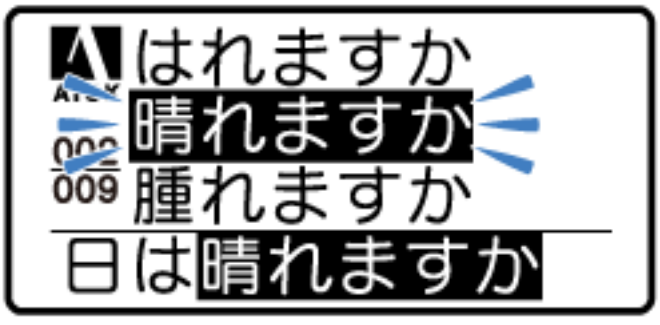
ATOK変換画面になります。

2 1文節目が正しく変換されている状態で ↓ を押す



1文節目が確定し、次に2文節目が変換対象になります。

3 変換 スペース を押す



2文節目の変換候補が表示されます。

4 正しく変換されている状態で ↓ を押す

2文節目が確定します。

さらに長い文章の場合も、同様の操作を繰り返すことにより、文節ごとに変換することができます。

MEMO

・ATOK変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
・一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、最大8文字です。

参考：変換する「読み」の長さを変える

変換する「読み」の長さが違い、目的の漢字に変換できない場合は ← → を押して変換対象となる「読み」の長さを変えます。

例：「きのうえをかった」を「昨日絵を買った」に変換する

1 「きのうえをかった」を入力して 変換 スペース を押す

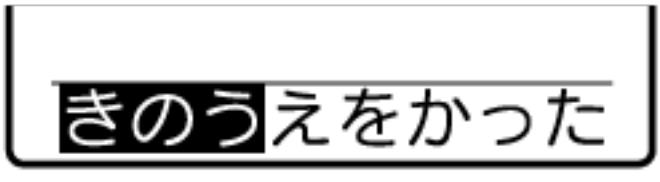
ATOK変換画面になります。

2 変換対象の長さが適当でないときは ← → を押す



変換対象（反転表示部分）は ← で短く → で長くなります。

3 ← → を押して「きのう」を文節にする



4 変換 スペース を押す



長さを変えた1文節目の変換候補が表示されます。

正しく変換されたら ↓ で確定し、2文節目以降を変換します。

MEMO

・ATOK変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
・一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、最大8文字です。

英字を入力する

英字は、「ローマ字入力」または「ABC入力」で、文字ボタンを押して入力します。小文字の入力には シフト を使います。
例：Box

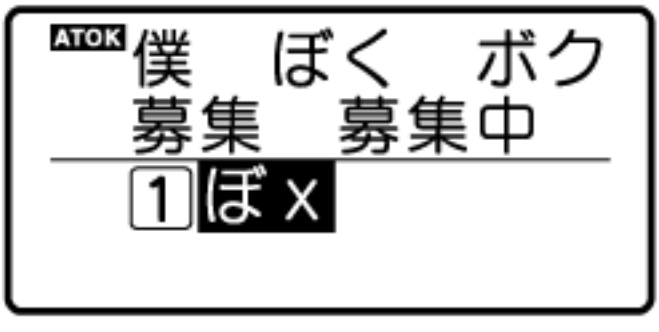
MEMO

・文字ボタンに表記された英字を直接入力する場合は「ローマ字入力」または「ABC入力」にしてください。「かなめくり入力」では入力できません。
・「ローマ字入力」で文字を入力した直後に あ・ア・A を押すと、押すたびに、「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、 シフト を押しながら あ・ア・A を押すと「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
・英語の「カタカナ読み」を入力して 変換 スペース を押しても英字にできます（カタカナ語英語変換）。
例えば、「ローマ字入力」または「かなめくり入力」で「ぼっくす」と入力して 変換 スペース を押すと、正しいスペルの「box」が変換候補に表示されます。
・変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。
参照 「予測入力を使う（入力例：大きな）」－「変換する「読み」の長さを変える」

ローマ字入力をする

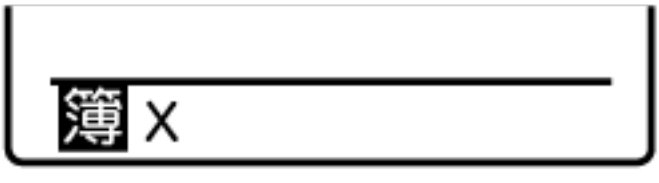
綴りを入力してから変換します。

1 「Box」を入力する



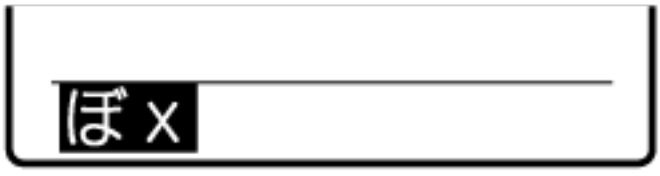
入力：B 、シフト ＋ ○ら 、変換 スペース ＋ X
「ぼx」と表示されます。

2 変換 スペース を押す



ATOK変換画面になります。

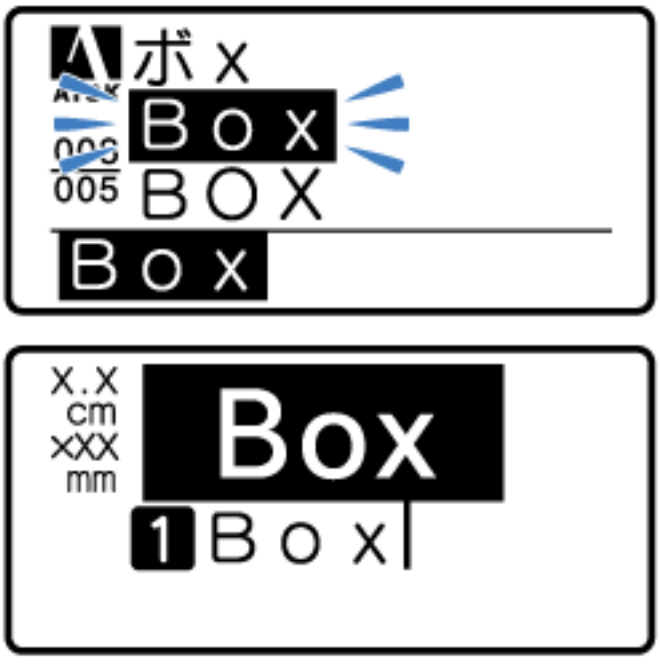
3 変換する文節の長さが適当でないときは → を押す



「ぼx」が変換対象（反転表示）になります。

4 変換 スペース を押して「Box」を選択する

5 ↓ を押す



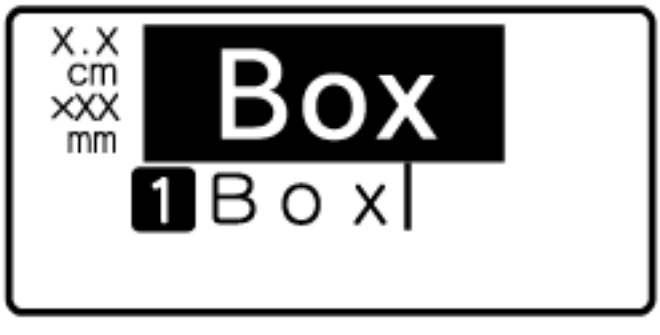
「Box」が確定します。

ABC入力をする

英字を入力するときに「ABC入力」にすると、文字ボタンを押して、直接英字を入力できます。

1 入力切換 を数回押して「ABC入力」を選ぶ

2 「Box」を入力する



入力: B 、シフト + ○ら 、シフト + X

入力(小文字ロックをしている場合): シフト + B 、○ら 、X

「Box」が表示されます。

MEMO

・小文字ロック

「ABC入力」時に、シフト を押しながら 入力切換 を押すと、小文字入力状態に切り換わり、シフト を押していないときに小文字入力インジケーターが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度 シフト を押しながら 入力切換 を押します。

注意

・半角英数字はQRコード作成時のみ入力できます。

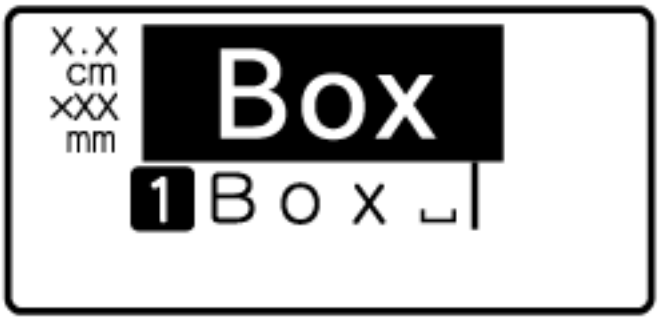
参照 ☞「QRコードを入力する」

スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「␣」(半角スペース)が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

1 仮確定文字がないことを確認する

2 変換 スペース を押す



半角スペースが入力されます。

MEMO

・仮確定文字があるときに 変換 スペース を押すと、漢字に変換されます。
・スペースには、半角スペース(␣)のほかに、1文字分の全角スペース(␣)があり、記号メニューで入力します。
・「ローマ字入力」「かなめくり入力」「ABC入力」のいずれでも半角スペースが入力できます。

記号(絵文字)を入力する

操作パネルに表記されていない記号や絵文字は、記号メニューや絵文字メニューから指定します。

1 記号 または シフト ＋ 記号 (＝絵文字)を押す

「記号」メニューまたは「絵文字」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で分類を選ぶ



ここでは、例として「絵文字」の「趣味」を選びます。

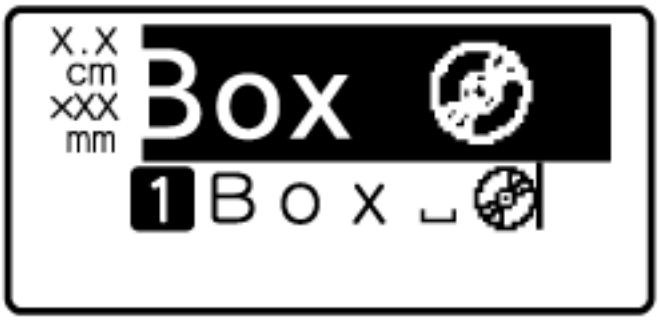
3 選択 改行 を押す

「趣味」の絵文字が表示されます。

4 ← → で「 」を選ぶ



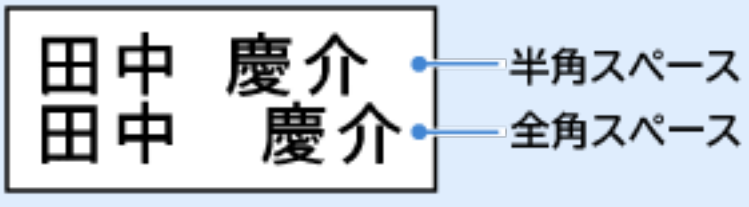
5 選択 改行 を押す



「 」が入力されます。

MEMO

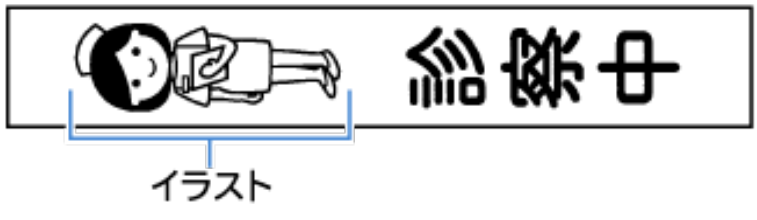
・仮確定文字や点滅文字があるときは、記号や絵文字を入力することはできません。
・入力できる記号や絵文字は、付録を参考にしてください。
参照 「記号一覧表」
参照 「絵文字一覧表」
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 記号 を押すか、ホーム を押してテキスト画面に戻ります。
・一度選択した記号や絵文字は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
・記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下のはたらきをします。
罫（罫入力記号）：縦罫線を入力します。
␣（全角スペース）：全角スペースを入力します。
・一部の記号や絵文字は、記号名称の「読み」を入力して 変換 スペース を押すと、記号や絵文字が変換候補に表示されます（記号変換・絵文字変換）。
・半角スペースは、変換 スペース で入力できます。ただし、「文字間」で「プロポーショナル」が「オフ」に指定されているときは、半角スペースでも約1文字分の空白として印刷されます。
参照 「文字間」



・絵文字メニューの「イラスト」内の絵文字は、通常の記号2文字分の大きなサイズのものです。

参考：イラストを入力する

「絵文字」メニューから「イラスト」を選ぶと、2文字分の大きな絵文字を入力することができます。
改段落でほかの文章を組み合わせたり、つなげて使用することで、表現できるラベルの幅が広がります。



MEMO

・イラストは、絵文字2文字分の大きな絵文字です。イラストは1つのブロックになっており、削除する場合、イラスト全体が削除されます。
コピーする場合も、イラスト全体をコピーします。
・イラストをつなげて使用する場合は、該当箇所の文字間を「密着」に指定してください。
参照 「文字間」

文章を作る

入力した文章に文字を挿入したり、入力した文章を消去するなどの変更ができます。

カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「 | 」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入、削除する位置を表します。



カーソルの移動にはカーソルボタン ← ↑ ↓ → を使います。
本機のディスプレイには最大8文字×4行で表示されます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
←	左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
→	右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
↑	前(上)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
↓	次(下)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
シフト + ←	行頭へ移動します。繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
シフト + →	行末へ移動します。繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
シフト + ↑	段落の先頭へ移動します。繰り返すと、前の段落の先頭へと移動します。
シフト + ↓	段落の終わりへ移動します。繰り返すと、次の段落の終わりへと移動します。

シフト ＋ [ ] となっている表記は、シフト を押しながらそのボタンを押す操作です。

文章を入力する

文字は操作パネルの文字ボタンで入力し、変換 スペース を押して漢字などに変換します。

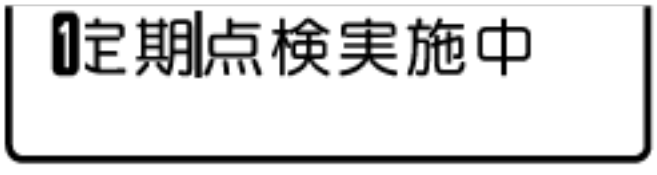
参照 ☞「文字を入力する(入力例:セット)」



文字を削除/挿入する

文字の後ろ(右側)にカーソルを合わせ 削除 を押すと文字が削除されます。
文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。
例:「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

1 ← → で「期」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

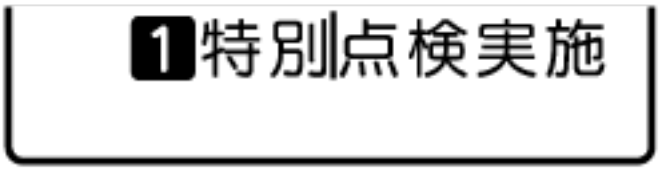


2 削除 を2回押して「定期」を削除する



カーソル位置は行頭になります。

3 「特別」を入力する



注意

・挿入によって文字数が入力可能文字数(約175文字)をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク(◀)が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

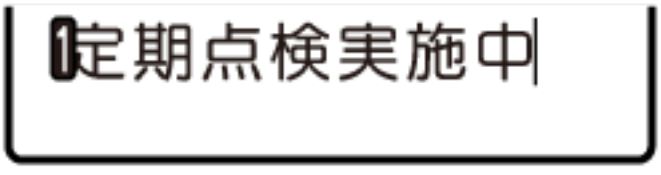
MEMO

・間違って削除した場合は、削除した直後なら 復活 を押すと復活できます。ただし、削除直後に ← ↑ ↓ → 、シフト 、入力切換 以外のボタンを押した場合は、復活できません。

削除した文字をもとに戻す（復活）

削除した文字や文章は、削除した直後なら 復活 で復活できます。
例:「定期点検実施中」の「定期」を削除してから復活する

1 「定期点検実施中」を入力する

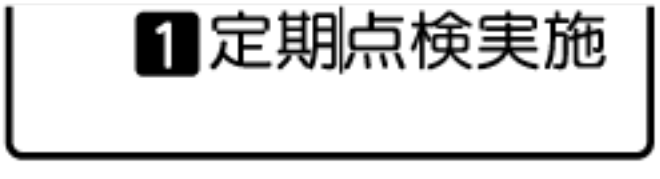


2 ← → で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

3 削除 取消 を2回押して「定期」を削除する



4 復活 を2回押す



削除した文字が復活します。

MEMO

・仮確定の状態で削除した文字は、復活できません。
・削除直後に ← ↑ ↓ → 、シフト 、入力切換 以外のボタンを押した場合は、次に 復活 を押しても復活できません。
・削除 取消 で削除した文字を30文字まで記憶できます。
・全文消去も復活できます。

文字をコピーする

すでに入力した文字をコピーすることができます。
例:「定期点検実施中、特別点検実施中」で2回目の「点検実施中」をコピーで挿入する

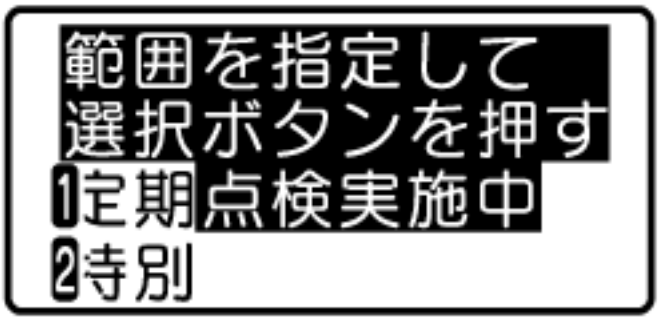
1 1行目に「定期点検実施中」、2行目に「特別」を入力する

2 ← ↑ ↓ → で「点」の前(左側)にカーソルを合わせる



3 コピー を押す
コピー範囲を指定する画面になります。

4 ← → で範囲を指定し、選択/改行 を押す



指定した範囲が反転表示になり、選択/改行 を押すと一時的に記憶されます。
このあとの貼り付け操作で文字を貼り付けます。

MEMO

・一度にコピーできる文字は30文字までです。
・バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタマバーコード入力時には、コピーや貼り付けはできません。

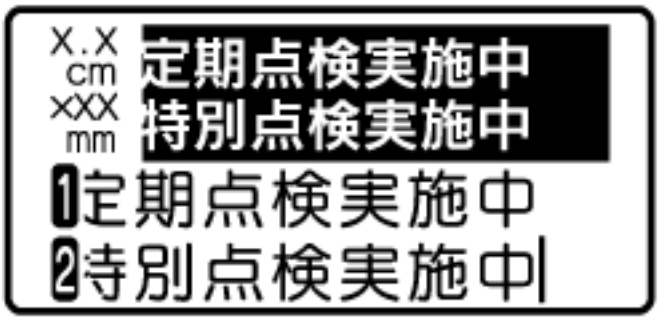
文字を貼り付ける(ペースト)

コピーした文字は、次にコピーするまで何度でも貼り付ける(ペーストする)ことができます。

1 ← ↑ ↓ → で貼り付け先にカーソルを合わせる



2 シフト を押しながら コピー (＝貼付け)を押す



コピーされた文字が挿入されます。

MEMO

・一度にコピーできる文字は30文字までです。
・バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタマバーコード入力時には、コピーや貼り付けはできません。

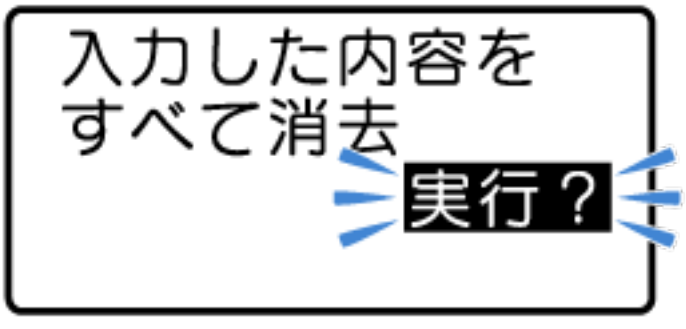
すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

1 シフト を押しながら 削除取消 （＝全消去）を押す

全文消去画面が表示されます。

2 選択改行 を押す



全文消去され、テキスト画面に戻ります。

注意

・全文消去は、入力したすべての文章が消去されます。文章の書体や外枠など各機能の指定内容も消去されます。消去をおこなう前に、十分に確認してください。

MEMO

・全文消去では、以下の内容は消去されません。

ファイル・あて名・辞書・外字データ、保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態、「みえ^2」の状態

・すべてを購入時の設定に戻したいときは、本機を初期化してください。

参照 ☞「本機を初期化する」

・操作を途中でやめるときは、削除取消 を押し、操作を戻します。

・削除した直後なら 復活 を押すと復活できます。

行を増やす(改行)

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます(選択 改行 を押します)。

テープ幅と印刷できる行数について

本機では4mmから24mmまでの幅のテープを使うことができます。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	4行まで	6行まで	8行まで

注意

・外枠と表組みの種類、テープ幅、行数、文字サイズの組み合わせにより、印刷できない場合があります。
外枠／表組みの種類を変更する、行数を減らす、文字サイズを小さくするなど、設定を変更してから印刷してください。

MEMO

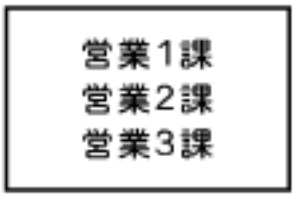
・表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク 1 2 … ☒ 、1 2 … ☒ と、実質行頭マーク 1 2 … ☒ 、1 2 … ☒ の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。

・☒ ☒ はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。☒ の表示があるときに 印刷 を押しても「行数オーバー」が表示されます。☒ のある行を削除してから印刷をおこなってください。

参照 ☞「エラーメッセージが表示されたときは」

新しい行を作る

行の終わりで 選択改行 を押すと、新しい行に入力することができます(改行)。
例:3行の文章を入力する

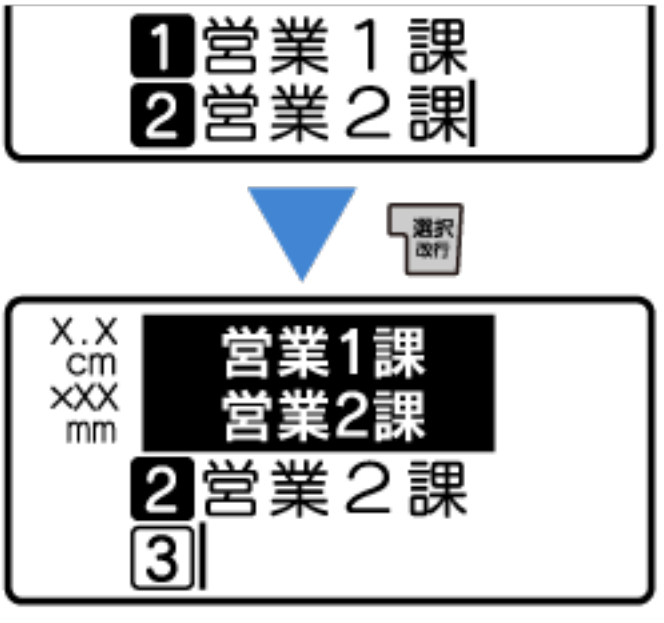


1 「営業1課」を入力し、 選択改行 を押す



2行目に行頭マークが表示されます。

2 「営業2課」を入力し、 選択改行 を押す



3行目に行頭マークが表示されます。3行目を入力します。

MEMO

・仮確定文字があるときは、選択改行 を押しても改行できず、文字が確定します。

文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。
例：「営業1課田中慶介」を2行にする



▼ 途中で改行すると



1 ← → で「課」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる



2 選択改行 を押す



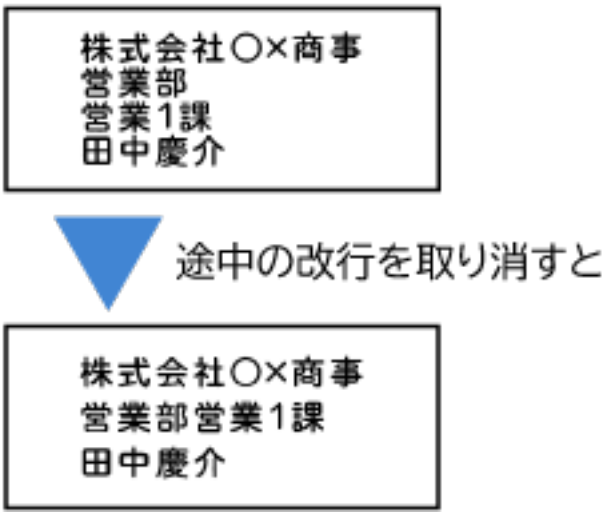
2行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は2行目に移動します。

MEMO

・仮確定文字があるときは、選択改行 を押しても改行できず、文字が確定します。

改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて 削除取消 を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。
例：2行目での改行を取り消す



1 3行目の行頭マーク 3 の後ろ(右側)にカーソルを合わせる



2 削除取消 を押す



3行目の「営業1課」が2行目に連結されます。
4行目の「田中慶介」が3行目になります。

MEMO

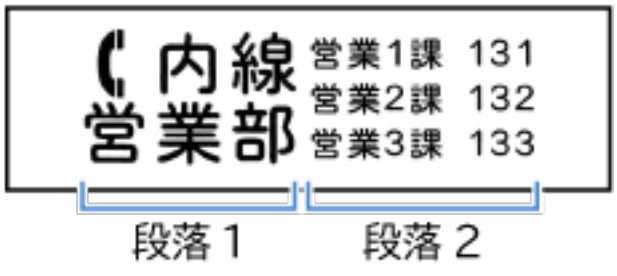
- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、削除取消 を押すと4行目の文章が3行目に連結され、4行目は自動的に削除されます。
- 第1段落の1行目の行頭マーク 1 1 は削除できません。

段落を増やす(改段落)

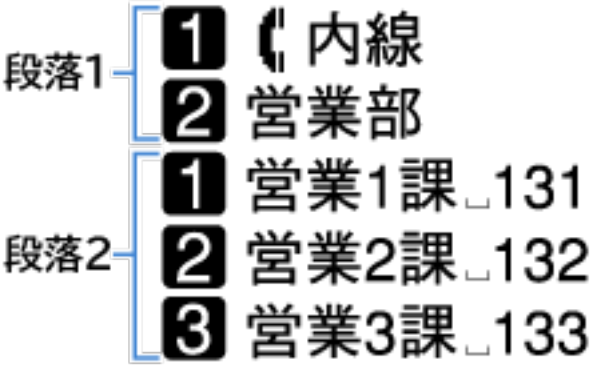
段落について

左下のラベルは2つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼びます。段落とはブロックで印刷される「行の集まり(または1行)」のことです。1つのラベルの中に2つの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えることができます。
本機では、段落は1つのラベル(文章)の中に10段落まで作ることができます。

段落が2つのラベル
印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では各段落が縦に並んだ形になります。
・ラベルでは

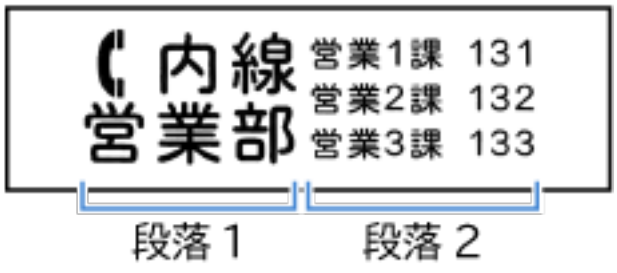


・画面上では



新しい段落を作る

シフト を押しながら 選択改行 (＝改段落)を押すと、新しい段落ができます。
例:2段落の文章を入力する



1 段落1を入力する



1行目「 内線」
2行目「営業部」
と入力します。

2 文末にカーソルを合わせ、 シフト を押しながら 選択改行 (＝改段落)を押す



新しい段落が発生し、 1 が表示されます。

3 段落2を入力する



1行目「営業1課␣131」

2行目「営業2課␣132」

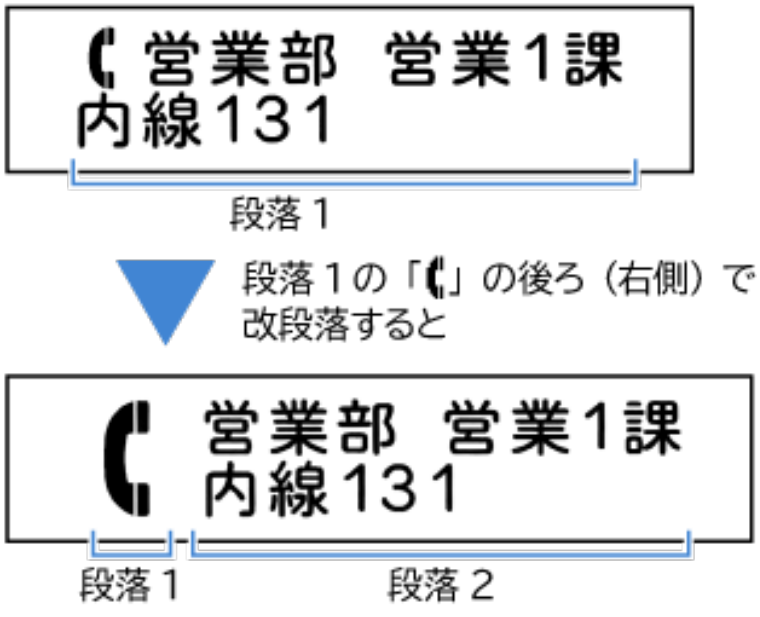
3行目「営業3課␣133」
と入力します。

MEMO

・仮確定文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
・すでに10段落目があるときは、改段落できません。

段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ(右側)の文字は新しい段落に移ります。
例:新しい段落を増やす



1 1行目「 」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる



2 シフト を押しながら 選択改行 (＝改段落)を押す



カーソルより後ろ(右側)が改段落され新しい段落になります。

MEMO

・仮確定文字があるときは、シフト を押しながら 選択改行 を押しても改段落はできず、文字が確定します。
・すでに10段落目があるときは、改段落できません。
・段落分割によって新しくできた段落指定値の内容は、もとの段落と同じです。

・もとの段落スタイルの文字サイズに行数が指定されていると、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。

参照 ☞「文字サイズ」

読みのわからない漢字を入力する

「読み」のわからない漢字は、漢字検索機能でコードでの入力や部首の読み・画数による検索ができます。入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。
本書には区点コード表を掲載しております。部首、JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書もしくはコード表をご参照ください。

参照 ☞「漢字変換表」

漢字検索メニュー一覧

シフト を押しながら あ･ア･A (＝漢字検索)を押すと以下のメニューが表示されます(は購入時の初期設定値です)。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
漢字検索			
コード入力 ▶	コード入力 ▶	漢字検索	
コードを入力して漢字を呼び出します。	コード		
部首読み ▶	部首読み ▶	部首選択 ▶	漢字検索
部首の読みで漢字を検索します。	読み		
部首画数 ▶	部首画数 ▶	部首選択 ▶	漢字検索
部首の画数で漢字を検索します。	画数		

コードで入力する

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。
入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。
例:「お休み處」と入力する

MEMO

・本書には区点コード表を掲載しております。JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。
参照 ☞「漢字変換表」

1 仮確定文字がないことを確認する



2 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。
處…4961(区点コード)
参照 ☞「漢字変換表」

3 シフト を押しながら あ･ア･A (＝漢字検索)を押す

「漢字検索」メニューが表示されます。

4 「コード入力」を選び、 選択 改行 を押す



5 コードを入力する



4 、9 、6 、1 を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。

コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

6 「處」を選び、 選択 改行 を押す



カーソル位置に「處」が入力されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 変換 スペース を押し、操作を戻します。

・コードの入力を間違えたときは 削除 取消 を押して入力しなおしてください。

部首による漢字検索

漢字を部首の読みや画数で検索し、入力できます。
例:「榎(えのき)」(部首:木)を入力する

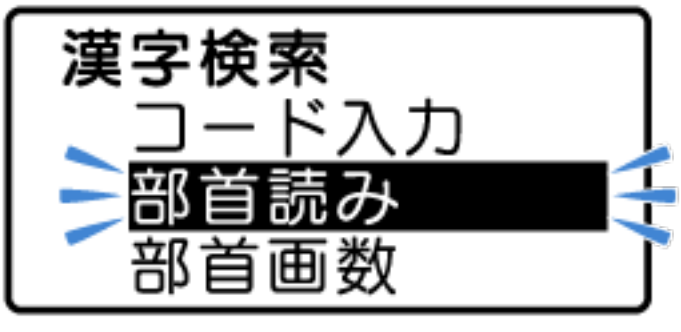
MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または あ・ア・A を押し、操作を戻します。
・部首読みで入力できる読みは16文字までです。
・部首画数で入力できる数字は1～23です。0もしくは24以上は入力できません。

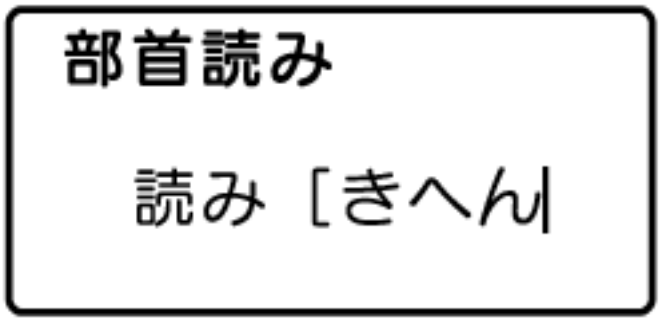
部首の読みで検索する

1 シフト を押しながら あ・ア・A (＝漢字検索)を押す
「漢字検索」メニューが表示されます。

2 「部首読み」を選び、 選択 改行 を押す



3 検索する部首の読みをひらがなで入力し、 選択 改行 を2回押す



「きへん」を入力します。

4 ← ↑ ↓ → で部首を選び、 選択 改行 を押す



「木」を選択します。
選択した部首の漢字が表示されます。

5 目的の漢字を選び、 選択 改行 を押す

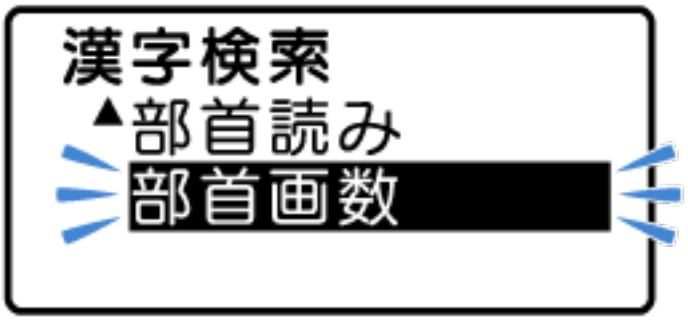


「榎」が入力されます。これで入力完了です。

部首の画数で検索する

1 シフト を押しながら あ･ア･A （＝漢字検索）を押す
「漢字検索」メニューが表示されます。

2 「部首画数」を選び、 選択 改行 を押す

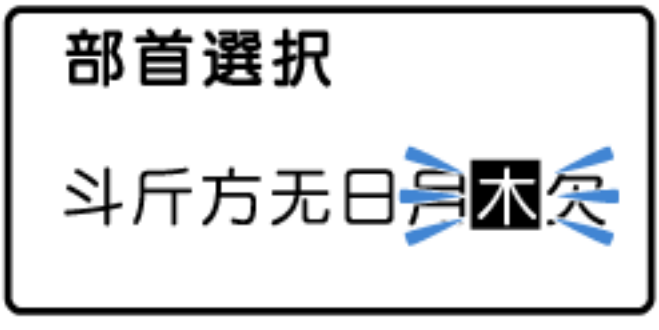


3 検索する部首の画数を入力し、 選択改行 を押す



画数は 4 を押します。

4 ← ↑ ↓ → で部首を選び、 選択改行 を押す



「木」を選択します。
選択した部首の漢字が表示されます。

5 目的の漢字を選び、 選択改行 を押す



「榎」が入力されます。これで入力完了です。

連番を入力する

連番の初期値について

連番の初期値に指定できるのは「0～9」「00～99」またはアルファベットです。初期値0～9を指定した場合には、2桁繰り上がり「あり」「なし」を選択します。
おのおのの印刷ルールは以下の通りです。

・初期値「0 ～ 9」、2 桁繰り上がり「あり」の場合（テキスト表示[2]N）

1、2、3 … 9、10、11 … 99、0、1 …

・初期値「0 ～ 9」、2 桁繰り上がり「なし」の場合（テキスト表示[1]N）

1、2、3 … 9、0、1 …

・初期値「00 ～ 99」の場合（テキスト表示[2]N）

01 … 09、10、11 … 99、00、01 …

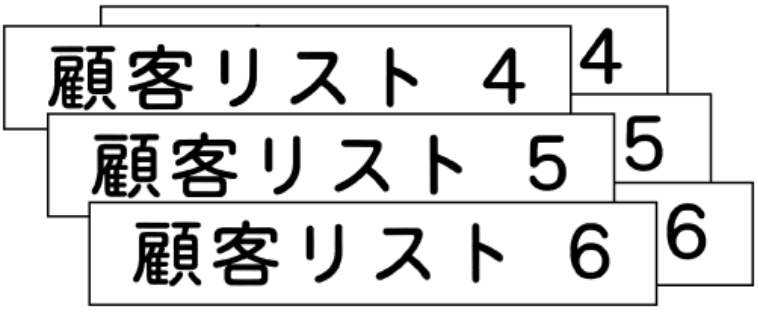
・初期値がアルファベットの場合（テキスト表示[1]N）

A、B、C … Y、Z、A、B …

a、b、c … y、z、a、b …

連番を指定して複数ラベルを作成する

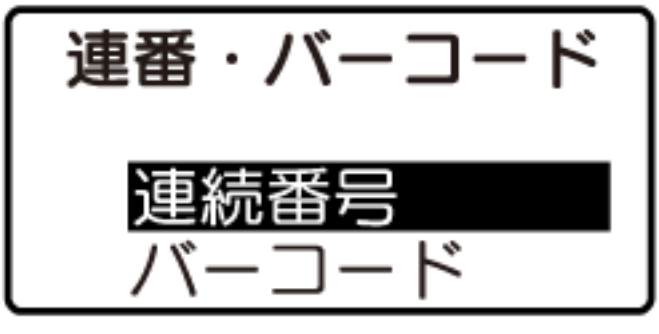
数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。
連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数(1、2、3、4、5、10回)を指定します。繰り返し回数では同じ数字を何回繰り返すかを指定します。
例:2桁連番で4、5、6…の入ったラベルを2枚ずつ作る



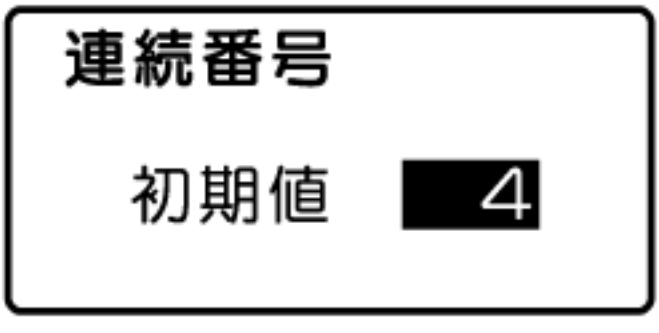
1 連番を入れる位置にカーソルを合わせる

2 シフト を押しながら ファイル (＝連番・バーコード)を押す
「連番・バーコード」メニューが表示されます。

3 「連続番号」を選び、 選択 改行 を押す



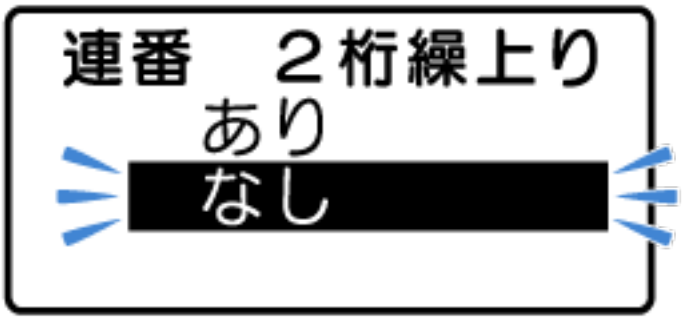
4 初期値に「4」を入力し、 選択 改行 を押す



5 繰り返し回数「2回」を選び、 選択 改行 を押す



6 2桁に繰り上げるかどうかを選び、 選択 改行 を押す





連番（連番マーク 1N ＋数値エリア「4」）が入力されます。

印刷 を押すと、押すたびに連続番号の入ったラベルを印刷できます。

MEMO

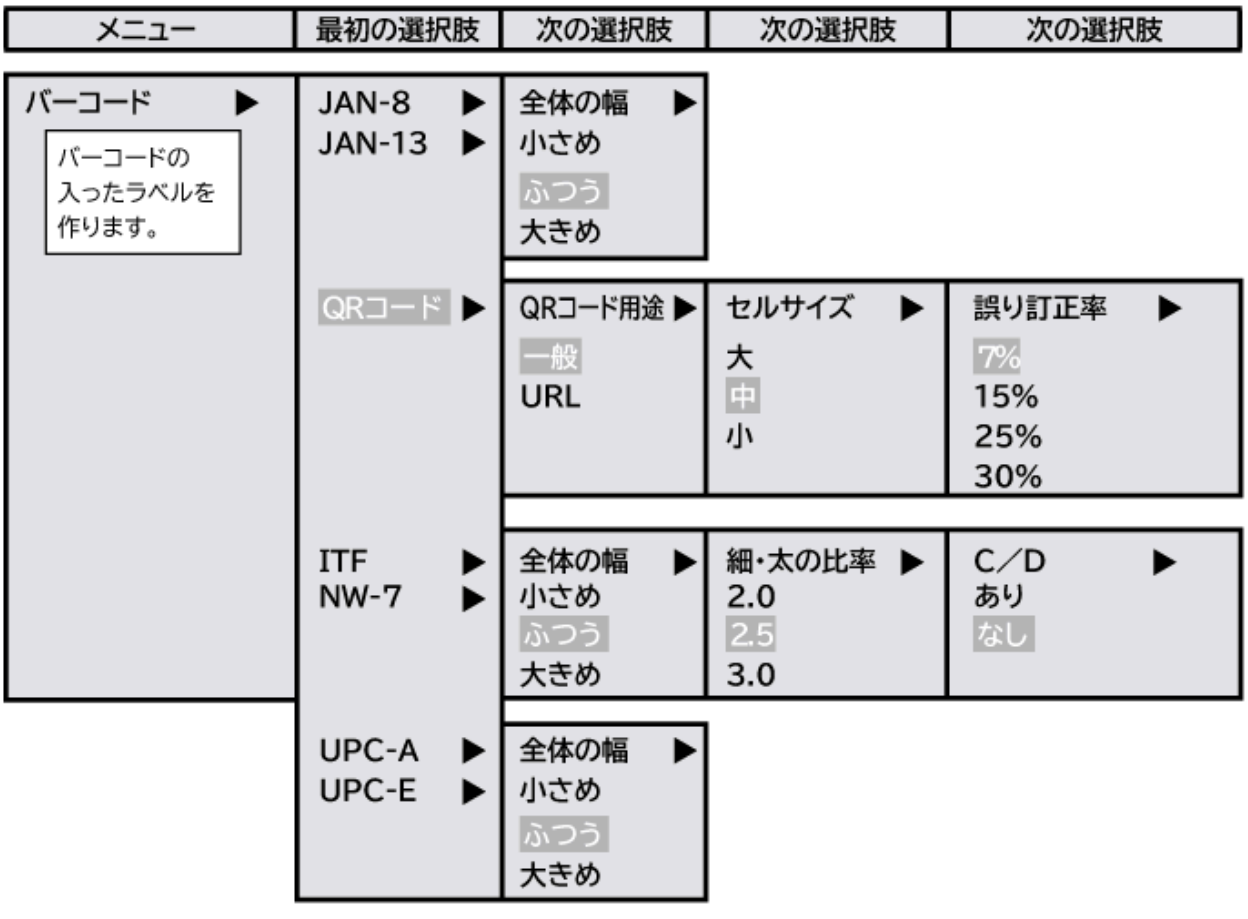
・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。
・1つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて3個までです。
・連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、シフト を押しながら ファイル （＝連番・バーコード）を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
・連番を削除するときは、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、削除 取消 を押します。
・連番（連番マーク 1N 、 2N ＋数値エリア）にも、通常の文字と同様に、編集機能を指定できます。

バーコード/QRコードを入力する

シフト を押しながら ファイル (＝連番・バーコード)を押すと、バーコードやQRコードが入力できます。

バーコード/QRコードメニュー一覧

■ は購入時の初期設定値です。



バーコードを入力する

印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体の幅 小さめ/ふつう※/大きめ	細・太の比率 2.0/2.5※/3.0	C/D あり/なし※
JAN-13・JAN-8	○	−	−
UPC-A・UPC-E	○	−	−
NW-7・ITF	○	○	○

※は購入時の初期設定値です。
○:指定可能
−:指定不要
全体の幅:バーコード全体の幅
細・太の比率:細いバーと太いバーの太さの比率
C/D:チェックデジットの有無

注意

・バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則に従って入力してください。

バーコードを作成する

各種規格に準じたバーコードを入力することができます。
例:「ITF」のバーコード(全体の幅大きめ、細・太の比率3.0、C/Dあり)を入力する



1 シフト を押しながら ファイル (＝連番・バーコード)を押す
「連番・バーコード」メニューが表示されます。

2 「バーコード」を選び、 選択 改行 を押す

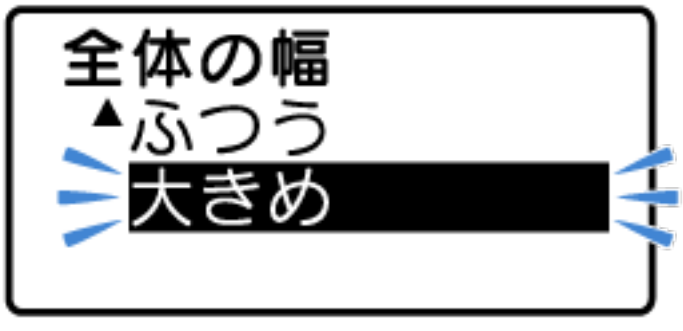


3 「ITF」を選び、 選択 改行 を押す



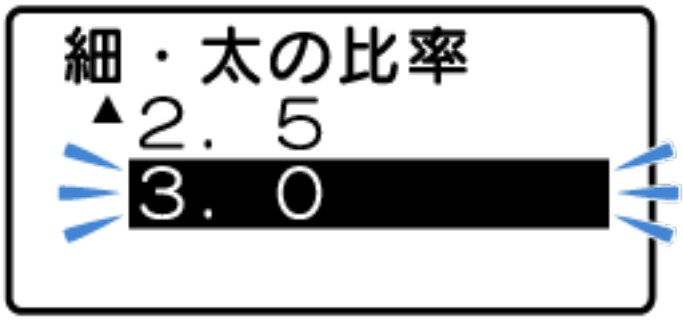
「全体の幅」が表示されます。

4 「大きめ」を選び、 選択 改行 を押す



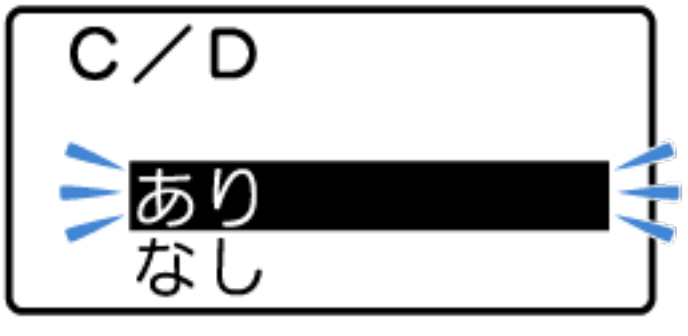
「細・太の比率」が表示されます。

5 「3.0」を選び、 選択 改行 を押す



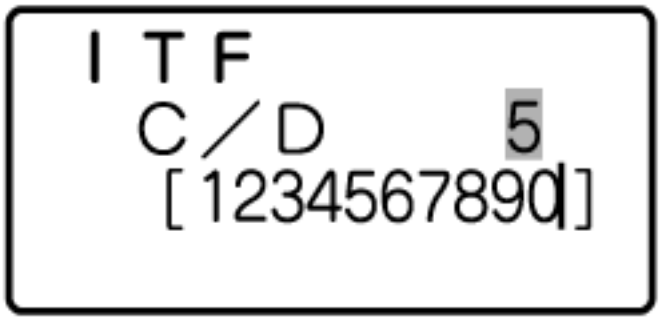
「C/D」が表示されます。

6 「あり」を選び、 選択 改行 を押す



バーコードの数値入力画面になります。

7 数値ボタンでバーコードの数値を入力する



数値が表示されます。右上の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。
入力できる桁数は規格によって異なります。

8 選択 改行 を押す



テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク(123)が表示されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。
・1つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて3個までです。
・バーコードはデータ量が大きいため、ファイルに保存するとたくさんのメモリーを使用します。
・バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク(123)の直後(右側)にカーソルを合わせ、シフト を押しながら ファイル (＝連番・バーコード)を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
・バーコードの数値を修正するときは、数値入力画面で、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
・バーコードを削除するときは、バーコードマーク(123)の直後(右側)にカーソルを合わせ、削除 取消 を押します。
・バーコードマークにも、通常の文字と同様に、編集の機能を指定できますが、反映されるものは以下の通りです。
バーコードマークに反映される機能
・地紋、定長、余白
・外枠・表、割付け
・囲・網
・印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
・バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをおすすめします。

・規格によって入力できる桁数が異なります。ITFとNW-7は1～19桁です。
・ITFは偶数桁数のみの規格です。チェックデジットを「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1桁目にスペアコード（0）が自動的に発生します。
・UPC-Eのチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
・NW-7は始めと終わりに「A、B、C、D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
・NW-7は 記号 で記号を入力することができます。入力できる記号は、「$」「+」「-」「.」「/」「:」です。
・バーコードのバーの長さ（線の部分）と数字の長さが一致しないことがありますが、ご使用上問題はありません。

QRコードを入力する

QRコードは2次元コードの一種で、漢字など通常のバーコードよりも多くの情報を入力できます。
また、内容にひらがなや漢字などの日本語情報を入力できます。

QRコードの最大入力可能文字数

QRコードの場合、テープ幅や設定項目により入力可能文字数が異なります。

文字サイズ(pt)	セルサイズ	誤り訂正率(%)	半角数字(1234…)	半角文字(abcd…)	全角(あいうえ…)
26	大	7～30	-	-	-
	中	7～30	-	-	-
	小	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
38	大	7～30	-	-	-
	中	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
	小	7	230	106	65
		15	202	84	52
		25	144	60	37
		30	106	44	27
48	大	7	41	17	10
		15	34	14	8
		25	27	11	7
		30	17	7	4
	中	7	127	53	32
		15	101	42	26
		25	77	32	20
		30	58	24	15
	小	7	-	192	118
		15	230	152	93
		25	230	108	66
		30	202	84	52

QRコードを作成する

例：携帯電話用の電話帳データ（名前、読み、電話番号など）
入力例「MECARD:N:山岸,正樹;SOUND:ヤマギシ,マサキ;TEL:0301234567;;」
（英数、記号は半角文字です。入力に必要な情報はお使いの携帯電話によって異なります。）



1 シフト を押しながら ファイル （＝連番・バーコード）を押す

「連番・バーコード」メニューが表示されます。

2 「バーコード」を選び、 選択 改行 を押す



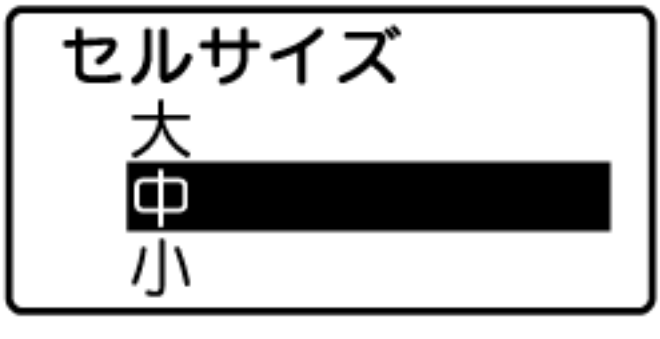
3 「QRコード」を選び、 選択 改行 を押す



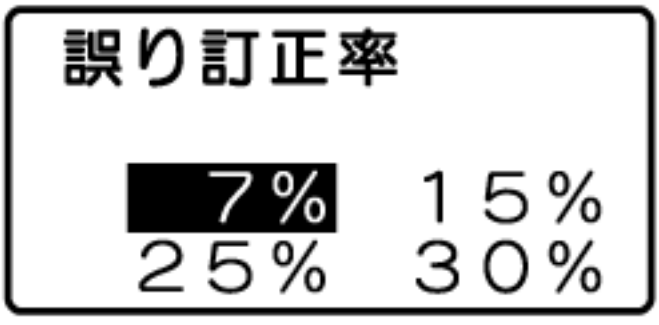
4 用途を選び、 選択 改行 を押す



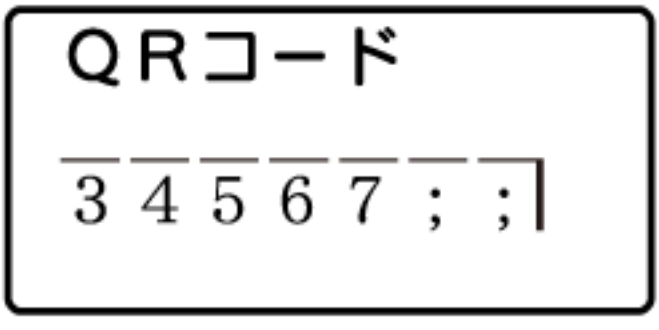
5 セルサイズを選び、 選択 改行 を押す



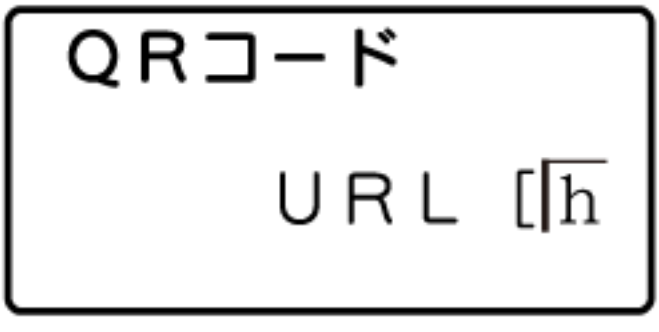
6 誤り訂正率を選び、 選択 改行 を押す



7 1行目の内容を入力する



一般：複数行が入力できます。

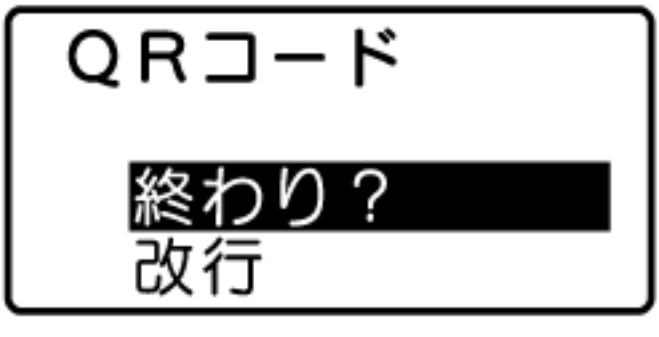


URL：「ABC入力【半角】」で1行のみ入力できます。あらかじめ「http://www.」が入力されています。
文字の上に線が付いて表示される英数字が半角文字です。

8 選択 改行 を押す

「一般」の場合は「改行」または「終わり？」の選択画面が表示されます。
「URL」の場合は入力完了です。

9 次の行を入力する場合は「改行」を、終了する場合は「終わり？」を選び、 選択 改行 を押す



QRコードマーク( )が入力されます。

MEMO

・誤り訂正率とは、QRコードの汚れ、破損で読み取れなくなったデータを復元する能力です。誤り訂正率を上げると復元能力は向上しますが、QRコードのサイズが大きくなることがあります。
・QRコードでは、半角英数字が入力できます。 入力切換 を押して入力状態を「ABC入力【半角】」にしてください。用途が「URL」の場合は「ABC入力【半角】」のみとなります。文字の上に線が付いて表示される英数字が半角文字です。
・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、 削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。
・QRコードには一部記号も入力できます。入力画面で 記号 を押すことで呼び出せます。
・QRコードが大きい場合、「QRコード大」と表示され、印刷できません。幅の広いテープにする、通常テキストの行数を減らす、セルサイズを小さくする、QRコードの誤り訂正率を低くする、QRコードの文字数を減らす、などの変更をしてください。
・4mm、6mm、9mm幅テープにはQRコードを印刷できません。
・1つの文章に入力できるQRコードは2個までです。また、1つの文章に入力できるバーコード(QRコードを含む)は、連番と合わせて3個までです。
・文字サイズインジケーターの26～48部分が点滅している場合、「QRコード大」が表示され、印刷できません。以下の操作をおこなってください。
 ・QRコードの誤り訂正率を低くする
 ・QRコードの文字数を減らす
・コードの内容やセルサイズ、誤り訂正率を変更する場合は、QRコードマーク( )の直後(右側)にカーソルを合わせ、 シフト を押しながら ファイル (＝連番・バーコード)を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は作成操作と同じですが、「用途」やバーコードの規格を変更すると、入力されていたコードの内容は失われます。
・QRコードの情報量によっては、印刷履歴に記録されないことがあります。

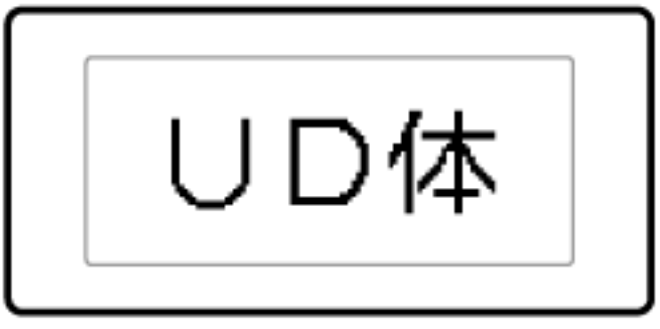
ダイレクトキーで書体を変更する

書体ボタンを使う

書体 を使うと、ラベルの書体を以下の順で切り換えられます。※は購入時の初期設定値です。

明朝体→ゴシック※→UD体→てがき→丸ゴシック→行書体→明朝体・・・

1 目的の書体になるまで 書体 を押す



書体 を押すたびに、選択された書体が表示され、選択肢が切り換わります。

シフト を押しながら 書体 を押すと、選択肢が逆順で切り換わります。

MEMO

・仮確定文字があるときは、書体を変更できません。
・「書体」は編集機能の「書体」でも指定できます。
参照 ☞「書体」
・段落ごとや文字ごとに「書体」を指定する場合や、かな専用書体、英数専用書体を指定する場合、編集機能の「書体」で指定します。
・書体 ボタンは文章全体の書体を変えます。「編集」機能で段落ごとや文字ごとに書体を指定している場合は、「▶（文字モード指定マーク）」前までの書体を変更します。また、漢字、かな、英数書体に別々の書体を指定していても、文章全体が同じ書体になります。
・UD体は株式会社モリサワから提供を受けたユニバーサルデザインフォントである新ゴRです。

ダイレクトキーで文字サイズを変更する

文字サイズボタンを使う

文字サイズ を使うと、文字サイズを一段階ずつ切り換えられます。各行の文字サイズを「おまかせフォーマット」の組み合わせから選択できます。



1 目的の設定になるまで 文字サイズ を押す



文字サイズ を押すたびに選択肢が切り換わります。

カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。

シフト を押しながら 文字サイズ を押すと、選択肢が逆順で切り換わります。

MEMO

・仮確定文字があるときは、「文字サイズ」を変更できません。
・「文字サイズ」は編集機能の「文字サイズ」でも指定できます。
参照 ☞「文字サイズ」
・文字サイズ は、カーソルのある段落に対する指定です。
・初期設定値（均等）に戻すには、編集機能の「文字サイズ」で「均等」を指定します。
・選択肢を切り換えたあとは、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。

文字サイズとラベルの行数について

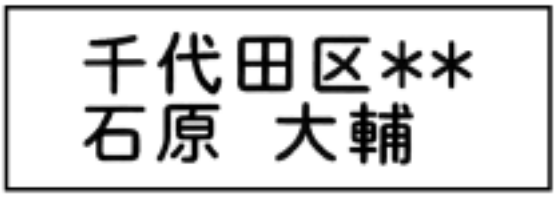
選択できる文字サイズは、ラベルの行数によって次のようになります（文字サイズ を押したときに表示される画面イメージとは若干異なります）。

ラベルの行数	文字サイズ（おまかせフォーマット）の選択肢
1行	特大、 大、 中、 小
2行	大大、 中中、 大細、 大小、 中小、 小中、 小大、 細大
3行	均等大、 均等小、 1大、 1中、 3小、 2大、 2中、 1小、 3大、 3中、 2小
4行	均等、 1大、 2大、 3大、 4大
5-8行	5-8行（サイズ固定）

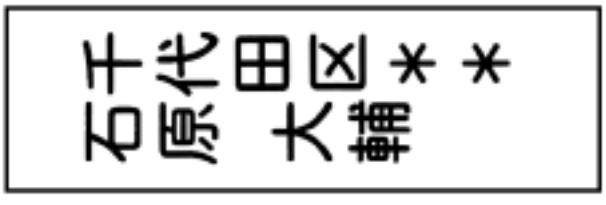
ダイレクトキーでラベルの向きを変更する（縦・横）

縦・横ボタンを使う

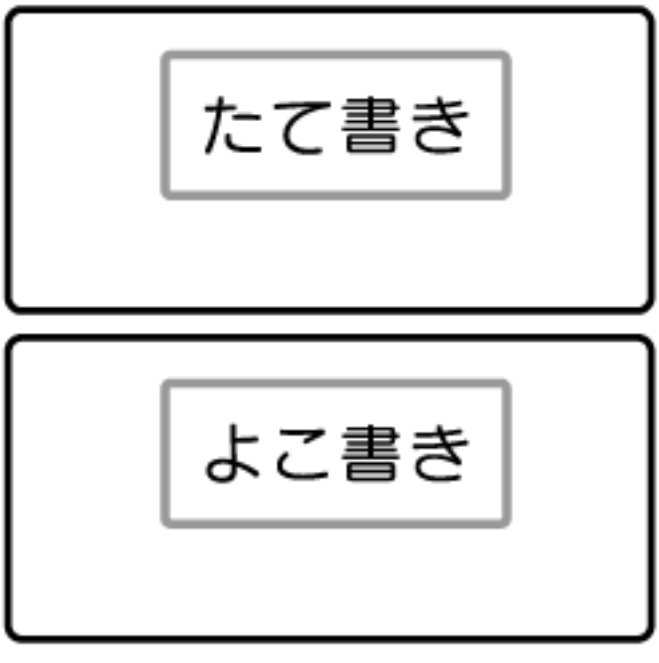
縦・横 を使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」に切り換えられます。
・よこ書きラベル



・たて書きラベル



1 縦・横 を押す



「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。
「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。
たて書き・よこ書きは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。

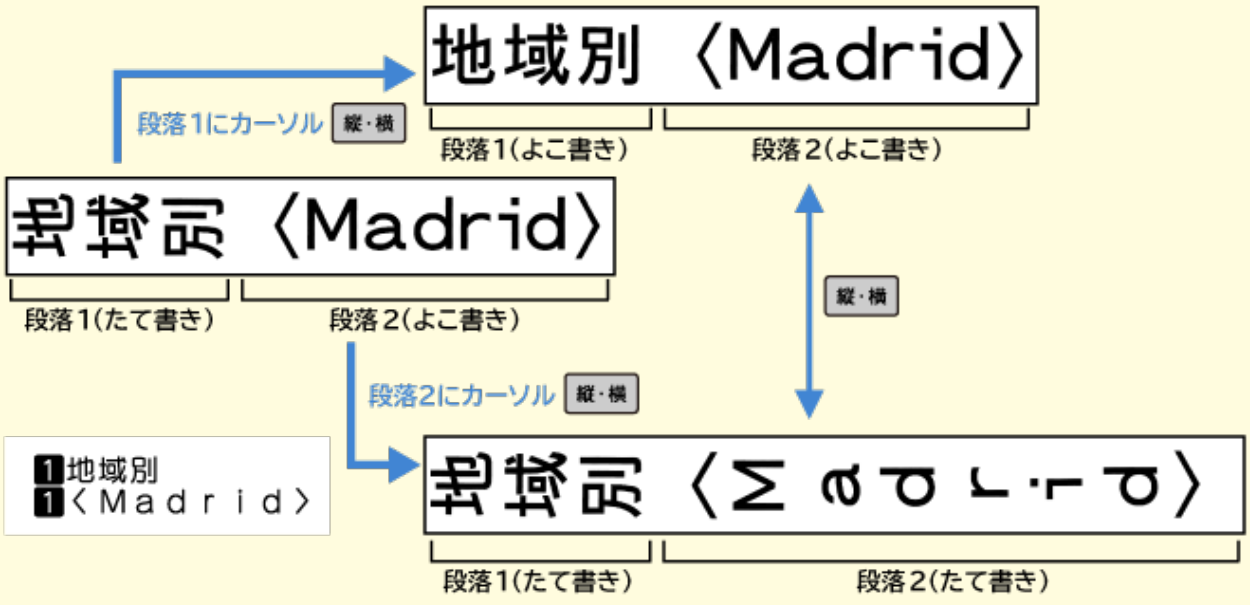
MEMO

・仮確定文字があるときは、「たて書き」「よこ書き」を変更できません。
・編集機能の「縦・横」では文章単位または段落単位で指定できます。
参照 ☞「編集ボタンの機能」－「指定範囲とカーソルの位置について」
・絵文字の「イラスト」は縦書きには対応していません。

参照 「絵文字一覧表」－「イラスト」

注意

・縦・横 は文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が、文章全体に反映されます。



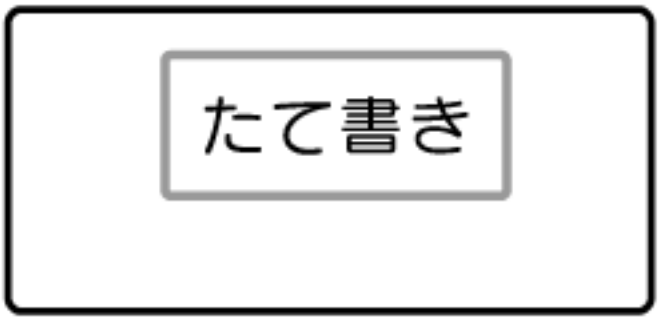
参考:たて書きで2桁の数字を印刷する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例:「14回大会記録」を入力する



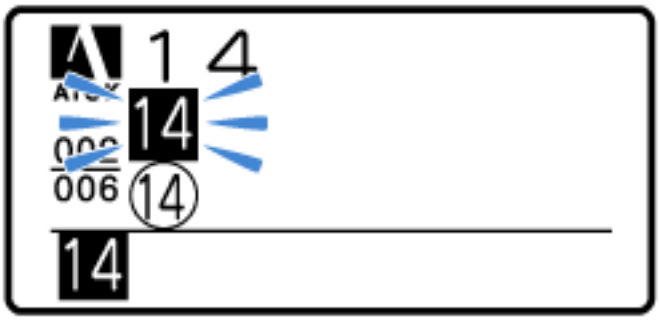
1 縦・横 を押して、「たて書き」を指定する



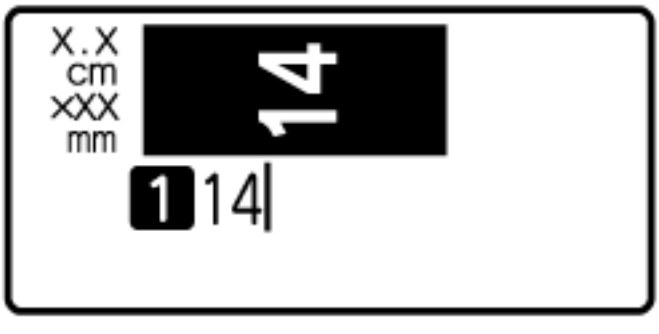
2 1 4 と入力して 変換 スペース を押す



3 変換 スペース を押して2桁数字の「14」を選び、 選択 改行 を押す



4 続けて文章を入力する



MEMO

・操作を途中でやめるときは 削除 取消 を押し、操作を戻します。
・2桁の数字は、 記号 を押して「2桁数」を選んで入力することもできます。
・仮確定文字があるときは、 記号 で2桁数字は入力できません。

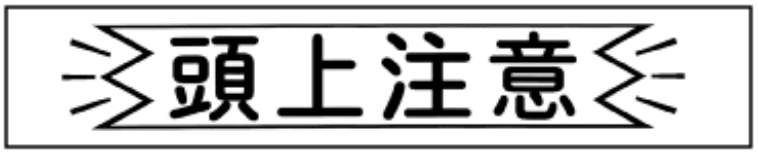
ダイレクトキーで外枠を指定する

外枠ボタンを使う

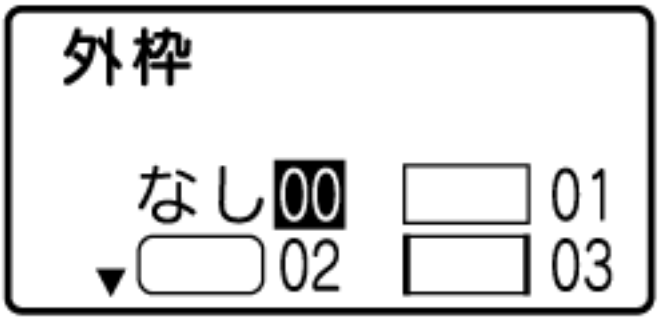
外枠 を使うと、直接外枠メニューに移動します。
文章全体のまわりにつける外枠を手軽に切り換えできます。
・外枠なし



・外枠あり



1 外枠 を押す



外枠メニューが表示されます。

2 切り換えたい外枠を選び、 選択 改行 を押す



注意

・外枠と表組みの種類、テープ幅、行数、文字サイズの組み合わせにより、印刷できない場合があります。
外枠／表組みの種類を変更する、行数を減らす、文字サイズを小さくするなど、設定を変更してから印刷してください。

MEMO

・仮確定文字、点滅文字があるときは、外枠を変更できません。
・表組みの指定はできません。
・編集機能の「外枠」では文章全体または段落単位で指定できます。
参照 「外枠・表」
・編集機能の「外枠」で表組みを指定している場合も、外枠 で選択した外枠に変更されます。
参照 「外枠・表」

ラベルの見栄えをよくする(編集)

文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

編集ボタンの機能

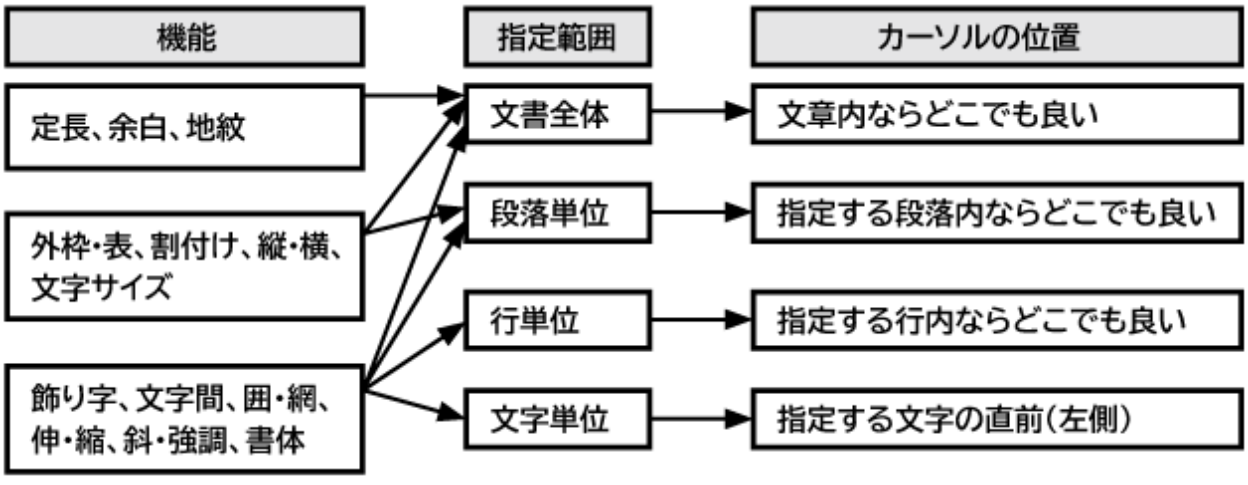
ラベルの見た目を変えるには、編集 を押して表示されるメニューから機能を選択します。機能によって指定可能な範囲(文字単位、文章全体など)が異なります。

機能について

機能	内容	指定範囲
定長	できあがるラベルの長さを指定します。	文章全体
余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。	文章全体
外枠・表	飾り枠、表組みを指定します。	文章全体、段落単位
割付け	各行の割り付け位置を指定できます。	文章全体、段落単位
飾り字	白抜き、影文字、白抜影の装飾をします。	文章全体、段落単位、行単位、文字単位
文字間	文字の間隔を変更します。	文章全体、段落単位、行単位、文字単位
囲・網	訂正線、下線、網かけ、囲みの装飾をします。	文章全体、段落単位、行単位、文字単位
伸・縮	文字を伸縮して変形します。	文章全体、段落単位、行単位、文字単位
地紋	背景全体に地紋を入れます。	文章全体
斜・強調	斜体、強調、斜強調の装飾をします。	文章全体、段落単位、行単位、文字単位
縦・横	たて書きや、よこ書きにします。	文章全体、段落単位
文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。	文章全体、段落単位
書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。	文章全体、段落単位、行単位、文字単位

指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、編集 を押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で有効範囲の指定をおこないます。カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。


機能
指定範囲
カーソルの位置
定長、余白、地紋
外枠・表、割付け、縦・横、文字サイズ
飾り字、文字間、囲・網、伸・縮、斜・強調、書体
文書全体
段落単位
行単位
文字単位
文章内ならどこでも良い
指定する段落内ならどこでも良い
指定する行内ならどこでも良い
指定する文字の直前（左側）

編集を指定する

機能は以下の流れで指定します。

1 カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前(左側)にカーソルを合わせます。
行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。
文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。

参照 ☞「編集ボタンの機能」－「指定範囲とカーソルの位置について」

2 編集 を押す

注意

・仮確定文字があるときは、機能を指定できません。

3 機能を選ぶ



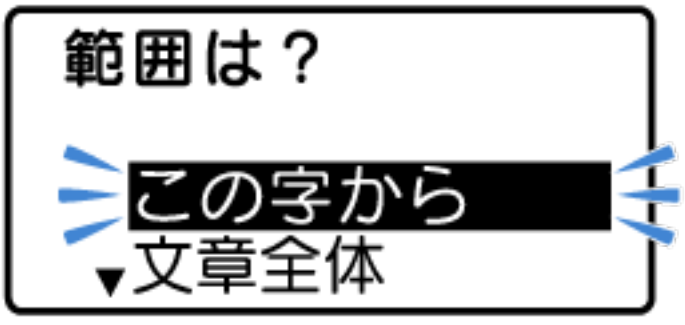
← ↑ ↓ → で目的の機能を選び、選択改行 を押します。

4 各機能の選択肢を指定する



↑ ↓ で目的の選択肢を選び、選択改行 を押します。
例:「書体」の選択肢

5 指定した機能の有効範囲を決める



指定した機能の有効範囲を指定します。下表を参考に、↑ ↓ で指定する範囲を選び、選択 改行 を押します。

指定が終了し、テキスト画面に戻ります。

■飾り字、文字間、囲・網、伸・縮、斜・強調、書体を指定した場合

この字から	カーソルを合わせた位置に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末（または、次の「▶」）まで、指定した機能を反映します。
文章全体	文章全体に、指定した機能を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した機能を反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した機能を反映します。

■外枠・表、割付け、縦・横、文字サイズを指定した場合

文章全体	文章全体に、指定した機能を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した機能を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

■定長、余白、地紋を指定した場合

有効範囲の画面は表示されません。

手順 4 で機能を選択した時点で、文章全体に指定した機能を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

MEMO

・「▶（文字モード指定マーク）」は印刷されません。
・「▶」は削除できます。「▶」を削除すると、その前にある「▶」の指定を反映します。「▶」がない場合は、「文章全体」で指定した内容、または保存値を反映します。
・各機能のご購入時の状態（初期設定値）は「編集メニュー一覧」で確認できます。また、この設定は「各種の初期値（保存値）を設定する」で変更することもできます。

参照 「編集メニュー一覧」
参照 「各種の初期値（保存値）を設定する」

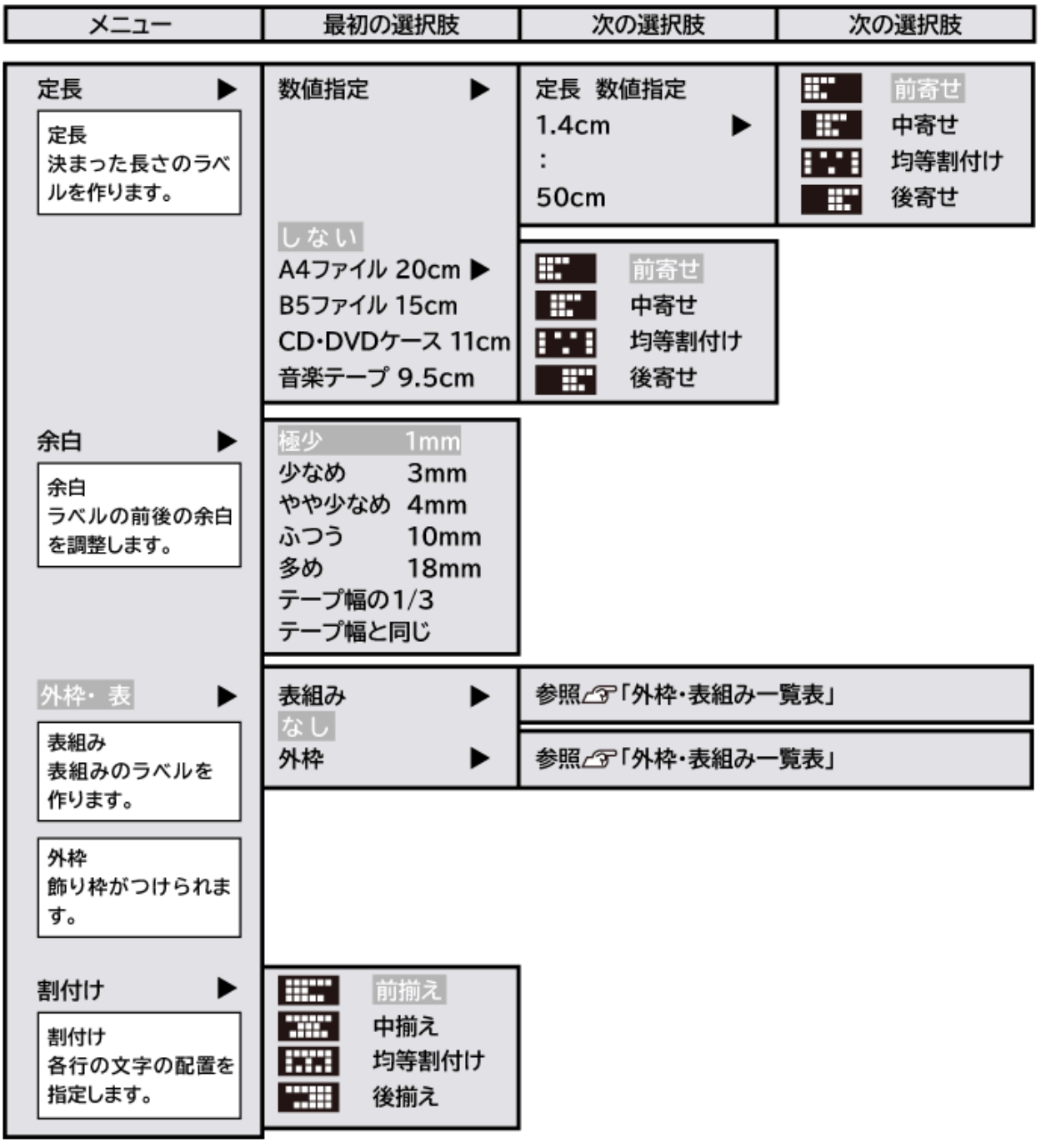
・操作を途中でやめるときは、指定の途中で 削除 取消 または各機能のボタンを押し、操作を戻します。
・一部の指定内容は、インジケーターの点灯で確認できます。

参照 「テキスト画面の見かた」

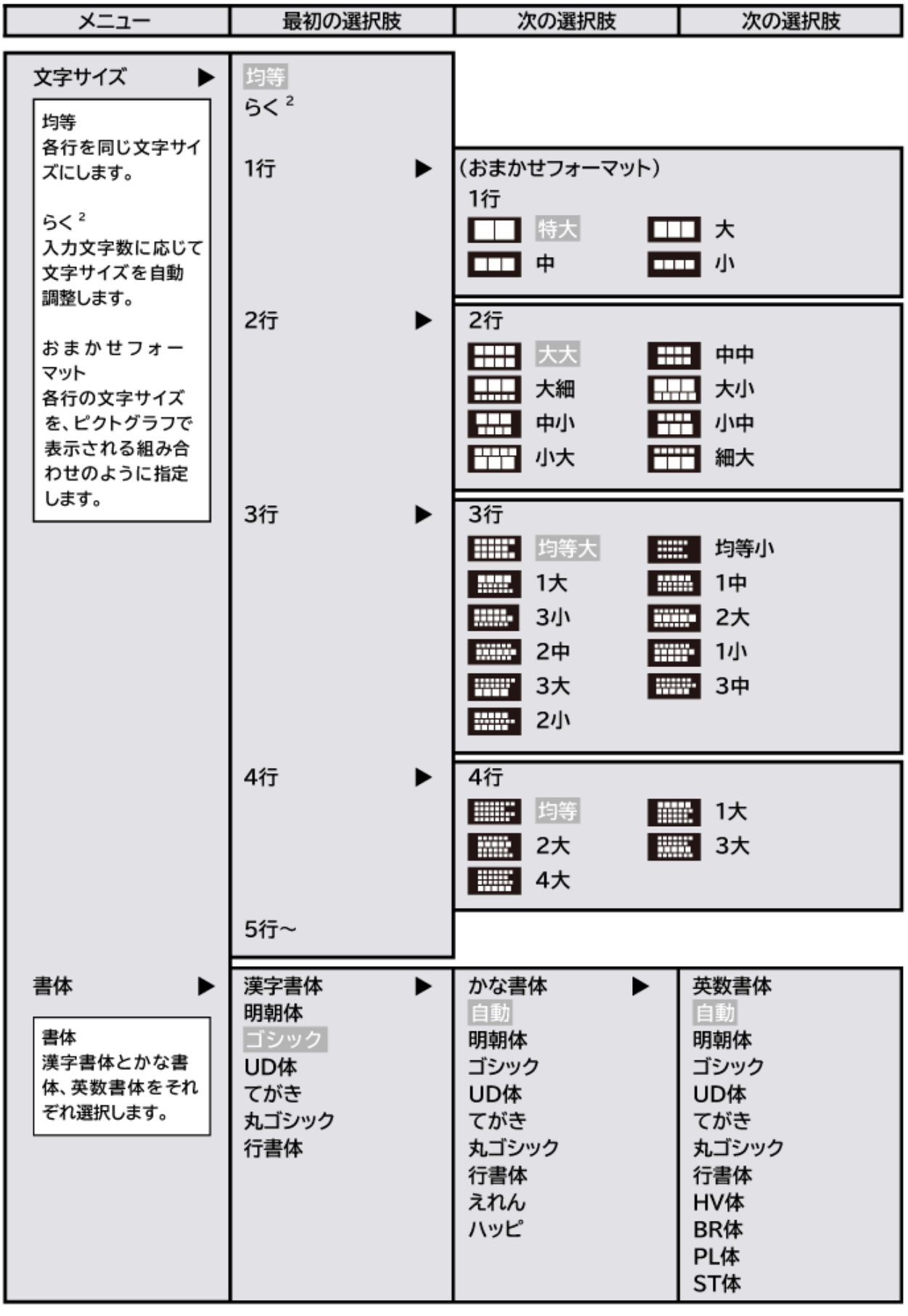
また、各機能のボタンを押して、機能の選択肢を表示させても確認できます。反転表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
・装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
・機能を指定した場合には、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。

編集メニュー一覧

は購入時の初期設定値です。

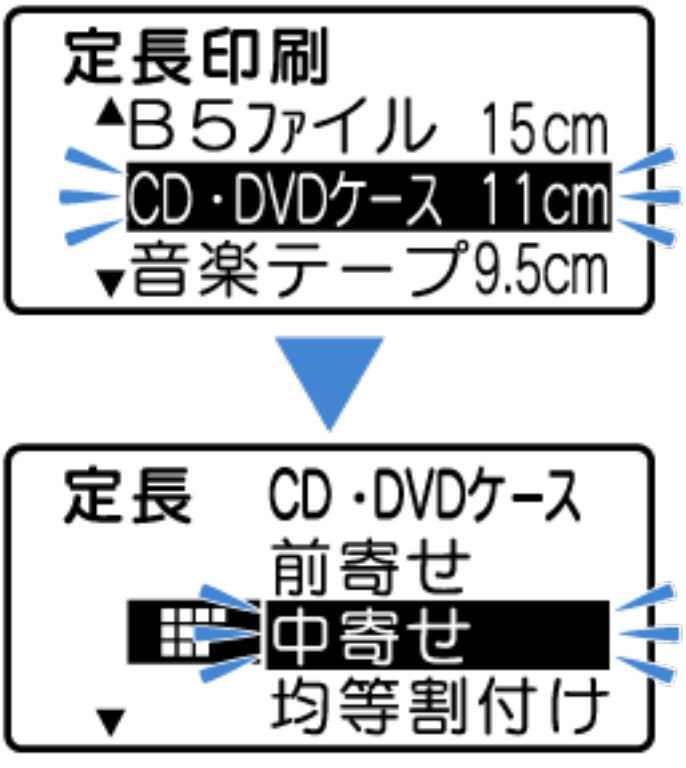


メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
飾り字 ▶ 飾り字 文字の装飾を指定します。	A 白抜き A ふつう A 影文字 A 白抜影	
文字間 ▶ 文字間 文字間隔を調整します。プロポーショナルは英数字に有効で、「オフ」にすると英数字も全角扱いになります。	ふつう ▶ 広い 狭い 密着	プロポーショナル オン オフ
囲・網 ▶ 囲・網 下線や文字囲み、網かけなどを指定します。	A 訂正線　A 下線 A なし　A 角囲み A 丸囲み　A 網かけ A 角囲み網　A 丸囲み網	
伸・縮 ▶ 伸・縮 行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく(小さく)するかを指定します。	A 細かく　A 小さく A 縮める　A ふつう A 伸ばす	
地紋 ▶ 地紋 定型地紋の入ったラベルを作ります。	なし00　海波 01 菱形 02　菱網 03 雪 04　桜 05 星 06　ｶｰﾄﾞ 07 唐草 08　切抜 09 点網 10	
斜・強調 ▶ 斜・強調 文字を斜体または強調します。	A 斜体 A 正体 A 強調 A 斜強調	
縦・横 ▶ 縦・横 文字の向きを指定します。	よこ書き　たて書き	


メニュー
最初の選択肢
次の選択肢
次の選択肢
文字サイズ ▶
均等
各行を同じ文字サイズにします。
らく²
入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。
おまかせフォーマット
各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。
均等
らく²
1行 ▶
(おまかせフォーマット)
1行
特大
大
中
小
2行 ▶
2行
大大
中中
大細
大小
中小
小中
小大
細大
3行 ▶
3行
均等大
均等小
1大
1中
3小
2大
2中
1小
3大
3中
2小
4行 ▶
4行
均等
1大
2大
3大
4大
5行～
書体 ▶
書体
漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。
漢字書体 ▶
明朝体
ゴシック
UD体
てがき
丸ゴシック
行書体
かな書体 ▶
自動
明朝体
ゴシック
UD体
てがき
丸ゴシック
行書体
えれん
ハッピ
英数書体
自動
明朝体
ゴシック
UD体
てがき
丸ゴシック
行書体
HV体
BR体
PL体
ST体

定長

印刷するラベルの長さを用途や数値で指定します。
長さを指定したあと、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。



数値指定は、ラベルの長さを数値（1.4cm～50cm）で指定できます。



用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をおすすめします。

用途	長さ	推奨テープ幅
A4ファイル	20cm	12mm
B5ファイル	15cm	12mm
CD・DVDケース	11cm	4mm
音楽テープ	9.5cm	9mm

MEMO

・文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「定長オーバー」と表示され、指定した長さで印刷することができません。文字数を減らしたり、文字サイズの指定で文字の大きさを小さくしてください。
・定長で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。

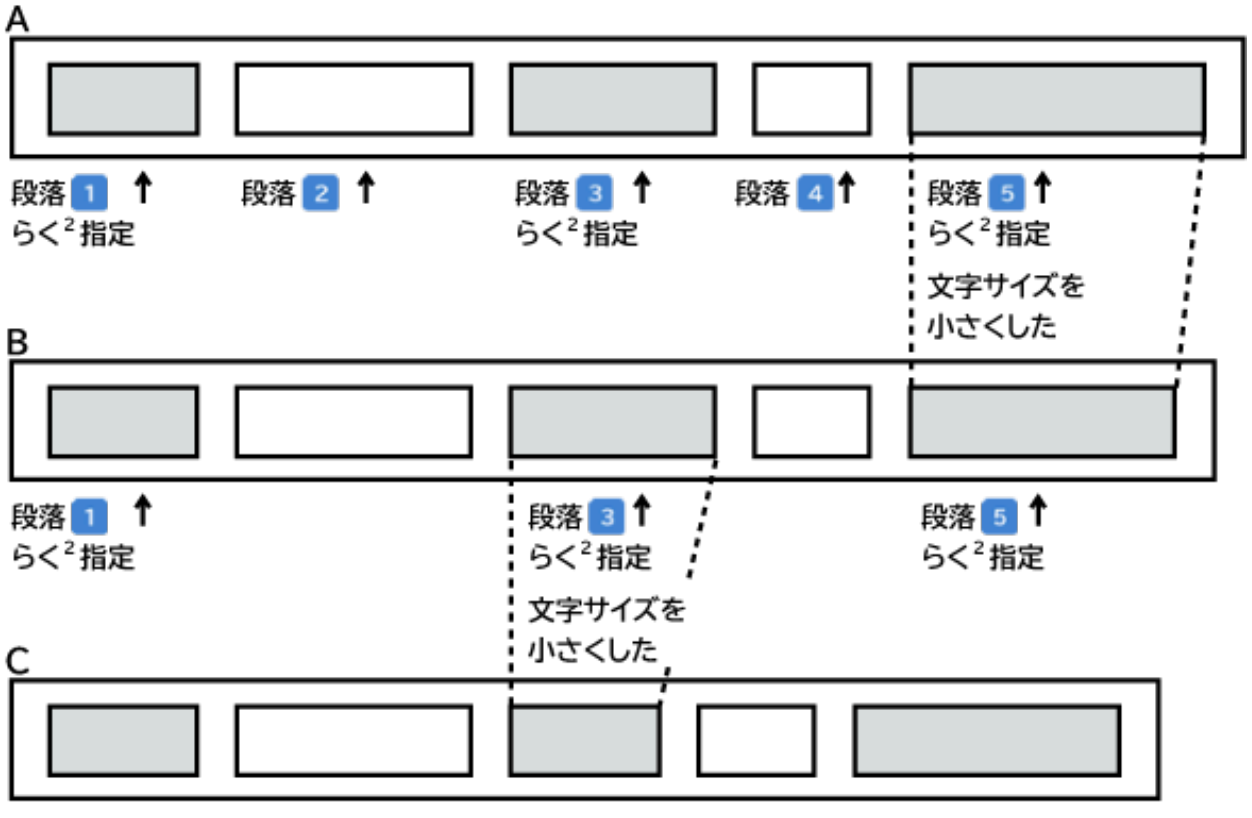
・ハーフカット無効で印刷する場合は、長さ約19mm未満のラベルは印刷できません。

参考：定長内に文字をおさめる「つめ²」機能

「文字サイズ」で「らく²」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。

この「らく²」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。

そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまるよう文字サイズを自動的に計算し、「らく²」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ²」機能がはたらきます。



※段落 2 、 4 が「らく²」を指定していない段落です。

1 最後の段落の文字を小さくする（図A→B）

定長に入らない場合はまず、「らく²」を指定した段落の中で最後の段落（ 5 ）の文字サイズを1段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

2 最後から2番目の段落の文字を小さくする（図B→C）

これでも定長内に入らない場合は、「らく²」を指定した段落の中で最後から2番目の段落（ 3 ）の文字サイズを1段階小さくします。

定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。

この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定しなおすか、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。

MEMO

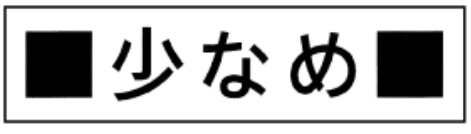
・「らく^2」を指定していない段落は「つめ^2」機能ははたらきません。
・「らく^2」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ^2」機能による処理はおこなわれません。

余白

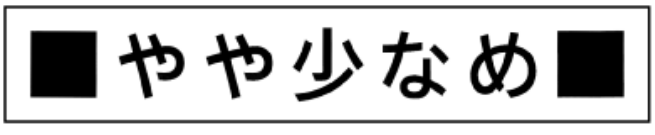
ラベルの前後の余白の長さを指定します。
・極少（余白：前後約1mm、購入時の初期設定値）



・少なめ（余白：前後約3mm）



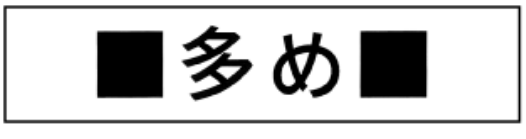
・やや少なめ（余白：前後約4mm）



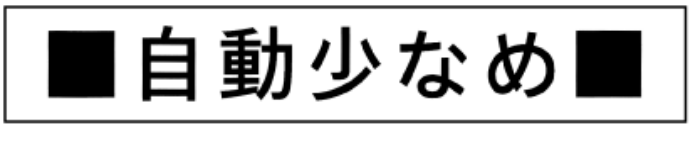
・ふつう（余白：前後約10mm）



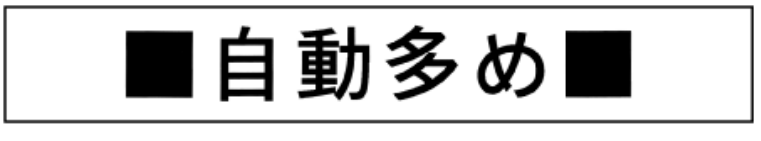
・多め（余白：前後約18mm）



・テープ幅の1/3
テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約1/3が前後の余白になります（12mm幅テープであれば余白は前後約4mm）。



・テープ幅と同じ
テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります（12mm幅テープであれば余白は前後約12mm）。



MEMO

・「余白」の初期設定値は、挿入しているテープ種類によって異なります。
　・識別シールなしの場合：「極少」
　・識別シールありの場合：「やや少なめ」
　参照 ☞「テープカートリッジを使いわける」－「テープカートリッジのご注意」
・ハーフカット無効で印刷する場合は、長さ約19mm未満のラベルは印刷できません。ラベルの長さが約19mm以上になるように定長や余白を設定してください。ハーフカットが有効の場合は、長さ約14mm以上のラベルを印刷できます。

・以下の余白および特定の印刷条件を満たすときに、ハーフカット無効で印刷すると、印刷前にテープが約19mmカットされます。
・余白「極少」、「少なめ」を指定した場合（全テープ幅）
・余白「テープ幅の1/3」を指定した場合（4mm、6mm、9mm幅テープ）
・転写テープでは余白の指定が無効になります。

外枠・表

文章(段落)のまわりに外枠や表組みをつけます。

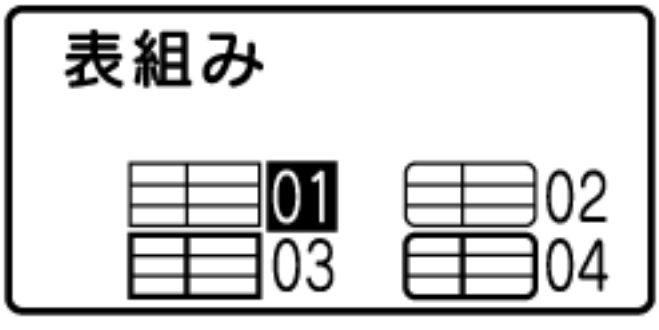
なし(購入時の初期設定値)

外枠・表組みをつけません。

表組み

文章(段落)が枠で囲まれ、行間に横罫線が引かれます。
表を前後に区切る場合は、改段落をおこなって新しい段落にも同じ表組みを指定します。
表示されるピクトグラフで表組みの種類を確認できます。

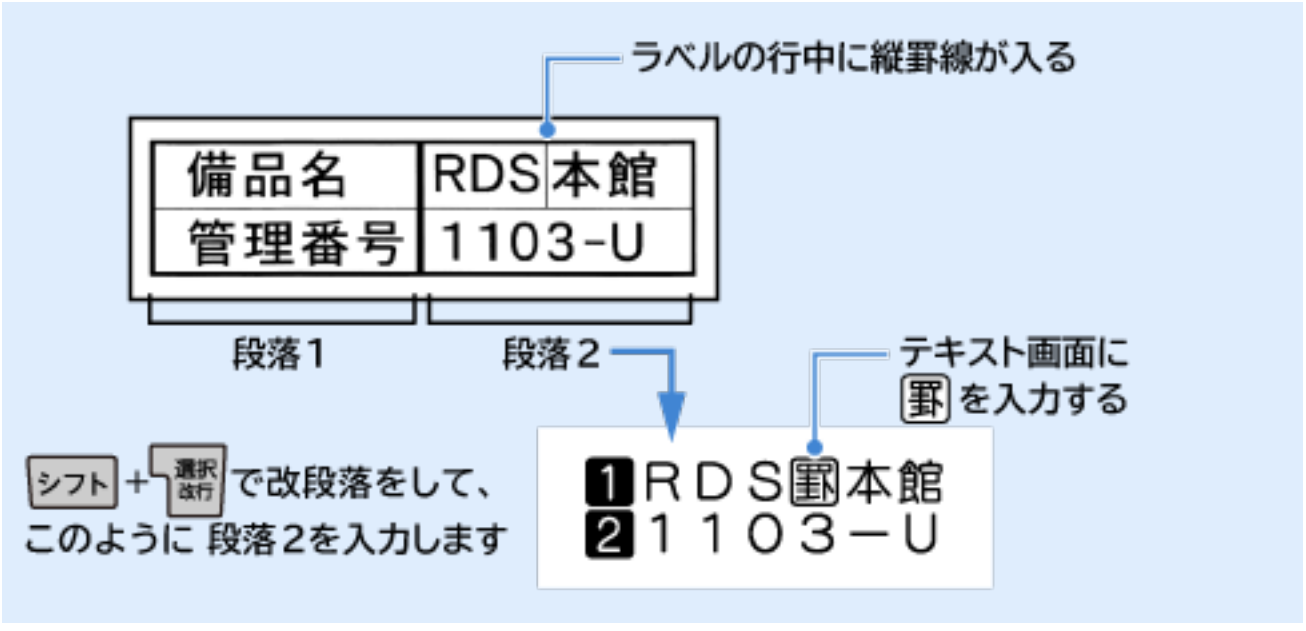
参照 ☞「段落を増やす(改段落)」



備品名	RDS
管理番号	1103-U

MEMO

・表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、記号 を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の 罫 を入力します。



外枠

文章(段落)のまわりに外枠をつけます。
表示されるピクトグラフで外枠の種類を確認できます。
外枠の変更は 外枠 でも指定できます。
参照 「外枠ボタンを使う」



MEMO

・表組み・外枠の種類は、数字ボタンで番号を指定することもできます。
参照 「編集メニュー一覧」
・外枠のデザインは、下記ページを参照してください。
参照 「外枠・表組み一覧表」

割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

	前揃え（購入時の初期設定値）	行頭を揃えます。
	中揃え	各行の中心を揃えます。
	均等割付け	一番長い行の長さに揃えてほかの行を均等に割り付けます。
	後揃え	行末を揃えます。

MEMO

・文字間「密着」が指定されている場合、割付け「均等割付け」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

飾り字

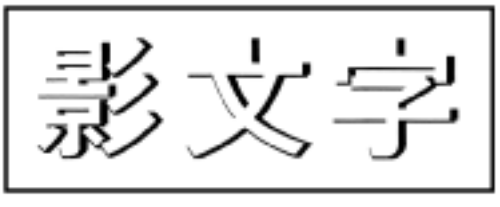
文字の装飾を選択します。
・白抜き



・ふつう（購入時の初期設定値）



・影文字



・白抜影

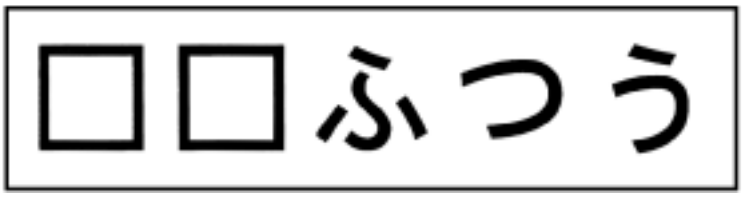


MEMO

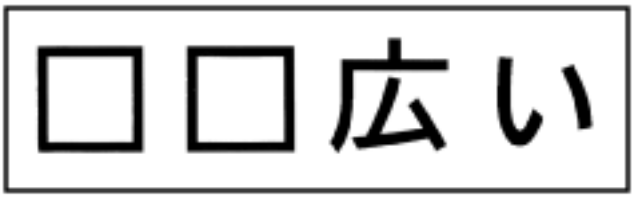
・文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

文字間

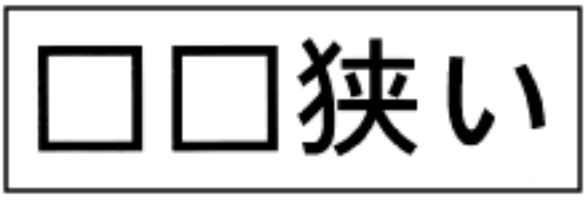
文字の間隔を選びます。
・ふつう（購入時の初期設定値）



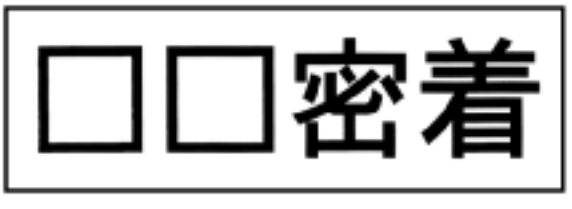
・広い



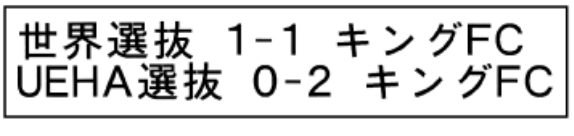
・狭い



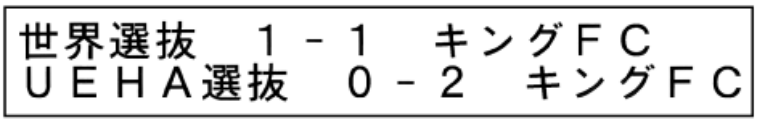
・密着



さらに文字間「プロポーショナル」の「オン/オフ」を選びます。
・プロポーショナルオン



・プロポーショナルオフ



「プロポーショナル」を「オン」にすると、英数字にプロポーショナルがかかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。
「プロポーショナル」を「オフ」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字（半角スペースを含む）をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「プロポーショナル」を「オフ」にしてください。

MEMO

文字間の指定について

・あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。
・複数個の外字をつなげたロゴを作るときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。
参照 ☞「外字を使う」
・イラストをつなげて使用する場合は、該当箇所の文字間を「密着」に指定してください。
・大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルになります。

囲・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。
表示されるピクトグラフの画面で「囲・網」の種類を確認できます。



伸・縮

各行の基本文字サイズ（行の大小）は、テープ幅・入力行数・文字サイズの指定によって決まります。
伸・縮はこの基本文字サイズに対して相対的な大きさを指定します。

細かく	基本サイズより、2段階小さい文字になります。
小さく	基本サイズより、1段階小さい文字になります。
縮める	横の長さを基本サイズの約0.75倍にします。
ふつう（購入時の初期設定値）	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約1.5倍にします。

MEMO

・基本文字に対して、よこ書きのラベルでは「下並び」（文字のベースライン揃え）、たて書きのラベルでは「中並び」（センター揃え）となります。
・てがき書体および英数専用書体（HV体・BR体・PL体・ST体）はベースラインがほかの漢字書体やかな書体と異なるため、「下並び」を指定しても、ほかの漢字書体やかな書体とベースラインが揃いません。
・基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
・各行の基本文字サイズは編集機能の指定で変えられます。
参照 「文字サイズ」
・装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
・細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルになります。

地紋

ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。



MEMO

・地紋を指定した場合、プレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがありますが、印刷に影響はありません。

斜・強調

文字の斜体、強調を選択します。

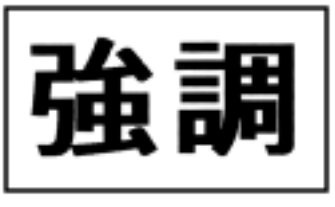
・斜体



・正体（購入時の初期設定値）



・強調



・斜強調



MEMO

・文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするかを指定します。

たて書き/よこ書きの変更は 縦・横 でも指定できます。

参照 ☞「縦・横ボタンを使う」

・よこ書き（購入時の初期設定値）



・たて書き

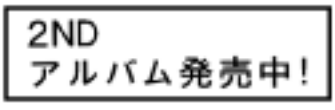


文字サイズ

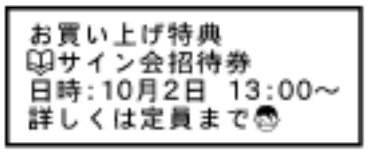
文字サイズの指定は「均等」「らく^2」「おまかせフォーマット」で指定してください。文字サイズ でも指定できます。

参照 「文字サイズボタンを使う」

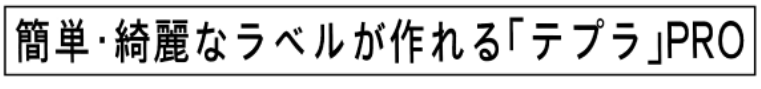
・均等（購入時の初期設定値）
各行を同じ文字サイズにします。
12mm幅テープ

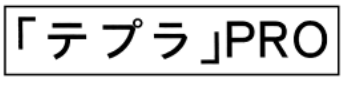


18mm幅テープ



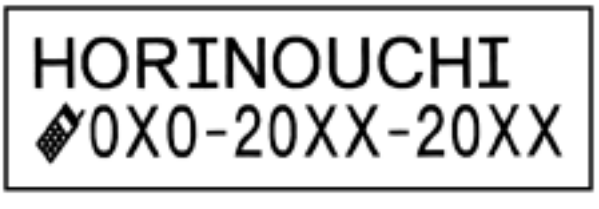
・らく^2
入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します（フルオート）。
1行のとき：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。





2行以上のとき：各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。



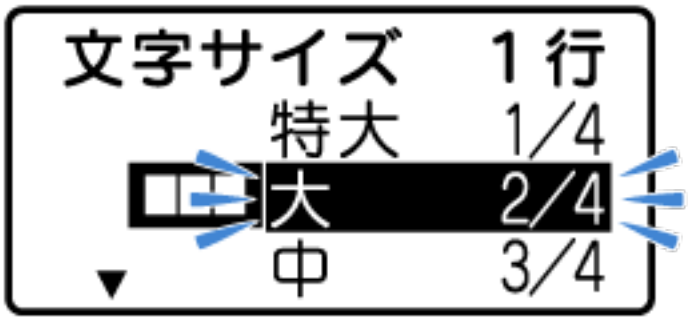


テープ幅や行数、文字数の割合に応じて、各行のできあがりの長さができるだけ揃うようにします。また、文字数が多くなってもラベル全体が長くなりすぎないように、文字サイズを自動調整します。

・おまかせフォーマット
各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。
「おまかせフォーマット（1行～8行）」を参照してください。

おまかせフォーマット（1行～8行）

選択肢から文字サイズ（行の大小）を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。



おまかせフォーマット 1行の文字サイズ

特大・大・中・小と選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印刷サンプル	美	美	美	美	美	美	美
文字サイズ[pt] / テープ幅	48	38	26	19	13	10	6
24mm	特大	大	中	小	–	–	–
18mm	–	特大	大	中	小	–	–
12mm	–	–	特大	大	中	小	–
9mm	–	–	–	特大	大	中	小
6mm	–	–	–	–	特大	大	中、小
4mm	–	–	–	–	–	–	特大、大、中、小

注意

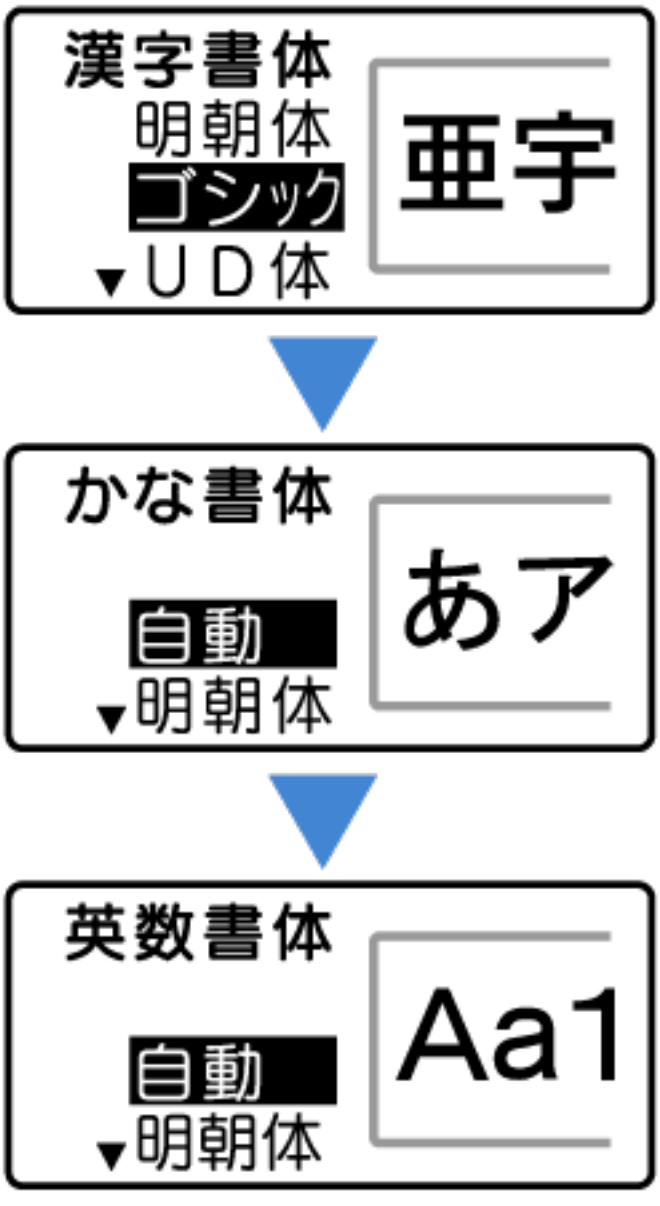
・テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部が機能しないことがあります。

MEMO

・おまかせフォーマットは、ピクトグラフで表現しています。
・各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
・指定した行数と実際に入力された行数が異なる場合は、「均等」で印刷されます。

書体

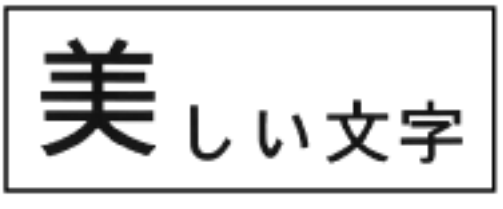
文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。



・明朝体



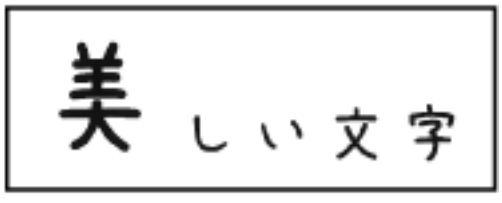
・ゴシック（購入時の初期設定値）



・UD体



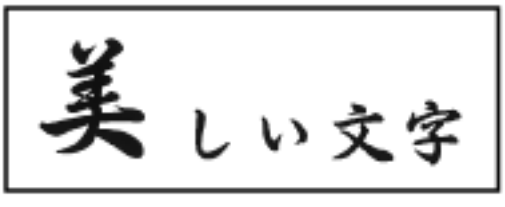
・てがき



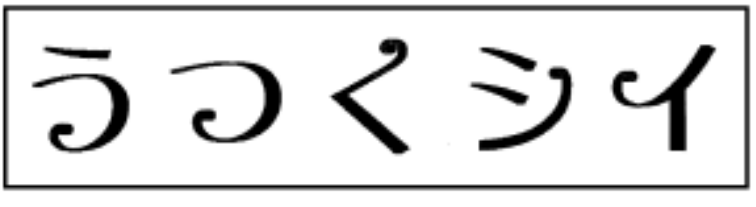
・丸ゴシック



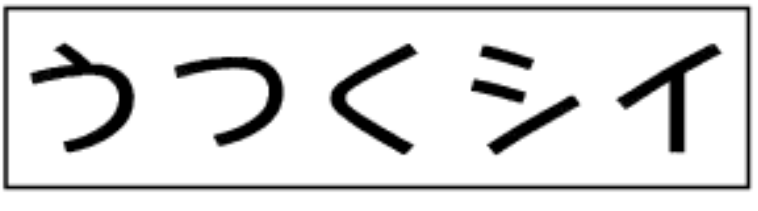
・行書体



・えれん



・ハッピ



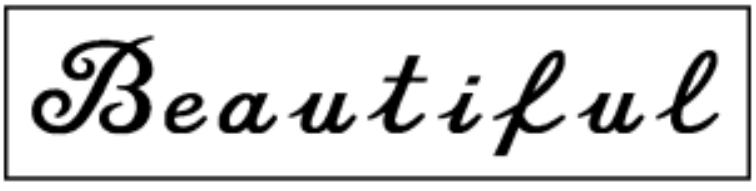
・HV体



・BR体



・PL体



・ST体



2026年11月 第1版

印刷イメージを確認する(プレビュー)

プレビュー機能を使う

印刷前に、印刷するイメージを表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

1 テープカートリッジをセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

2 プレビュー を押す



印刷イメージが流れるように表示されます。

プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- プレビュー中に あ・ア・A 、変換 スペース 、← ↑ ↓ → のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。
- プレビューを途中でやめるときは 削除 取消 または 選択 改行 を押してください。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長オーバー」と表示されます。このまま 選択 改行 を押すと、定長を解除してプレビューを強行します。

注意

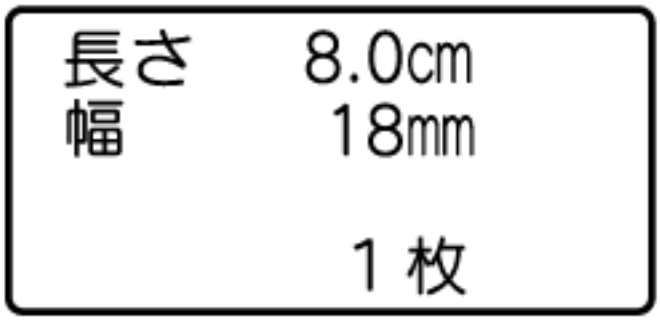
- プレビューが表示されるのは、テキスト画面またはフォーム入力時です。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ無し！」と表示され、プレビューは表示されません。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー」または「テープ幅不足」と表示され、プレビューは表示されません。
- QRコードが大きい場合、「QRコード大」が表示され、プレビューは表示されません。
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

印刷する

ラベルを印刷する

専用のACアダプタまたは電池が正しく取り付けられているかを確認してください。

1 印刷 を押す

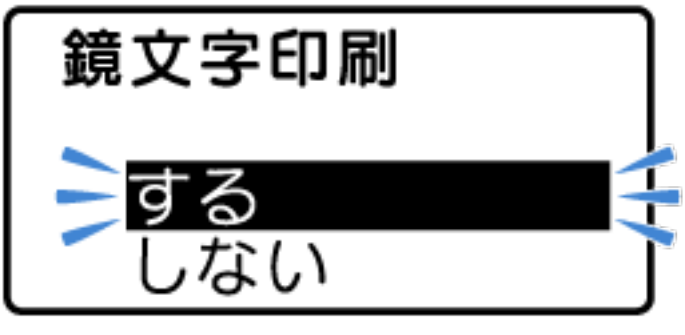


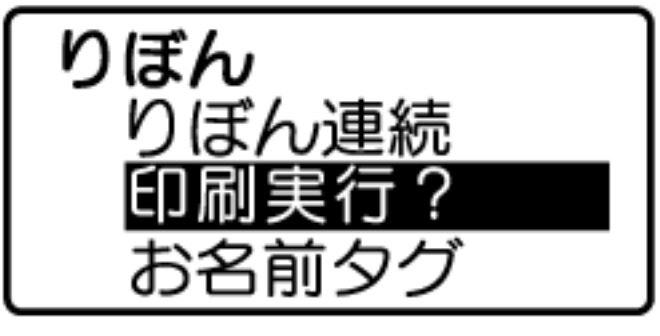
「準備中」と表示されたあと、ラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。

印刷が終わるとテープは自動的にカットされます(一部テープを除く)。

「環境設定」で「おすすめ印刷」を表示するに設定している場合は、一部テープで、「鏡文字印刷」または「りぼん」専用のメニューが表示されます。

参照 「おすすめ印刷を設定する」





MEMO

- 印刷を途中でやめるときは 削除 取消 を押してください。
- テープが終了するなどで印刷が中断されたときは、印刷再開メニューが表示されます。
- 印刷中に ON/OFF を押すと印刷を中止し、テープをカットしたあとに電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと印刷枚数表示が増加します。印刷枚数の表示は「100枚」の次は「1枚」と表示されます。印刷内容(文字や書式など)を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。
- 特殊印刷(連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷、ピッとコード印刷)をおこなう場合は、特殊印刷 を押します。

参照 「特殊印刷」

・りぼん印刷(りぼん連続印刷、お名前タグ印刷)をおこなう場合は、シフト を押しながら 特殊印刷 (＝りぼん印刷)を押します。

参照 「りぼん印刷」

・ハーフカットをするときや、テープ排出時などに動作音がしますが、異常ではありません。

・定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長オーバー」と表示されます。このまま 選択 改行 を押すと、定長を解除して印刷を強行します。

注意

・耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼんなどは印刷後に自動カットがおこなわれません。印刷が終わった後、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm(りぼんの場合は10mm)程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。

参照 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

参照 「テープカートリッジを使いわける」

・耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・転写テープ・りぼんなどはハーフカットがおこなわれません。

参照 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

・ラベルの内容が複雑な場合、印刷までの処理時間が長いことがあります。

・テープ出口には指を入れないでください。

・印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。

・仮確定文字、点滅文字は印刷されません。

・テープが終了したままでは印刷できません。新しいテープに交換したあとで、印刷再開メニューから印刷を再開してください。

参照 「同じラベルを連続して印刷する(連続印刷)」－「印刷中にテープが終了したら(印刷再開機能)」

・印刷中には上カバーを開けないでください。印刷中に上カバーを開けると印刷が中断し、カバーを閉じたあとに印刷再開メニューが表示されます。

参照 「同じラベルを連続して印刷する(連続印刷)」－「印刷中にテープが終了したら(印刷再開機能)」

・テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。

・テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープ無し！」と表示され、印刷できません。

・行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。

・QRコードが大きい場合、「QRコード大」と表示され、印刷できません。

参照 「QRコードを入力する」

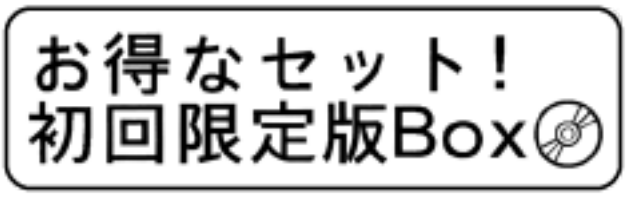
・印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。

・16mを超える印刷はできません。

カドを丸く仕上げる

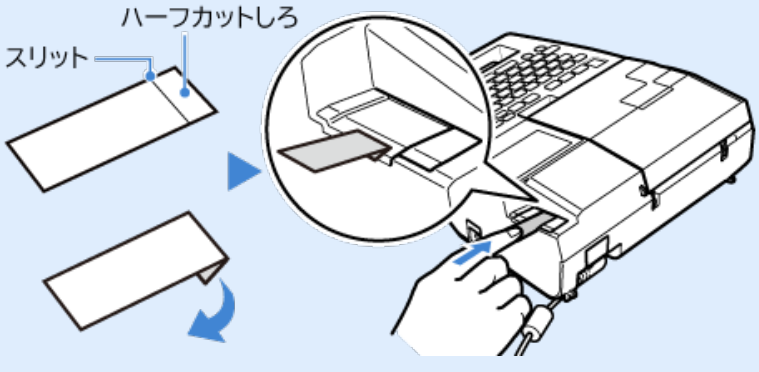
オートトリマーについて

ラベルをトリマー差し込み口に挿入すると、ラベルのカドを丸く仕上げることができます。「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよいばかりでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。



MEMO

・ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げ、トリマー差し込み口に差し込んでください。



・ご購入時、「トリマーカバー」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。

注意

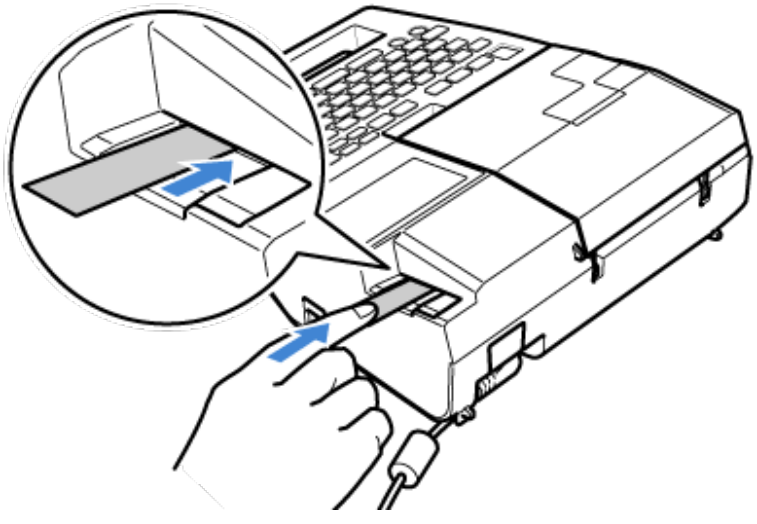
・印刷中および上カバーが開いているときはオートトリマーが作動しません。
・ラベルはトリマーガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
・ラベルはつき当たるまでしっかりと差し込んでください。
・オートトリマーにラベルを差し込んだままラベルを左右に動かさないでください。途中で引っかかり、うまくカドが丸くカットされないことがあります。
・トリマー差し込み口には、シャープペンシルやクリップなどラベル以外のものを入れないでください。オートトリマーが故障する原因となります。
・4mm、6mm幅ラベル、耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・りぼんはカットできませんので、オートトリマーに差し込まないでください。
参照 ☞「テープカートリッジを使いわける」
・4mm、6mm幅ラベルは、別売のトリマー（RT36W）を使ってカットしてください。
参照 ☞「別売品のご案内」

ラベルのカドを丸く仕上げる

9mm、12mm、18mm幅テープのとき

ラベルのカドを片側ずつ仕上げます。

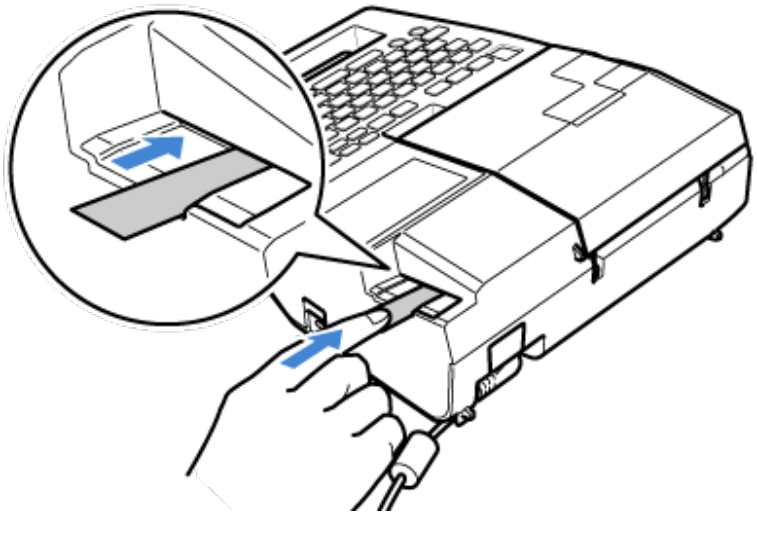
1 ラベルの片側をトリマー差し込み口の左右どちらかのガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

カドが丸くカットされているか確認します。

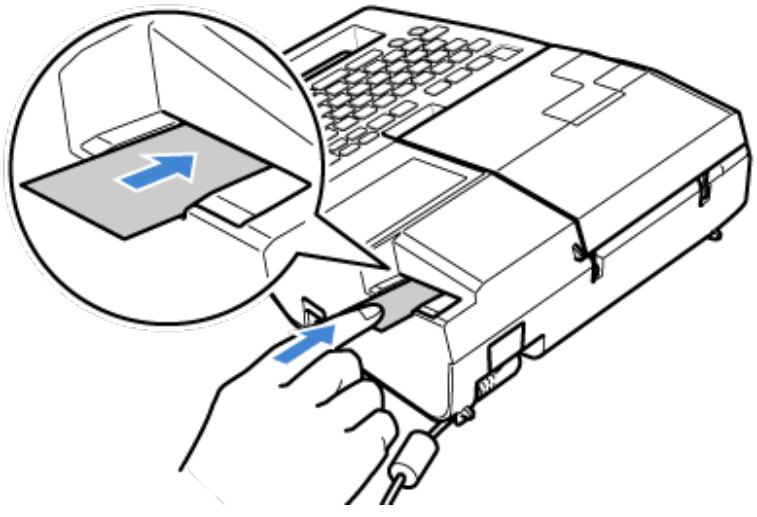
3 ラベルの反対側をガイドに沿わせ、同様にカットする



24mm幅テープのとき

左右のカドが同時にカットされます。

1 ラベルの左右をトリマー差し込み口のガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



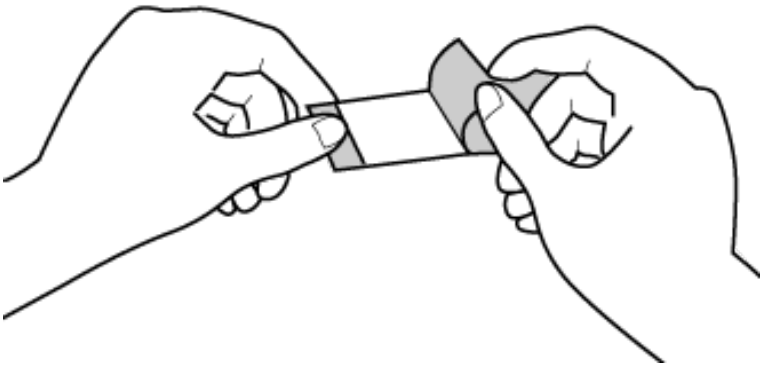
2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

ラベルを貼る

印刷したラベルを貼る

印刷したラベルの裏紙をはがして貼ります。

1 裏紙をはがす



ハーフカットが有効の場合、ラベル部分のみをカットするので、裏紙をはがしやすくなります。

参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

2 しっかりとこすって貼り付ける



MEMO

・印刷したラベルのカドを丸くすることができます。
参照 ☞「カドを丸く仕上げる」
・「テプラ」PROテープカートリッジには、接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。
参照 ☞「テープカートリッジを使いわける」
当社ホームページ（https://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

注意

・ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
・ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
・白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。

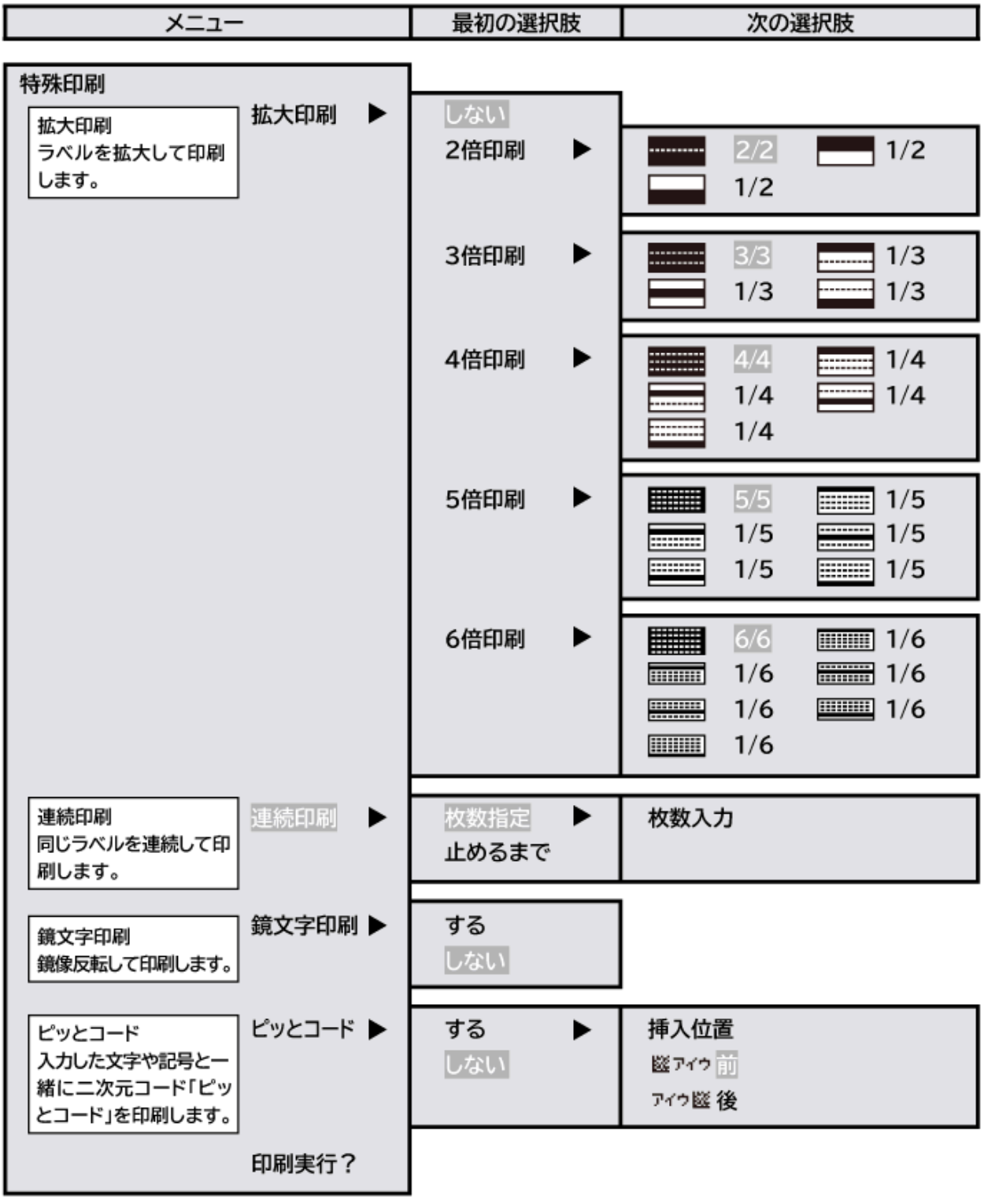
・凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
・ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなります。
・ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
・雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
・人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
・「テプラ」で得られるラベルについて
塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を十分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

特殊印刷

特殊印刷 を押すと、拡大印刷、連続印刷、鏡文字印刷、ピッとコード印刷を指定できます。

特殊印刷メニュー一覧

は購入時の初期設定値です。

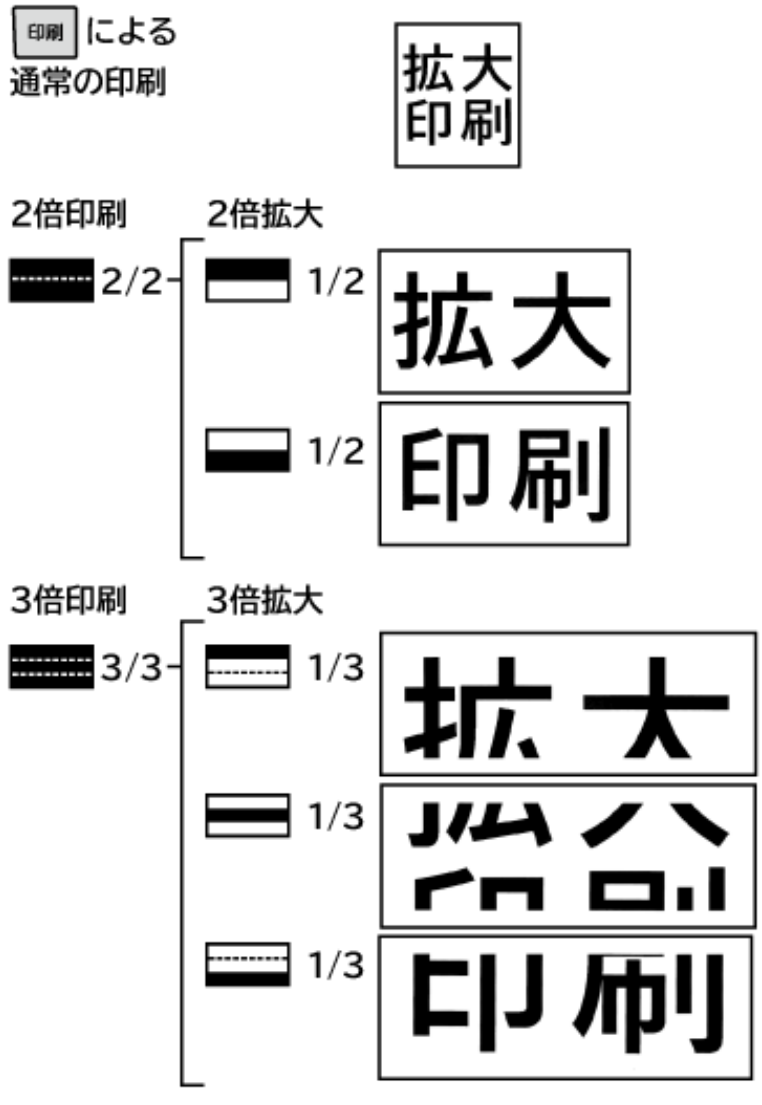


テープ幅より大きなラベルを作る（拡大印刷）

印刷内容を2倍、3倍、4倍、5倍、6倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。
「2倍印刷」なら上下2枚で1組、「3倍印刷」なら上中下3枚で1組のラベルになります。
大きさを指定したあとに、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1組のうちの該当する部分の1枚だけを印刷できます。

拡大印刷の種類

サンプルは12mm幅のラベルです。
2倍、3倍と同様に4倍印刷は4枚、5倍印刷は5枚、6倍印刷は6枚のラベルの組み合わせになります。



画面に表示されるテープの長さ

画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの2倍～6倍の長さのラベルが印刷されます。

例えば「3倍印刷」で印刷をおこなうと、印刷 による通常の印刷に比べて、幅が約3倍、長さが約3倍のラベルになるので、使用するテープ量は約9倍になります。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2倍印刷	約2倍	約2倍	約4倍
3倍印刷	約3倍	約3倍	約9倍
4倍印刷	約4倍	約4倍	約16倍
5倍印刷	約5倍	約5倍	約25倍
6倍印刷	約6倍	約6倍	約36倍

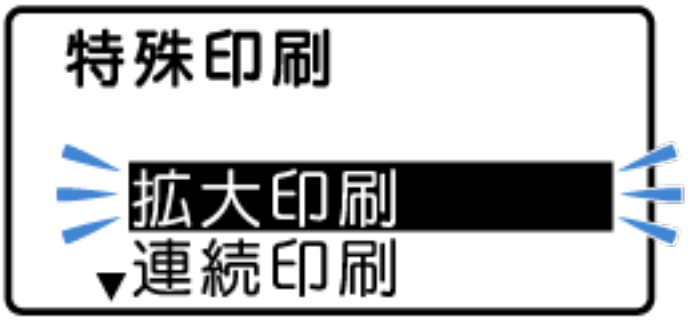
拡大して印刷をする

例:3倍に拡大して印刷をする

1 文章を入力し、 特殊印刷 を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

2 「拡大印刷」を選び、 選択 改行 を押す



3 「3倍印刷」を選び、 選択 改行 を押す

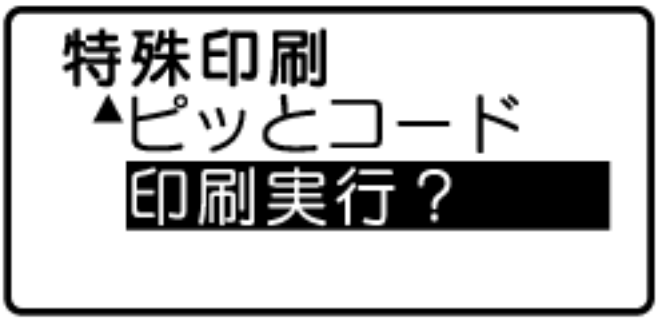


4 「3/3」を選び、 選択 改行 を押す



「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。

5 「印刷実行？」を選び、 選択 改行 を押す



3枚1組のラベルが印刷されます。

6 テープを貼り合わせる



上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。

注意

・特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷 では通常の印刷がおこなわれます。

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 特殊印刷 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・ビジネスフォームで作成したラベルは拡大印刷機能が表示されません。
・「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。
・長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとすると全長が16mを超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章を2組に分けるなど指定をしなおしてください。
・「拡大印刷」は通常の印刷内容を2倍～6倍にする機能です。そのため、定長を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの2倍～6倍のラベルが印刷されます。

参考：カラフルな3倍印刷

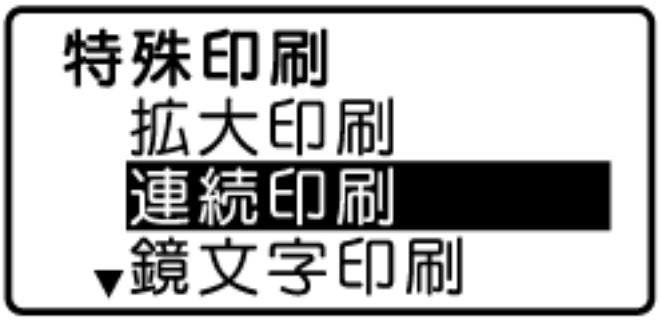
「3倍印刷」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

同じラベルを連続して印刷する(連続印刷)

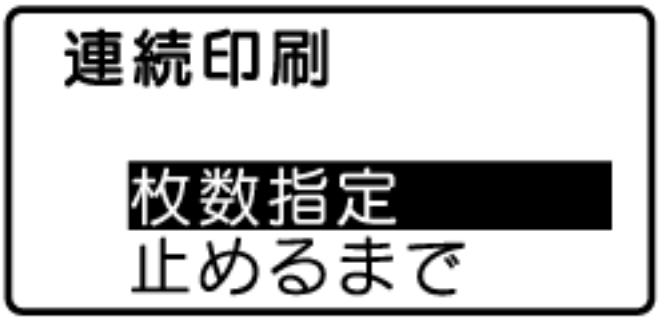
同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。
例:同じラベルを3枚連続して印刷する

1 文章を入力し、 特殊印刷 を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

2 「連続印刷」を選び、 選択 改行 を押す



3 「枚数指定」を選び、 選択 改行 を押す



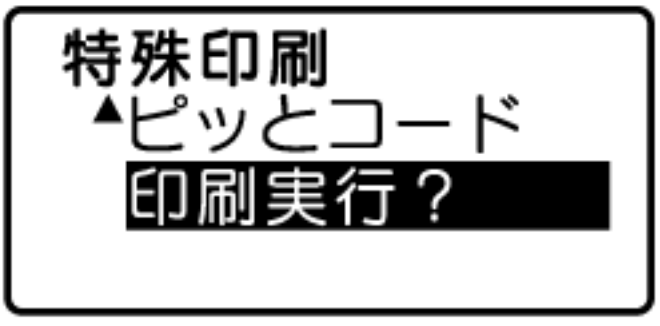
印刷枚数を指定する画面になります。
「止めるまで」を選択した場合は、「特殊印刷」メニューに戻ります(手順 5 へ)。

4 印刷枚数を入力し、 選択 改行 を押す



入力できる枚数は1～99枚です。
「特殊印刷」メニューに戻ります。

5 「印刷実行？」を選び、 選択 改行 を押す



印刷が開始されます。

1枚目の印刷が終了するとテープがカットされ、同様に2枚目、3枚目が印刷されます。

手順 3 で「止めるまで」を選択した場合は、必要な枚数を印刷したあと、いずれかのボタンを押して印刷を停止します。

注意

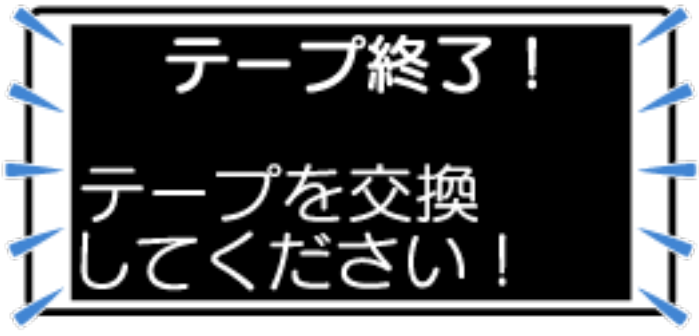
・特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷 では通常の印刷がおこなわれます。
・連続印刷をするときは、テープ出口付近にラベルがたまらないように注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ出口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再度カットするおそれがあります。
・連続印刷中にテープが終了した場合は、正しく印刷されなかったラベルから再度印刷することができます。詳しくは「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」を参照してください。

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 特殊印刷 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大100枚まで印刷を続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
・指定した枚数のラベルの全長が16mを超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
・ビジネスフォームでは、連続印刷できるのは20枚までです。
・連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。
例えば、初期値「1」繰り返し回数1回の連番を3枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。
参照 ☞「連番を入力する」
・印刷中に画面で表示される印刷枚数は、実際の枚数よりも遅れて表示され、印刷終了時に、指定した枚数まで表示されない場合があります。

参考：印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）

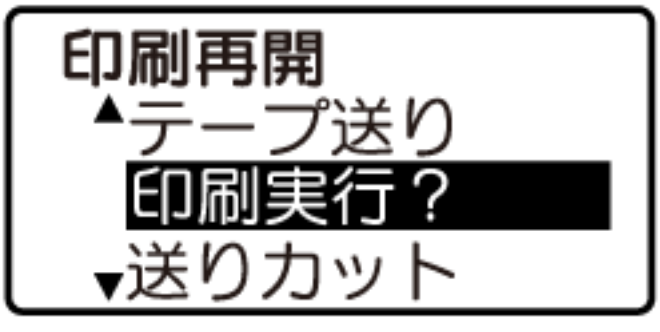
テープが終了するなどで印刷が中断されたときは、テープ終了エラーメッセージが表示されます。



1 新品のテープカートリッジをセットし、上カバーを閉じる

「印刷再開」メニューが表示されます。

2 印刷実行を選び、 選択/改行 を押す



正しく印刷されなかったラベルから再度印刷が始まります。

連続印刷の場合は、指定した枚数まで続けて印刷されます。

MEMO

・テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

・2 で 削除/取消 を押すと、印刷を再開せずにテキスト画面に戻ります。

注意

・印刷していたテープの種類や幅と、新しくセットしたテープの種類や幅が異なる場合は、印刷を再開することができません。エラーメッセージが表示されますので、同じ種類や幅のテープをセットしてください。

参照 ☞「エラーメッセージが表示されたときは」

鏡文字を印刷する

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。
・鏡文字印刷：する（鏡像）



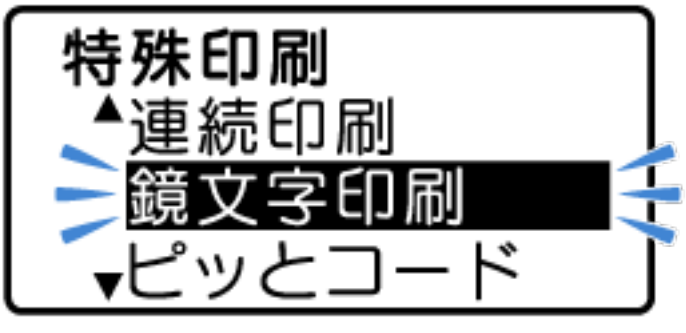
・鏡文字印刷：しない（正像）



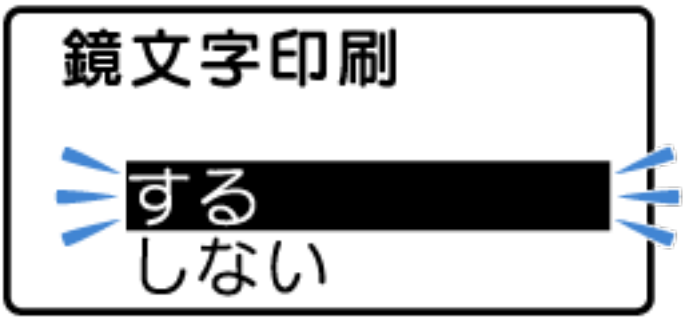
1 文章を入力し、 特殊印刷 を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

2 「鏡文字印刷」を選び、 選択 改行 を押す

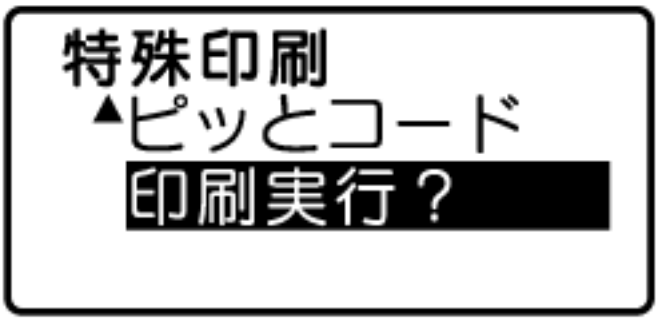


3 「する」を選び、 選択 改行 を押す



「特殊印刷」メニューに戻ります。

4 「印刷実行？」を選び、 選択改行 を押す



鏡文字ラベルが印刷されます。

注意

・特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷 では通常の印刷がおこなわれます。
・アイロン転写テープ・転写テープは、印刷 を押したときに、鏡文字印刷のメニューを表示します。

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 特殊印刷 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・印刷を途中でやめるときは 削除 取消 を押してください。

ピッとコード印刷をする

入力した文字や記号と一緒に、二次元コード「ピッとコード」を印刷します。「ピッとコード」をiOSアプリで読み取ると、端末内でひも付けた写真や動画、メモなどを呼び出すことができます。

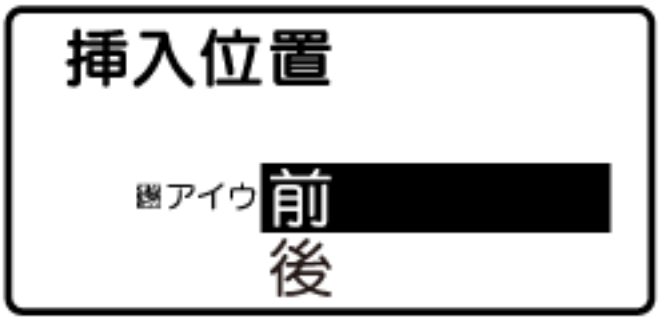


1 テキスト入力画面に文字や記号を入力し、 特殊印刷 を押す

2 ↑ ↓ で「ピッとコード」を選び、 選択 改行 を押す

3 「する」を選び、 選択 改行 を押す

4 「ピッとコード」の挿入位置を決める



↑ ↓ で、文字の前に入れるか、後ろに入れるかを選び、 選択 改行 を押します。

5 選択 改行 を押す

ラベルが印刷されます。

印刷するたびに異なる「ピッとコード」が印刷されます。

※それぞれの「ピッとコード」に、異なる写真や動画、テキストなどをひも付けることができます。

以降の手順は、iOSアプリ「ピッとコード」の取扱説明書をご覧ください。

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 特殊印刷 を押し、操作を戻します。
・4mm、6mm幅テープには印刷できません。
・印刷される「ピッとコード」のサイズは、文字サイズやセットしているテープ幅にかかわらず同じです。
・入力テキストがない場合は、「ピッとコード」の挿入位置は前後どちらを選んでもテープ中央に配置されます。
・ピッとコード印刷は毎回異なるコードを印刷します。印刷を途中でやめた場合も、次に印刷される「ピッとコード」は異なるコードとなります。
・一部テープでは「ピッとコード」をうまく読み取れない場合があります。
・編集メニューの設定は、入力テキスト部分にのみ反映されます。ただし定長、余白、地紋の設定はラベル全体に反映されます。

iOSアプリ「ピッとコード」について

「ピッとコード」の読み取りやデータ呼び出しには、iOSアプリ（無料）が必要となります。
※対応しているiOS端末など詳しくは当社ホームページ（https://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。
・iOSアプリ「ピッとコード」 https://kingjim.jp/pitcode/

りぼん印刷

シフト を押しながら 特殊印刷 (＝りぼん印刷)を押すと、りぼん連続印刷、お名前タグ印刷を指定できます。

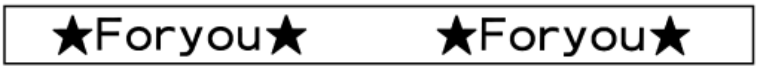
りぼん印刷メニュー一覧

は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
りぼん印刷			
りぼん連続 指定したラベルの長さに同じ文章を繰り返し印刷します。	りぼん連続 ▶	りぼんの長さ ▶ 5.0cm 5.5cm : 99cm	文章の間隔 ▶ 1.0cm 1.1cm : 99cm	印刷実行
お名前タグ 入力した文字や記号を、お名前タグ専用のフォームで印刷します。	お名前タグ ▶	印刷実行？	

指定したラベルの長さに、同じ文章を繰り返し印刷する（りぼん連続印刷）

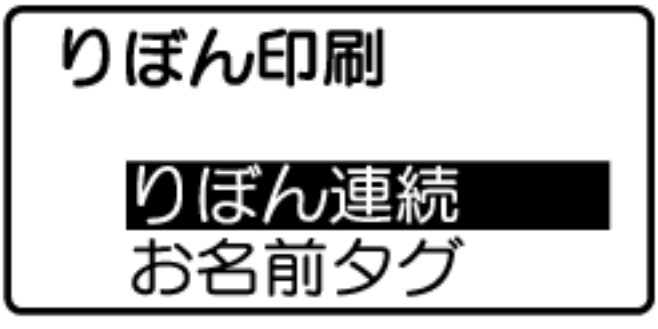
指定したラベルの長さに、同じ文章を繰り返し印刷します。



1 繰り返したい文章を入力し、 シフト を押しながら 特殊印刷 （＝りぼん印刷）を押す

「りぼん印刷」メニューが表示されます。

2 「りぼん連続」を選び、 選択 改行 を押す



3 「りぼんの長さ」を指定し、 選択 改行 を押す



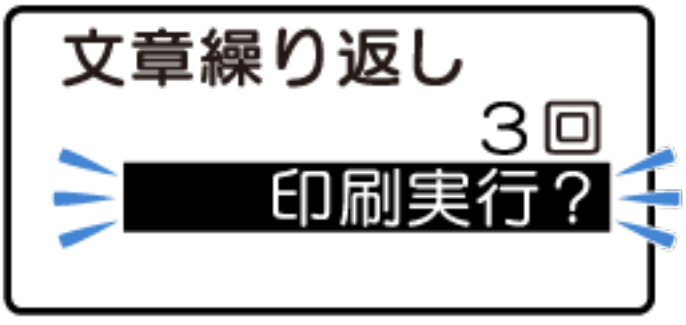
5.0cm～99cmの範囲で指定できます。長さは数字ボタンでも指定できます。

4 「文章の間隔」を指定し、 選択 改行 を押す



1.0cm～99cmの範囲で指定できます。長さは数字ボタンでも指定できます。

5 文章の繰り返し回数を確認し、 選択 改行 を押す



ラベルが印刷されます。

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 特殊印刷 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・指定するりぼんの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。
・「りぼん連続」は、りぼん以外のテープでも使用できます。
・「カット設定」の設定にかかわらず、「りぼん連続」では自動カットはおこなわれません。

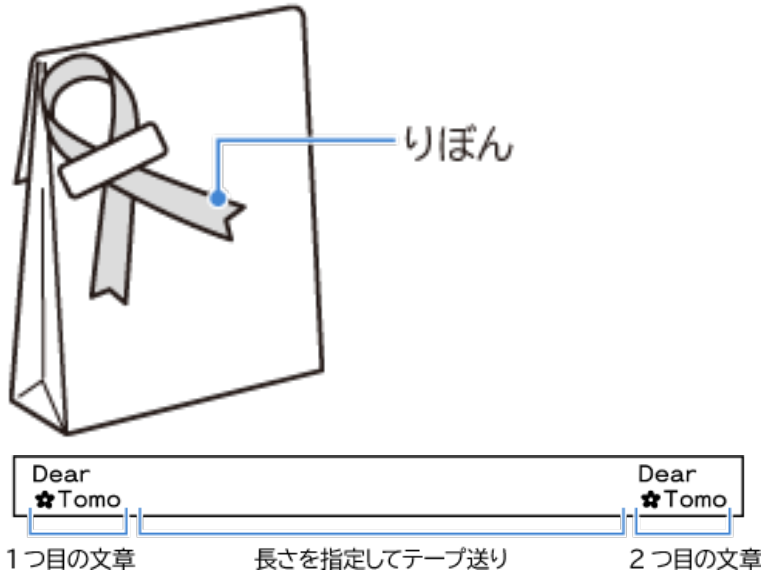
注意

・りぼん連続印刷は「りぼん印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷 では通常の印刷がおこなわれます。

参考：指定した長さでテープ送りをする（送り長指定）

長さを指定してテープを空送りします。ラベルの前や後ろに余白が必要なときや複数文章の印刷で途中に空白を入れたいときに利用してください。

例：りぼんを使ったラッピングなどに



1 1つ目の文章を入力して、 印刷 を押す

注意

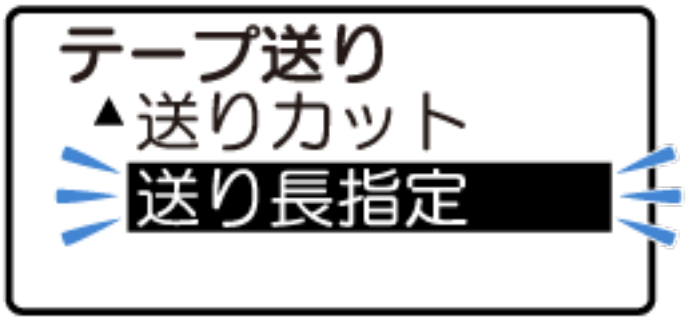
・文章の後ろに「送り長指定」で余白を入れる場合は、あらかじめ「カット設定」で自動カットしないに設定してください。

参照 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

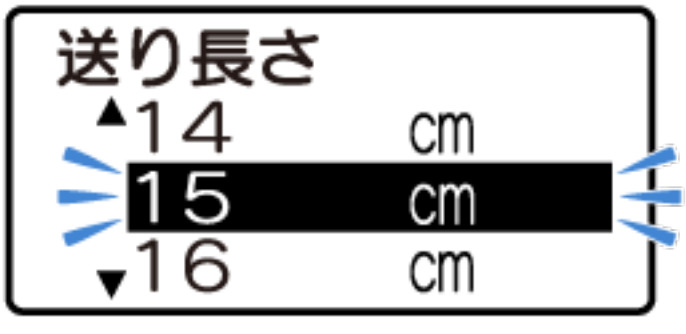
2 シフト を押しながら 印刷 (＝テープ送り)を押す

「テープ送り」メニューが表示されます。

3 ▲ ▼ で「送り長指定」を選び、 選択 改行 を押す



4 ▲ ▼ で送る長さを指定する



2.0cm～99cmの範囲で指定できます。

長さは数字ボタンでも指定できます。

5 選択 改行 を押す

指定した長さでテープ送りします。

続けて2つ目の文章を入力して、印刷します。

MEMO

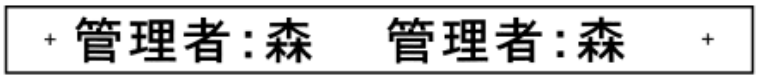
・「送り長さ」は一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 を押します。

・「カット設定」の設定にかかわらず、「送り長指定」では 5 のテープ送り後に自動カットはおこなわれません。

お名前タグ印刷をする

入力した文字や記号を、お名前タグ専用のフォームで印刷します。お名前タグ印刷を使うと、別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」を使って、オリジナルのお名前タグを作成することができます。



注意

・お名前タグ印刷は、「テプラ」PROテープカートリッジ りぼん専用の印刷機能です。
・「お名前タグ」の作成には、別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」が必要です。

1 「テプラ」本体に「テプラ」PROテープカートリッジ りぼんをセットする

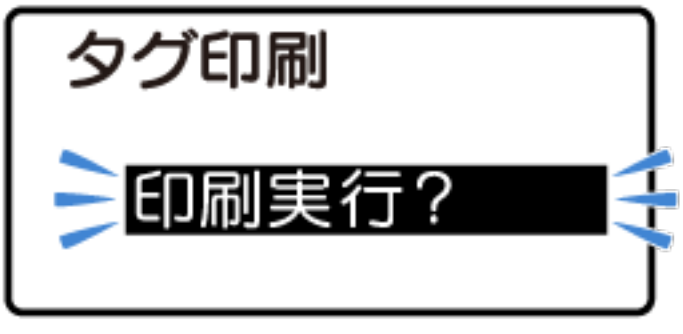
2 テキスト入力画面に名前や絵文字を入力し、 シフト を押しながら 特殊印刷 （＝りぼん印刷）を押す

参照 「文字を入力する」

参照 「記号（絵文字）を入力する」

3 ↑ ↓ で「お名前タグ」を選び、 選択 改行 を押す

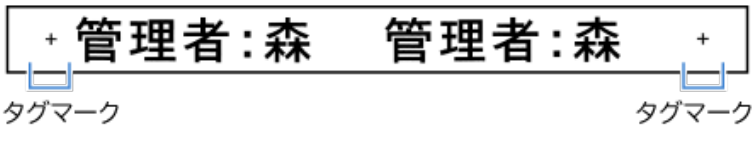
4 「印刷実行？」と表示されたら、 選択 改行 を押す



ラベルが印刷されます。

印刷結果には、りぼんの前と後ろにタグマーク「＋」が印刷され、中央にテキストが2回繰り返されて印刷されます。「お名前タグ」に適した余白が自動でつきます。

タグマーク「＋」はスナップボタンを取り付ける位置の目安となります。



5 テープカートリッジを取り出し、カートリッジ側にテープを10mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする

以降の手順は、別売の「お名前タグメーカー」（SRT10）の取扱説明書をご覧ください。

MEMO

・4mm、6mm幅テープにはお名前タグ印刷はできません。

・「カット設定」の設定にかかわらず、「お名前タグ印刷」では自動カットはおこなわれません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 特殊印刷 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、テキスト編集画面に戻ります。
・入力できる段落は10段落までです。
・編集メニューの設定は、入力テキスト部分にのみ反映されます。
・スナップボタンの取り付け方法など詳細につきましては、「お名前タグメーカー」(SRT10)の取扱説明書をご覧ください。

別売品「お名前タグメーカー(SRT10)」と「スナップボタン(SRTB1)」について

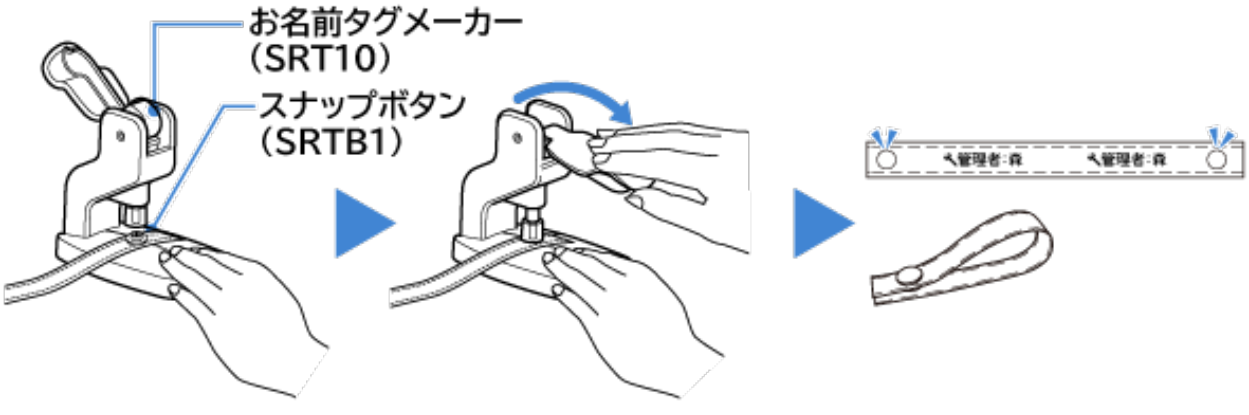
別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」を使って、お名前タグを作成します。

参照 ☞「別売品のご案内」

1 お名前タグ印刷をしたりぼんと「スナップボタン」を「お名前タグメーカー」にセット。

2 レバーを手前にしっかり押し下げて、「スナップボタン」をりぼんに取り付けます。

3 お名前タグが完成！



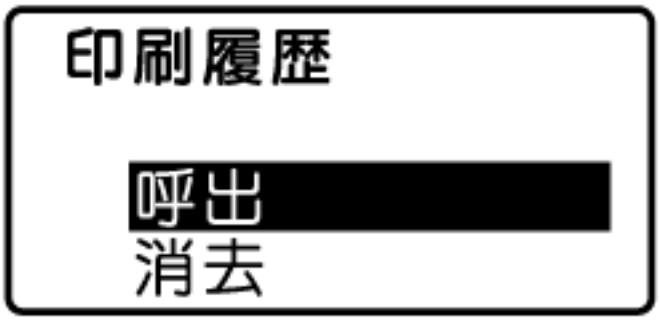
最近印刷した文章を呼び出す

本機は、最近印刷した文章を最大10件まで記憶しており、ファイル登録をし忘れた場合でも呼び出せます。

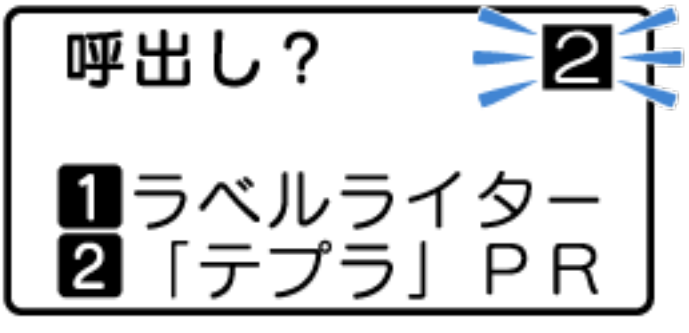
印刷履歴を呼び出す

1 シフト を押しながら フォーム （＝印刷履歴）を押す
「印刷履歴」メニューが表示されます。

2 「呼出」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ で文章番号を選び、 選択 改行 を押す



4 内容を確認し、 選択 改行 を押す



文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

注意

・印刷履歴を呼び出すと、直前まで作成していた文章は失われ、復活できません。必要な文章は先にファイルに登録してください。

・特殊印刷やりぼん印刷、ビジネスフォームの印刷などは印刷履歴の対象になりません。
・文字数の多い文章の場合、履歴件数が10件にならないことがあります。また、QRコードを含むなど、ラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないことがあります。

MEMO

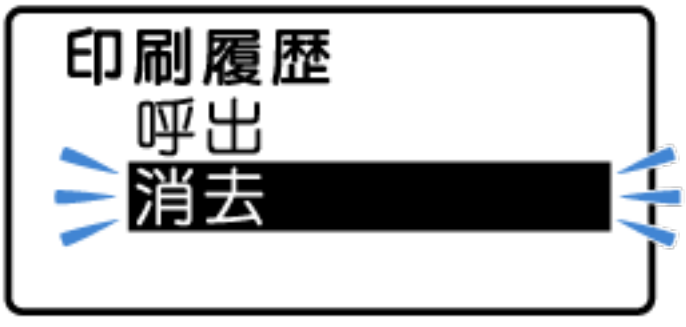
・仮確定文字があるときは操作できません。
・文章番号は数字ボタンでも選択できます(手順 3)。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または フォーム を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト編集画面に戻ります。

印刷履歴を消去する

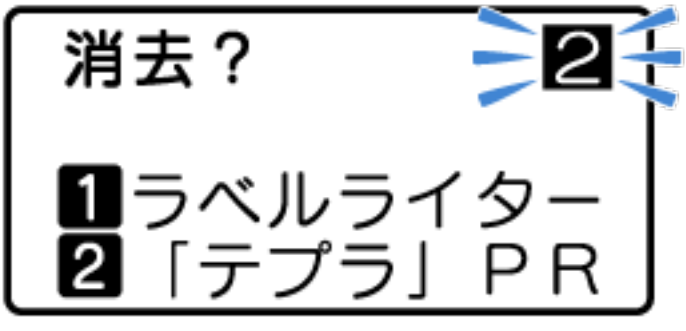
1 シフト を押しながら フォーム （＝印刷履歴）を押す

「印刷履歴」メニューが表示されます。

2 「消去」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ で文章番号を選び、 選択 改行 を押す



4 内容を確認し、 選択 改行 を押す



印刷履歴が消去されます。

注意

・消去した印刷履歴は復活できません。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・文章番号は数字ボタンでも選択できます（手順 3 ）。

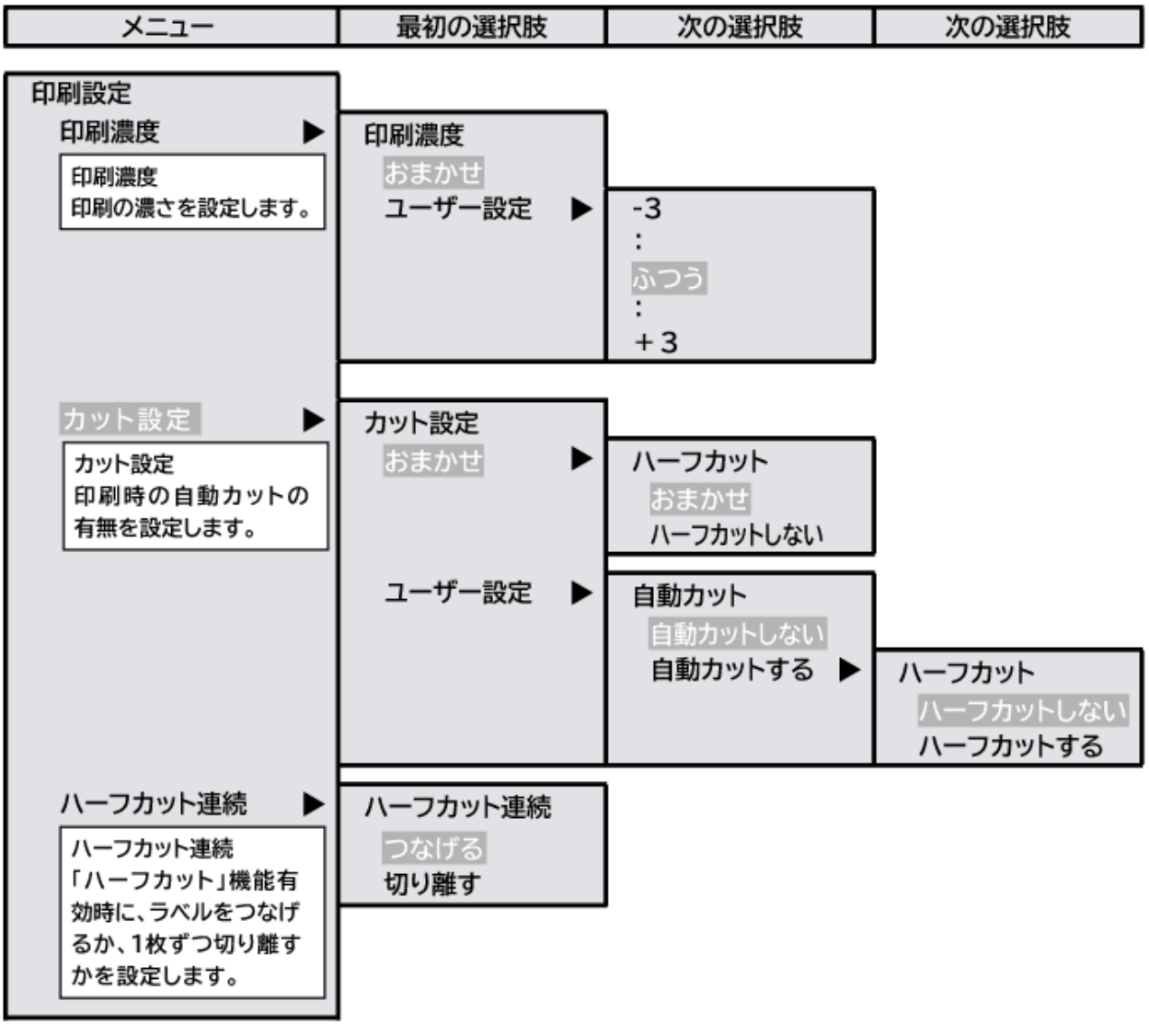
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または フォーム を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト編集画面に戻ります。

印刷設定

印刷設定 を押すと、印刷濃度、カット設定、ハーフカット連続の設定を変更できます。

印刷設定メニュー一覧

は購入時の初期設定値です。

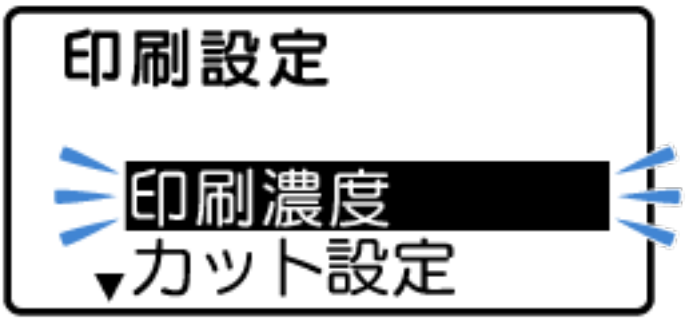


印刷濃度を調整する

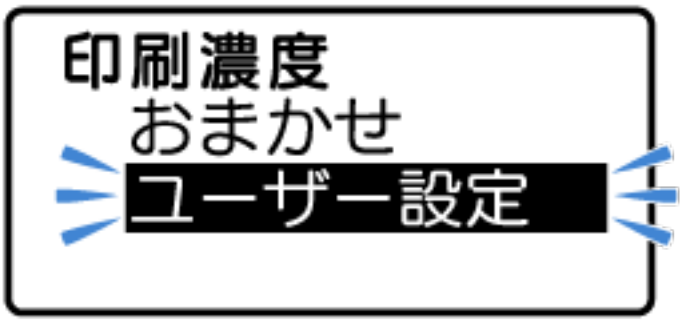
印刷濃度は「-3～ふつう～＋3」の7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。
本機では、印刷濃度の初期設定値が「おまかせ」に設定されており、通常の印刷濃度で品質を保証できないテープについては、自動的に印刷濃度「＋3」で印刷をおこないます。

1 印刷設定 を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。

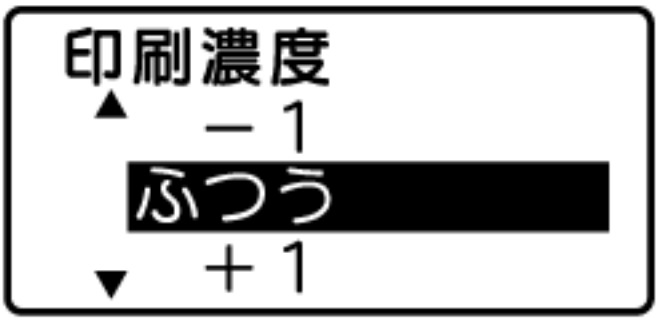
2 「印刷濃度」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ で「ユーザー設定」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で数値を選び、 選択 改行 を押す



印刷濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

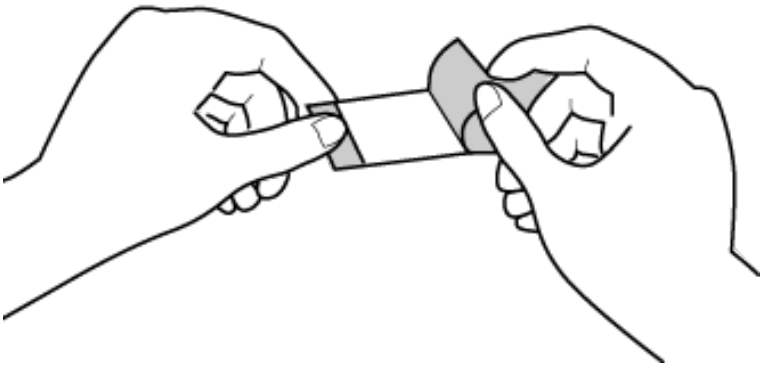
MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 印刷設定 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、テキスト編集画面に戻ります。
・本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度に合わせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
・印刷濃度を「おまかせ」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。

印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する

本機には、印刷時に、ラベルを自動的にカットする「自動カット」と、ラベル部分にスリットを入れ、はがしやすくする「ハーフカット」機能があります。
ハーフカットを有効にして印刷すると、ラベル部分にスリットが入るので、はがしやすくなります。



また本機では、カット設定の初期設定値が「おまかせ」に設定されており、本機のカッターでカットをすることで品質を保証できないテープについては、自動カットまたはハーフカットをおこないません。自動カットまたはハーフカットがおこなわれるかどうかを確認したい場合は、テープカートリッジをセットしてインジケーターを確認してください。

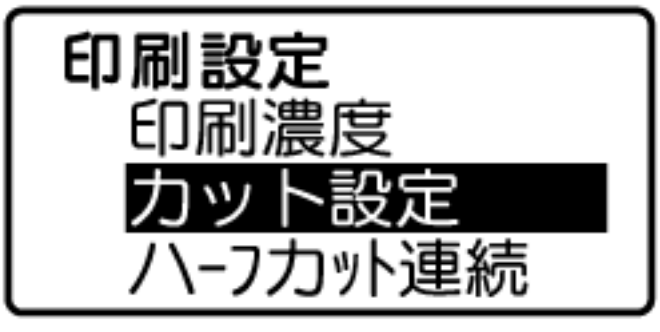
参照 ☞「テキスト画面の見かた」

自動カットの設定を変更したい場合は、以下の方法で切り換えられます。

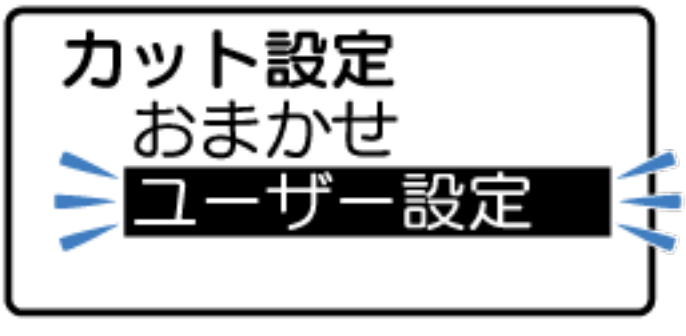
1 印刷設定 を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「カット設定」を選び、 選択/改行 を押す



3 ↑ ↓ で設定を選び、 選択/改行 を押す



「自動カット」または「ハーフカット」の設定をおこないます。

注意

・りぼん連続印刷、お名前タグ印刷、送り長指定では設定にかかわらず、自動カットはおこなわれません。
・電源を入れた直後のカット設定は「おまかせ」の設定になります。

MEMO

・カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 「アフターサービスについて」

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 印刷設定 を押し、操作を戻します。ホーム を押すとどの階層からでもテキスト画面に戻ります。

ハーフカット連続を設定する

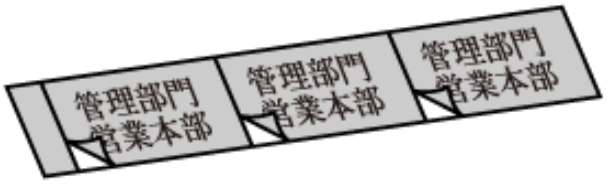
「ハーフカット」機能有効時に連続印刷をおこなうときに、ラベルをつなげるか、1枚ずつ切り離すかを設定します。

MEMO

・カット設定で「自動カットしない」または「ハーフカットしない」に設定している場合は、ハーフカット連続の設定にかかわらず、ハーフカットをおこないません。

参照 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

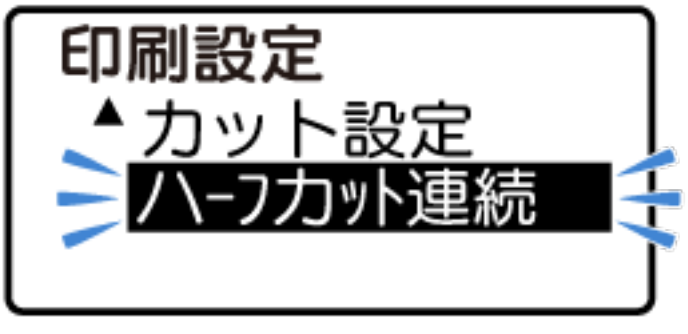
ハーフカット連続でつながったラベルを作る



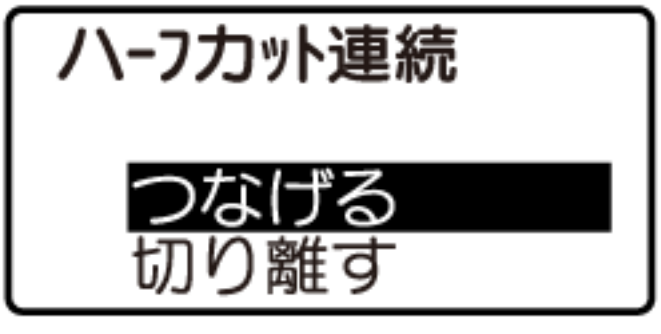
1 印刷設定 を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「ハーフカット連続」を選び、 選択/改行 を押す

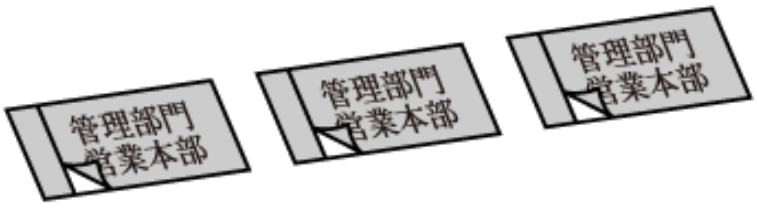


3 「つなげる」を選び、 選択/改行 を押す



ハーフカット連続で「つなげる」に設定され、テキスト画面に戻ります。

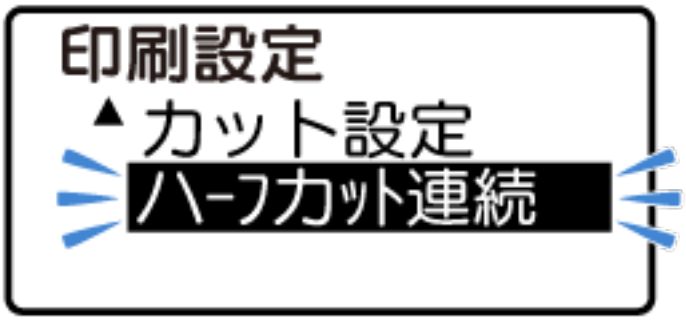
ハーフカット連続で切り離したラベルを作る



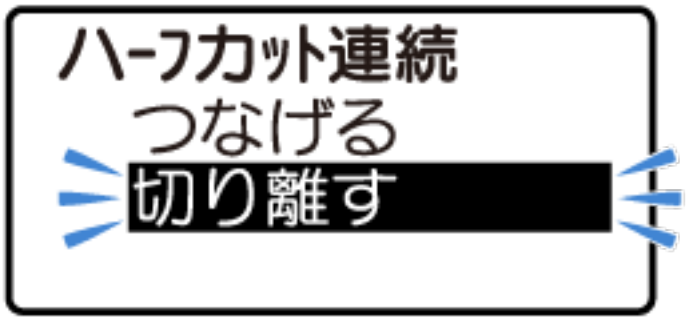
1 印刷設定 を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「ハーフカット連続」を選び、選択/改行 を押す



3 「切り離す」を選び、選択/改行 を押す



ハーフカット連続で「切り離す」に設定され、テキスト画面に戻ります。

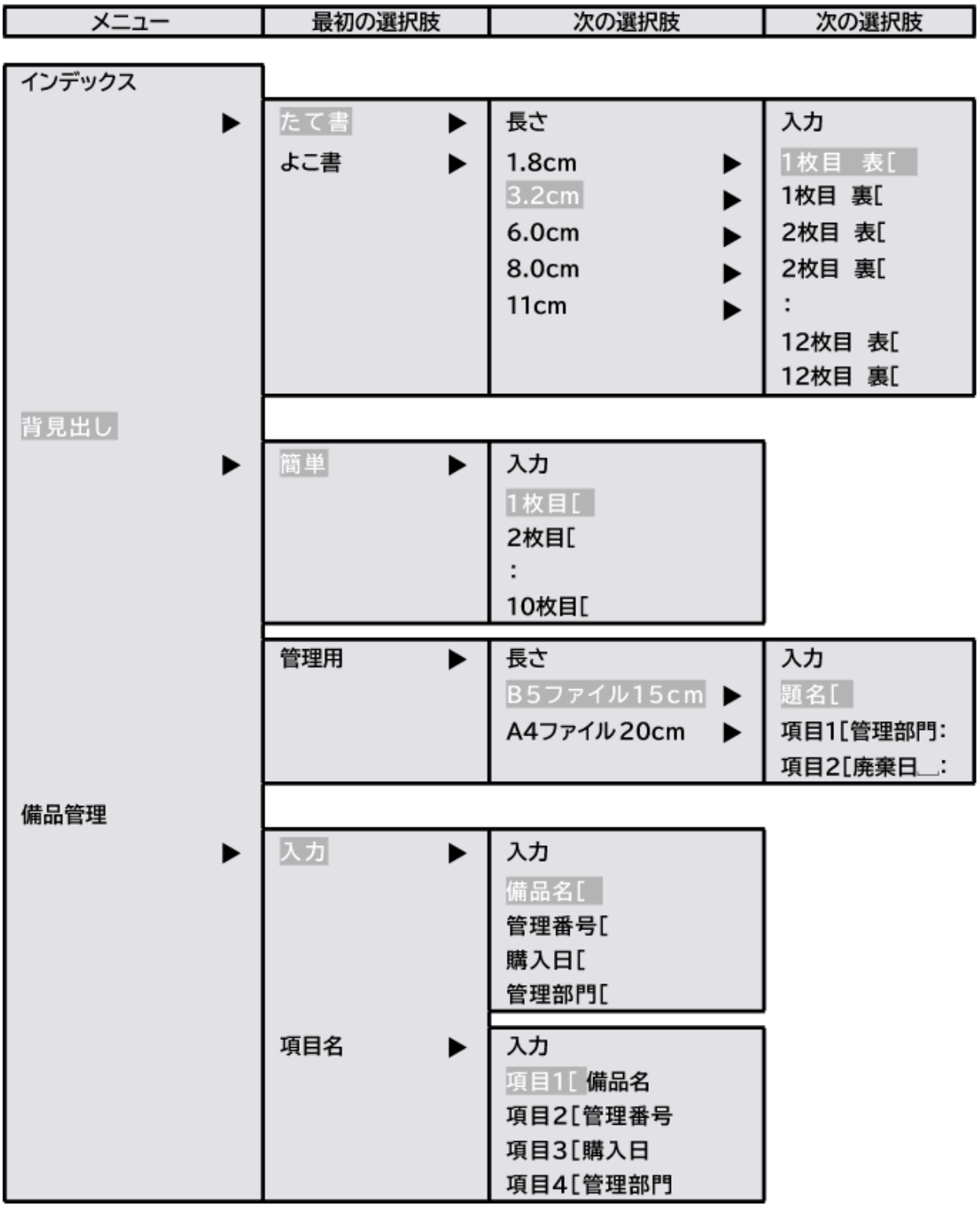
2026年11月 第1版

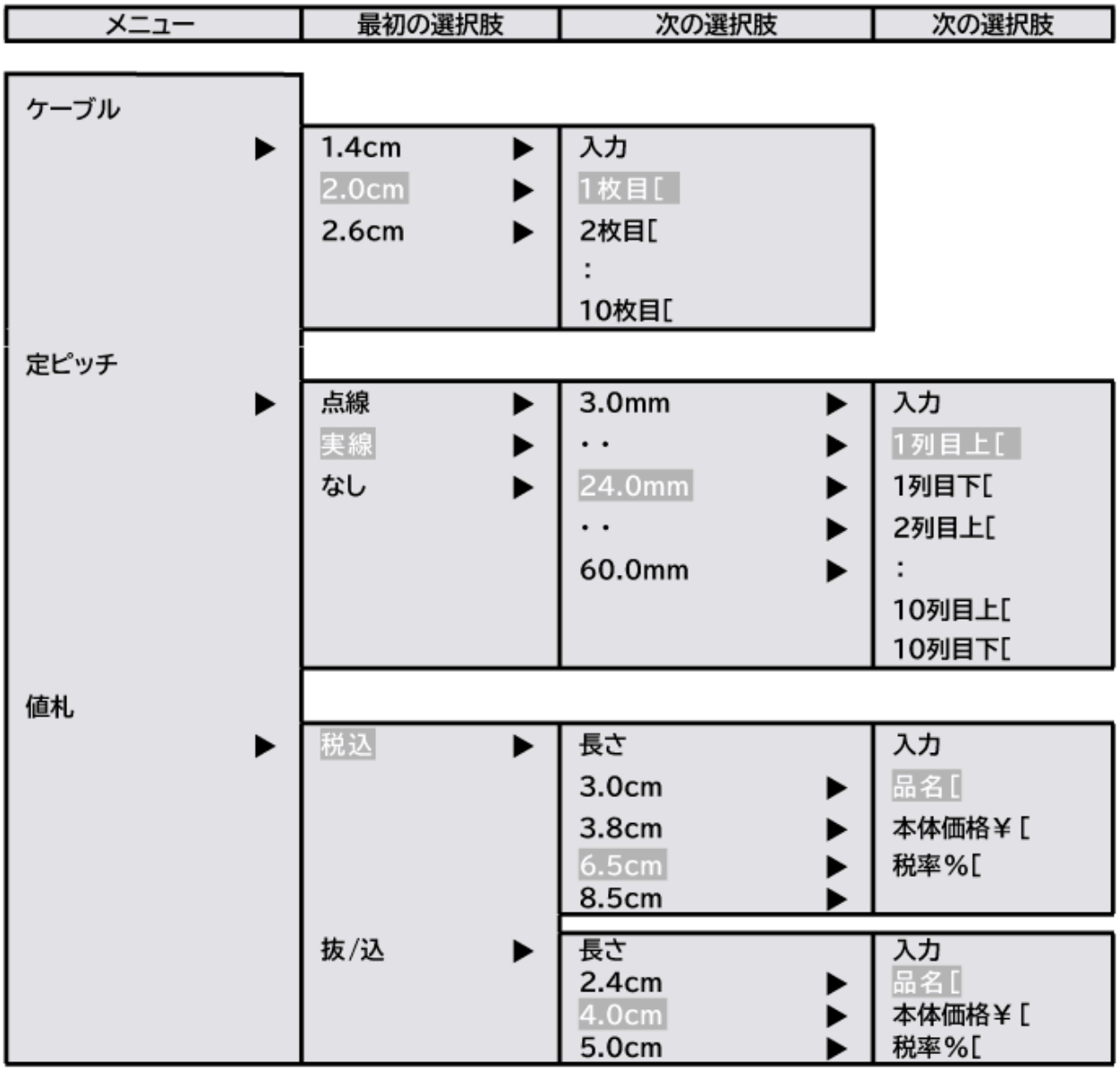
ビジネスフォームを使う

ビジネスフォームを使うと「ファイルの背見出し」や「備品管理」などビジネスでよく使う、決められたレイアウトのラベルを簡単に作ることができます。
フォームの種類によっては、異なる入力のラベルを複数枚まとめて作成できるので大変便利です。
本機では、「環境設定」の「おすすめフォーム」を表示するに設定されている場合、インデックスラベル・ケーブル表示ラベル・備品管理ラベルは、電源を入れたときやテープカートリッジを入れ換えたときにテープに合ったフォームを表示します。

ビジネスフォームメニュー一覧

は購入時の初期設定値です。

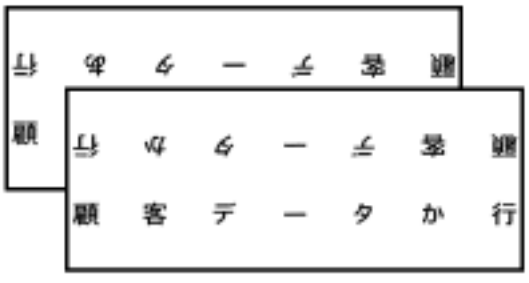

メニュー
最初の選択肢
次の選択肢
次の選択肢
インデックス
▶
たて書 ▶
よこ書 ▶
長さ
1.8cm ▶
3.2cm ▶
6.0cm ▶
8.0cm ▶
11cm ▶
入力
1枚目 表[
1枚目 裏[
2枚目 表[
2枚目 裏[
:
12枚目 表[
12枚目 裏[
背見出し
▶
簡単 ▶
入力
1枚目[
2枚目[
:
10枚目[
管理用 ▶
長さ
B5ファイル15cm ▶
A4ファイル20cm ▶
入力
題名[
項目1[管理部門:
項目2[廃棄日__:
備品管理
▶
入力 ▶
入力
備品名[
管理番号[
購入日[
管理部門[
項目名 ▶
入力
項目1[備品名
項目2[管理番号
項目3[購入日
項目4[管理部門


メニュー
最初の選択肢
次の選択肢
次の選択肢
ケーブル
▶
1.4cm ▶
2.0cm ▶
2.6cm ▶
入力
1枚目[
2枚目[
:
10枚目[
定ピッチ
▶
点線 ▶
実線 ▶
なし ▶
3.0mm ▶
・・ ▶
24.0mm ▶
・・ ▶
60.0mm ▶
入力
1列目上[
1列目下[
2列目上[
:
10列目上[
10列目下[
値札
▶
税込 ▶
長さ
3.0cm ▶
3.8cm ▶
6.5cm ▶
8.5cm ▶
入力
品名[
本体価格￥[
税率%[
抜/込 ▶
長さ
2.4cm ▶
4.0cm ▶
5.0cm ▶
入力
品名[
本体価格￥[
税率%[

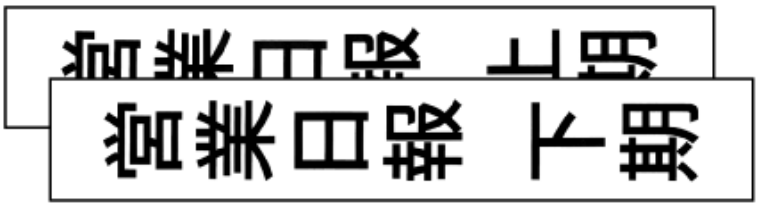
ビジネスフォーム見本

・インデックス(たて書・よこ書)
ラベルの真ん中を折って使うインデックスラベルを複数枚まとめて作成できます。

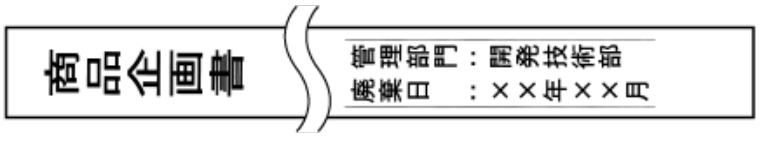




・背見出し(簡単)
「たて書き」で「1行」の背見出しラベルを複数枚まとめて作成できます。



・背見出し(管理用)
「題名」と「管理部門」「廃棄日」をきれいにレイアウトした背見出しラベルを作成できます。
「管理部門」「廃棄日」は別の項目に書き換えることもできます。



・備品管理
「備品名」「管理番号」「購入日」「管理部門」を表組みにした備品管理ラベルを作成できます。
項目名は網掛け印刷され、本格的な雰囲気になります。入力時に「項目名変更」を選択すると、項目名を書き換えることもできます。



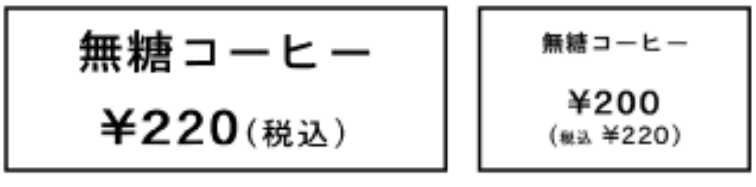
・ケーブル
ケーブルに巻き付けて表示するケーブルラベル(1行表示)を複数枚まとめて作成できます。
ケーブルは24mm幅のテープに対応しています。



・定ピッチ
固定ピッチのフォームです。長さを揃えた複数のラベルを作る場合に便利です。



・値札(税込・抜/込)
値札ラベル用のフォームです。お使いになるテープ幅に合ったラベルの長さを選択したあと、本体価格と税率を入力することで、税込み価格を自動計算して表示します。
「値札(税込)」は9～24mm幅、「値札(抜/込)」は12～24mm幅のテープに対応しています。



ラベルの作りかた(ビジネスフォーム)

ビジネスフォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

1 使用するフォームを決める

使いたいビジネスフォームを選んでください。

参照 「ビジネスフォーム見本」

2 フォーム を押す

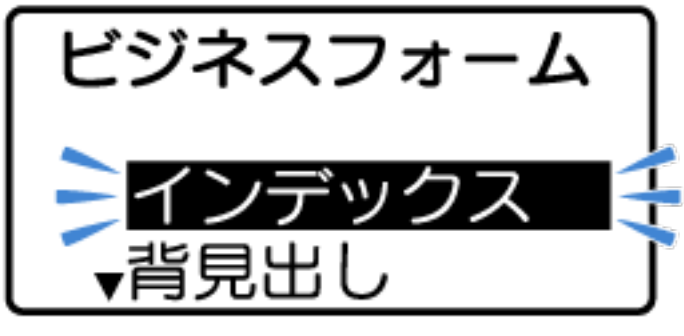
「フォーム」メニューが表示されます。

3 「ビジネスフォーム」を選ぶ



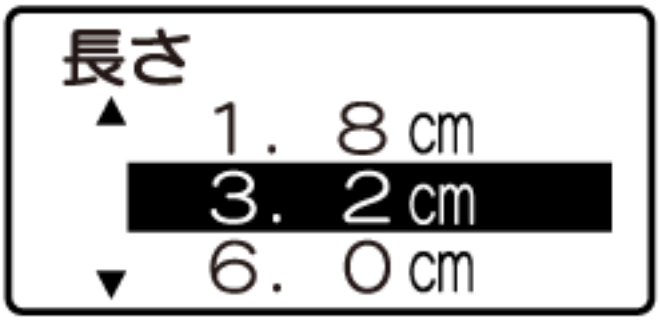
↑ ↓ でビジネスフォームを選び 選択 改行 を押します。

4 目的のフォーム名を選ぶ



フォーム名を選び、選択 改行 を押します。

5 設定項目が表示された場合は、項目を選ぶ



長さや入力項目の選択画面が表示されたフォームは、項目を選び、選択改行 を押します。
インデックスの場合は、「たて書」または「よこ書」を選択します。
背見出しの場合は、「簡単」または「管理用」を選択します。
備品管理の場合は、「入力」または「項目名」を選択します。
ケーブルの場合は、ラベル長さを選択します。
定ピッチの場合は、列ごとの区切り線を「点線」「実線」「なし」から選択します。
値札の場合は、「税込」または「抜／込」を選択します。

参照 ☞「ビジネスフォームメニュー一覧」

6 ガイドに従って文字を入力する



入力ガイドの後ろ(右側)にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。

注意

・入力画面にある「1枚目 表」「1枚目 裏」などの項目名は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。

MEMO

・シフト を押しながら 削除 取消 (＝全消去)を押すと、入力した内容の全文消去ができます。背見出し・管理用および備品管理・項目名の画面では、「初期状態に戻す」も選択できます。
・入力画面で 編集 を押すと、ラベルを装飾することができます。指定可能な機能は、「背見出し」「インデックス」「備品管理」「ケーブル」「定ピッチ」には飾り字、文字間、書体、伸・縮、囲・網、斜強調の6種類です。「値札」には編集機能のうち文字モードの書体のみが指定可能ですが、指定できるのはカーソルが品名にある場合に限ります。
・「値札」で入力できる本体価格は￥0～￥999,999です。また、入力できる税率は、0%～99%です。自動計算される税込価格は、小数点以下切り捨てで計算されます。

7 印刷する

参照 ☞「ラベルを印刷する」

注意

・ビジネスフォームのテキスト画面は、電源を切っても内容が保持されます。通常のテキスト画面に戻るには、フォーム を複数回押して画面を切り換える、または ホーム を押してください。
・ビジネスフォームで作成した文章は電源を切っても保持されていますが、ファイル登録はできません。
・ビジネスフォームの印刷は印刷履歴の対象になりません。

・長さを指定するビジネスフォームでは、指定した長さにおさまらない場合は「定長オーバー」が表示されます。削除 取消 を押して印刷を中止し、文字数を減らすか「伸・縮」で文字を小さくするなどの指定をしてください。そのまま 選択 改行 または 印刷 を押すと、定長を解除して印刷します。
・ビジネスフォームでは、連続印刷は最大20枚までの対応となります。

デザインフォームを使う

本機にはオフィスや店舗、工場向けなどさまざまなシーンで使えるデザインフォームが登録されています。呼び出してそのまま印刷することもできますが、入力内容や装飾を変更して印刷することもできます。

デザインフォームメニュー一覧

は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢		
施設 ▶	案内所	情報コーナー	病院
	救護所	警察	お手洗
	男子	女子	身障者用設備
	車椅子スロープ	ベビールーム	飲料水
	喫煙所	消火器	AED
	非常電話	非常ボタン	非常口
	広域避難場所	禁止	禁煙
	加熱式たばこ	火気厳禁	開放厳禁
	進入禁止	駐車禁止	自転車禁止
	立入禁止	かけ込み禁止	さわるな
	捨てるな	飲めない	携帯禁止
	電子機器禁止	撮影禁止	フラッシュ
	ドローン禁止	自撮り棒禁止	注意
	障害物注意	上り段差注意	下り段差注意
	滑面注意	転落注意	天井に注意
	感電注意	指示	静かに
	立つ(左側)	立つ(右側)	
オフィス ▶	紙補充	交換時期	PC電源
	リサイクル	紙節約	節水
	節電	エアコン	職場きれいに
	印刷面を上に	開放厳禁	本日休暇中
	可燃ごみ	不燃ごみ	精密機器
	天地無用	ワレモノ注意	お疲れ様です
	ほんの気持ち	社外秘	フォルダー山
	背見出し(縦)	背見出し(横)	回覧の確認
	備品管理票	QR備品管理票	
お店 ▶	お会計	カード支払い	現金払い
	伝票をレジに	先に食券を	おつり忘れず
	呼び鈴	食器返却口	店内禁煙
	禁煙席	喫煙席	離席中
	包装無料	配送無料	充電コーナー
	Wi－Fi	携帯電話禁止	飲食禁止
	防犯カメラ	並ぶ	ご覧ください
	両替	レシート不要	触れないで
	ペット禁止	自動照明	トイレ洗浄
	トイレ清潔に	故障中	年中無休
	新商品	店長おすすめ	入荷待ち
	係員	警備員巡回中	パンフレット

メニュー	最初の選択肢		
建設 ▶	保護帽着用	安全帯着用	手袋着用
	安全靴着用	保護メガネ着用	マスク着用
	開口部注意	滑面注意	段差注意
	頭上注意	落下物注意	感電注意
	ドア注意	立ち入り禁止	5S運動
	安全規則	指差呼称	血液型ラベル
	作業中		
工場 ▶	安全第一	整理整頓	救急箱
	高温部注意	巻き込み注意	切断注意
	指挟まれ注意	感電注意	回転部注意
	有毒ガス注意	噴射注意	濡れ手禁止
	接触禁止	火気厳禁	アース線接地
	スイッチ禁止	物を置かない	現場を離れる
	安全確認	ミス防止	手順確認
	土足厳禁	責任者ラベル	使用禁止
	点検中		
病院 ▶	診察中	待合室	保険証提示
	診察券入れ	必要事項記入	会計窓口提出
	荷物はこちら	手指消毒	マスク着用
	緊急ボタン	電子機器禁止	医療廃棄物
お名前 ▶	オフィス名札	住所・氏名	学校持ち物
	店舗名札		

MEMO

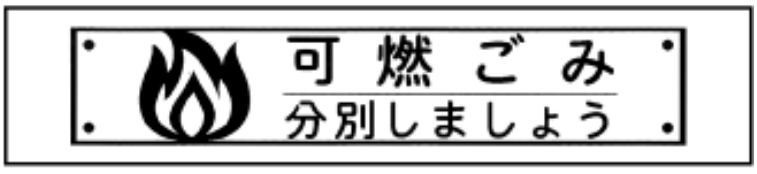
・ラベルのデザインは、下記ページを参照してください。

参照 ☞「デザインフォーム一覧表」

・「回覧の確認」は上質紙ラベル、マットラベルで印刷することをおすすめします。

ラベルの作りかた(デザインフォーム)

デザインフォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。
例:「可燃ごみ」のラベル



1 使用するデザインフォームを決める

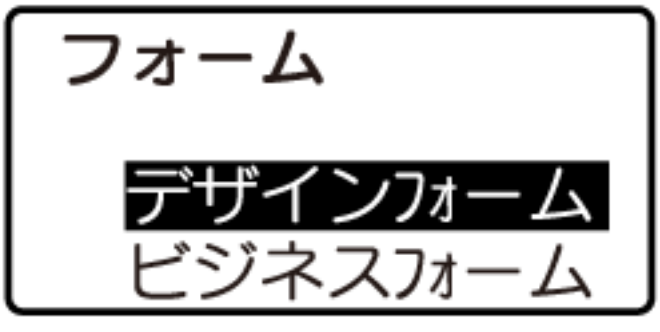
使いたいデザインフォームを選んでください。

参照 「デザインフォーム一覧表」

2 フォーム を押す

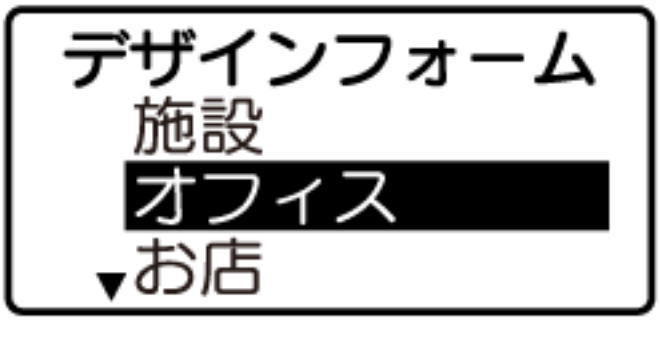
「フォーム」メニューが表示されます。

3 「デザインフォーム」を選ぶ



↑ ↓ でデザインフォームを選び、選択 改行 を押します。

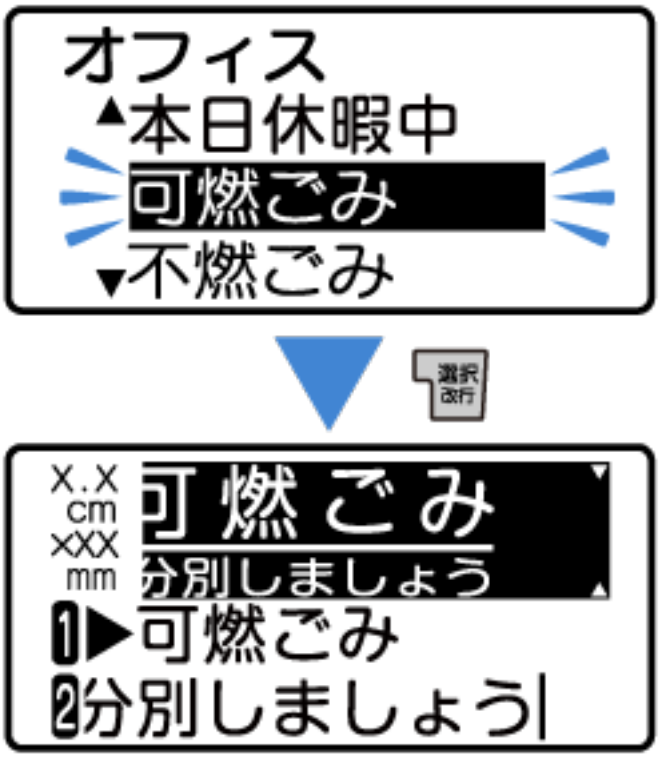
4 デザインフォームの分類を選ぶ



↑ ↓ で目的のデザインフォームが含まれる分類を選び、選択 改行 を押します。

選択肢を指定する画面になります。

5 使用するデザインフォームを指定する



↑ ↓ で目的のデザインフォーム名を選び、選択 改行 を押します。

注意

・デザインフォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。デザインフォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。

参照 ☞「ファイルを登録する」

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または フォーム を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト編集画面に戻ります。

6 内容を修正する

呼び出したデザインフォームの内容を修正したい場合には、必要に応じて文字や記号を削除して内容を変更します。

MEMO

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または フォーム を押し、操作を戻します。
・デザインフォームで指定されている編集機能の指定は変更できます。

7 印刷する

参照 ☞「ラベルを印刷する」

文章を呼び出す・登録する(ファイル)

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文字とレイアウトなどラベルの状態がそのまま登録されます。

ファイルメニュー一覧

ファイル のメニュー一覧(登録 は購入時の初期設定値です。)

メニュー	最初の選択肢	機能
あて名 ▶	修正	登録したあて名を修正します
	登録	あて名を登録します
	消去	登録したあて名を消去します
	複写	登録したあて名を複写します
	印刷	登録したあて名ラベルを印刷します
ファイル ▶	呼出	登録した文章を呼び出します
	登録	作成した文章を保存します
	消去	登録した文章を消去します
名前 ▶	登録	名前を登録します
	修正	登録した名前を修正します
	印刷	登録した名前ラベルを印刷します
	消去	登録した名前を消去します
辞書 ▶	登録	辞書を登録します
	消去	登録した辞書を消去します

MEMO

・ファイルとあて名、名前は、同じエリアに保管されています。本機には、約5,000文字(最大で99個のファイル、ファイル名を含む)を登録することができますが、たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
・データがいっぱいで登録できない場合は「メモリーがいっぱいで登録できません」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

注意

・大切なファイルやあて名、外字のデータは、データ転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」を利用し、PCにバックアップすることをおすすめします。

ファイルを登録する

ファイルに文章を登録します。ファイルはファイル番号01～99（99件）の中から番号を選んで登録します。

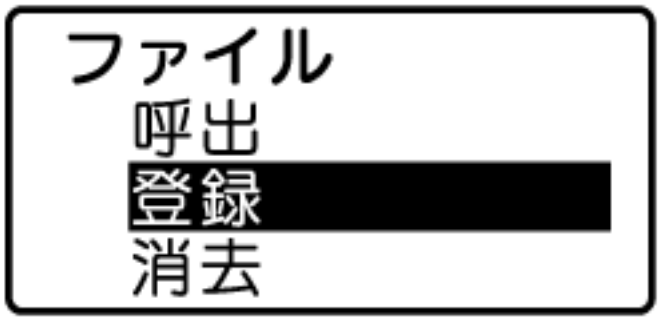
1 ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

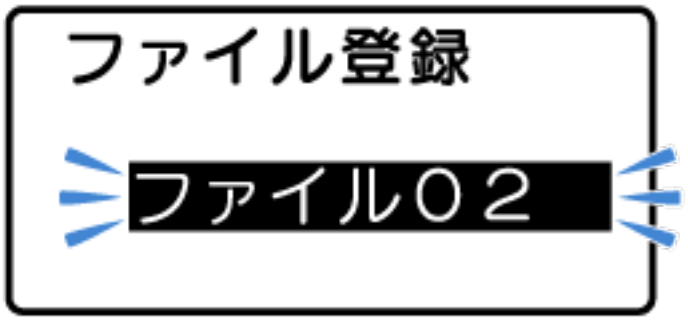
2 「ファイル」を選び、 選択 改行 を押す



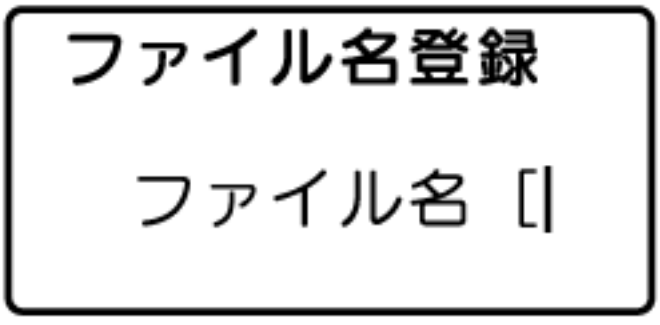
3 「登録」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 ファイル名を入力し、 選択改行 を押す



15文字まで入力できます。入力しなくても登録できます。

6 内容を確認し、 選択改行 を押す



「登録実行」と表示されます。

注意

・「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。
・ファイル登録の際、既存のファイルを上書きして登録することはできません。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・ファイル番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、テキスト編集画面に戻ります。
・ファイルは99件まで登録できます。
・データがいっぱいで登録できない場合は「メモリーがいっぱいで登録できません」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。
・本機には、約5,000文字(最大で99個のファイル、ファイル名を含む)を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんのあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
・ビジネスフォームの文章は登録できません。

ファイルを呼び出す

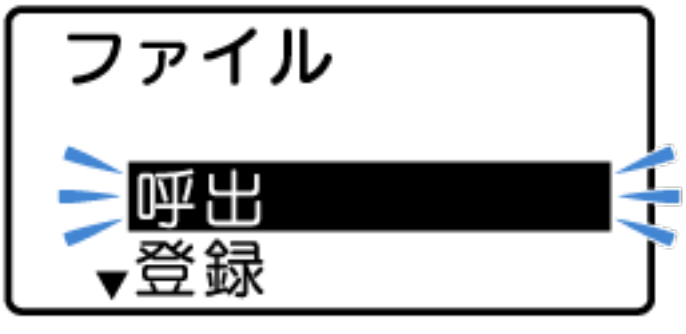
現在のテキスト画面の文章を置き換える「上書き呼出し」と、現在の文章に別段落で挿入する「連結呼出し」があります。
「上書き呼出し」を選ぶと、テキスト画面の文章は全文消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。「連結呼出し」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

1 [ファイル] を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

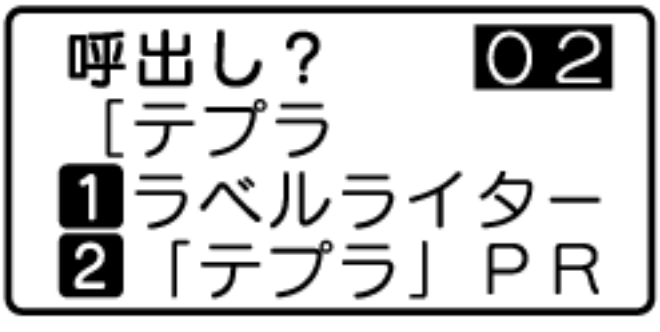
2 「ファイル」を選び、 [選択 改行] を押す



3 「呼出」を選び、 [選択 改行] を押す



4 [↑] [↓] で番号を選び、 [選択 改行] を押す

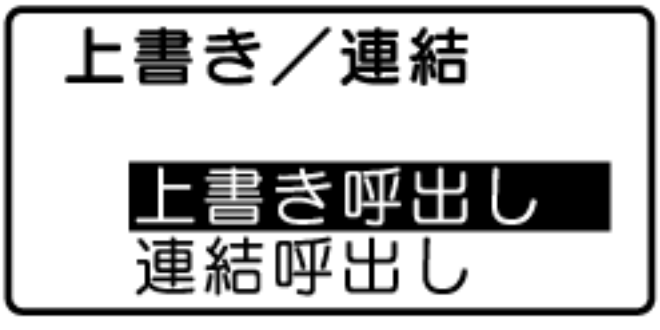


5 内容を確認し、 選択 改行 を押す



← ↑ ↓ → で文章を確認できます。

6 「上書き呼出し」「連結呼出し」のいずれかを選び、 選択 改行 を押す



文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

注意

・「上書き呼出し」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は失われ、復活できません。必要な文章は先にファイルに登録してください。
・「連結呼出し」の場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーしても、そのまま呼び出します。オーバーした部分は自動的に文末から削除されます。
・入力できる文章は約175文字です。

MEMO

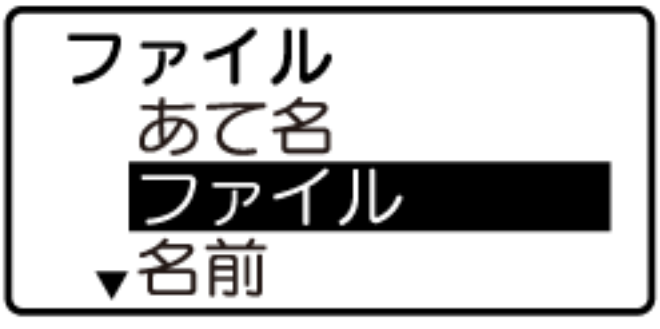
・仮確定文字があるときは操作できません。
・ファイル番号は数字ボタンでも選択できます（手順 4 ）。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・テキスト画面に文章がない状態で呼び出した場合は、手順 5 で文章が呼び出されます。

ファイルを消去する

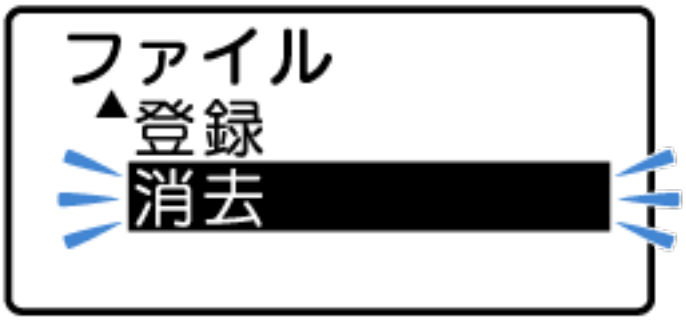
1 ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

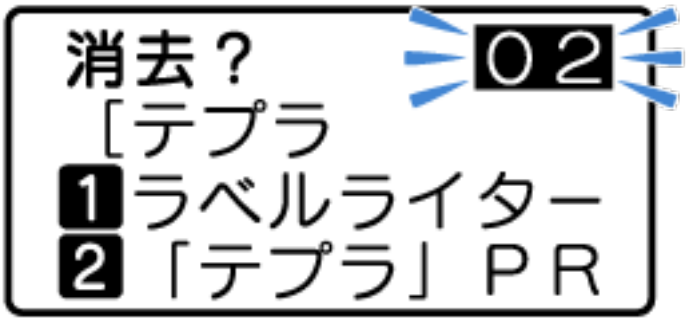
2 「ファイル」を選び、 選択 改行 を押す



3 「消去」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 内容を確認し、 選択 改行 を押す



← ↑ ↓ → で文章を確認できます。

ファイルが消去されます。

注意

・消去したファイルは復活できません。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・ファイル番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

あて名ラベルを作る

あて名として郵便番号や住所、名前などを登録しておくと、決められたレイアウトのあて名ラベルをまとめて印刷できます。

登録できる項目とあて名ラベル



項目	入力内容	入力可能文字
〒番号(郵便番号)	[101-0031	8文字
住所1	[東京都千代田区東神田二丁目10番18号	20文字
住所2	[	20文字
会社	[株式会社キングジム	20文字
部署	[開発部	20文字
氏名	[山岸　正樹	20文字
〒 (カスタマバーコード)	[10100312-10-18	20文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照 「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約5,000文字(最大99件のあて名)です。

注意

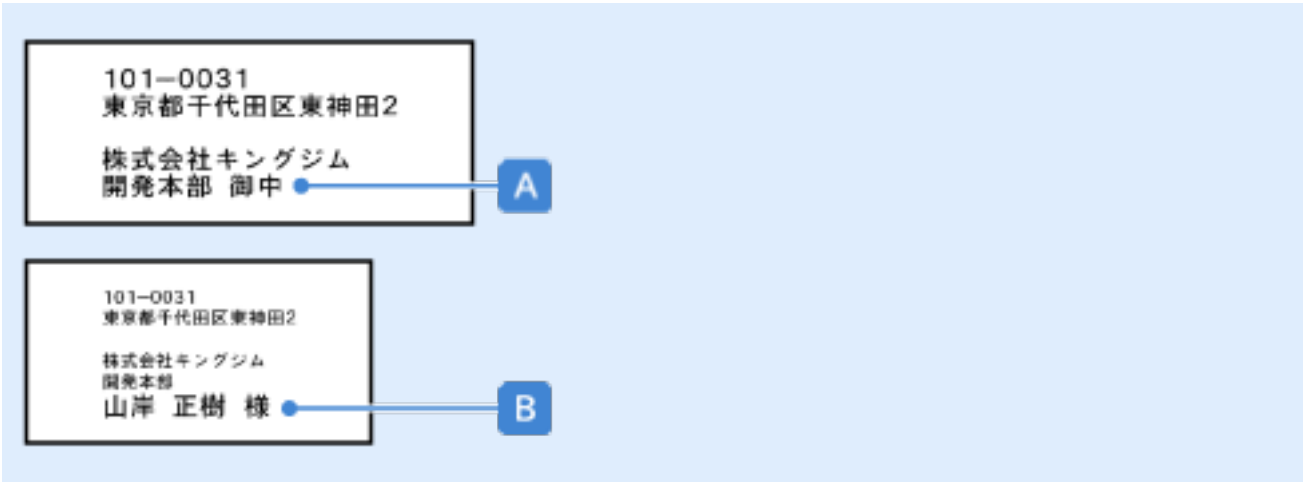
・郵便番号に入力した先頭の5桁に対応する住所を、「住所1」に自動的に入力できます。郵便番号変換は、2026年1月時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい住所が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

MEMO

・あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的に付きます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後ろに「御中」、氏名まで入力すると氏名の後ろに「様」が付きます。

A ・・・氏名入力なし:「御中」が付きます

B ・・・氏名入力あり:「様」が付きます

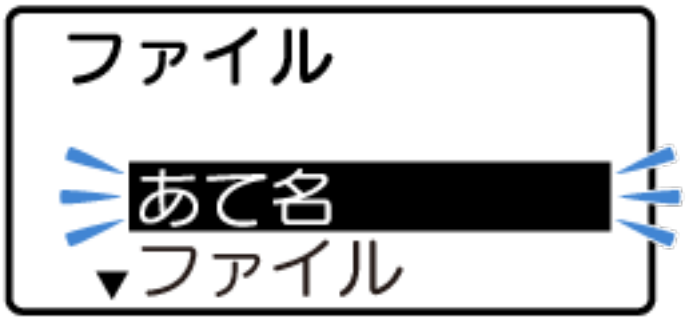

101−0031
東京都千代田区東神田2
株式会社キングジム
開発本部 御中
A
101−0031
東京都千代田区東神田2
株式会社キングジム
開発本部
山岸 正樹 様
B

あて名を登録する

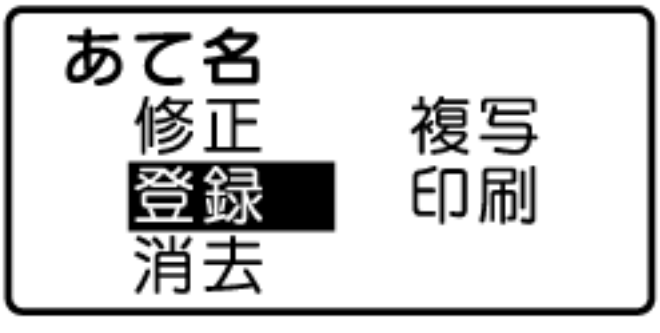
1 ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

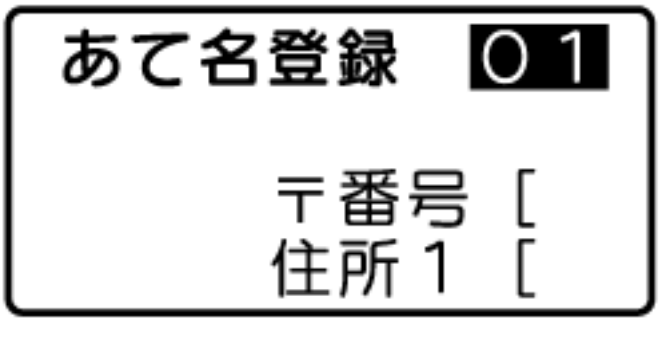
2 「あて名」を選び、 選択 改行 を押す



3 「登録」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 郵便番号を入力する



4桁目を入力すると、自動的にハイフン(－)が挿入されます。

6 変換 スペース を押す

郵便番号に対応する都道府県と市区町村名の候補が表示されます。

7 地名が正しいときは、 選択 改行 を押す

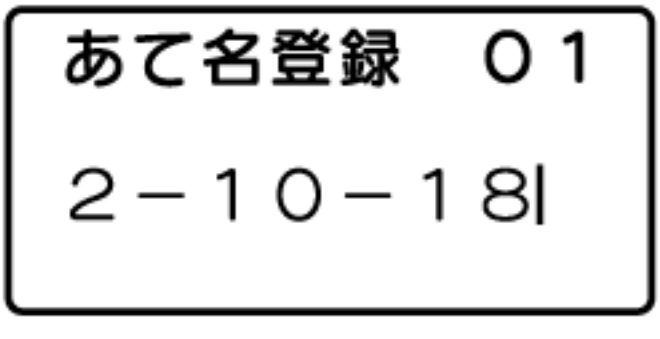


地名が違うときは、← ↑ ↓ → で適切な地名を選びます。

8 住所1を入力し、 選択 改行 を押す

9 住所2、会社名、部署名、氏名を入力し、 選択 改行 を押す

10 必要に応じてカスタマバーコードを入力する



カスタマバーコードの項目で 変換 スペース を押すと、郵便番号が自動的に入力されます。

続けて住所部分を入力します。

参照 ☞「カスタマバーコードについて」

11 全項目入力後、 選択改行 を押す

「登録実行」と表示されます。

注意

・「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。あて名の内容がこわれる可能性があります。

MEMO

・未入力の項目があっても登録できます。
・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・項目入力中に 選択改行 を押すと、カーソルが次の項目へ移動します。カスタマバーコードの項目で 選択改行 を押すと、あて名を登録できます。
・操作を途中でやめるときは 削除取消 または ファイル を押し、操作を戻します。 ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できるあて名の件数が少なくなります。データがいっぱいで登録できない場合は「メモリーがいっぱいで登録できません」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

あて名を修正する

1 ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

2 「あて名」を選び、 選択 改行 を押す

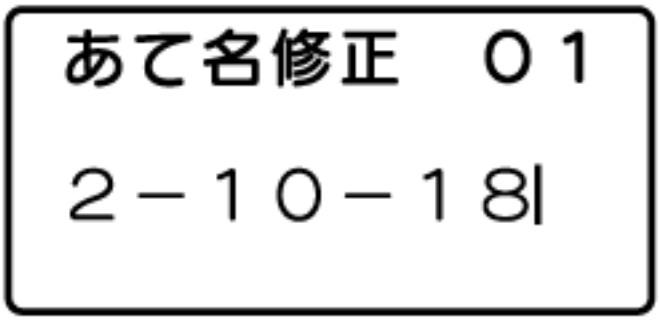
3 「修正」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 内容を修正し 選択 改行 を押す



カスタマバーコードの項目で 選択 改行 を押すと、「修正実行」と表示されます。

注意

・カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをおすすめします。

MEMO

・項目入力中に 選択 改行 を押すと、カーソルが次の項目へ移動します。カスタマバーコードの項目で 選択 改行 を押すと、あて名を登録できます。
・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

あて名を消去する

1 ファイル を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「あて名」を選び、 選択 改行 を押す

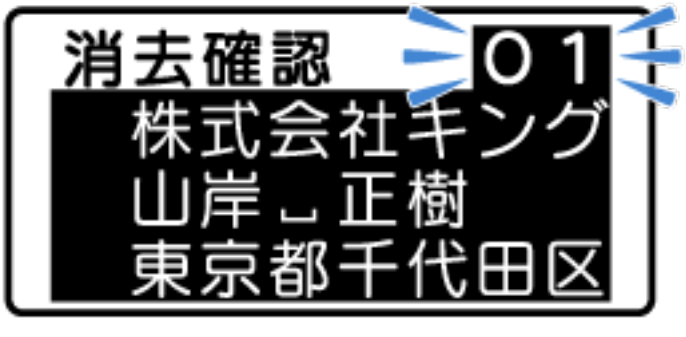
3 「消去」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 内容を確認し、 選択 改行 を押す



← → で文章を確認できます。
あて名が消去されます。

注意

・消去したあて名は復活できません。

・カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをおすすめします。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。

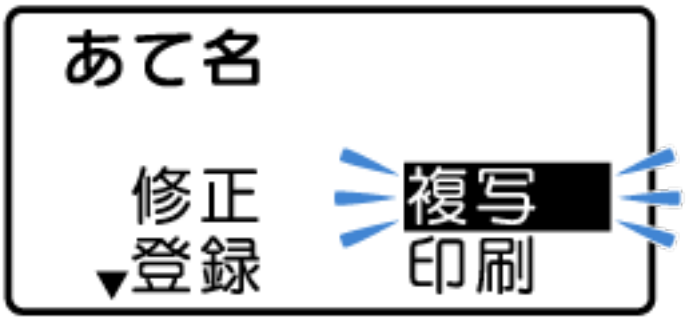
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

あて名を複写する

1 ファイル を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「あて名」を選び、 選択 改行 を押す

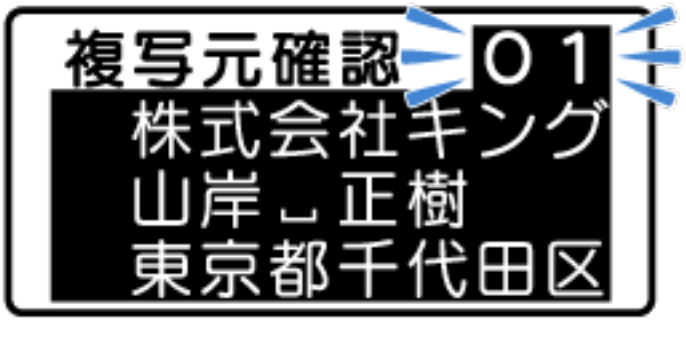
3 「複写」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で複写元の番号を選び、 選択 改行 を押す



5 内容を確認し、 選択 改行 を押す



← → で文章を確認できます。

6 ↑ ↓ で複写先の番号を選び、選択改行 を押す



7 内容を確認し、選択改行 を押す



あて名が複写されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは 削除取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

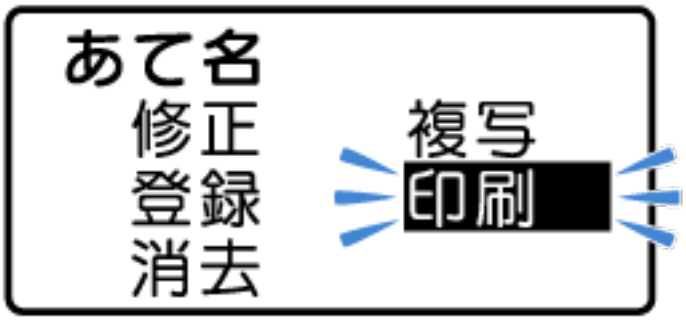
あて名ラベルを印刷する

1 ファイル を押す

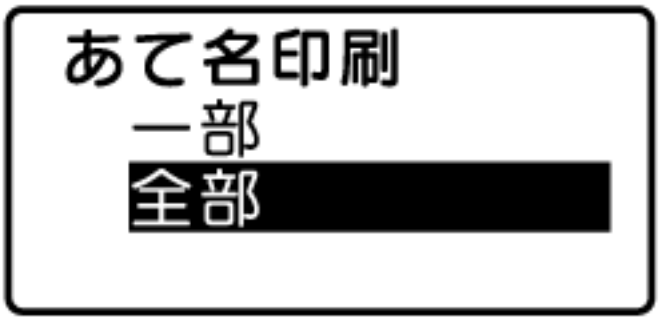
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「あて名」を選び、 選択 改行 を押す

3 「印刷」を選び、 選択 改行 を押す



4 印刷する範囲を選び、 選択 改行 を押す



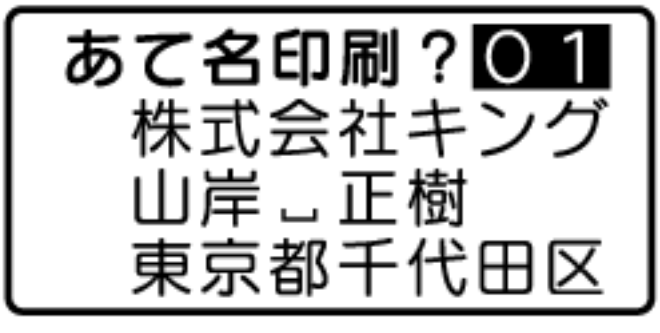
一部：1件のみ印刷

全部：すべてを印刷

「全部」を選んだ場合は、印刷がはじまります。

「一部」の場合は次の手順であて名を選びます。

5 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



あて名が印刷されます。

MEMO

・あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的に付きます。
・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます（手順 5 ）。
・操作を途中でやめるときは 削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。 ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードを「カスタマバーコード」といいます。
本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、「カスタマバーコード」を印刷することができます。

MEMO

・「カスタマバーコード」は印刷する義務はありません。
・「カスタマバーコード」は7桁郵便番号時のみご利用いただけます。
・「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード(〒)」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

例:
千葉県鎌ヶ谷市右京塚
東3丁目20-5　鈴木・A&bコーポB604号

1 住所データを次のAとBの部分に分割する

住所A:「郵便番号」で指定される町域名まで

住所B:町域名以降の住所

2 住所Aを郵便番号に置き換える

(「-」(ハイフン)は省略)

3 住所Bにあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える

4 データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める

「&」(アンパサンド)「／」(スラッシュ)「・」(中黒)「.」(ピリオド)

5 3 および 4 で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す

6 抜き出された文字の前にある下記の文字などは、ハイフン1文字に置き換える

「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、「空白」、「2文字以上連続したアルファベット文字」

7 6 の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめる

8 先頭がハイフンの場合は取り除く

9 アルファベットの前後にあるハイフンを取り除く

10 2 で処理したデータに 9 で処理したデータをつなげる



カスタマバーコードの記入例

■記入例①

漢数字が「丁目」「丁」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所Bとし、算用数字に変換して指定します。

例: 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号
永井タワー601
郵便番号:xxx-xxxx
住所B:十一丁目六番地一号永井タワー601
バーコード[xxxxxxx11-6-1-601

例: 北海道帯広市稲田町南七線西28

郵便番号:xxx-xxxx
住所B:七線西28
バーコード[xxxxxxx7-28

■記入例②

連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット1文字「F」(ビルなどの階数表示の略)については指定しません。
もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

例: 茨城県日立市宮田町6丁目7-14
ABCビル2F
郵便番号:xxx-xxxx
住所B:6丁目7-14ABCビル2F
バーコード[xxxxxxx6-7-14-2

例: 茨城県日立市宮田町6丁目7-14
ABCビル2F201号室

郵便番号:xxx-xxxx
住所B:6丁目7-14ABCビル2F201号室
バーコード[xxxxxxx6-7-14-2-201

■記入例③

アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが2文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

例: 神戸市中央区港島中町9丁目7-6
南シティA棟1F1号
郵便番号:xxx-xxxx
住所B:9丁目7-6南シティA棟1F1号
バーコード[xxxxxxx9-7-6A1-1

例: 京都府綾部市青野町綾部6-7
Lプラザ B106
郵便番号:xxx-xxxx
住所B:6-7 Lプラザ B106
バーコード[xxxxxxx6-7LB106

■記入例④

バーコードの合計桁数が20文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。

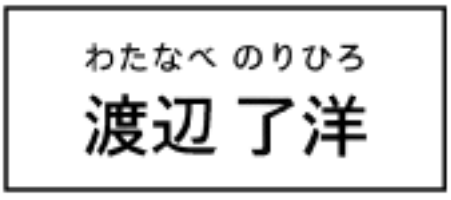
例: 札幌市中央区南四条西29丁目1524-23
第2山瀬ハウス501
郵便番号:xxx-xxxx
住所B:29丁目1524-23第2山瀬ハウス
501
バーコード[xxxxxxx29-1524-23-2-

MEMO

・本機ではバーコードは20文字まで入力できます。

名前を登録する

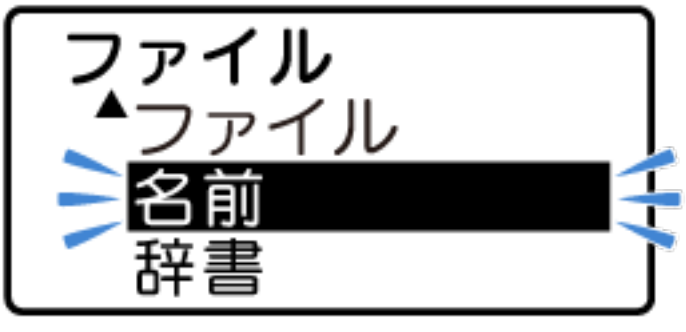
名前データを登録します。名前は名前番号01～40(40件)の番号に順に登録します。
名前は、グループに登録し、1件だけで印刷することも、グループでまとめて印刷することもできます。



1 ファイル を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

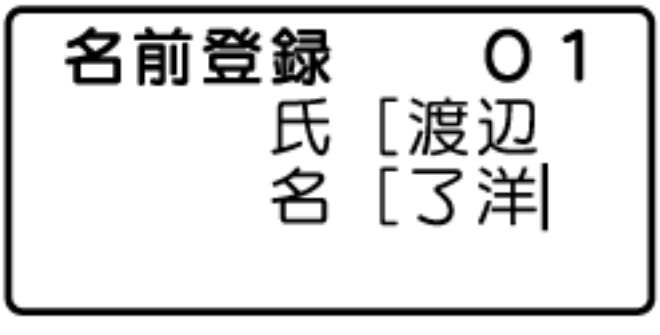
2 「名前」を選び、 選択改行 を押す



3 「登録」を選び、 選択改行 を押す

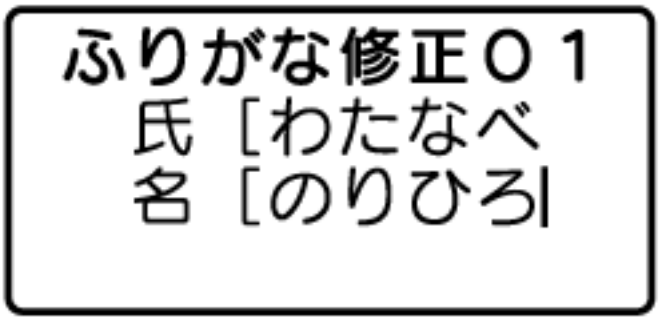


4 名前(氏と名)を入力し、 選択改行 を押す



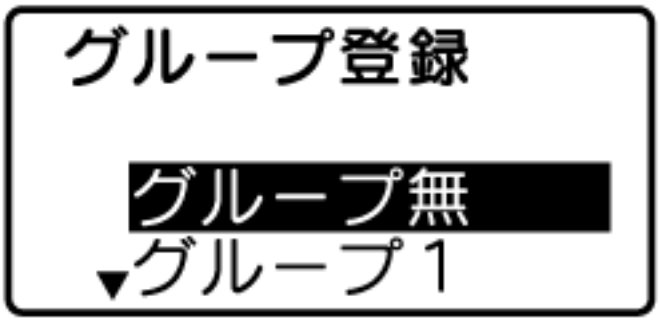
各7文字まで入力できます。

5 ふりがなを確認し、 選択 改行 を押す



必要に応じてふりがなを修正します。

6 登録するグループを選び、 選択 改行 を押す



グループに登録しない場合は「グループ無」を選びます。

7 内容を確認し、 選択 改行 を押す



「名前登録実行」と表示されます。

注意

・「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。名前の内容がこわれる可能性があります。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・たくさんの文章をファイルに登録していたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。データがいっぱいで登録できない場合は「メモリーがいっぱいで登録できません」と表示されます。不要なファイルやあて名、名前を削除してください。

名前を修正する

1 ファイル を押す

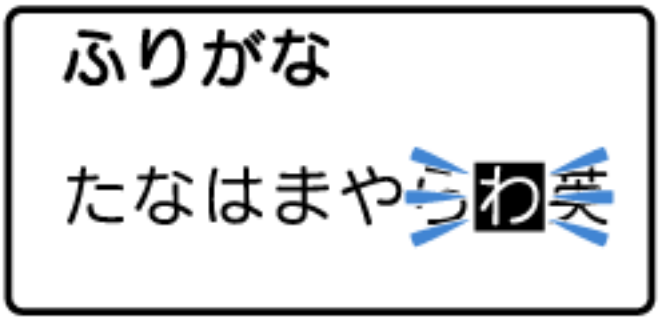
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「名前」を選び、 選択 改行 を押す

3 「修正」を選び、 選択 改行 を押す

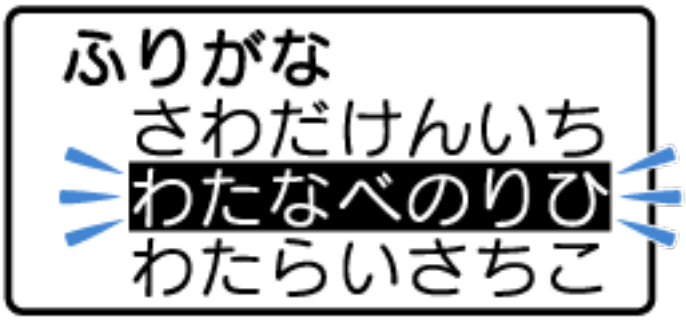


4 名前の1文字目の行(あ行～わ行)を選び、 選択 改行 を押す

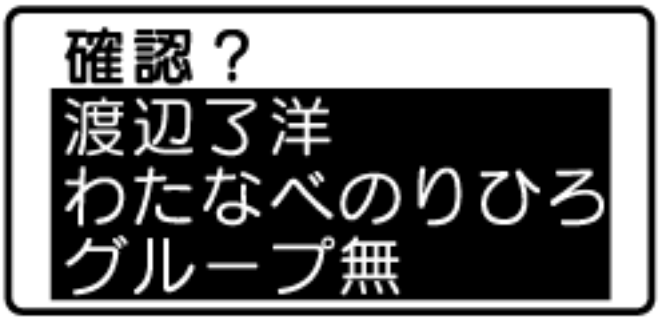


先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

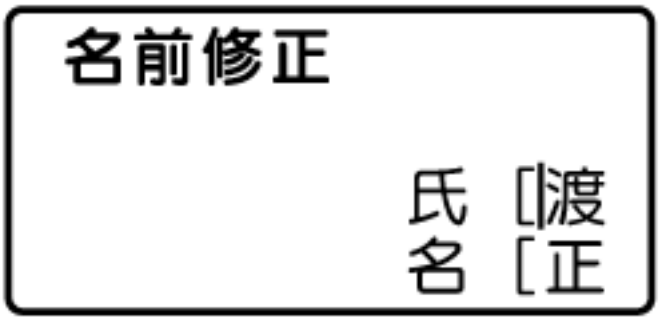
5 ↑ ↓ で名前を選び、 選択 改行 を押す



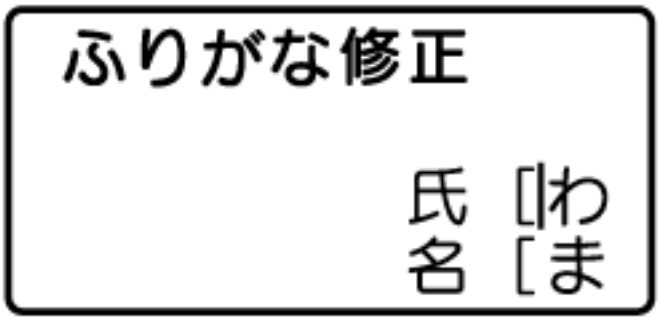
6 内容を確認し、 選択 改行 を押す



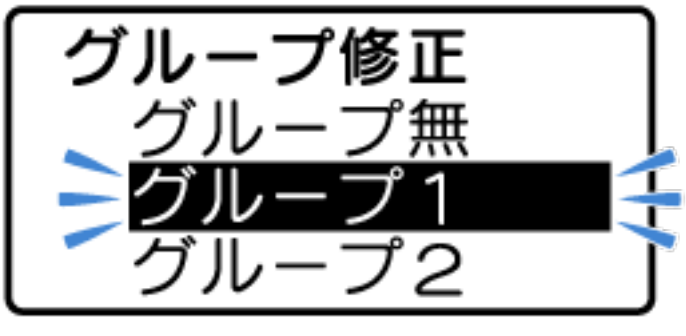
7 名前を修正し、 選択 改行 を押す



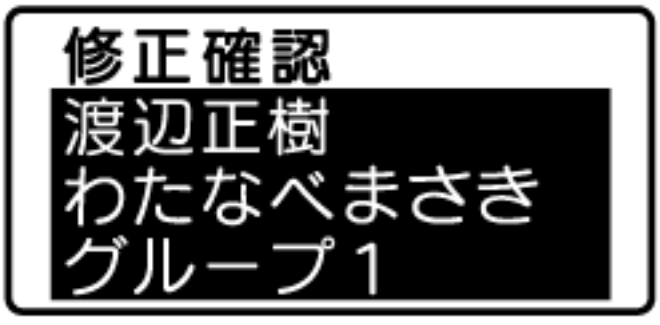
8 ふりがなを修正し、 選択 改行 を押す



9 グループを修正し、 選択 改行 を押す



10 内容を確認し、 選択 改行 を押す



「名前修正実行」と表示されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

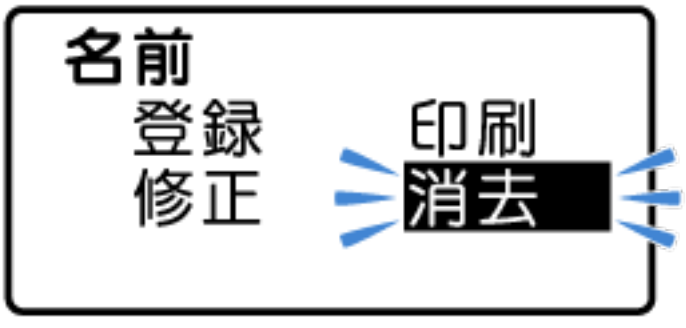
名前を消去する

1 ファイル を押す

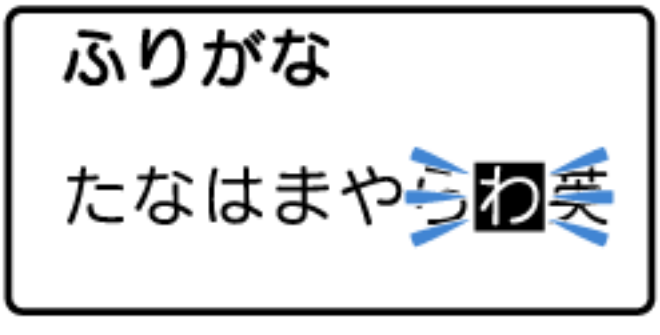
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「名前」を選び、 選択 改行 を押す

3 「消去」を選び、 選択 改行 を押す

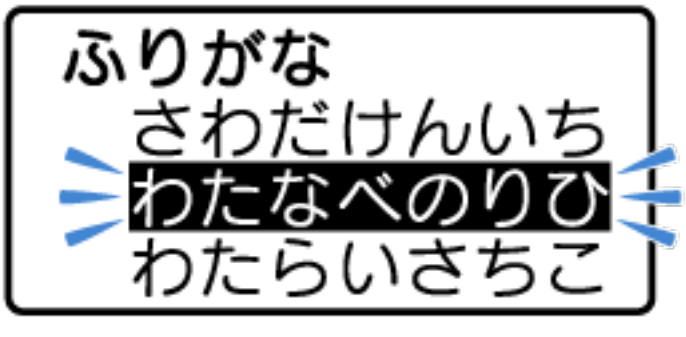


4 名前の1文字目の行(あ行～わ行)を選び、 選択 改行 を押す

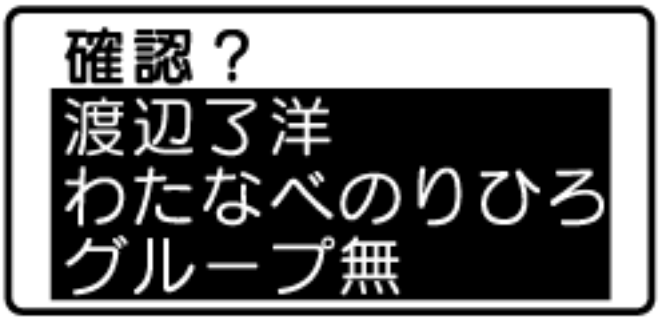


先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

5 ↑ ↓ で名前を選び、 選択 改行 を押す



6 内容を確認し、 選択 改行 を押す



7 消去を確認し、 選択 改行 を押す



名前が消去されます。

注意

・消去した名前は復活できません。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

名前ラベルを印刷する

名前は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。

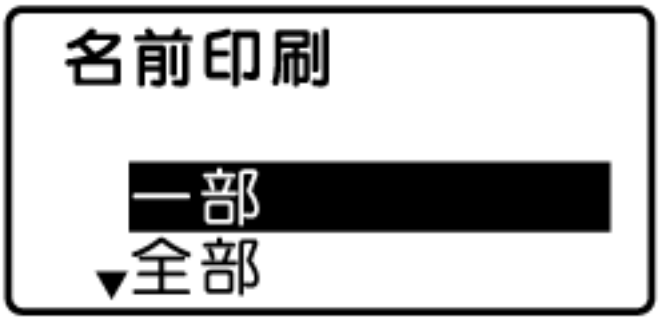
1 ファイル を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「名前」を選び、 選択 改行 を押す

3 「印刷」を選び、 選択 改行 を押す



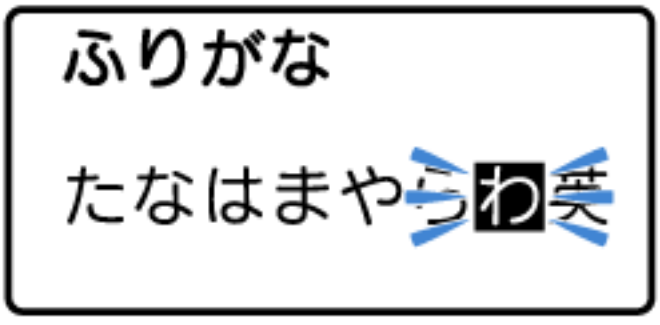
4 印刷する範囲を選び、 選択 改行 を押す



一部:1件のみ印刷
全部:すべての名前を印刷
グループ1/2:選択したグループ内のすべての名前を印刷

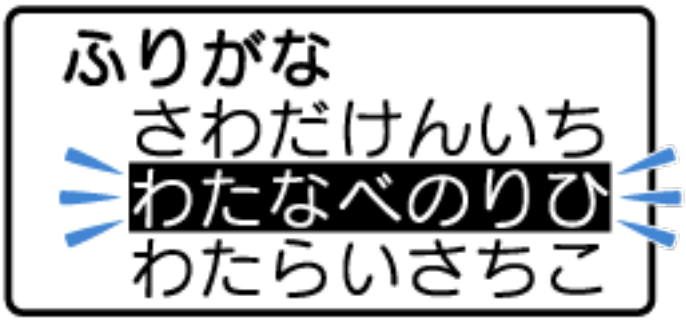
「全部」または「グループ」を選んだ場合は、ラベル指定の画面になります(手順 8)。
「一部」の場合は次の手順で名前を選びます。

5 名前の1文字目の行(あ行～わ行)を選び、 選択 改行 を押す

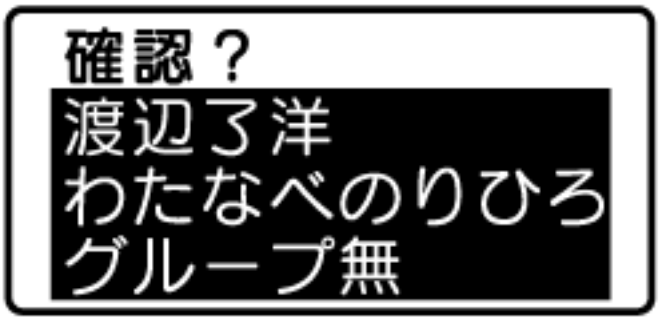


先頭文字がアルファベットのときは「英」、かな・英数以外の場合は「他」を選択します。

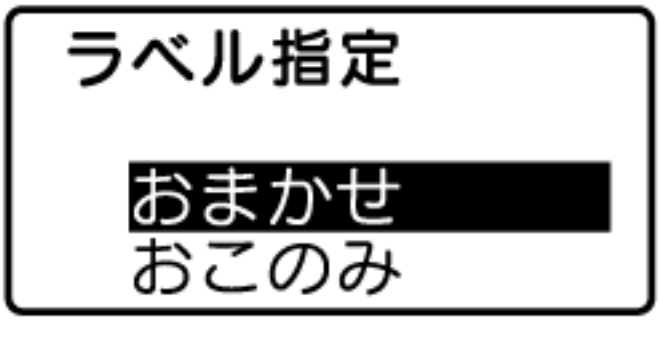
6 ↑ ↓ で名前を選び、 選択 改行 を押す



7 内容を確認し、 選択 改行 を押す

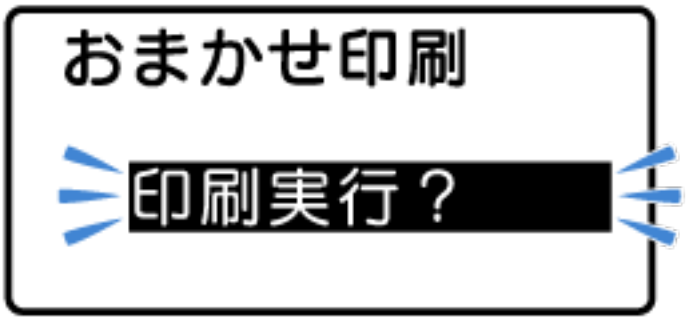


8 そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、 選択 改行 を押す



「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、書体、飾り字、斜体・強調、ふりがなの有無が指定できます。

9 「印刷実行？」を選び、 選択 改行 を押す



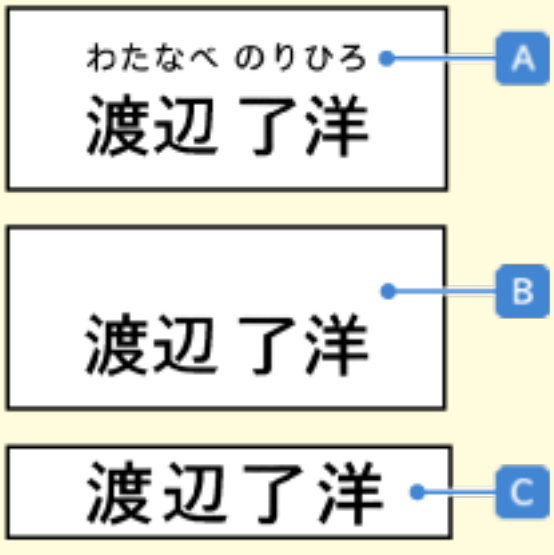
名前ラベルが印刷されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

注意

・4mm幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前1行のラベルが印刷されます。
A ・・・9mm幅テープ(「ふりがな」あり)
B ・・・9mm幅テープ(「ふりがな」なし)
C ・・・4mm幅テープ

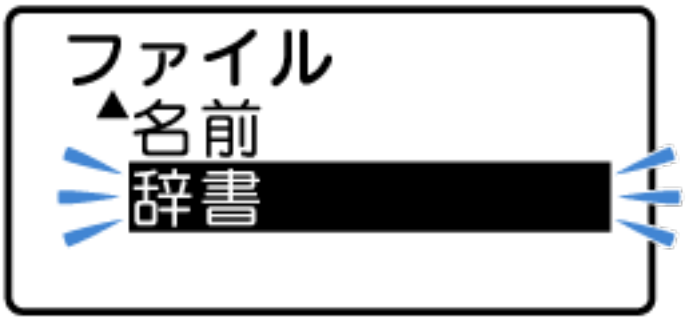


変換できない語句を登録する(辞書の登録)

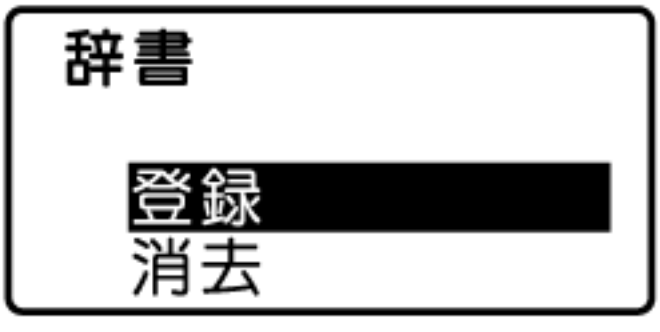
難しい人名や熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」を辞書登録しておくと、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できます。辞書には、最大30個登録できます。
例:「特許出願書(とっきょしゅつ)」を登録する

1 [ファイル] を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

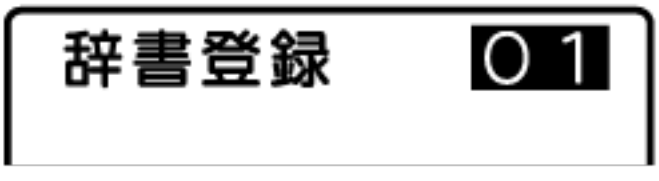
2 「辞書」を選び、[選択 改行] を押す



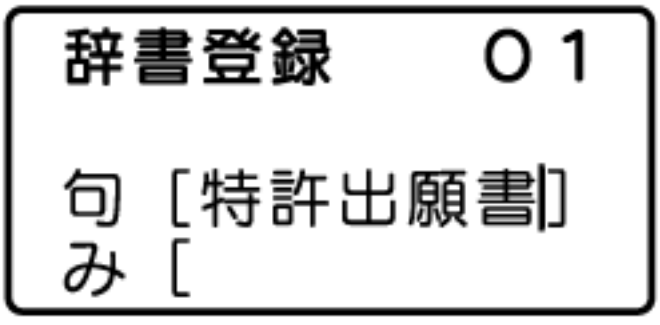
3 「登録」を選び、[選択 改行] を押す



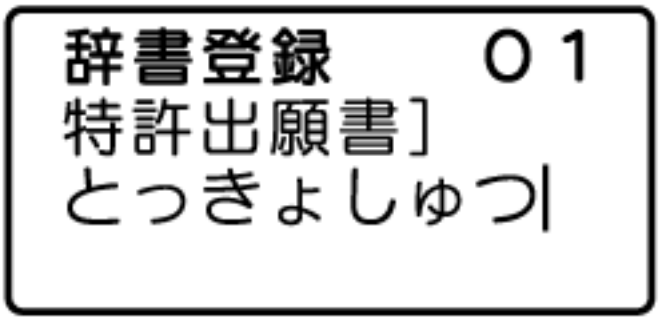
4 [↑] [↓] で番号を選び、[選択 改行] を押す



5 語句を入力し、 選択改行 を押す



6 読みをひらがなで入力し、 選択改行 を押す



「読み」はひらがなのみ入力できます。

語句が登録されます。

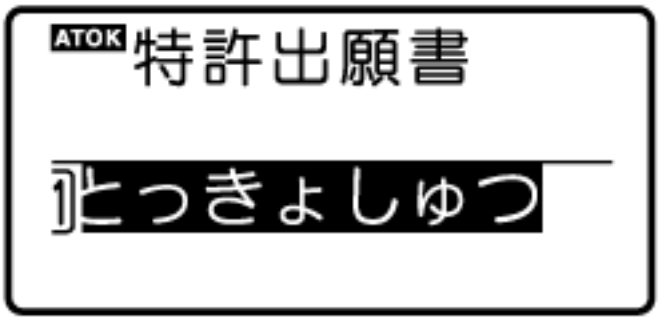
MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・登録できる「語句」の文字数は5文字以内、「読み」の文字数は16文字以内です（濁音、半濁音は2文字分）。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
・登録済みの辞書と同じ「語句・読み」で登録しようとすると、「辞書に登録済みの語句です」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
・辞書には漢字だけでなく、記号、外字、絵文字、英数字、英記号も登録できます。
・辞書登録ではイラスト、連番、バーコードの登録はできません。

語句を呼び出す

登録した語句は、通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

1 「とっきょしゅつ」を入力し、 変換 スペース を押す



辞書登録した語句が変換候補として表示されます。

2 「特許出願書」になっている状態で、 選択 改行 を押す



「特許出願書」が確定されます。

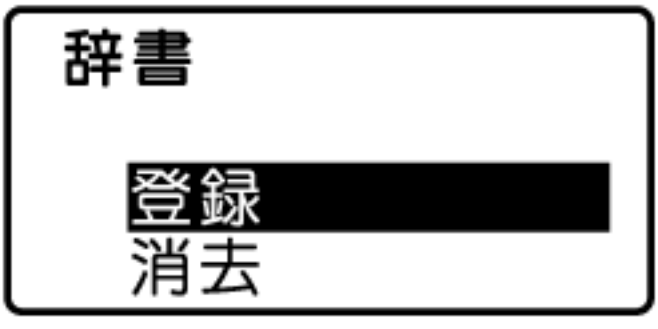
辞書の語句を修正する

例:「読み」の「とっきょしゅつ」を「とくしゅつ」に変える

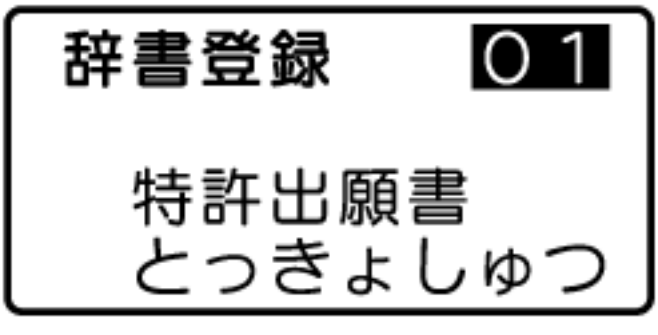
1 ファイル を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「辞書」を選び、 選択改行 を押す

3 「登録」を選び、 選択改行 を押す

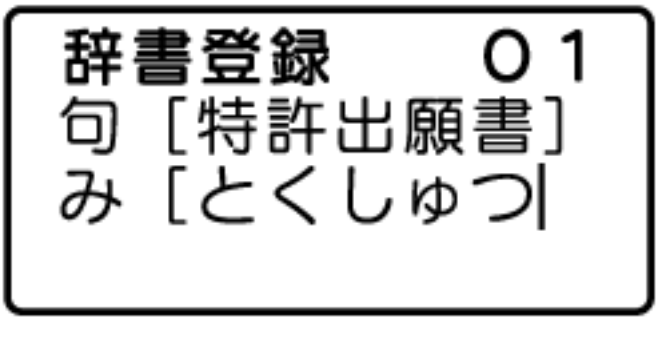


4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択改行 を押す



登録した語句が表示されます。

5 内容を修正し、 選択改行 を押す



修正した辞書が登録されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

辞書の語句を消去する

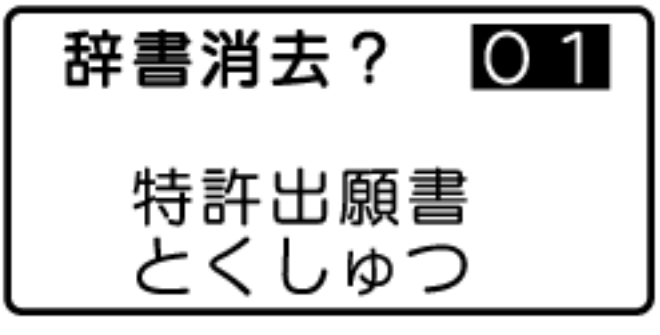
1 ファイル を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

2 「辞書」を選び、 選択 改行 を押す

3 「消去」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 内容を確認し、 選択 改行 を押す



← → で文章を確認できます。
辞書が消去されます。

注意

・消去した辞書の語句は復活できません。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

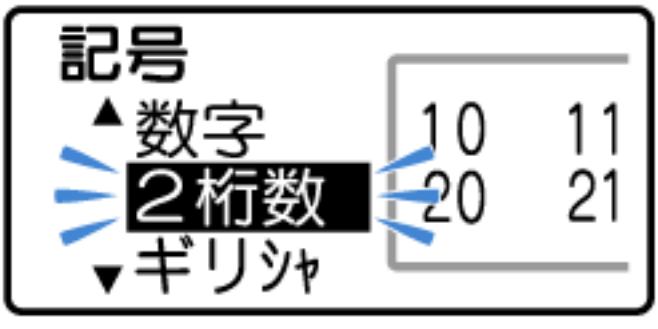
2桁数字を入力する

2桁の数字を1文字分として作成することができます。
例:23を入力する

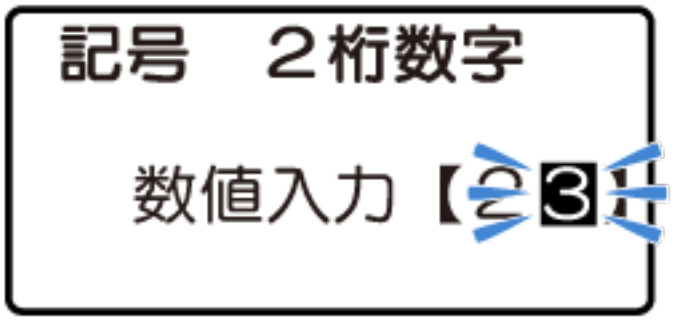
1 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

2 「2桁数」を選び、 選択 改行 を押す



3 「2」「3」を入力し、 選択 改行 を押す



2桁数字が挿入され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

・仮確定文字、点滅文字があるときは、記号 で2桁数字は入力できません。
・2桁の数字は、テキスト画面で数字キーを2つ入力した後、変換 スペース を押して表示されるATOK変換画面から選択して、入力することもできます。

外字について

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字、記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。
外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「編集」で文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。
・外字2つに分けて登録(文字間「ふつう」)



・文字間「密着」



MEMO

・外字は4文字まで登録できます。
・本機は、美しい印刷を可能にするアウトラインフォントという形式の文字を搭載していますが、外字については作成のしやすさから、ビットマップ形式を採用しています。ビットマップ形式での外字はアウトラインフォントの文字と比べて多少ギザギザが目立ちます。

概要

外字を登録するときは、1つの外字について、16・24・32・48ドットの4段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。
ただし、4段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に16ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して24・32・48ドットの字形データを作り、あとから細部を補正して作るしくみになっています。

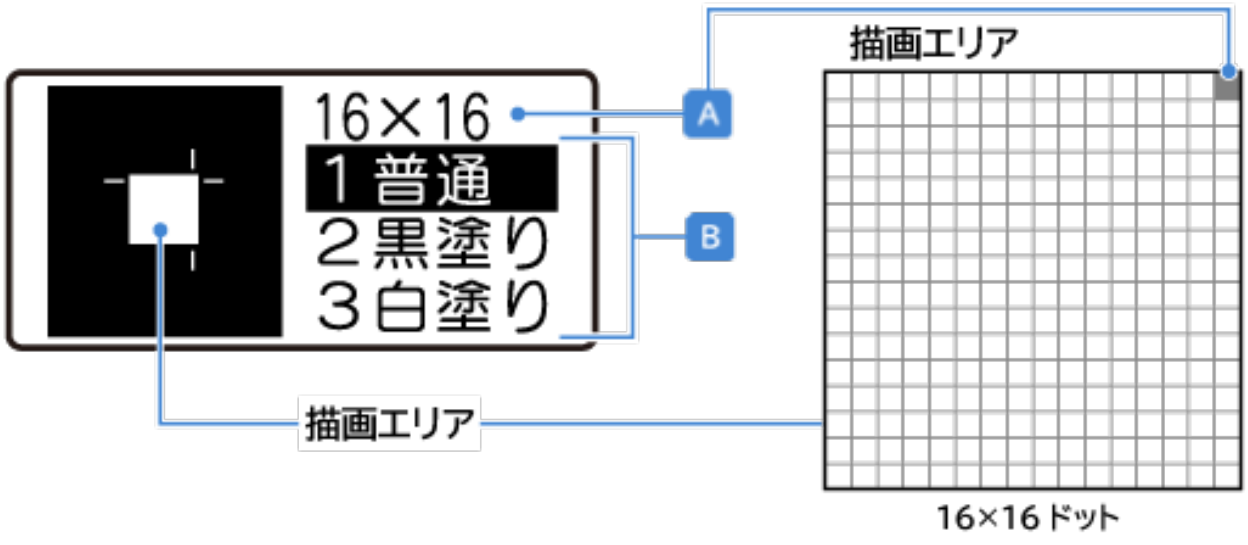
画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマス目を埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点(ドット)を塗りつぶしていきます。

■画面表示(例:16ドット)

A :カーソル位置(水平方向×垂直方向)

B :メニュー表示エリア



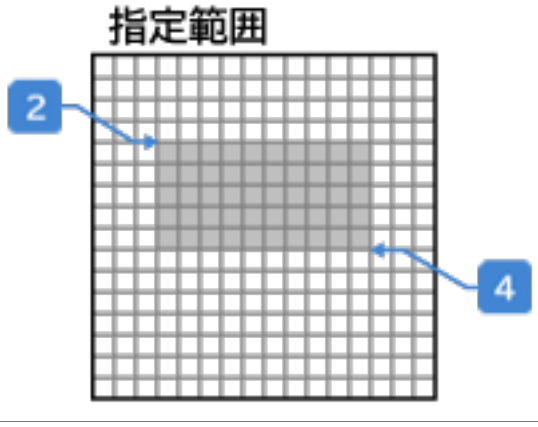
■描画方法(メニュー表示エリアで選択)

描画方法(メニュー)には、1ドットずつ塗りつぶす「普通」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗り」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗り(=消去)」があり、それぞれ数字ボタン 1 / 2 / 3 で選択します。

・「普通」の場合

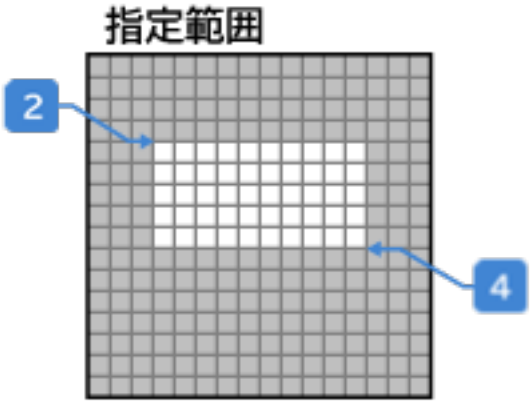
描画方法	1つ1つの点(ドット)ずつ塗りつぶす
手順	1 1 を押す。 メニュー「1普通」が反転表示されます。 2 ← ↑ ↓ → で塗りつぶすドットにカーソルを移動する。 3 シフト を押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。もう一度押すと、白く塗りつぶされます。

・「黒塗り」の場合

描画方法	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす 
手順	1 2 を押す。 メニュー「2黒塗り」が反転表示されます。 2 ← ↑ ↓ → で塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを移動する。 3 シフト を押す。

	4 ← ↑ ↓ → で対角線上のもう一方の頂点にカーソルを移動する。 5 シフト を押す。 手順 2 と 4 で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。

・「白塗り」の場合

描画方法	広い範囲のブロックを白くする（消す） 
手順	1 3 を押す。 メニュー「3白塗り」が反転表示されます。 2 ← ↑ ↓ → で塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを移動する。 3 シフト を押す。 4 ← ↑ ↓ → で対角線上のもう一方の頂点にカーソルを移動する。 5 シフト を押す。 手順 2 と 4 で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。

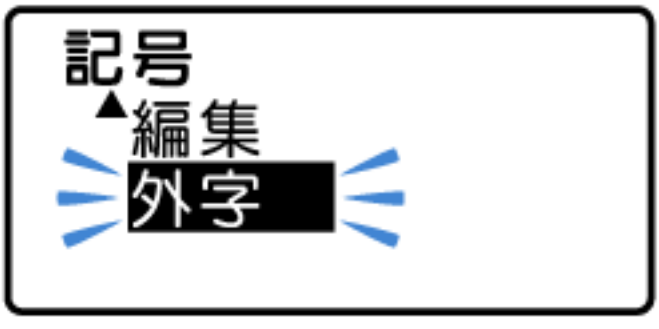
外字を作成し、登録する

例:外字番号「2」に「 」を登録する

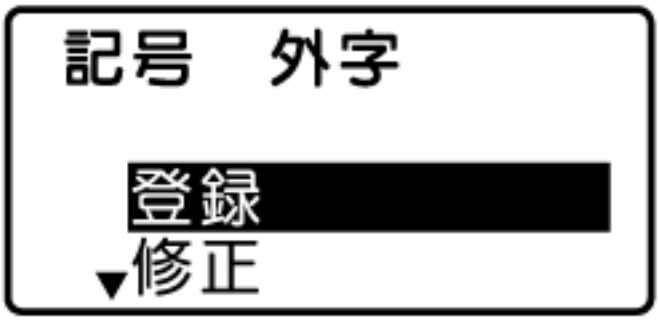
1 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

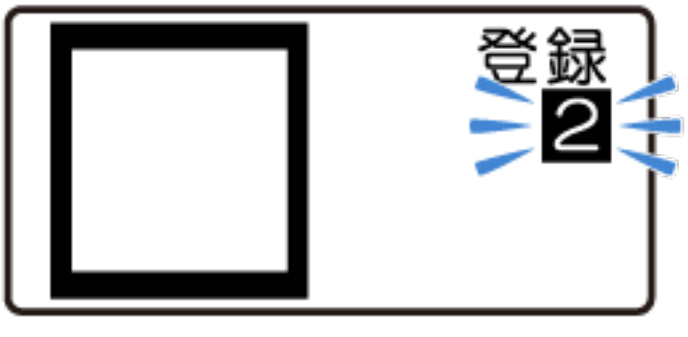
2 「外字」を選び、 選択 改行 を押す



3 「登録」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 16ドットのデータを描画する



シフト と ← ↑ ↓ → で描画します。

参照 「外字について」−「画面表示と描画方法」

6 16ドットの描画が終わったら、 選択 改行 を押す

16ドットのデータをもとに、24・32・48ドットのデータが自動的に拡大作成されます。

7 24・32・48ドットのデータを補正する



手順 5 と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。 選択 改行 を押すと、次のサイズの描画に移ります。

注意

・24～48ドットすべてのデータを補正しないと、きれいに印刷されません。

8 48ドットの描画が終わったら、 選択 改行 を押す

「外字登録完了」と表示されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、 削除 取消 または 記号 を押し、操作を戻します。 ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

注意

・外字作成中にUSBケーブルを挿入すると、作成中の外字は削除され、パソコンリンク状態になります。
・外字作成中にテープを交換すると、作成中の外字は削除されます。

外字を修正する

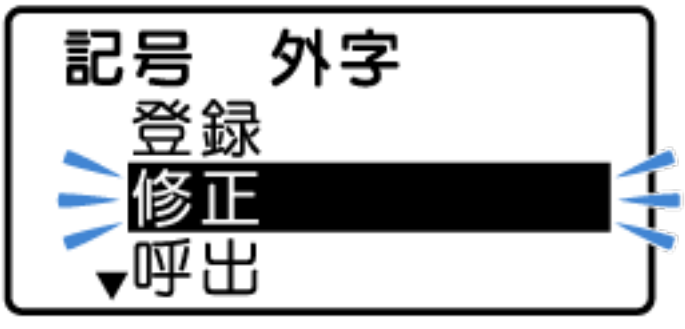
例:外字番号「2」の48ドットデータを修正する

1 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

2 「外字」を選び、 選択改行 を押す

3 「修正」を選び、 選択改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択改行 を押す



16ドットの描画画面が表示されます。

5 48ドットの描画画面が表示されるまで 選択改行 を押す



6 48ドットのデータを修正する

参照 ☞「外字について」−「画面表示と描画方法」

7 選択 改行 を押す

外字が修正されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 記号 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

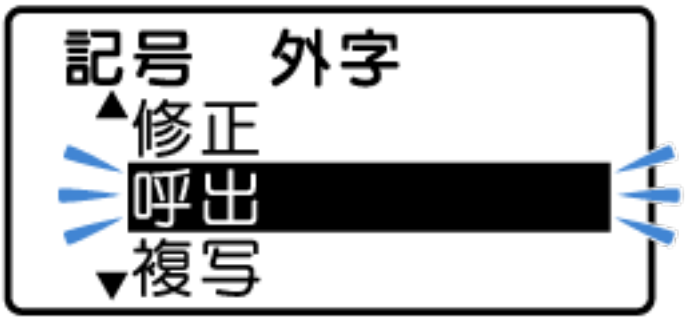
外字を呼び出す

1 記号 を押す

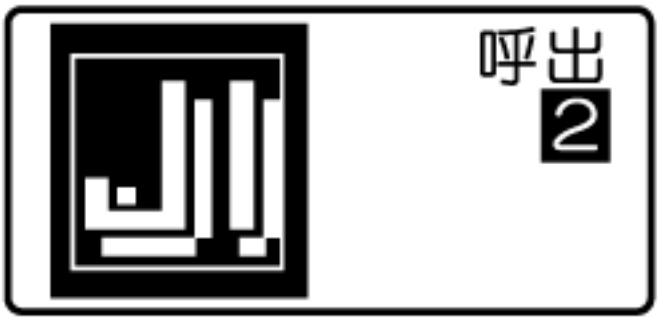
「記号」メニューが表示されます。

2 「外字」を選び、 選択改行 を押す

3 「呼出」を選び、 選択改行 を押す



4 ↑ ↓ で番号を選び、 選択改行 を押す



カーソル位置に外字が入力されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは、削除取消 または 記号 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

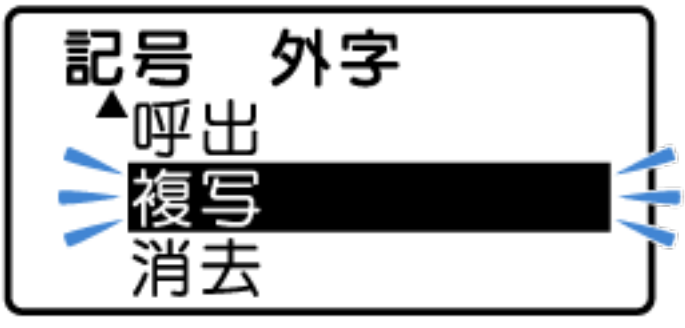
外字を複写する

1 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

2 「外字」を選び、 選択 改行 を押す

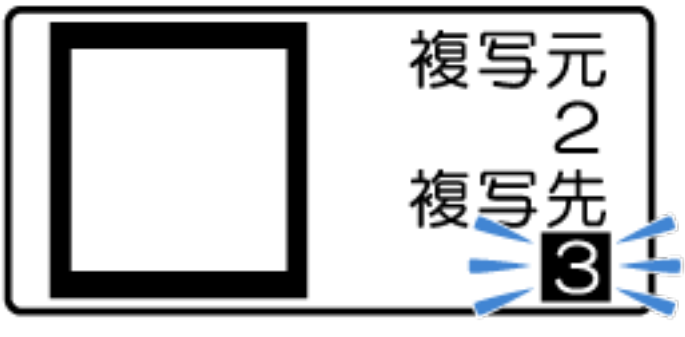
3 「複写」を選び、 選択 改行 を押す



4 ↑ ↓ で複写元の番号を選び、 選択 改行 を押す



5 ↑ ↓ で複写先の番号を選び、 選択 改行 を押す



6 内容を確認し、 選択改行 を押す



外字が複写されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは、削除取消 または 記号 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

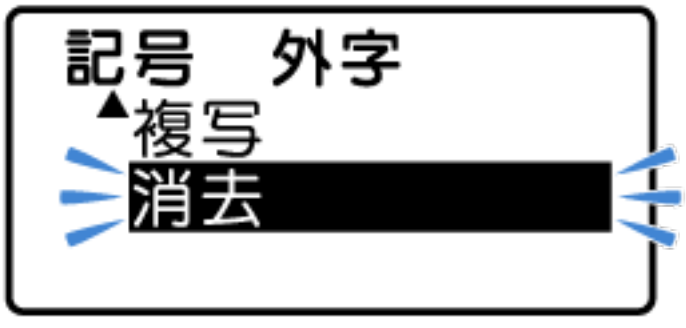
外字を消去する

1 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

2 「外字」を選び、 選択 改行 を押す

3 「消去」を選び、 選択 改行 を押す



4 ▲ ▼ で番号を選び、 選択 改行 を押す



5 内容を確認し、 選択 改行 を押す



外字が消去されます。

注意

・消去した外字は復活できません。消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

MEMO

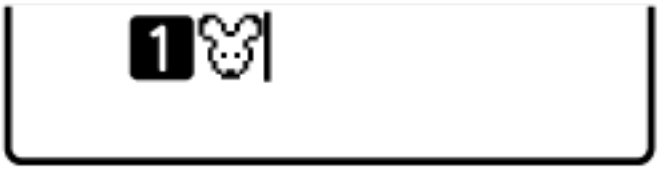
・仮確定文字があるときは操作できません。
・番号は数字ボタンでも選択できます(手順 4)。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 記号 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

外字を参照作成し、登録する

参照登録・参照修正は、本機で入力できる文字や記号のデータから外字を作成します。
・参照登録
テキストの文字(記号)を呼び出し、16ドットを修正します。修正された16ドットの文字(記号)を自動拡大(24→32→48ドット)しながら外字を作成します。
・参照修正
テキストの文字(記号)を呼び出し、16・24・32・48ドットの各サイズでテキストの文字(記号)を呼び出しそれぞれ修正し、外字を作成します。

基本の操作は外字の登録、修正と同じように操作しますが、参照登録・参照修正の場合は、はじめにテキスト画面に参照したい文字(記号)を入力しておきます。
例:「絵文字」の「生き物」の「 」にヒゲをつけて「 」にする

1 参照する文字(記号)を入力し、カーソルをその後ろ(右側)に合わせる



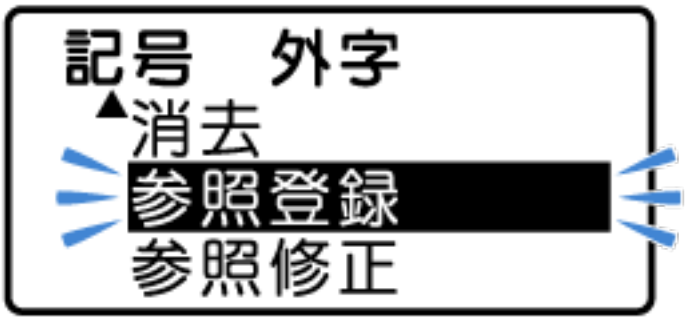
MEMO

・編集記号、半角スペース、外字、イラスト、連番、バーコードは参照できません。
・参照できる文字は、テキスト画面でカーソルの左側にある1文字だけです。

2 記号 を押す
「記号」メニューが表示されます。

3 「外字」を選び、 選択改行 を押す

4 「参照登録」または「参照修正」を選び、 選択改行 を押す



5 ↑ ↓ で番号を選び、選択改行 を押す



6 データを修正する



参照文字が16ドットで表示されるので、これをもとに修正します。

参照 ☞「外字について」−「画面表示と描画方法」

7 16ドットの描画が終わったら、選択改行 を押す

自動的に拡大作成されます。

8 24・32・48ドットのデータを補正する

選択改行 を押すと、次のサイズの描画に移ります。

9 48ドットの描画が終わったら、選択改行 を押す

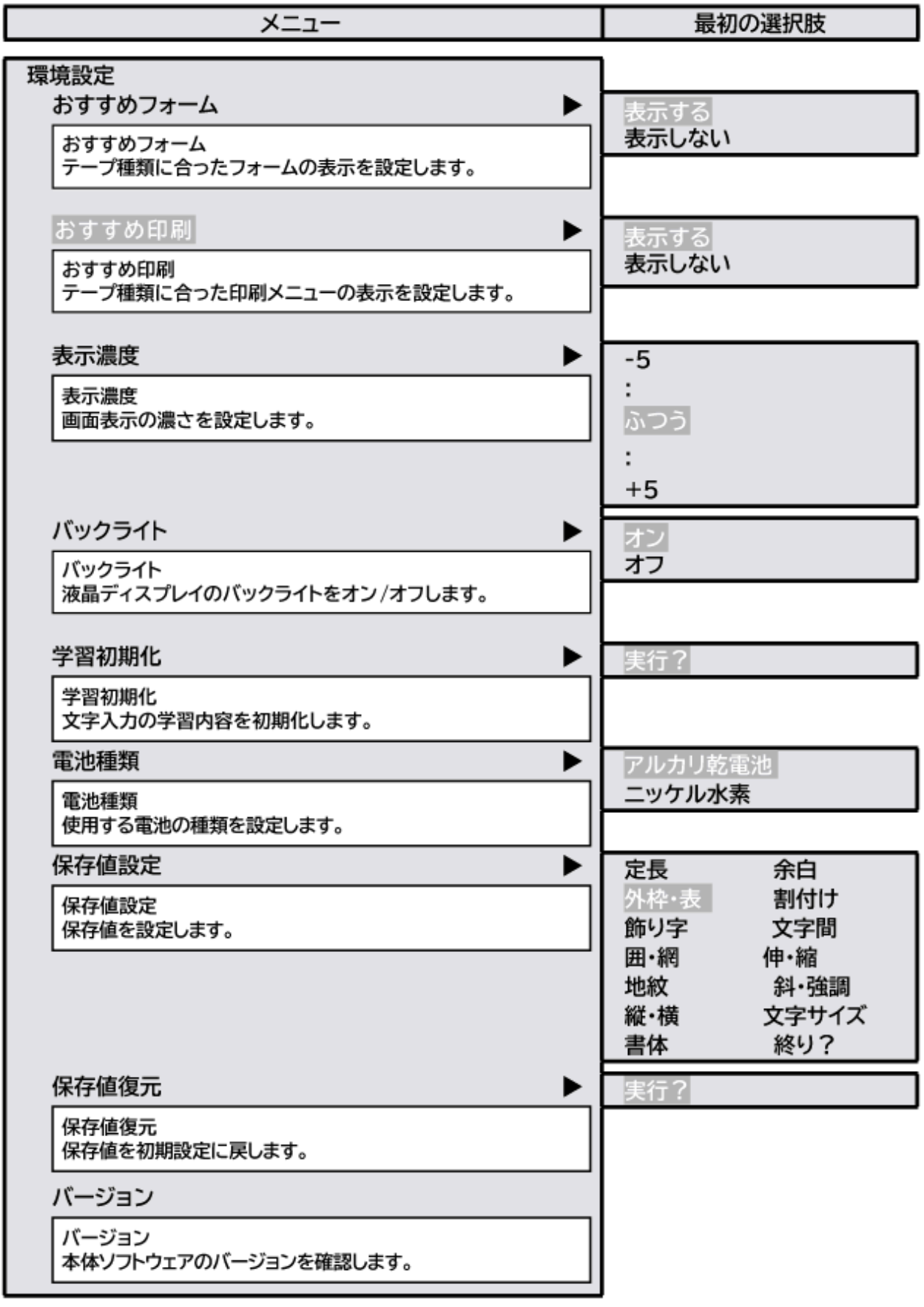
「参照登録完了」と表示されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除取消 または 記号 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・外字データの作成、修正をしているときは、オート・パワーオフ機能ははたらきません。

環境設定メニュー一覧

シフト を押しながら 復活 (＝環境設定)を押すと、画面の表示濃度や機能の保存値の設定を変更できます
(は購入時の初期設定値です)。


メニュー
最初の選択肢
環境設定
おすすめフォーム
おすすめフォーム
テープ種類に合ったフォームの表示を設定します。
表示する
表示しない
おすすめ印刷
おすすめ印刷
テープ種類に合った印刷メニューの表示を設定します。
表示する
表示しない
表示濃度
表示濃度
画面表示の濃さを設定します。
-5
:
ふつう
:
+5
バックライト
バックライト
液晶ディスプレイのバックライトをオン/オフします。
オン
オフ
学習初期化
学習初期化
文字入力の学習内容を初期化します。
実行？
電池種類
電池種類
使用する電池の種類を設定します。
アルカリ乾電池
ニッケル水素
保存値設定
保存値設定
保存値を設定します。
定長
外枠・表
飾り字
囲・網
地紋
縦・横
書体
余白
割付け
文字間
伸・縮
斜・強調
文字サイズ
終り？
保存値復元
保存値復元
保存値を初期設定に戻します。
実行？
バージョン
バージョン
本体ソフトウェアのバージョンを確認します。

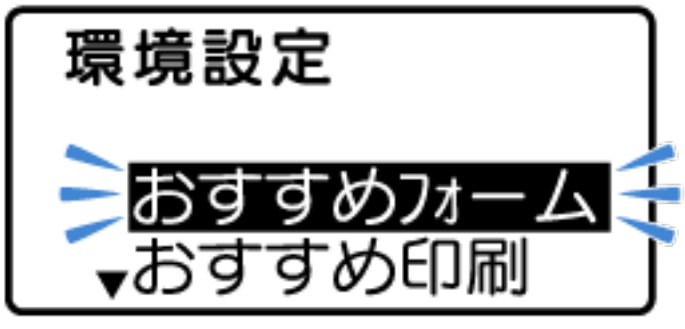
おすすめフォームを設定する

本機では、電源を入れたときやテープカートリッジを入れ換えたときにテープ種類を自動的に識別します。テープに合ったフォームを表示するか、テキスト画面を表示するかを選択することができます。

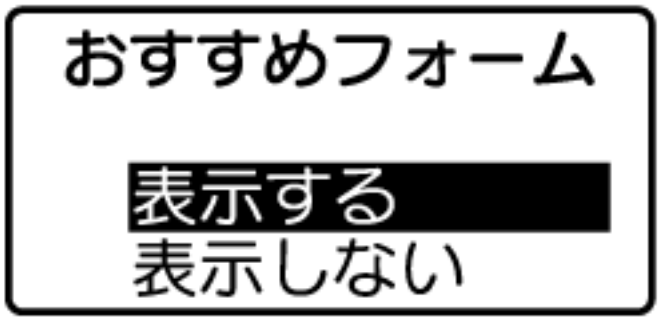
1 シフト を押しながら 復活 （＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「おすすめフォーム」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ で「表示する」を選び、 選択 改行 を押す



テープに合ったフォームを「表示する」に設定されます。

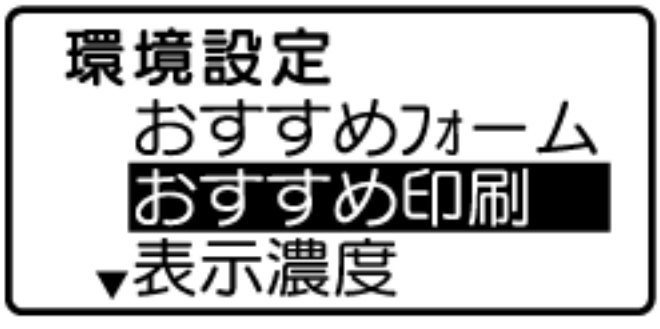
おすすめ印刷を設定する

本機では、印刷 を押したときにテープ種類を自動的に識別します。テープに合った専用の印刷メニューを表示するか、通常の印刷をおこなうかを選択することができます。

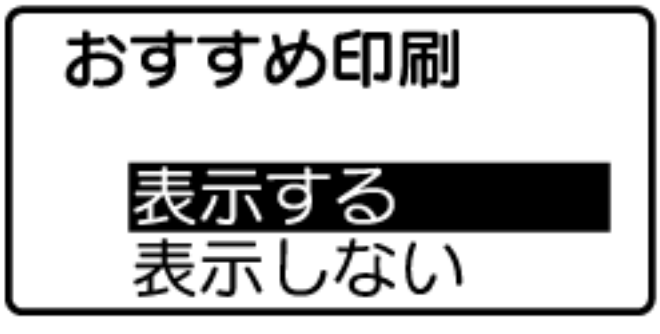
1 シフト を押しながら 復活 （＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「おすすめ印刷」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ で「表示する」を選び、 選択 改行 を押す



テープに合った専用の印刷メニューを「表示する」に設定されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 復活 を押し、操作を戻します。
・おすすめフォームとおすすめ印刷の設定値は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

参照 ☞「本機を初期化する」

ディスプレイの濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は「-5～ふつう～＋5」の11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

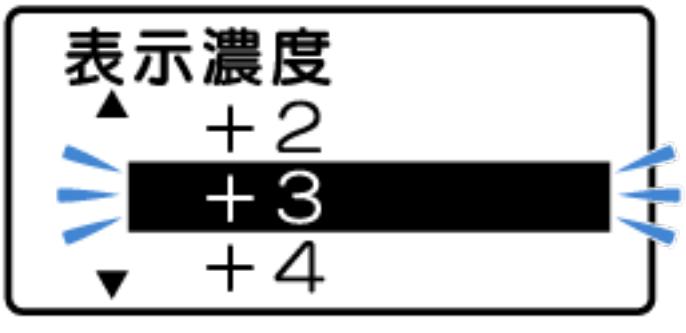
1 シフト を押しながら 復活 （＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「表示濃度」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ で濃度を調整し、 選択 改行 を押す



初期設定値は「ふつう」に設定されています。

表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 復活 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

・表示濃度は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

参照 ☞「本機を初期化する」

バックライトの切り換え

ディスプレイのバックライトはオン/オフできます。バックライトをオンにすると表示が見やすくなりますが、単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池で使用するときなどは、オフにすると電池を節約できます。

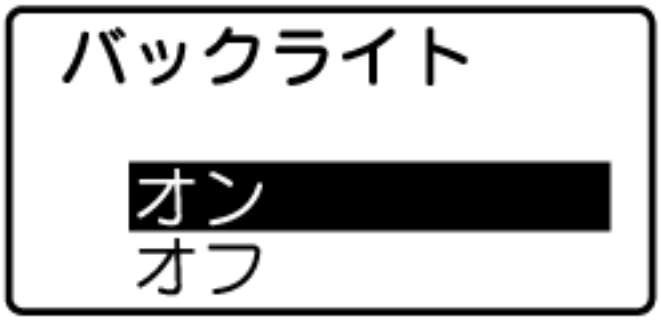
1 シフト を押しながら 復活 (＝環境設定)を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「バックライト」を選び、 選択 改行 を押す



3 ↑ ↓ でオン/オフを選び、 選択 改行 を押す



初期設定値は「オン」に設定されています。

バックライトが設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。

・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 復活 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

・バックライトは、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

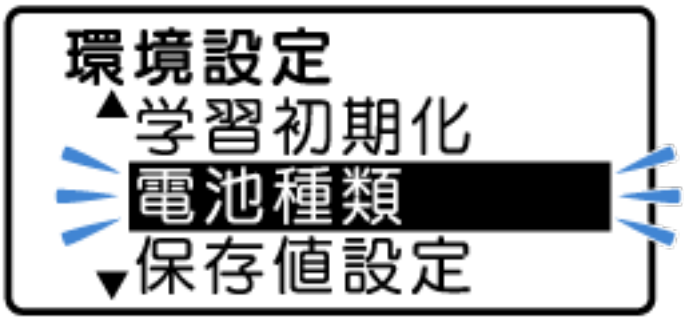
参照 ☞「本機を初期化する」

電池種類を設定する

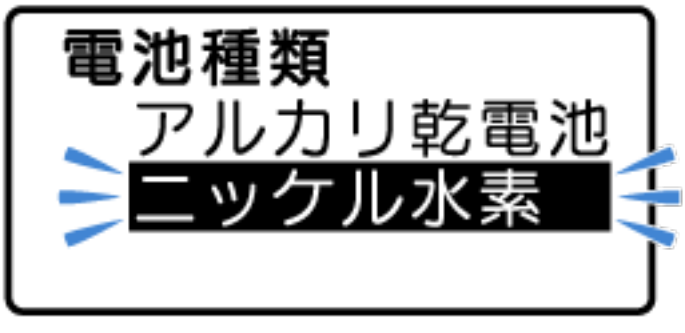
本機では単3形アルカリ乾電池のほかに、充電式ニッケル水素電池(単3形)もご使用いただけます。
充電式ニッケル水素電池(単3形)をご使用になる際には電池種類を「ニッケル水素」に変更してください。

1 シフト を押しながら 復活 (＝環境設定)を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

2 ▲ ▼ で「電池種類」を選び、 選択改行 を押す



3 ▲ ▼ で「ニッケル水素」を選び、 選択改行 を押す



初期設定値は「アルカリ乾電池」に設定されています。
電池種類が設定されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除取消 または 復活 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・再び「アルカリ乾電池」を使用する際には、同じ手順で「アルカリ乾電池」を設定してください。
・電池種類は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照 ☞「本機を初期化する」

注意

・電池種類で設定した電池を使用していないときには、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。
参照 ☞「2. 電池(別売)を入れて使用するときは」

本体ソフトウェアのバージョンを確認する

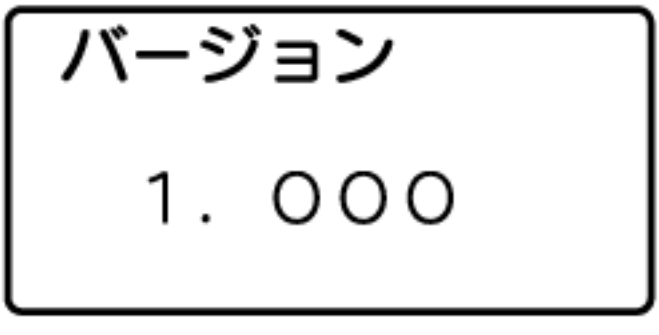
本体ソフトウェアのバージョンを確認することができます。

1 シフト を押しながら 復活 (＝環境設定)を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

2 ▲ ▼ で「バージョン」を選び、 選択 改行 を押す



3 バージョンを確認する



注意

・本機ではテープの種類を正しく認識するために、本体ソフトウェアのバージョンは常に最新にしてください。
https://kingjim.jp/tepra-update/

編集ボタンで指定できる機能

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では 編集 を使って、次のような機能を指定することができます。

ボタン	指定できる機能
編集	定長、余白、外枠・表、割付け、飾り字、文字間、囲・網、伸・縮、地紋、斜・強調、縦・横、文字サイズ、書体

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値(「初期設定値」と呼びます)とは異なる場合、保存値を変更しておくと、文章を作るたびに 編集 で変更する必要がなくなります。
ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておくと、通常(全文消去直後)は「たて書き」のラベルになります。
なお、変更した保存値は、保存値の復元によって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO

・各機能の初期設定値については、下記ページを参照してください。
参照 ☞「編集メニュー一覧」
・編集 で指定した内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻ります。
・ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。
・「余白」の初期設定値は、挿入しているテープ種類によって異なります。
 ・識別シールなしの場合:「極少」
 ・識別シールありの場合:「やや少なめ」
参照 ☞「テープカートリッジを使いわける」−「テープカートリッジのご注意」

注意

・保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。
参照 ☞「すべての文章を消去する」

保存値を変更する

1 シフト を押しながら 削除取消 （＝全消去）を押し、全文消去をおこなう

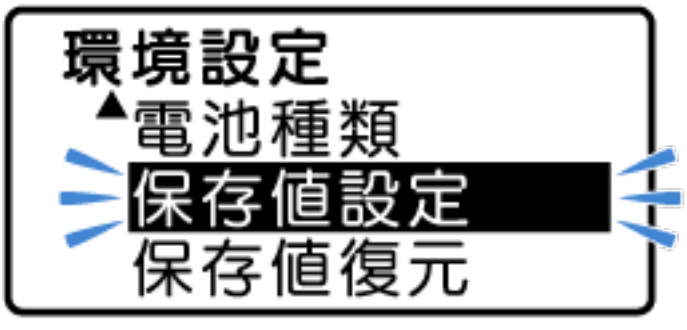
保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照 ☞「すべての文章を消去する」

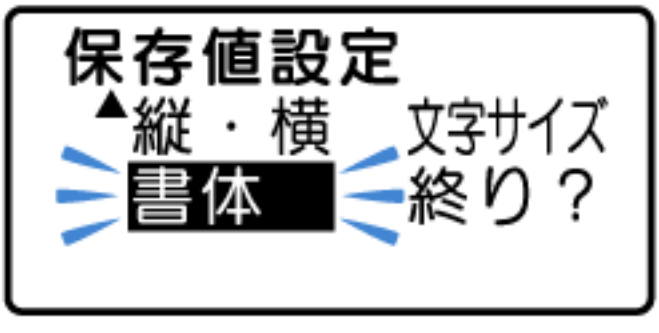
2 シフト を押しながら 復活 （＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

3 「保存値設定」を選び、 選択改行 を押す



4 変更したい項目を選び、 選択改行 を押す



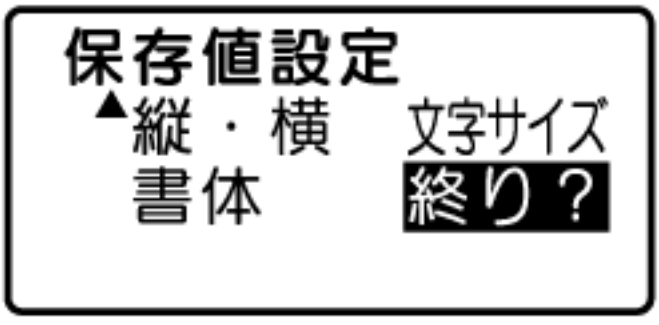
5 保存値に設定したい選択肢を選び、 選択改行 を押す



各項目の設定方法は、通常の編集機能と同じです。

参照 ☞「ラベルの見栄えをよくする（編集）」

6 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「終り？」を選び、 選択改行 を押す



保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、削除取消 または 復活 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 手順 3 で「保存値復元」を選択すると、変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値（初期設定値）に戻します。

本機を初期化する

初期化とは

注意

・本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
・不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、「本機の初期化」をおこなってください。
・初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店に修理を依頼してください。
なお、初期化や、修理、検査をおこなうと、ファイルのデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。
初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

内容＼機能		初期化	学習初期化	保存値復元	全文消去	ビジネスフォームでの全文消去	電源OFF
入力	テキスト画面の文章	●	−	−※1	●	−	−
	コピーした内容	−	−	−	−	−	●
	地紋データ	●	−	−	−	−	−
	ビジネスフォームの文章	●	−	−	−	●	−
	入力状態と小文字ロック	●	−	−	−	−	−
	「みえ²」の設定	●	−	−	−	−	−
データ	ファイルデータ	●	−	−	−	−	−
	あて名データ	●	−	−	−	−	−
	名前データ	●	−	−	−	−	−
	辞書データ	●	−	−	−	−	−
	学習データ	●	●	−	−	−	−
	外字データ	●	−	−	−	−	−
	印刷履歴	●	−	−	−	−	−
設定	「ハーフカット連続」の設定値	●	−	−	−	−	−
	おすすめフォームの設定値	●	−	−	−	−	−
	おすすめ印刷の設定値	●	−	−	−	−	−
	バックライトの設定値	●	−	−	−	−	−
	表示濃度の設定値	●	−	−	−	−	−
	各種の保存値	●	−	●	−	−	−

●：ご購入時の状態に戻ります。
−：保持されます。
※1 初期設定値に戻す「保存値復元」をおこなうときには、全文消去をする必要があります。

MEMO

・「ピッとコード」で印刷されるコードは、初期化をおこなっても、初期設定値に戻すことはできません。
・印刷濃度の設定値、自動カットの設定値は、電源を入れるたびに初期設定値の「おまかせ」に戻ります。
参照 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

初期化する

1 ON/OFF を押して電源を切る

注意

・ON/OFF を押しても電源が切れないときには、ACアダプタを抜いて電池も抜きます。次にもう一度ACアダプタを接続、または電池をセットし、再度 ON/OFF を押して電源を入れます。
以降は手順 1 からの操作で初期化してください。

2 選択/改行 と 削除/取消 を押しながら ON/OFF を押す



「本体を初期化しますか？」が点滅します。

注意

・初期化をやめるときは 選択/改行 以外のボタンを押してください。
・本当に初期化しても大丈夫ですか？
今まで登録したファイル・外字・辞書など、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

3 選択/改行 を押す

「初期化　実行」と表示され、本機の初期化がおこなわれたあと、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

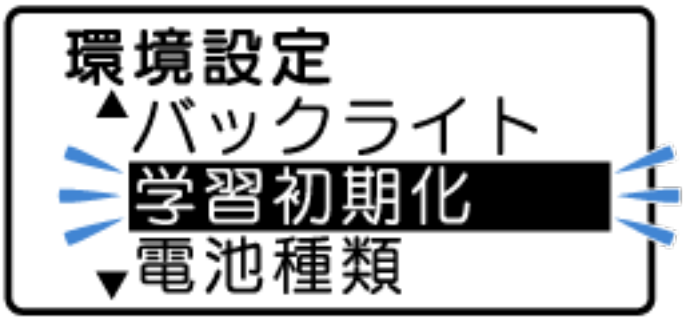
参考：学習内容を初期化する

文字入力のときの予測候補や変換候補の学習内容を初期化します。

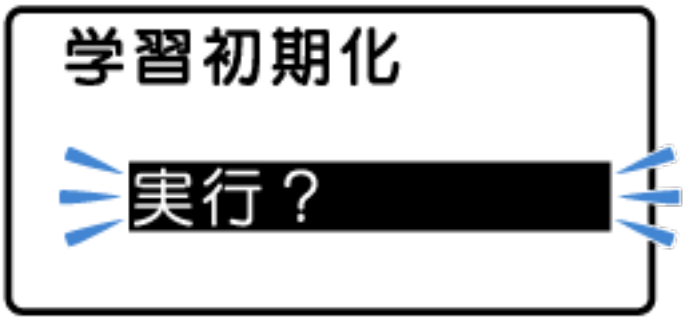
1 シフト を押しながら 復活 （＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

2 ↑ ↓ で「学習初期化」を選び、 選択 改行 を押す



3 選択 改行 を押す



学習内容が初期化されます。

MEMO

・仮確定文字があるときは操作できません。
・操作を途中でやめるときは、削除 取消 または 復活 を押し、操作を戻します。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
・ファイル・印刷履歴・あて名・名前・外字データは「学習初期化」では初期化されません。

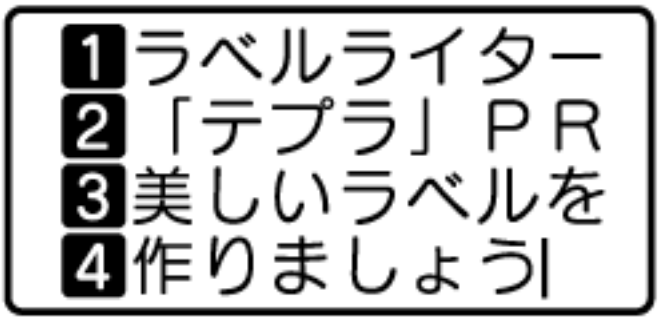
表示の切り換え(みえ^2)

本機では、入力した文章や印刷イメージ、できあがるラベルの長さや幅を確認しながら入力することができます。
シフト を押しながら プレビュー (＝みえ^2)を押すと、ディスプレイの表示が交互に切り換わります。

・<みえ^2>(初期設定値)
入力した文章が2行まで表示されます。おおまかな印刷イメージのほか、ラベルの長さや幅なども表示されます。



・<みえ^0>
入力した文章のみ4行表示されます。多行入力時などに便利です。



注意

・シフト を押しながら プレビュー (＝みえ^2)で表示が切り換わるのは、テキスト画面のときだけです。メニュー画面や漢字変換候補の表示中は切り換わりません。
参照 「テキスト画面の見かた」
・広い幅のテープセット時やテキストによっては、「みえ^2」表示の反応が遅くなることがあります。

MEMO

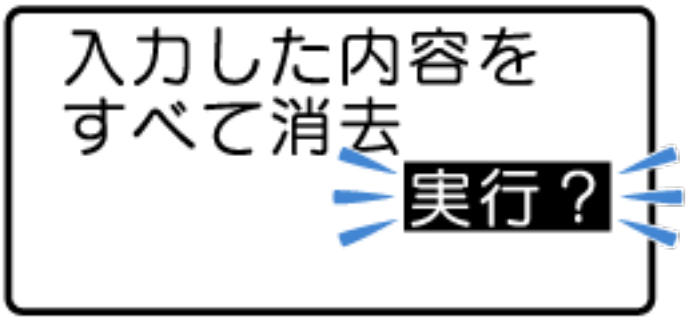
・プレビュー を押すと、ディスプレイ全体に印刷イメージを流れるように表示します。
参照 「プレビュー機能を使う」
・ディスプレイが見えにくいときは、表示濃度を調整することができます。
参照 「ディスプレイの濃度を調整する」

デモ印刷をする

デモ印刷して本機の状態を確認する

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。

1 シフト を押しながら 削除 取消 (＝全消去)を押し、全文消去をおこなう



注意

・デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。
参照 ☞「すべての文章を消去する」

2 「demo」と入力する



参照 ☞「英字を入力する」

3 シフト を押しながら 変換 スペース を押す

デモ印刷がおこなわれます。

注意

・4mm幅テープではデモ印刷できません。
・ご使用中に「故障かな？」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 ☞「アフターサービスについて」

MEMO

・印刷を途中でやめるときは、削除 取消 を押します。

・デモ印刷の印刷内容は、テープ幅により異なります。

見本

6mm 幅テープ



18mm 幅テープ



2026年11月 第1版

テープカートリッジについて

テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

オートカッター使用禁止

テープ種類	設定方法
耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼん	本機では、カット設定で自動カットが「おまかせ」に設定されている場合、印刷後に自動カットがおこなわれません。印刷が終わった後、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm(りぼんの場合は10mm)程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。 参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

ハーフカット禁止

テープ種類	設定方法
耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・転写テープ・りぼん・クラフトラベル	本機では、カット設定でハーフカットが「おまかせ」に設定されている場合、ハーフカットがおこなわれません。 参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

オートトリマー使用禁止

テープ種類	設定方法
耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・りぼん	トリマーにラベルを差し込まないでください。

印刷濃度の調整が必要

テープ種類	設定方法
耐熱ラベル	本機では、印刷設定で印刷濃度が「おまかせ」に設定されている場合、自動的に印刷濃度を「+3」で印刷をおこないます。 参照 ☞「印刷濃度を調整する」
上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・クラフトラベル(白文字)	印刷がカスレた場合、印刷濃度を「+3」に設定して印刷します。 参照 ☞「印刷濃度を調整する」

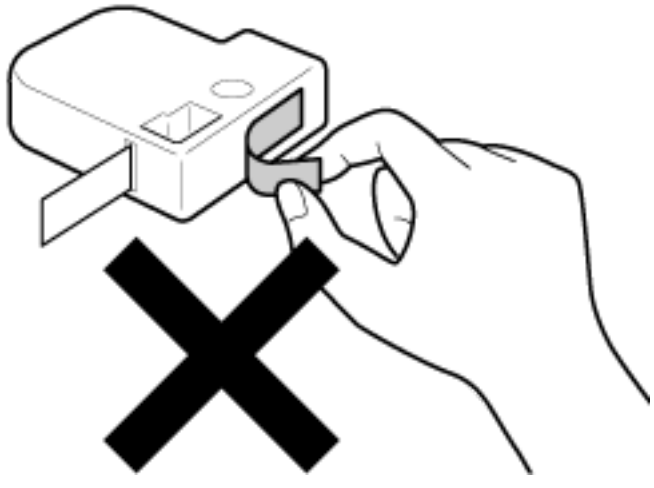
鏡文字の設定が必要

テープ種類	設定方法
アイロン転写テープ	鏡文字を「する」に設定して印刷します。 参照 ☞「鏡文字を印刷する」

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

テープカートリッジのご注意

・テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。
参照 「5. テープ送りをする」
・本機では、テープの種類を認識するため、識別シールを読み取ります。識別シールをはがしたり、識別シールの上に余分なラベルを貼ると、間違って識別されることがあります(一部テープでは識別シールを貼っていません)。



・本体ソフトウェアは常に最新にしてください。「テプラ」本体のソフトウェア情報は当社ホームページでご確認ください。
https://kingjim.jp/tepra-update/

MEMO

・インデックスラベル・ケーブル表示ラベル・備品管理ラベルは、電源を入れたときやテープカートリッジを入れ換えたときに、テープに合ったフォームを表示します。
参照 「おすすめフォームを設定する」
・アイロン転写テープ・りぼんは、印刷 を押したときに、テープに合った専用の印刷メニューを表示します。
参照 「おすすめ印刷を設定する」
・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・りぼんなどは、低速で印刷します。
・アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
・熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。
・マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テプラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。本機の印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字、網掛け、地紋の印刷などには不向きです。
・マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを本機から取りはずしてください。
・カットラベルは本機では使用できません。

PCに接続して使う

本機は、USBケーブルでPCと接続して、PCからラベルのレイアウト編集をおこなうことができます。
※PCとの接続には同梱のUSBケーブルが必要です(USB2.0 Full-speed(A-Cタイプ))。

接続する前に

ラベルソフト/アプリを入手する

PCでお使いになる場合は、下記のラベルソフト/アプリを入手してください。

ラベルソフト/アプリ名	用途	入手方法
「テプラ クリエイター」	Windowsでレイアウトしたラベルを「テプラ」PRO本体で印刷するラベル編集ソフトです。 「テプラ」用プリンタドライバ、「TEPRA Network Config Tool」(ネットワーク設定確認ツール)、WebAPI用通信モジュールを含みます。	当社ホームページからダウンロード(https://kingjim.jp/tepra_creator/)
TEPRA LINK 2	macOSでレイアウトしたラベルを「テプラ」PRO本体で印刷するラベル編集ソフトです。	Mac App Storeから「TEPRA LINK 2」を検索してインストール

ラベルソフト/アプリのインストールおよび、詳しい操作方法については、下記の取扱説明書をご参照ください。
本書では、「テプラ クリエイター」のセットアップ手順を説明しています。

・「テプラ クリエイター」取扱説明書
Windows向けラベルソフト「テプラ クリエイター」の使いかたを説明しています。
https://kingjim.jp/tepra_creator_manual/

・「TEPRA LINK 2」取扱説明書
macOS向けアプリ「TEPRA LINK 2」の使いかたを説明しています。
https://kingjim.jp/tepra_link2_manual/

注意

・プリンタドライバのインストールが完了するまで「テプラ」PRO本体をPCに接続しないでください。
・ラベルソフトは本製品に同梱しておりません。当社ホームページ（https://kingjim.jp/tepra_creator/）からダウンロードいただけます。
・プリンタドライバをインストールしていない状態で「テプラ」PRO本体をPCに接続して電源を入れると、[新しいハードウェアの追加]画面が表示される場合があります。すぐに[キャンセル]をクリックし、PCから「テプラ」PRO本体をはずしてください。
・本項目は、「テプラ クリエイター」とプリンタドライバのインストールについて説明する内容になっており、WindowsやPCの操作については詳しく説明しておりません。また、WindowsやPCについて、最低限の操作（マウス操作やファイルの扱いなど）を習得されていることを前提にしておりますので、必要な場合はWindowsやPCの説明書をお読みください。
・本プログラムをご使用になったうえでの故障や不具合、データ損失などにつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
・1台のPCに同じ機種の「テプラ」PRO本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2台目以降のプリンタドライバは、接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
・複数ユーザーで使用する場合はインストール後、一度ログオフしてから「別ユーザー」としてご使用ください。
・インストールの際は、ウイルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。ラベルソフトが正常にインストールされない場合があります。

PCと「テプラ」本体を接続する

本機をPCと接続して使用する場合は、以下の手順で、パソコンリンク状態に切り換えて使用してください。
※PCとの接続には同梱のUSBケーブルが必要です(USB2.0 Full-speed(A-Cタイプ))。

1 本機にACアダプタを接続、または電池(別売)を入れる

2 本機にUSBケーブルを接続する

3 PCにUSBケーブルを接続する

MEMO

・USBコネクタの形状と向きを確認してから接続してください。



Type-A コネクタ
パソコンの USB コネクタに差込んでください。



Type-C コネクタ
本機の USB コネクタに差込んでください。

・1台のPCに同じ機種の「テプラ」PRO本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2台目以降のプリンタドライバは、接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。

4 本機にテープカートリッジをセットする

5 本機の ON/OFF を押し、電源を入れる



USBケーブルを本機に接続した状態で、ON/OFF を押すと、パソコンリンク状態に切り換わります。
パソコンリンク状態を解除したい場合は、USBケーブルを本機からはずしてください。

以降、「テプラ クリエイター」の使用方法についての詳細は、当社ホームページ(https://www.kingjim.co.jp/)をご覧ください。

注意

・PCにプリンタドライバをインストールしていない状態で本機をPCに接続して電源を入れると、[新しいハードウェアの追加]画面が表示される場合があります。すぐに[キャンセル]をクリックしPCから本機をはずして、必ずプリンタドライバをインストールしてからご使用ください。
・1台のPCに同じ機種の「テプラ」本体をUSBケーブルで複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
・USBハブを使用した場合の動作については、保証できません。

入力文字一覧表

入力文字表

「大」は シフト を押していない状態、「小」は シフト を押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かなめくり		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
1	1	!	1	!	1	!	1	!
2	2	@	2	@	2	@	2	@
3	3	?	3	?	3	?	3	?
4	4	¥	4	¥	4	¥	4	¥
5	5	;	5	;	5	;	5	;
6	6	'	6	'	6	'	6	'
7	7	／	7	／	7	／	7	／
8	8	・	8	・	8	・	8	・
9	9	(	9	(	9	(	9	(
0	0	)	0	)	0	)	0	)
ー	ー	＿	ー	＿	-	＿	-	-
Q	Q	q	※1		Q	q	Q	q
W	W	w			W	w	W	w
E	E	e			E	e	E	e
R	R	r			R	r	R	r
T	T	t			T	t	T	t
Y	Y	y			Y	y	Y	y
U	U	u			U	u	U	u
I	I	i			I	i	I	i
O	O	o			O	o	O	o
P	P	p			P	p	P	p

ボタン	ローマ字		かなめくり		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
A	A	a			A	a	A	a
S	S	s			S	s	S	s
D	D	d			D	d	D	d
F	F	f			F	f	F	f
G	G	g			G	g	G	g
H	H	h			H	h	H	h
J	J	j			J	j	J	j
K	K	k			K	k	K	k
L	L	l	※1		L	l	L	l
Z	Z	z			Z	z	Z	z
X	X	x			X	x	X	x
C	C	c			C	c	C	c
V	V	v			V	v	V	v
B	B	b			B	b	B	b
N	N	n			N	n	N	n
M	M	m			M	m	M	m
、	、	,	、	,	,	,	,	,
。	。	.	。	.	.	.	.	.

・「ABC(半角)」はQRコード入力時のみ有効です。
・※1については、下記ページを参照してください。
参照 「入力文字表(かなめくり入力)」

入力文字表(かなめくり入力)

ボタン	押す回数									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Q (あ)	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
W (か)	か	き	く	け	こ	ゕ	ゖ			
E (さ)	さ	し	す	せ	そ					
R (た)	た	ち	つ	て	と	っ				
T (な)	な	に	ぬ	ね	の					
Y (は)	は	ひ	ふ	へ	ほ					
U (ま)	ま	み	む	め	も					
I (や)	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ				
O (ら)	ら	り	る	れ	ろ					
P (わ)	わ	を	ん	ゐ	ゑ	ゎ				
L (゛ ゜)	゛	゜								

・目的の文字を通り過ぎたときは シフト を押しながら文字ボタンを押すことで前の文字に戻すことができます(リバース機能)。

・L゛゜ は、直前がか行、さ行、た行、は行の仮確定文字の場合に、濁点、半濁点が入力できます。

ローマ字・漢字変換表

ローマ字変換表

あ	あ A	い I YI	う U WU	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA	い YI I	ゆ YU	いぇ YE	よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA		う WU U		を WO
ん	ん N＋(Y以外の子音) (例) N＋N→ん　N＋P→んP				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	きゃ KYA	きぃ KYI	きゅ KYU	きぇ KYE	きょ KYO
しゃ	しゃ SYA SHA	しぃ SYI	しゅ SYU SHU	しぇ SYE SHE	しょ SYO SHO
ちゃ	ちゃ TYA CHA CYA	ちぃ TYI CYI	ちゅ TYU CHU CYU	ちぇ TYE CHE CYE	ちょ TYO CHO CYO
てゃ	てゃ THA	てぃ THI	てゅ THU	てぇ THE	てょ THO
にゃ	にゃ NYA	にぃ NYI	にゅ NYU	にぇ NYE	にょ NYO

ひゃ	ひゃ HYA	ひぃ HYI	ひゅ HYU	ひぇ HYE	ひょ HYO
みゃ	みゃ MYA	みぃ MYI	みゅ MYU	みぇ MYE	みょ MYO
りゃ	りゃ RYA	りぃ RYI	りゅ RYU	りぇ RYE	りょ RYO
ぎゃ	ぎゃ GYA	ぎぃ GYI	ぎゅ GYU	ぎぇ GYE	ぎょ GYO
じゃ	じゃ ZYA JA JYA	じぃ ZYI JYI	じゅ ZYU JU JYU	じぇ ZYE JE JYE	じょ ZYO JO JYO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢぃ DYI	ぢゅ DYU	ぢぇ DYE	ぢょ DYO
びゃ	びゃ BYA	びぃ BYI	びゅ BYU	びぇ BYE	びょ BYO
ぴゃ	ぴゃ PYA	ぴぃ PYI	ぴゅ PYU	ぴぇ PYE	ぴょ PYO
つぁ	つぁ TSA	つぃ TSI		つぇ TSE	つぉ TSO
でゃ	でゃ DHA	でぃ DHI	でゅ DHU	でぇ DHE	でょ DHO
ふぁ	ふぁ FA	ふぃ FI FYI		ふぇ FE FYE	ふぉ FO
ふゃ	ふゃ FYA	ふぃ FYI FI	ふゅ FYU	ふぇ FYE FE	ふょ FYO
ゔぁ	ゔぁ VA	ゔぃ VI	ゔ VU	ゔぇ VE	ゔぉ VO
小書き文字 あ	ぁ LA XA	ぃ LI XI LYI XYI	ぅ LU XU	ぇ LE XE LYE XYE	ぉ LO XO
小書き文字 か	か LKA XKA			け LKE XKE	
小書き文字 つ			っ LTU XTU		
	同一の子音＋子音＝っ＋子音 (N以外有効)				
小書き文字 や	や LYA XYA		ゆ LYU XYU		よ LYO XYO
小書き文字 わ	わ LWA XWA				

漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照 ☞「読みのわからない漢字を入力する」

注意

・漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。
・表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS第1水準

*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1601~1609		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610~1619	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620~1629	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630~1639	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640~1641	鞍	杏								
イ	1642~1649			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	1650~1659	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660~1669	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670~1679	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680~1689	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690~1694	引	飲	淫	胤	蔭					
ウ	1701~1705		院	陰	隠	韻	吋				
	1706~1709							右	宇	烏	羽
	1710~1719	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720~1729	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730~1732	云	運	雲							
エ	1733~1739				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	1740~1749	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750~1759	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760~1769	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770~1779	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780~1786	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
オ	1787~1789								於	汚	甥
	1790~1794	凹	央	奥	往	応					
	1801~1809		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	1810~1819	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820~1827	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
カ	1828~1829									下	化
	1830~1839	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840~1849	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	1850~1859	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860~1869	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870~1879	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880~1889	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890~1894	恢	懐	戒	拐	改					
	1901~1909		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910~1919	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920~1929	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930~1939	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940~1949	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950~1959	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ	1960~1969	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970~1979	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980~1989	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	1990~1994	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2001~2009		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010~2019	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020~2029	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030~2039	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040~2049	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050~2059	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060~2069	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070~2074	贋	雁	頑	顔	願					
キ	2075~2079						企	伎	危	喜	器
	2080~2089	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090~2094	旗	既	期	棋	棄					
	2101~2109		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110~2119	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120~2129	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	2130~2139	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140~2149	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150~2159	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160~2169	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170~2179	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180~2189	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190~2194	禦	魚	亨	享	京					
	2201~2209		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210~2219	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220~2229	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	2230~2239	蔵	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240~2249	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250~2259	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260~2268	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
ク	2269										九
	2270~2279	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280~2289	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290~2294	串	櫛	釧	屑	屈					
	2301~2309		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310~2319	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡									
ケ	2321~2329		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	2330~2339	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ケ	2340~2349	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	2350~2359	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360~2369	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370~2379	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380~2389	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390~2394	建	憲	懸	拳	捲					
	2401~2409		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	2410~2419	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420~2429	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430~2434	絃	舷	言	諺	限					
コ	2435~2439						乎	個	古	呼	固
	2440~2449	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450~2459	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460~2469	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470~2479	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480~2489	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490~2494	効	勾	厚	口	向					
	2501~2509		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510~2519	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520~2529	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530~2539	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540~2549	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550~2559	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560~2569	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570~2579	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580~2589	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590~2594	忽	惚	骨	狛	込					
	2601~2609		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610~2618	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
サ	2619										些
	2620~2629	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630~2639	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640~2649	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650~2659	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	2660~2669	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670~2679	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680~2689	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690~2694	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2701~2709		察	挿	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710~2719	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720~2729	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	2730~2736	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
シ	2737~2739								仕	仔	伺
	2740~2749	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750~2759	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760~2769	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770~2779	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780~2789	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790~2794	字	寺	慈	持	時					
	2801~2809		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810~2819	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鳴	竺
	2820~2829	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830~2839	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840~2849	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	2850~2859	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860~2869	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870~2879	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880~2889	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890~2894	綬	需	囚	収	周					
	2901~2909		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910~2919	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920~2929	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930~2939	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2940~2949	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950~2959	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960~2969	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970~2979	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980~2989	署	書	署	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990~2994	恕	鋤	除	傷	償					
	3001~3009		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010~3019	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020~3029	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030~3039	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040~3049	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050~3059	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060~3069	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070~3079	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080~3089	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090~3094	醸	錠	嘱	埴	飾					
	3101~3109		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110~3119	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120~3129	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	3130~3139	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	3140~3149	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	3150~3157	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
ス	3158~3159									笥	諏
	3160~3169	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170~3179	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180~3189	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190~3194	椙	菅	頗	雀	裾					
	3201~3203		澄	摺	寸						
セ	3204~3209					世	瀬	畝	是	凄	制
	3210~3219	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220~3229	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230~3239	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240~3249	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250~3259	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260~3269	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	3270~3279	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280~3289	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290~3294	煽	旋	穿	箭	線					
	3301~3309		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践
	3310~3319	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320~3324	全	禅	繕	膳	糎					
ソ	3325~3329						噌	塑	岨	措	曾
	3330~3339	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340~3349	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	3350~3359	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360~3369	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370~3379	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380~3389	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390~3394	霜	騒	像	増	憎					
	3401~3409		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	3410~3419	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420~3429	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
タ	3430~3439	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440~3449	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450~3459	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460~3469	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470~3479	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480~3489	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490~3494	諾	茸	凧	蛸	只					
	3501~3509		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
タ	3510~3519	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520~3529	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530~3539	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540~3544	暖	檀	段	男	談					
チ	3545~3549					値	知	地	弛	恥	
	3550~3559	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560~3569	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	3570~3579	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580~3589	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590~3594	丁	兆	凋	喋	寵					
	3601~3609		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	3610~3619	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620~3629	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630~3636	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
ツ	3637~3639								津	墜	椎
	3640~3649	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3650~3659	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺
	3660~3665	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
テ	3666~3669							亭	低	停	偵
	3670~3679	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680~3689	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690~3694	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3701~3709		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710~3719	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720~3729	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730~3737	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
ト	3738~3739									兎	吐
	3740~3749	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750~3759	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760~3769	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770~3779	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780~3789	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790~3794	答	筒	糖	統	到					
	3801~3809		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810~3819	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820~3829	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3830~3839	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840~3849	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	3850~3859	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860~3863	頓	呑	曇	鈍						
ナ	3864~3869					奈	那	内	乍	凪	薙
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ナ	3870～3879	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880～3882	軟	難	汝							
ニ	3883～3889				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	3890～3894	虹	廿	日	乳	入					
	3901～3907		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ヌ	3908									濡	
ネ	3909										禰
	3910～3919	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘									
ノ	3921～3929		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	3930～3934	脳	膿	農	覗	蚤					
ハ	3935～3939						巴	把	播	覇	杷
	3940～3949	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950～3959	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960～3969	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970～3979	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980～3989	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990～3994	爆	縛	莫	駁	麦					
	4001～4009		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010～4019	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	4020～4029	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030～4039	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040～4049	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050～4058	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ヒ	4059										匪
	4060～4069	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070～4079	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080～4089	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090～4094	枇	毘	琵	眉	美					
	4101～4109		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110～4119	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120～4129	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130～4139	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140～4149	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150～4151	敏	瓶								
フ	4152～4159			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	4160～4169	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170～4179	膚	美	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180～4189	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190～4194	伏	副	復	幅	服					
	4201～4209		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
フ	4210～4219	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220～4225	粉	糞	紛	雰	文	聞				
ヘ	4226～4229							丙	併	兵	塀
	4230～4239	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240～4249	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	4250～4259	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭									
ホ	4261～4269		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	4270～4279	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280～4289	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290～4294	抱	捧	放	方	朋					
	4301～4309		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310～4319	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320～4329	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330～4339	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340～4349	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350～4359	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360～4363	本	翻	凡	盆						
マ	4364～4369					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370～4379	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380～4389	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390～4394	繭	麿	万	慢	満					
	4401～4402		漫	蔓							
ミ	4403～4409				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	4410～4418	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
ム	4419										務
	4420～4428	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
メ	4429										冥
	4430～4439	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	4440～4445	免	棉	綿	緬	面	麺				
モ	4446～4449							摸	模	茂	妄
	4450～4459	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	4460～4469	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	4470～4472	紋	門	匁							
ヤ	4473～4479				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480～4489	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓									
ユ	4491～4494		愉	愈	油	癒					
	4501～4509		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4510～4519	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520～4528	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ヨ	4529										予
	4530～4539	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540～4549	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4550～4559	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560～4568	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ラ	4569										羅
	4570～4579	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580～4587	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
リ	4588～4589									利	吏
	4590～4594	履	李	梨	理	璃					
	4601～4609		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610～4619	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	4620～4629	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	4630～4639	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640～4649	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650～4659	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ル	4660～4664	瑠	塁	涙	累	類					
レ	4665～4669						令	伶	例	冷	励
	4670～4679	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680～4689	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	4690～4694	漣	煉	簾	練	聯					
	4701～4703		蓮	連	錬						
ロ	4704～4709					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	4710～4719	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	4720～4729	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	4730～4732	肋	録	論							
ワ	4733～4739				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	4740～4749	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	4750～4751	碗	腕								
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

JIS第2水準

文字上の2桁の数字は点コードを表わします。従って「丼」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4801～4809		弋	弓	丕	个	卯	丶	并	丿	乂
4810～4819	乖	乘	亂	亅	豫	事	舒	弍	于	亞
4820～4829	亟	亠	亢	京	亳	亶	从	仍	仄	仆
4830～4839	仂	仗	仞	伃	仟	价	伉	佚	估	佛
4840～4849	佝	佗	佇	佶	侈	侏	佩	佻	侃	侑
4850～4859	佰	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
4860～4869	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
4870～4879	倅	伶	倏	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
4880～4889	偃	假	會	偕	偐	偈	做	俸	俺	偸
4890～4894	傀	傚	傅	傴	傲					
4901～4909		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
4910～4919	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
4920～4929	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
4930～4939	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	冏	册	冉
4940～4949	冏	冑	冓	冕	冫	冤	冠	冢	冩	冪
4950～4959	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
4960～4969	几	處	凩	凭	凰	凵	函	刋	刊	刑
4970～4979	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
4980～4989	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
4990～4994	劒	劔	勞	勠	勱					
5001～5009		勰	勿	勖	勘	募	勦	勧	勗	勞
5010～5019	勣	勳	勩	勰	勳	勵	勸	勹	匆	匈
5020～5029	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
5030～5039	匸	區	卆	卅	卋	卉	卍	準	卞	卩
5040～5049	卮	卯	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
5050～5059	厰	厶	參	篡	雙	叟	曼	燮	叮	叨
5060～5069	叭	叺	吁	吋	呀	听	吭	吼	吮	吶
5070～5079	吩	吝	呎	咏	呵	咎	咳	呱	呷	咢
5080～5089	咒	呻	咀	噉	咄	咐	咆	哇	唪	咸
5090～5094	啀	唆	哄	哈	咨					
5101～5109		咫	哂	咤	唗	哿	昕	哥	哦	唏
5110～5119	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	唯	唧	唪
5120～5129	售	啜	啅	唼	唫	唸	唳	唧	喙	喀
5130～5139	喀	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
5140～5149	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嘖
5150～5159	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嘯	噎	嚊	嘗
5160～5169	嚊	嚙	嚮	嚔	噫	噤	噸	噎	噪	噴
5170～5179	噂	噪	噭	噓	噓	噺	噂	噯	嚴	嚢
5180～5189	噂	噺	噺	噂	囈	囘	囑	囑	口	囘
5190～5194	圀	圀	圃	圀	圉					
5201～5209		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圠

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5210～5219	圷	圳	坎	圻	址	坏	坩	垂	垈	坡
5220～5229	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垉	埃	埒
5230～5239	埔	埒	埒	埜	垉	埣	堋	堙	堝	塲
5240～5249	堡	塢	塋	塹	毀	塒	堲	塹	墅	墹
5250～5259	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
5260～5269	壚	壙	壘	壟	壜	壤	壟	壯	壺	壹
5270～5279	壻	壺	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5280～5289	夭	本	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
5290～5294	奢	奠	奧	奬	奩					
5301～5309		奸	妁	妝	佞	佞	妣	妲	姆	姨
5310～5319	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
5320～5329	婀	娙	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
5330～5339	嫋	嫂	媽	嫣	媛	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
5340～5349	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
5350～5359	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
5360～5369	學	孺	孱	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
5370～5379	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5380～5389	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
5390～5394	尹	屁	屆	屎	屓					
5401～5409		屐	屏	孱	屬	屮	山	岑	屹	峩
5410～5419	峯	岱	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
5420～5429	嵐	峙	峩	峽	峺	峭	嵎	嵋	嵒	嵓
5430～5439	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
5440～5449	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嶁	嶄	嶇	嶂
5450～5459	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶸	嵺	嶷	嶼	嶺
5460～5469	嶽	嶷	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
5470～5479	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5480～5489	幟	幢	幣	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
5490～5494	廁	廂	廈	廐	廏					
5501～5509		廖	廣	廝	廚	廬	廢	廡	廨	廩
5510～5519	廬	廱	廳	廱	廴	廸	廾	弃	弉	彝
5520～5529	彜	弋	弍	弓	弩	弭	弸	弼	弾	彌
5530～5539	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
5540～5549	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
5550～5559	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
5560～5569	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
5570～5579	怕	怫	怦	怏	悀	恚	恁	恪	恣	悁
5580～5589	協	恆	恍	恣	恃	悳	悀	恬	悌	恙
5590～5594	悁	悍	悸	悃	悚					
5601～5609		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
5610～5619	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5620～5629	愆	惶	憃	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
5630～5639	愍	愎	慝	愾	慥	愧	愊	愿	愼	愬
5640～5649	愴	愽	慇	慊	慳	慷	慘	慙	慚	慫
5650～5659	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	慇	慱
5660～5669	慝	慷	憔	憚	慾	慍	憫	憮	憺	懊
5670～5679	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懽	懦
5680～5689	懣	戁	戇	戲	戮	戛	戞	戡	戀	戈
5690～5694	戉	戍	戌	戔	戛					
5701～5709		憂	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
5710～5719	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
5720～5729	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	挙	拿
5730～5739	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
5740～5749	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拾	捐	挾
5750～5759	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
5760～5769	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
5770～5779	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5780～5789	攝	搗	搨	搏	撃	摯	搏	撄	攪	撕
5790～5794	撓	撥	撩	撈	撼					
5801～5809		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	攪	擧
5810～5819	擧	擠	擣	抬	擯	擯	攪	擯	攫	擲
5820～5829	攫	攀	攆	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
5830～5839	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
5840～5849	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
5850～5859	斷	旆	旆	旁	旄	旌	旋	旆	旙	无
5860～5869	旡	早	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
5870～5879	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5880～5889	晟	晢	晰	暴	暈	暎	暉	暄	暘	暝
5890～5894	曖	暹	曉	暾	曆					
5901～5909		曄	曠	曖	曚	曦	曩	曦	曩	曰
5910～5919	曳	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
5920～5929	朶	杁	枋	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
5930～5939	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
5940～5949	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
5950～5959	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
5960～5969	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
5970～5979	梟	梧	梭	梔	條	梛	梃	檮	栞	桴
5980～5989	梵	梠	梹	椏	椄	梯	椁	棊	椈	棘
5990～5994	椢	棔	棡	椌	棍					
6001～6009		棔	棧	椋	椶	椒	椄	棗	棣	椥
6010～6019	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椋	椥	棆	榲
6020～6029	楷	椷	楸	楫	楔	楾	楮	楹	楴	橡
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6030～6039	橸	榔	榆	楞	楝	椄	楪	楹	榮	槐
6040～6049	榿	槁	槓	榠	槎	槊	槳	槝	榻	槃
6050～6059	榼	槞	樽	榠	榜	榕	榴	槞	榔	樂
6060～6069	樛	槤	權	槔	槲	槧	樅	槭	樞	槭
6070～6079	樔	槫	樊	榕	檯	様	樓	橄	樌	檣
6080～6089	橄	橸	橾	橢	橙	橦	橈	樸	檎	檐
6090～6094	檍	檠	檄	檢	檣					
6101～6109		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫺
6110～6119	櫑	櫟	櫟	櫚	櫪	櫻	欅	蘗	櫨	櫟
6120～6129	欟	欝	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
6130～6139	歉	歐	欬	歔	欲	歟	歡	歸	歹	歿
6140～6149	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
6150～6159	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
6160～6169	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
6170～6179	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
6180～6189	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
6190～6194	泅	泝	沮	沱	沾					
6201～6209		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	湓
6210～6219	洽	洗	洙	洵	浹	洒	浿	浣	涓	淇
6220～6229	淩	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
6230～6239	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
6240～6249	淅	淺	淙	淤	淶	淪	淮	渭	湮	渮
6250～6259	渙	湲	湟	渾	渣	湫	溘	溙	湍	湞
6260～6269	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
6270～6279	滉	溷	滓	洧	溯	滄	溲	滔	滕	溏
6280～6289	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
6290～6294	滲	漱	滯	漲	滌					
6301～6309		漾	漓	滷	澆	潺	濟	濬	濯	澍
6310～6319	潛	潛	潭	澱	潼	潘	澎	澑	濂	潦
6320～6329	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
6330～6339	瀾	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	濺
6340～6349	瀏	濾	瀛	瀚	瀟	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
6350～6359	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	炯	炬	炸	炳
6360～6369	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
6370～6379	熙	煕	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
6380～6389	燁	燹	燔	燬	燹	燻	燒	燉	燔	燎
6390～9394	燠	燬	燧	燵	燼					
6401～6409		賢	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
6410～6419	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
6420～6429	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
6430～6439	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6440～6449	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
6450～6459	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獣	獲	獻
6460～6469	玀	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
6470～6479	琅	琴	琥	琣	琲	琺	瑕	瑾	瑟	瑙
6480～6489	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
6490～6494	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
6501～6509		甑	瓣	疋	疋	瓮	甌	甌	甌	甌
6510～6519	瓷	甄	甕	甌	甌	甎	甍	甕	甕	甦
6520～6529	甦	甬	甼	畄	畊	畔	畉	畛	畝	畚
6530～6539	畉	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
6540～6549	畳	畾	畳	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
6550～6559	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
6560～6569	痣	痞	痾	痿	痼	痺	痰	痺	痲	痳
6570～6579	瘋	瘍	瘡	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6580～6589	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
6590～6594	癪	癧	癰	癲	癶					
6601～6609		皹	々	癸	發	皂	皃	皈	皐	皎
6610～6619	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
6620～6629	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘆	盼
6630～6639	盻	眇	眈	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
6640～6649	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
6650～6659	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
6660～6669	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
6670～6679	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硫	碆	硼
6680～6689	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
6690～6694	碾	碼	磅	磊	磬					
6701～6709		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礫
6710～6719	礫	祀	祠	祇	祟	祚	祕	祓	祺	祿
6720～6729	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
6730～6739	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
6740～6749	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
6750～6759	穢	穩	龝	穫	穹	窣	窈	窗	窕	窘
6760～6769	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
6770～6779	竊	竚	竡	竚	竝	竑	竕	竝	竦	竰
6780～6789	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
6790～6794	笞	笵	笨	笶	筐					
6801～6809		筺	筴	筍	筝	筮	筰	筵	筥	筴
6810～6819	筧	箏	箜	箚	箘	箙	箘	箕	箴	箸
6820～6829	箪	箋	箒	箏	箏	箙	篋	篁	篌	篏
6830～6839	箴	篆	篥	篩	簔	簔	篭	簗	簍	篦
6840～6849	簇	簀	篳	篷	簗	簍	篶	篦	簧	簪
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6850～6859	簟	簪	簫	簸	簿	籃	籔	籏	籠	籐
6860～6869	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
6870～6879	粭	粱	粮	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6880～6889	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	糯	糲
6890～6894	糲	糲	糲	糺	紆					
6901～6909		紂	紜	紕	紊	紿	紘	紮	紲	紿
6910～6919	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
6920～6929	經	綉	條	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
6930～6939	緇	綽	綫	總	綢	綯	綜	綸	綟	綰
6940～6949	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
6950～6959	縡	縒	縟	縢	縮	縋	縢	繆	繻	縻
6960～6969	繧	繖	繃	繻	繰	纏	繧	繝	繖	繞
6970～6979	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繕	繿	繽	繿
6980～6989	辮	纃	纈	纉	續	纒	纈	纓	纔	纖
6990～6994	纖	纛	纔	缸	缺					
7001～7009		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
7010～7019	罟	罠	罨	罩	罸	罰	罵	罷	罩	羂
7020～7029	羈	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
7030～7039	羹	羶	羸	羹	翅	翠	翊	翕	翔	翡
7040～7049	翫	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
7050～7059	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
7060～7069	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
7070～7079	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
7080～7089	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
7090～7094	脛	脩	脣	脯	腋					
7101～7109		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
7110～7119	腦	腴	臙	臈	膤	膀	膂	膠	膕	膤
7120～7129	膣	膕	膵	膸	膰	膵	膾	膸	膿	臀
7130～7139	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
7140～7149	臀	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
7150～7159	舎	舐	舗	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
7160～7169	艙	艚	艟	艤	艢	艨	艚	艫	舮	艱
7170～7179	艶	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
7180～7189	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	荇	苹
7190～7194	菟	茆	茑	茉	苣					
7201～7209		茵	茴	荅	荳	茉	荀	茹	荐	荅
7210～7219	茯	茫	茗	荔	荏	莚	莪	莟	莢	莖
7220～7229	莫	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
7230～7239	莨	菴	萓	菫	菎	萩	莘	萪	萋	菁
7240～7249	萼	萇	萠	菲	萍	菴	崩	莽	萸	蔆
7250～7259	林	葭	葎	萼	萼	蒄	葦	葫	蒻	葭
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7260～7269	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
7270～7279	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
7280～7289	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
7290～7294	蘩	蘚	蘞	蔫	蕈					
7301～7309		尋	葉	蓙	蒴	蓋	蓯	蓉	蓋	薊
7310～7319	薨	蕭	薈	薛	薮	薇	薜	薐	蕾	薎
7320～7329	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
7330～7339	蘆	蘊	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
7340～7349	虎	虒	虔	虧	虱	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
7350～7359	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蛔	蛉	蠣	蛹
7360～7369	蛔	蛞	蛩	蛙	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
7370～7379	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜩	蜴	蜿
7380～7389	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
7390～7394	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
7401～7409		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
7410～7419	蟲	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
7420～7429	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蠑
7430～7439	蠖	蠎	蟷	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
7440～7449	衄	衂	衒	衙	衛	衢	衫	袁	衾	衰
7450～7459	袒	袮	袙	袵	袂	袗	袒	袮	袖	袢
7460～7469	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
7470～7479	裝	裹	裲	裼	裨	裨	裲	裼	褌	褊
7480～7489	褓	褒	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
7490～7494	褸	褌	褝	襠	襞					
7501～7509		襦	襤	襪	襴	襷	襻	襷	襾	覃
7510～7519	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
7520～7529	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
7530～7539	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
7540～7549	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
7550～7559	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
7560～7569	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
7570～7579	諞	諛	誹	謇	謚	諡	謦	謨	謗	謠
7580～7589	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
7590～7594	證	譖	譜	譚	譫					
7601～7609		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
7610～7619	讓	讖	讙	讃	谺	豁	谿	豈	豌	豎
7620～7629	豐	豕	豪	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
7630～7639	貍	貎	貔	貔	貘	戝	貭	貪	貽	貲
7640～7649	貳	貮	貶	買	貢	賤	貲	賚	賽	賺
7650～7659	賻	贄	贅	贇	贐	贏	贍	贔	齎	贓
7660～7669	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7670～7679	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
7680～7689	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
7690～7694	踉	踵	踰	踴	蹊					
7701～7709		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
7710～7719	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躔	躋
7720～7729	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
7730～7739	躾	軅	軈	軫	軋	軛	軼	軻	軫	軾
7740～7749	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
7750～7759	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	轗	轌	轉
7760～7769	轤	轜	轣	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
7770～7779	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
7780～7789	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
7790～7794	逧	透	逵	達	迸					
7801～7809		遏	遐	遑	遖	遒	道	遨	遘	遞
7810～7819	遽	遨	遯	遘	隨	遲	邂	邉	邁	邀
7820～7829	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
7830～7839	郛	郤	郷	郢	郭	郤	酊	酩	酘	酣
7840～7849	酥	酩	酳	酲	酣	酵	酳	醢	醫	醯
7850～7859	醪	醵	醴	醢	醸	豐	釉	釋	釐	釖
7860～7869	釁	釜	釗	釵	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
7870～7879	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
7880～7889	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	銕	銹	銷
7890～7894	鍆	鍾	鋩	鋭	鋼					
7901～7909		鐔	錢	錚	鍰	錺	銚	錻	鍜	鍠
7910～7919	鍼	鍮	錵	鍾	鏑	鎔	鏡	鏤	鏥	鏗
7920～7929	鏨	鎔	鏘	鏃	鏝	鏐	鍵	鏤	鐚	鐔
7930～7939	鐓	鐃	鐔	鐐	鐶	鐫	鐵	鐵	鑓	鑁
7940～7949	鑒	鑄	鑛	鑁	鑢	鑞	鑓	鈩	鑰	鑼
7950～7959	鑷	鑚	鑽	鑼	鑿	钁	鑿	門	閇	閊
7960～7969	閔	閑	閘	閙	閏	閑	閧	閊	閟	閙
7970～7979	閹	閾	閙	潤	閔	閙	闌	閼	閾	閹
7980～7989	闕	閘	閹	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
7990～7994	陏	陋	陷	陜	陞					
8001～8009		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
8010～8019	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隷	隹	雎
8020～8029	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雡	雹	霄	霆
8030～8039	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
8040～8049	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
8050～8059	靤	靦	靨	勒	靫	靱	鞆	鞅	靼	鞁
8060～8069	鞴	鞆	鞋	鞏	靹	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
8070～8079	鞴	韃	韈	韋	韋	韜	韭	韲	韮	竟

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8080～8089	韶	韵	頑	頌	頭	頤	頡	頷	頽	顆
8090～8094	顔	顕	顓	顕	顰					
8101～8109		顱	顳	顱	颪	颯	颱	颶	飄	飃
8110～8119	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
8120～8129	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
8130～8139	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
8140～8149	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
8150～8159	駲	駻	駾	騁	騏	騅	騒	騙	騫	騒
8160～8169	驅	驂	驀	驃	驍	驕	驍	驛	驗	驟
8170～8179	驢	驤	驤	驤	驫	驪	骭	骰	骼	髀
8180～8189	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
8190～8194	髫	髴	髷	髻	鬆					
8201～8209		鬯	鬟	鬻	鬮	鬱	鬻	鬻	鬥	鬧
8210～8219	鬩	鬪	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魁	魏	魍
8220～8229	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
8230～8239	鮠	鮨	鮴	鮵	鯊	鯏	鯑	鯒	鯖	鯛
8240～8249	鯣	鯢	鯤	鯨	鯡	鯵	鯲	鯱	鯰	鰕
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8250～8259	鰔	鰙	鰓	鰡	鰆	鰈	鰕	鰊	鰔	鰧
8260～8269	鰯	鰲	鰺	鰾	鰹	鰺	鱚	鱠	鱧	鱶
8270～8279	鱸	鱹	鱶	鱸	鳬	鳧	鳰	鴉	鴈	鴇
8280～8289	鴃	鴆	鴎	鴕	鴛	鴟	鴣	鴪	鴬	鴨
8290～8294	鴫	鴇	鴾	鵆	鵈					
8301～8309		鵝	鵞	鵠	鵡	鵺	鵯	鵲	鵳	鵜
8310～8319	鵞	鵯	鵺	鶇	鶉	鶖	鶲	鶏	鶫	鶴
8320～8329	鶺	鶻	鶸	鶯	鷁	鷆	鷏	鷓	鷙	鷦
8330～8339	鷲	鷳	鷴	鷸	鷺	鹵	鹹	鹽	麁	麈
8340～8349	麋	麕	麒	麾	麹	麿	麥	麩	麸	麺
8350～8359	麹	黌	黌	黎	黏	黝	黔	黜	點	黝
8360～8369	黠	黯	黨	黯	黴	黶	黷	黼	黽	鼇
8370～8379	鼈	鼈	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
8380～8389	齔	齣	齟	齠	齢	齦	齧	齬	齪	齷
8390～8394	齲	齶	龕	龜	龠					
8401～8406		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

その他

文字上の数字はコードの下2桁を表します。

	コード
85	01 鴎 02 葛 03 祇 04 麹 05 鯖 06 錆 07 繍 08 驒 09 琢 10 啄 11 樽 12 塚 13 摑 14 塡 15 潑 16 醱 17 崎 18 莱 19 濆 20 高 21 吉 22 槝 23 昇 24 柳 25 榊 26 弼 27 捗 28 醤 29 麺 30 逸 31 謁 32 縁 33 横 34 溫 35 禍 36 悔 37 海 38 渇 39 寛 40 漢 41 祈 42 器 43 虚 44 響 45 勤 46 謹 47 薫 48 掲 49 黄 50 黒 51 穀 52 祉 53 視 54 社 55 者 56 煮 57 臭 58 祝 59 暑 60 署 61 緒 62 諸 63 祥 64 渉 65 状 66 神 67 瀬 68 節 69 祖 70 巣 71 僧 72 層 73 増 74 憎 75 贈 76 即 77 嘆 78 著 79 徴 80 懲 81 都 82 徳 83 突 84 難 85 梅 86 繁 87 晩 88 卑 89 碑 90 賓 91 敏 92 侮 93 福 94 勉
86	01 歩 02 墨 03 毎 04 頼 05 欄 06 虜 07 緑 08 涙 09 類 10 暦 11 歴 12 練 13 錬 14 郎 15 朗 16 廊 17 録 18 猪 19 祐 20 禎 21 渚 22 才 23 迂 24 噌 25 倦 26 堵 27 撰 28 屏 29 濆 30 鹸 31 曺 32 喆 33 琦 34 珉 35 曙 36 尭 37 蝉 38 清
87 88	システム領域
89	01 逢 02 芦 03 飴 04 溢 05 茨 06 鰯 07 淫 08 厩 09 噂 10 餌 11 襖 12 迦 13 牙 14 廻 15 恢 16 晦 17 蟹 18 鞄 19 釜 20 翰 21 翫 22 徽 23 汲 24 灸 25 笈 26 卿 27 饗 28 僅 29 喰 30 櫛 31 屑 32 粂 33 祁 34 隙 35 捲 36 幸 37 鍵 38 諺 39 巷 40 梗 41 膏 42 鵠 43 甑 44 叉 45 薩 46 鮫 47 餐 48 杓 49 灼 50 酋 51 楯 52 薯 53 諸 54 哨 55 鞘 56 杖 57 蝕 58 訊 59 逗 60 摺 61 煎 62 煽 63 穿 64 箭 65 詮 66 遡 67 揃 68 遜 69 腿 70 蛸 71 辿 72 歎 73 註 74 潴 75 槌 76 鎚 77 辻 78 挺 79 鄭 80 擢 81 溺 82 兎 83 屠 84 賭 85 瀞 86 遁 87 謎 88 灘 89 楢 90 禰 91 牌 92 這 93 秤 94 駁
90	01 箸 02 叛 03 挽 04 誹 05 樋 06 稗 07 逼 08 謬 09 豹 10 廟 11 瀕 12 斧 13 蔽 14 瞥 15 蔑 16 篇 17 娩 18 鞭 19 庖 20 蓬 21 鱒 22 迄 23 儲 24 餅 25 籾 26 爺 27 鑓 28 愈 29 猷 30 漣 31 煉 32 簾 33 榔 34 屡 35 冤 36 叟 37 咬 38 嘲 39 囀 40 徘 41 扁 42 棘 43 橙 44 狡 45 甕 46 甦 47 痩 48 祟 49 寵 50 筵 51 箒 52 腱 53 艘 54 芒 55 虔 56 蜃 57 蝿 58 誂 59 靄 60 靱 61 騙 62 鴉

記号・外枠・絵文字・デザインフォーム一覧表

記号一覧表

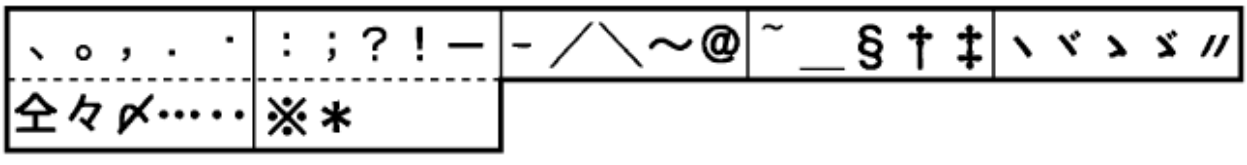
注意

・記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が若干異なるものがあります。

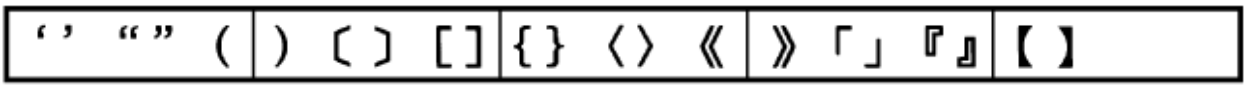
省略



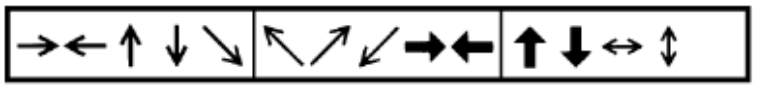
記述



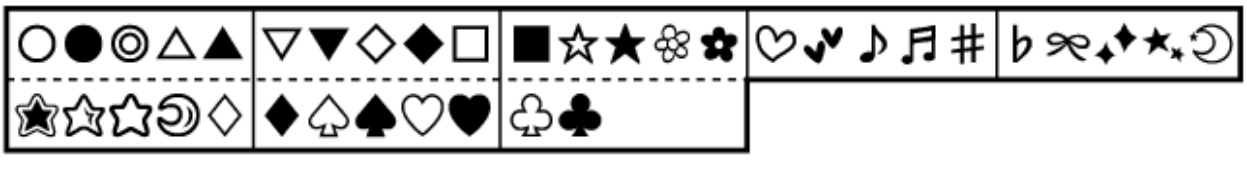
カッコ



矢印



図形



単位

% ‰ μm mm cm	m km ft mile cm²	m² a ha km² cm³	m³ mg g kg t	cc mℓ dℓ ℓ kℓ
mol ¥ (円) $ €	£ Fr ¢ A V	Ω W kW Hz dB	HP Å @ ° ′	″ ℃ °F Pt ct

算数

+ − ± × ÷	= ≠ < > ≦	≧ ∞ ∴ ≡ ≒	√ ∽ ∧ ∫

数字

① ② ③ ④ ⑤	⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	〇 一 二 三 四
五 六 七 八 九	Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ	Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ	ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ	ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ
1 2 3 4 5	6 7 8 9 0	1 2 3 4 5	6 7 8 9 0	+ − ½ ⅓ ⅔
¼ ¾				

2桁数字

00 ～ 99

ギリシャ

Α Β Γ Δ Ε	Ζ Η Θ Ι Κ	Λ Μ Ν Ξ Ο	Π Ρ Σ Τ Υ	Φ Χ Ψ Ω α
β γ δ ε ζ	η θ ι κ λ	μ ν ξ ο π	ρ σ τ υ φ	χ ψ ω

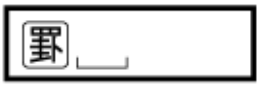
ロシア

А Б В Г Д	Е Ё Ж З И	Й К Л М Н	О П Р С Т	У Ф Х Ц Ч
Ш Щ Ъ Ы Ь	Э Ю Я а б	в г д е ё	ж з и й к	л м н о п
р с т у ф	х ц ч ш щ	ъ ы ь э ю	я	

欧州

ä ë ï ö ü	Ä Ë Ï Ö Ü	á é í ó ú	Á É Í Ó Ú	à è ì ò ù
À È Ì Ò Ù	â ê î ô û	Â Ê Î Ô Û	ñ Ñ ß Ç ç	Œ œ ¿ ¡

編集



絵文字一覧表

注意

・絵文字一覧表の絵文字と印刷される絵文字の結果が若干異なるものがあります。

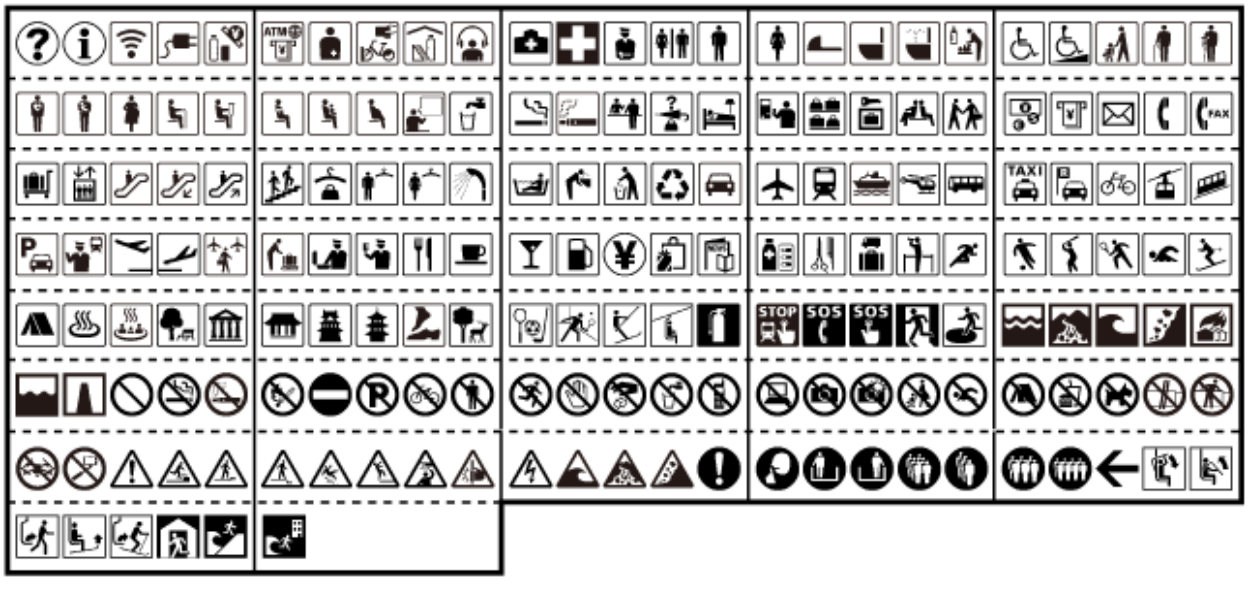
仕事



表示



案内用



趣味



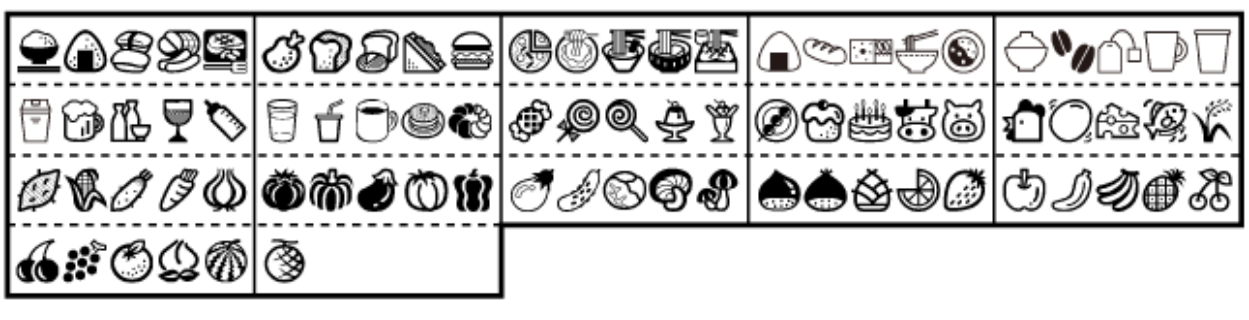
生き物



乗り物



食べ物



暮らし



顔



お店



建設



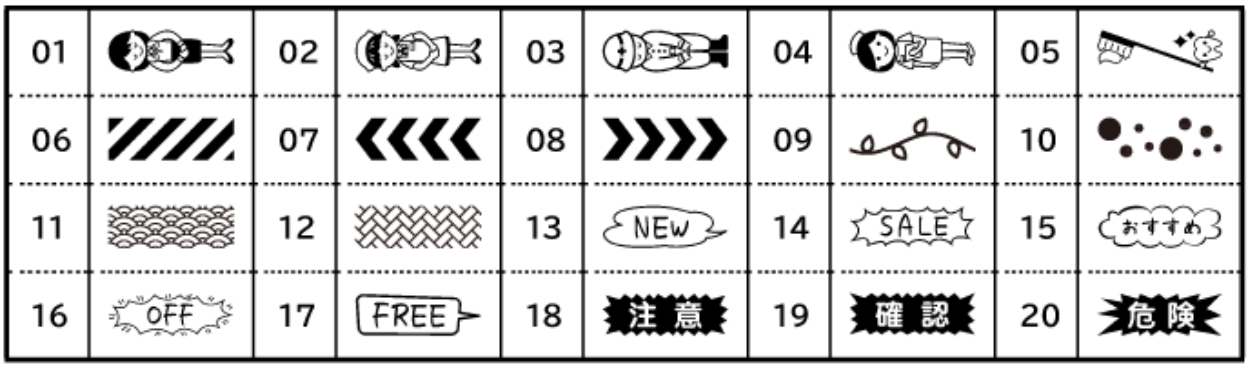
工場



病院



イラスト

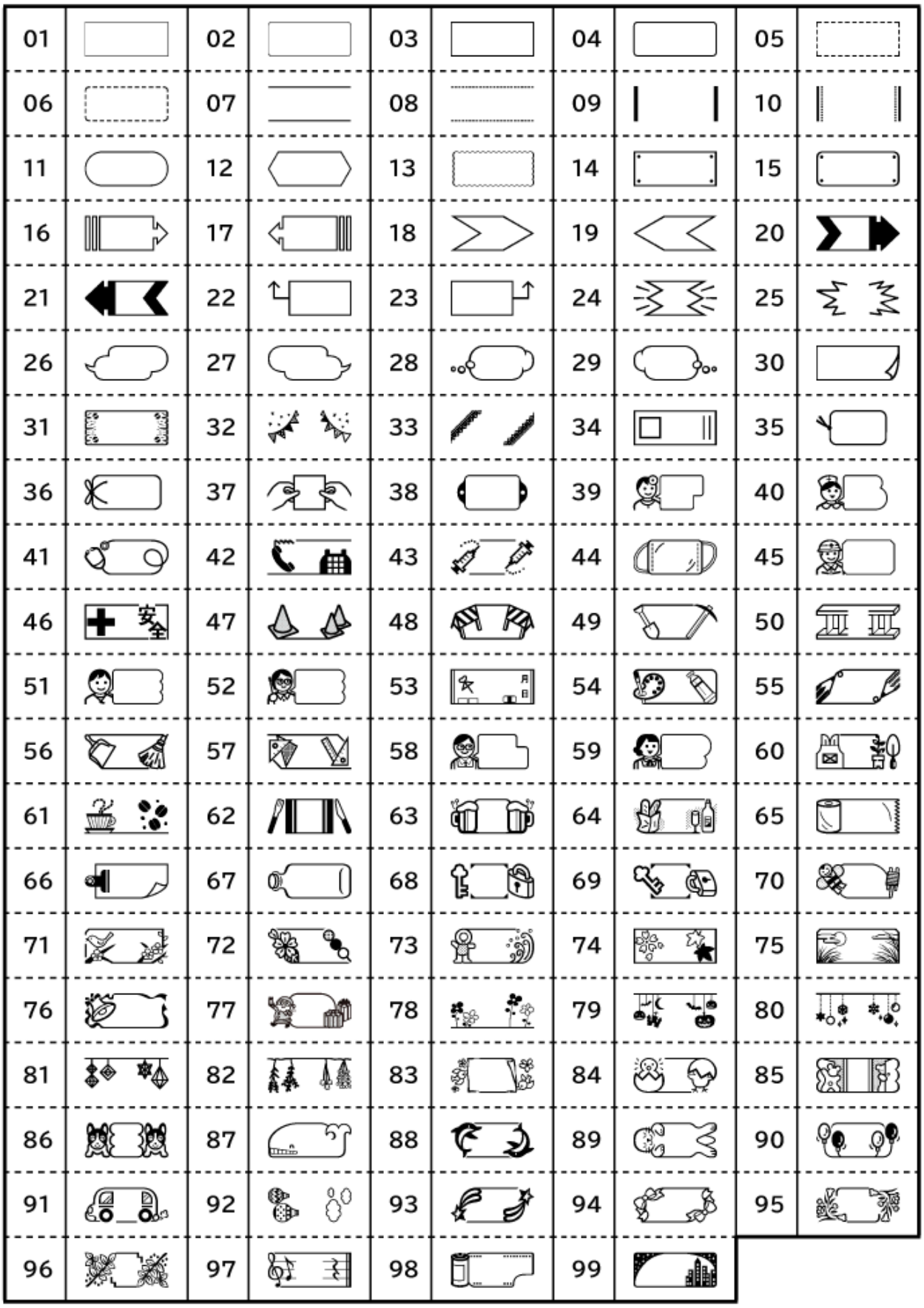

01
02
03
04
05
06
07
08
09
10
11
12
13
NEW
14
SALE
15
おすすめ
16
OFF
17
FREE
18
注 意
19
確 認
20
危 険

外枠・表組み一覧表

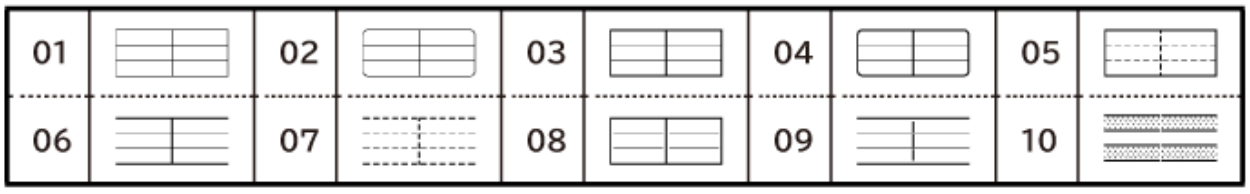
注意

・外枠・表組み一覧表の外枠・表組みと印刷される外枠・表組みの結果が若干異なるものがあります。

外枠


01
02
03
04
05
06
07
08
09
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
安全
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99

表組み



デザインフォーム一覧表

注意

・使用するテープ幅によってレイアウトは多少変わることがあります。ラベルサンプルは一部を除き12mm幅テープで印刷したものを縮小したものです。
・推奨テープ以外のテープ幅では、「行数オーバー」と表示され印刷できないことがあります。

施設

※()内は推奨テープ幅です。

・案内所(9～24mm)



・情報コーナー(9～24mm)



・病院(9～24mm)



・救護所(9～24mm)



・警察(9～24mm)



・お手洗(9～24mm)



・男子(9～24mm)



・女子(9～24mm)



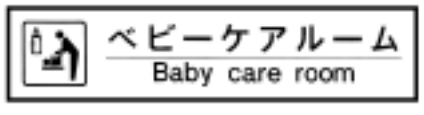
・身障者用設備(9～24mm)



・車椅子スロープ(9～24mm)



・ベビールーム(9～24mm)



・飲料水(9～24mm)



・喫煙所(9～24mm)



・消火器(9～24mm)



・AED(9～24mm)



・非常電話(9～24mm)



・非常ボタン(9～24mm)



・非常口(9～24mm)



・広域避難場所(9～24mm)



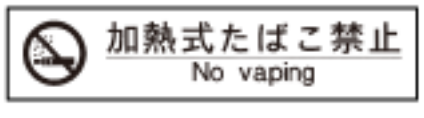
・禁止(9～24mm)



・禁煙(9～24mm)



・加熱式たばこ(9～24mm)



・火気厳禁(9～24mm)



・開放厳禁(9～24mm)



・進入禁止(9～24mm)



・駐車禁止(9～24mm)



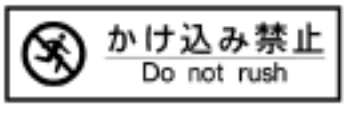
・自転車禁止(9～24mm)



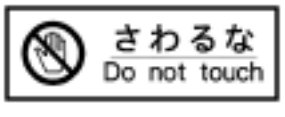
・立入禁止(9～24mm)



・かけ込み禁止(9～24mm)



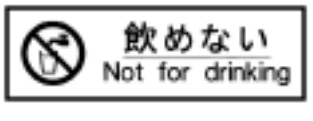
・さわるな(9～24mm)



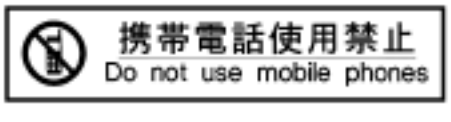
・捨てるな(9～24mm)



・飲めない(9～24mm)



・携帯禁止(9～24mm)



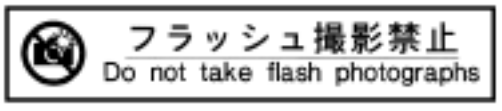
・電子機器禁止(9～24mm)



・撮影禁止（9～24mm）



・フラッシュ（9～24mm）



・ドローン禁止（9～24mm）



・自撮り棒禁止（9～24mm）



・注意（9～24mm）



・障害物注意（9～24mm）



・上り段差注意（9～24mm）



・下り段差注意（9～24mm）



・滑面注意（9～24mm）



・転落注意(9～24mm)



・天井に注意(9～24mm)



・感電注意(9～24mm)



・指示(9～24mm)



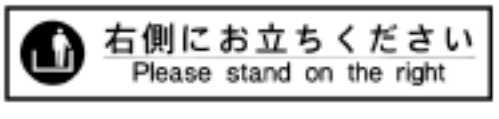
・静かに(9～24mm)



・立つ(左側)(9～24mm)



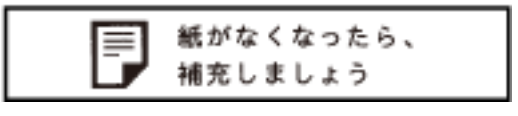
・立つ(右側)(9～24mm)



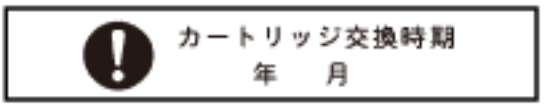
オフィス

※()内は推奨テープ幅です。

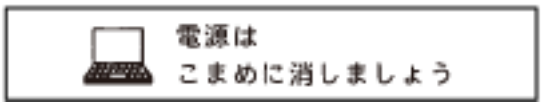
・紙補充(6～24mm)



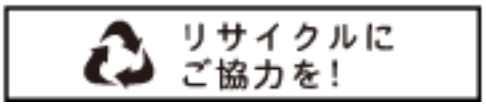
・交換時期(6～24mm)



・PC電源（6～24mm）



・リサイクル（6～24mm）



・紙節約（6～24mm）



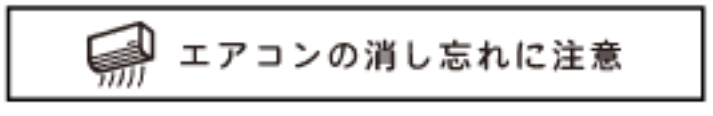
・節水（9～24mm）



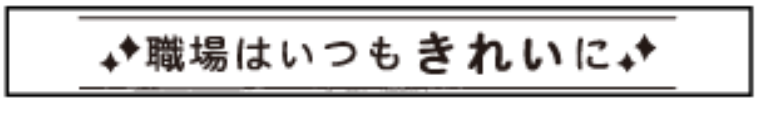
・節電（9～24mm）



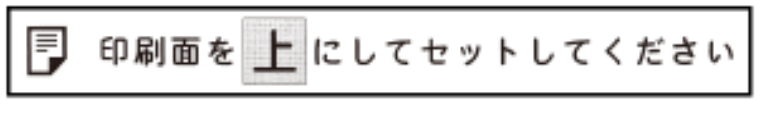
・エアコン（6～24mm）



・職場きれいに（6～24mm）



・印刷面を上に（6～24mm）



・開放厳禁（6～24mm）



・本日休暇中（6～24mm）



・可燃ごみ（9～24mm）



・不燃ごみ（9～24mm）



・精密機器（6～24mm）



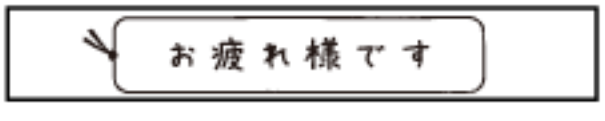
・天地無用（6～24mm）



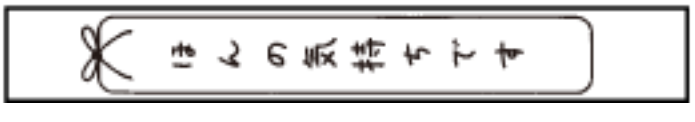
・ワレモノ注意（6～24mm）



・お疲れ様です（12～24mm）



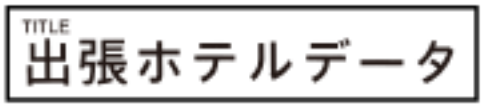
・ほんの気持ち（12～24mm）



・社外秘（6～24mm）



・フォルダー山(12mm)※長さ11cm



・背見出し(縦)(6～24mm)



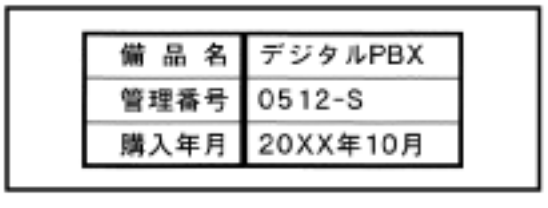
・背見出し(横)(6～24mm)



・回覧の確認(12～24mm)※推奨テープ:上質紙ラベル、マットラベル



・備品管理票(18～24mm)



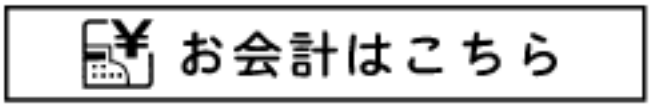
・QR備品管理票(24mm)



お店

※()内は推奨テープ幅です。

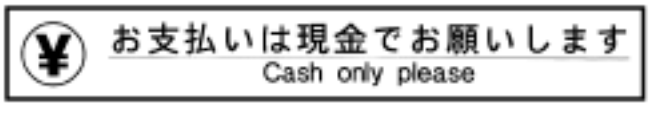
・お会計(6～24mm)



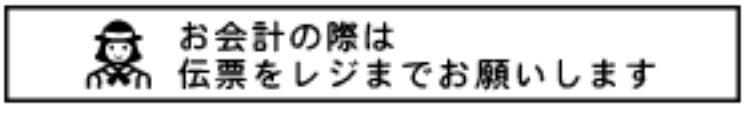
・カード支払い（6～24mm）



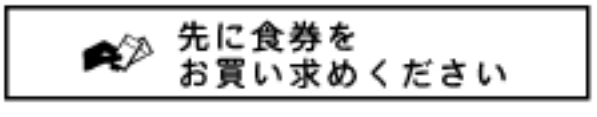
・現金払い（6～24mm）



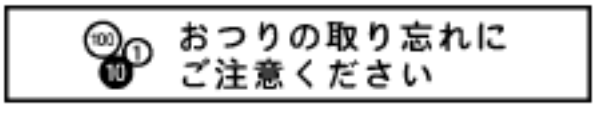
・伝票をレジに（9～24mm）



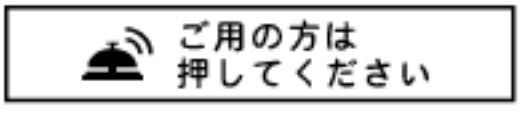
・先に食券を（9～24mm）



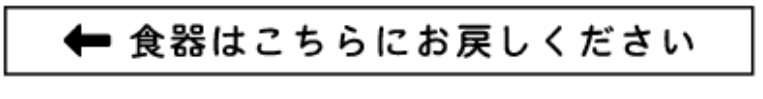
・おつり忘れず（9～24mm）



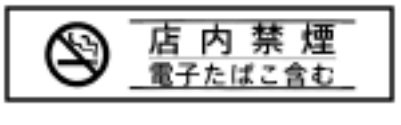
・呼び鈴（9～24mm）



・食器返却口（9～24mm）



・店内禁煙（9～24mm）



・禁煙席（9～24mm）



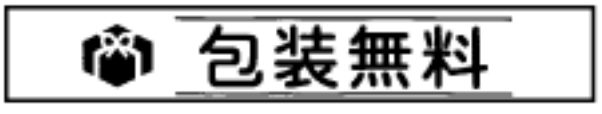
・喫煙席(9～24mm)



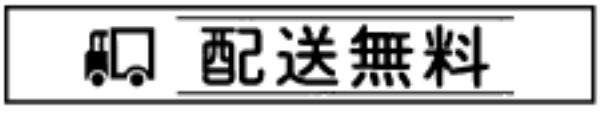
・離席中(9～24mm)



・包装無料(9～24mm)



・配送無料(9～24mm)



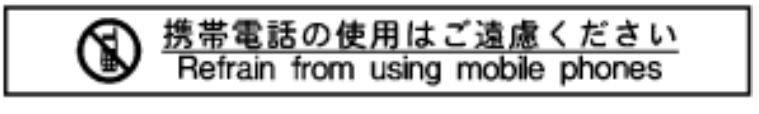
・充電コーナー(9～24mm)



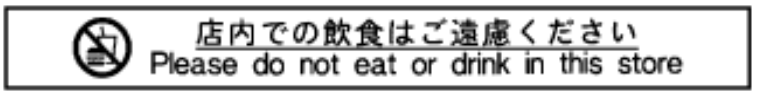
・Wi－Fi(9～24mm)



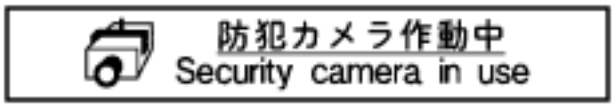
・携帯電話禁止(9～24mm)



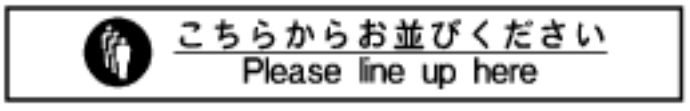
・飲食禁止(9～24mm)



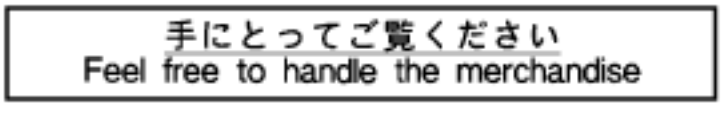
・防犯カメラ(9～24mm)



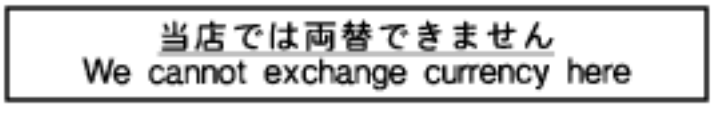
・並ぶ（9～24mm）



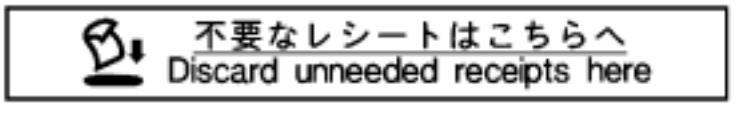
・ご覧ください（9～24mm）



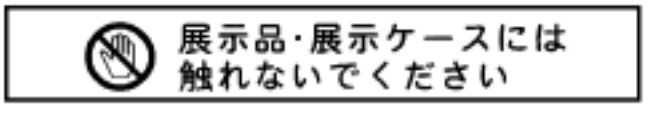
・両替（9～24mm）



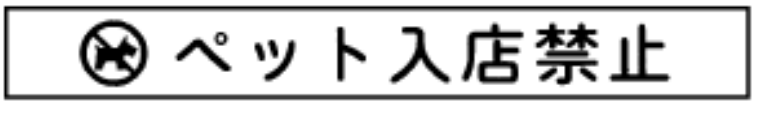
・レシート不要（9～24mm）



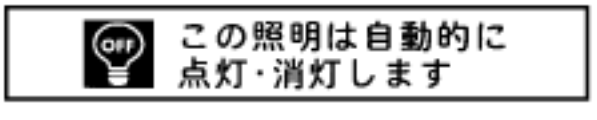
・触れないで（9～24mm）



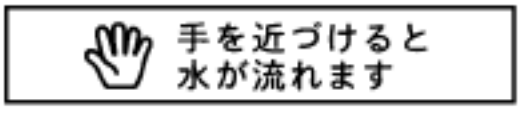
・ペット禁止（9～24mm）



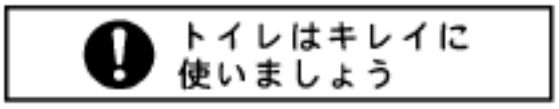
・自動照明（9～24mm）



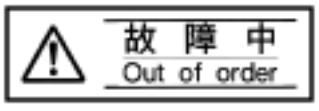
・トイレ洗浄（9～24mm）



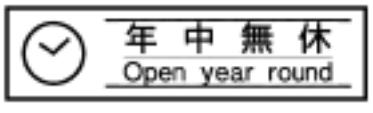
・トイレ清潔に（9～24mm）



・故障中（9～24mm）



・年中無休（9～24mm）



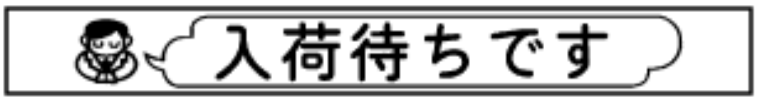
・新商品（9～24mm）



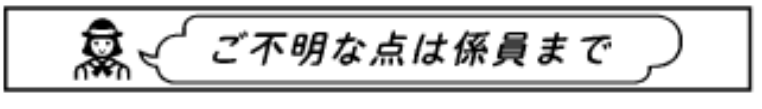
・店長おすすめ（9～24mm）



・入荷待ち（6～24mm）



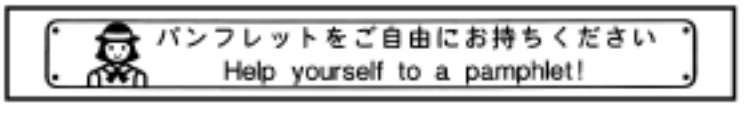
・係員（6～24mm）



・警備員巡回中（6～24mm）



・パンフレット（9～24mm）



建設

※()内は推奨テープ幅です。

・保護帽着用(9～24mm)



・安全帯使用(9～24mm)



・手袋着用(9～24mm)



・安全靴着用(9～24mm)



・保護メガネ着用(9～24mm)



・マスク着用(9～24mm)



・開口部注意(18～24mm)



・滑面注意(18～24mm)



・段差注意(18～24mm)



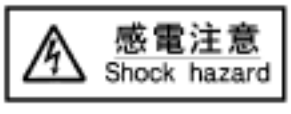
・頭上注意(18～24mm)



・落下物注意(18～24mm)



・感電注意(18～24mm)



・ドア注意(18～24mm)



・立ち入り禁止(18～24mm)



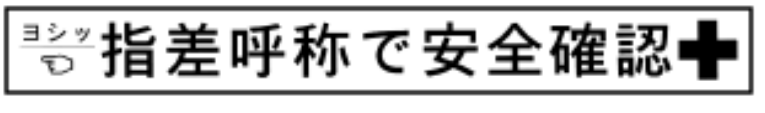
・5S運動(9～24mm)



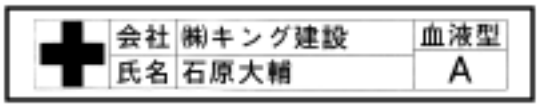
・安全規則(9～24mm)



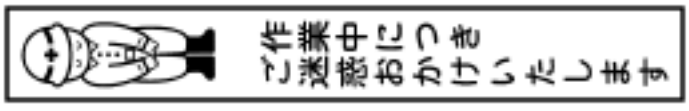
・指差呼称(9～24mm)



・血液型ラベル(18～24mm)



・作業中（9～24mm）



工場

※()内は推奨テープ幅です。

・安全第一（9～24mm）



・整理整頓（9～24mm）



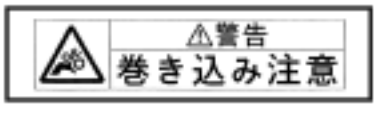
・救急箱（9～24mm）



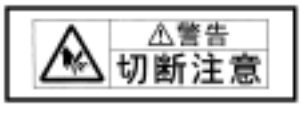
・高温部注意（6～24mm）



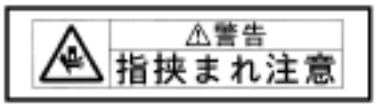
・巻き込み注意（6～24mm）



・切断注意（6～24mm）



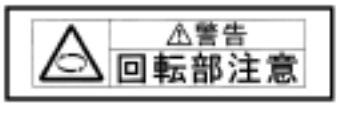
・指挟まれ注意（6～24mm）



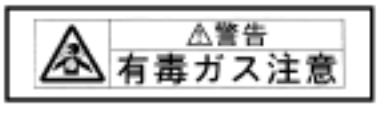
・感電注意（6～24mm）



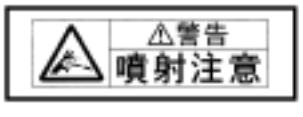
・回転部注意（6～24mm）



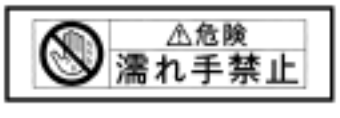
・有毒ガス注意（6～24mm）



・噴射注意（6～24mm）



・濡れ手禁止（6～24mm）



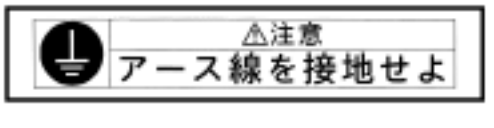
・接触禁止（6～24mm）



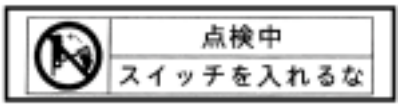
・火気厳禁（6～24mm）



・アース線接地（6～24mm）



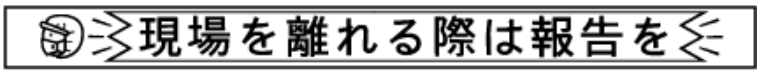
・スイッチ禁止（6～24mm）



・物を置かない（12～24mm）



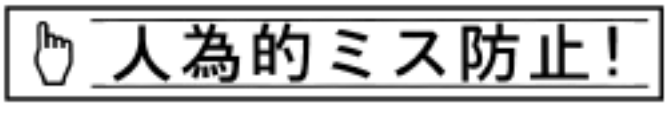
・現場を離れる（9～24mm）



・安全確認（9～24mm）



・ミス防止（9～24mm）



・手順確認（9～24mm）



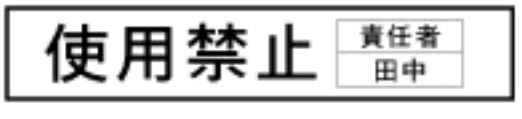
・土足厳禁（9～24mm）



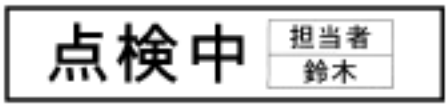
・責任者ラベル（9～24mm）



・使用禁止（12～24mm）



・点検中（12～24mm）



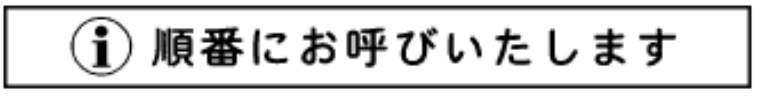
病院

※()内は推奨テープ幅です。

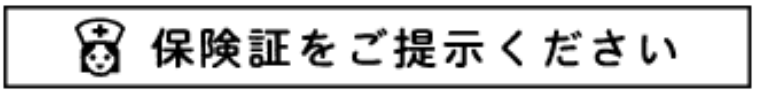
・診察中(9～24mm)



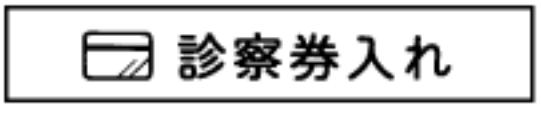
・待合室(9～24mm)



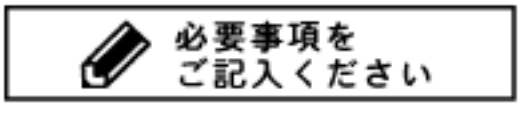
・保険証提示(9～24mm)



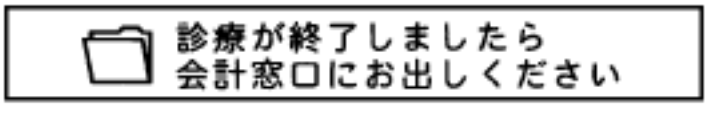
・診察券入れ(9～24mm)



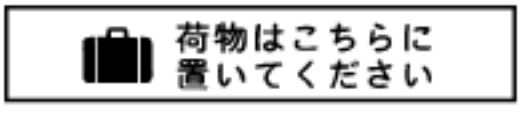
・必要事項記入(9～24mm)



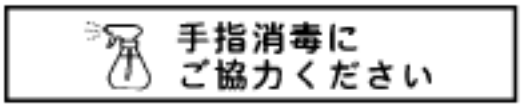
・会計窓口提出(9～24mm)



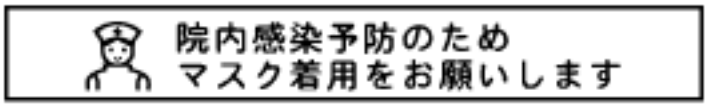
・荷物はこちら(9～24mm)



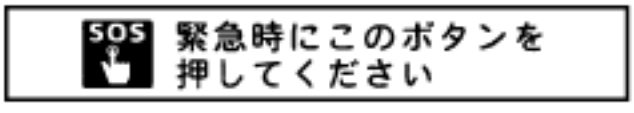
・手指消毒(9～24mm)



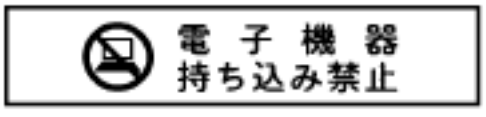
・マスク着用(9～24mm)



・緊急ボタン(9～24mm)



・電子機器禁止(9～24mm)



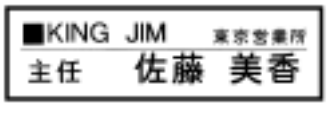
・医療廃棄物(12～24mm)



お名前

※()内は推奨テープ幅です。

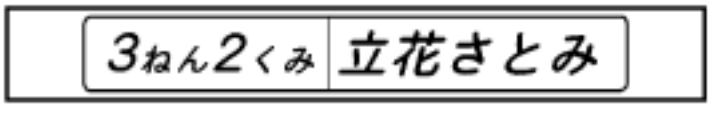
・オフィス名札(9～24mm)



・住所・氏名(9～24mm)



・学校持ち物(9～24mm)



・店舗名札(9～24mm)



2026年11月 第1版

ディスプレイが消えたときは

電源が入ったまま約5分間何も操作をしないと電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します(オート・パワーオフ)。
(外字作成・修正中、ACアダプタ使用時のパソコンリンク中を除く)

エラーメッセージが表示されたときは

エラーメッセージ	原因・対処
電圧が低下！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池に交換してください。または、電池の ⊕ ⊖ の向きが間違っている場合や、電池種類の設定が正しくない場合がありますので確認してください。また、できるだけ専用のACアダプタを使用してください。 参照 ☞「1. ACアダプタを接続する」 参照 ☞「2. 電池(別売)を入れて使用するときは」 参照 ☞「電池種類を設定する」
上カバーを閉じてください！	電源が入っている状態で上カバーを開くと表示されます。上カバーを閉じてください。
テープ無し！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照 ☞「3. テープカートリッジをセットする」
テープ幅不足	ビジネスフォームやあて名印刷で、セットされているテープカートリッジではテープ幅におさまらないため、印刷やプレビューの表示ができません。幅の広いテープカートリッジをセットしてください。 参照 ☞「ビジネスフォームを使う」
入力した文章が長すぎます！	入力した文章が長すぎて、一度に印刷できるテープの長さ(16m)におさまりません。ビジネスフォームの定ピッチを使用している場合は、指定したピッチに対して入力した文章が長すぎます。りぼん連続印刷の場合は、文章が指定したりぼんの長さにおさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らすか、文字の大きさを小さくしてください。
非対応テープ	本機で使用できないテープ幅のテープカートリッジをセットしているか、正しい位置にセットされていません。テープカートリッジを確認してください。 参照 ☞「3. テープカートリッジをセットする」
ヘッド過熱！	連続して印刷したために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切ってからテープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷やプレビューの表示ができません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、☒ の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。 参照 ☞「テープ幅と印刷できる行数について」
定長オーバー	定長で指定した長さに文章がおさまらないため、印刷やプレビューの表示ができません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。 このまま 選択/改行 を押すと、定長を解除して印刷またはプレビューを強行します。 参照 ☞「定長」
定長の指定が短すぎます！	ハーフカットを無効にして約19mm未満のラベルを印刷またはプレビューしようとしました。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、テープの長さを変更してください。このまま 選択/改行 を押すと、定長を解除して印刷またはプレビューを強行します。

メモリーがいっぱいで登録できません	ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。 参照 ☞「ファイルを消去する」
ファイルが登録されていません	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 ☞「ファイルを登録する」
印刷履歴がありません	印刷履歴がない状態で、印刷履歴の呼び出し、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
連番・バーコードは3個まで！	連番とバーコードは、合わせて3個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 ☞「連番を入力する」 参照 ☞「バーコードを入力する」
QRコードは2個まで！	QRコードは、2個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 ☞「QRコードを入力する」
QRコード大	QRコードが文字の高さを超える場合に表示されます。幅の広いテープにする、通常テキストの行数を減らす、セルサイズを小さくする、QRコードの誤り訂正率を低くする、QRコードの文字数を減らす、などの変更をしてください。
長さが16mを超えるため特殊印刷できません！	指定した拡大印刷や連続印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ(16m)におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください。 参照 ☞「特殊印刷」
あて名が登録されていません	あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 ☞「あて名を登録する」
辞書に登録済みの語句です	辞書登録ですでに登録してある「語句・読み」を再度登録しようとしました。この場合は、その登録はおこなわれずテキスト画面に戻ります。
辞書が登録されていません	辞書が登録されていない状態で、辞書の消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 ☞「変換できない語句を登録する(辞書の登録)」
名前が登録されていません	名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 ☞「名前を登録する」
テープ終了！	テープが終了しました。新品のテープカートリッジをセットしてください。または、テープカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。テープカートリッジが正しくセットされているか確認してください。 参照 ☞「3. テープカートリッジをセットする」 参照 ☞「同じラベルを連続して印刷する(連続印刷)」－「印刷中にテープが終了したら(印刷再開機能)」
同じ幅のテープをセットして！	印刷中にテープが終了したあと、異なる幅のテープをセットしました。印刷時と同じテープ幅のテープカートリッジをセットしてください。
同じ種類のテープをセットして！	印刷中にテープが終了したあと、異なる種類のテープをセットしました。印刷時と同じテープ種類のテープカートリッジをセットしてください。

取り出し口に残ったテープを取り除いて！	印刷したテープがテープ出口に残っています。残っているテープを取り除いてください。
自動カットに適さないテープです！	自動カットをすることで品質を保証できないテープカートリッジがセットされています。 参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」
ハーフカットに適さないテープです！	ハーフカットをすることで品質を保証できないテープカートリッジがセットされています。 参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」
自動カットしないに設定中！ 送りカットはできません	「カット設定」が「自動カットしない」に設定されています。 参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」
ヘッド・クリーニングテープのため印刷できません！	ヘッド・クリーニングテープがセットされた状態で印刷しようとしました。印刷が可能なテープをセットしてください。

MEMO

・上記項目を確認しても解決しないときは、当社お客様相談室までご相談ください。
参照 ☞「アフターサービスについて」

故障かな？と思ったら

PCと接続しているときの問題は、ラベルソフトの取扱説明書を参照してください。
下記以外のときや、下記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 ☞「アフターサービスについて」

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。
不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、「本機の初期化」をしてください。

参照 ☞「本機を初期化する」

電源ボタンを押してもディスプレイに何も表示されない

ACアダプタはしっかりと接続されていますか？

本機のACアダプタ差し込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

参照 ☞「1. ACアダプタを接続する」

電池は正しくセットされていますか？

電池の向きが ⊕ ⊖ 逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、すべての電池が正しくセットされているか確認してください。

参照 ☞「2. 電池(別売)を入れて使用するときは」

専用のACアダプタ以外のACアダプタを使用していませんか？

専用のACアダプタ(AC1116J)以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。

ディスプレイの表示濃度は適切ですか？

ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。

参照 ☞「ディスプレイの濃度を調整する」

ディスプレイが消える

オート・パワーオフ機能ではありませんか？

本機では電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。

（外字作成・修正中、ACアダプタ使用時のパソコンリンク中を除く）

操作を間違えませんでしたか？

本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

キーボードが動作しない

ディスプレイに「パソコンリンク中」と表示されていませんか？

「パソコンリンク中」のときは、PCからの操作が優先されます。「テプラ」本体でラベルを作るときは、USBケーブルを本体からはずしてパソコンリンク状態を解除してください。

印刷ボタンを押しても何も印刷されない

文章が入力されていますか？

テキスト画面に何も入力されていないと印刷はされません。

ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？

エラーメッセージが表示されていると印刷されません。

参照☞「エラーメッセージが表示されたときは」

準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。

残りが十分にあるテープカートリッジを正しくセットしていますか？

テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかり閉じてください。

参照☞「3. テープカートリッジをセットする」

オートトリマーが動作中ではありませんか？

オートトリマー使用中は、印刷できません。

文字がきちんと印刷されない

テープカートリッジは正しくセットされていますか？

テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。

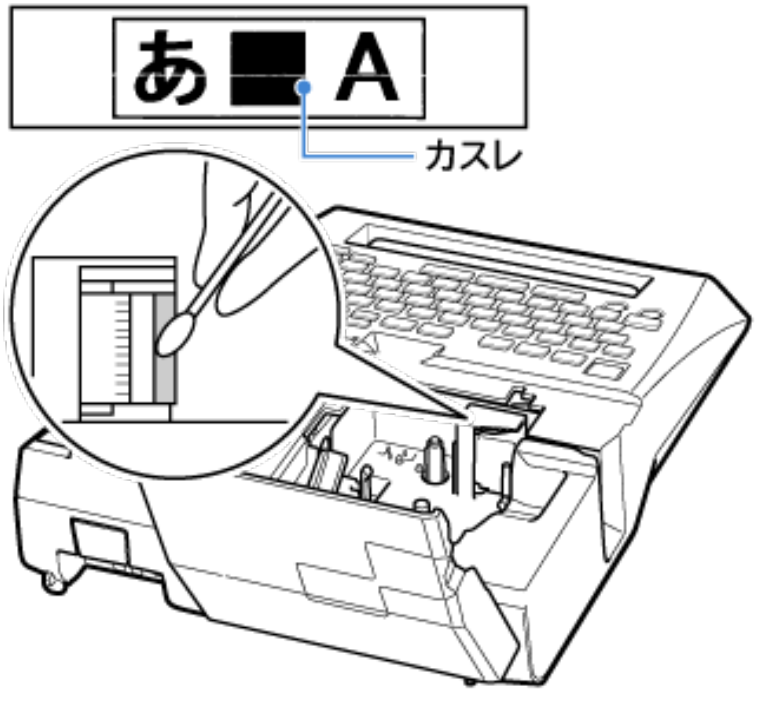
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください。

参照 ☞「3. テープカートリッジをセットする」

印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR24C）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。

参照 ☞「ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う」



電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電圧が低下！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）と交換するか、専用のACアダプタ（AC1116J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。また電池種類を正しく設定してください。

参照 ☞「電池種類を設定する」

ラベルを印刷後、自動カットされない

自動カットの設定が「おまかせ」になっていませんか？

本機では、自動カットの初期設定値が「おまかせ」に設定されており、カットをすることで品質を保証できないテープについては、自動カットをおこないません。自動カットがおこなわれるかどうかを確認したい場合は、テープカートリッジをセットしてインジケーターを確認してください。

参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

「自動カットしない」に設定していませんか？

印刷設定 で「カット設定」を「自動カットしない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。

参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

カッターの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 ☞「アフターサービスについて」

りぼん連続、お名前タグ、送り長指定を使用していませんか？

りぼん連続印刷、お名前タグ印刷、送り長指定を使用すると、ラベルは自動でカットされません。

ハーフカットがうまくできない

ハーフカットの設定が「おまかせ」になっていませんか？

本機では、ハーフカットの初期設定値が「おまかせ」に設定されており、カットをすることで品質を保証できないテープについては、ハーフカットをおこないません。ハーフカットがおこなわれるかどうかを確認したい場合は、テープカートリッジをセットしてインジケーターを確認してください。

参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

「ハーフカットしない」に設定していませんか？

印刷設定 で「カット設定」を「ハーフカットしない」に設定すると、ハーフカットはおこなわれません。

参照 ☞「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

ハーフカットの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると、磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 ☞「アフターサービスについて」

オートトリマーでうまくカットできない

印刷中ではありませんか？

テープ印刷中はオートトリマーが作動しません。

ラベルをトリマー差し込み口にきちんと差し込んでいますか？

ラベルをガイドに合わせず差し込むときれいにカットできません。ガイドに沿ってラベルを差し込んでください。

参照 ☞「カドを丸く仕上げる」

切りクズがつまっていませんか？

トリマーカバーをはずし、トリマーの切りクズを取り除いてください。

参照 ☞「オートトリマーのお手入れ」

4mm、6mm幅テープをカットしようとしていませんか？

4mm、6mm幅テープはオートトリマーでカットすることはできません。トリマー（RT36W）を使ってカットしてください。

参照 ☞「別売品のご案内」

オートトリマーでカットのできないラベルを使用していませんか？

本機のオートトリマーでカットできないラベルはオートトリマーに差し込まないでください。

参照 ☞「カドを丸く仕上げる」

オートトリマーの刃が磨耗していませんか？

オートトリマーの刃は、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 ☞「アフターサービスについて」

文章の途中までしか印刷されない

テープカートリッジにテープの残りがありますか？

テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。

参照 ☞「同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）」－「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」

電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電圧が低下！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）と交換するか、専用のACアダプタ（AC1116J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。また電池種類を正しく設定してください。

参照 ☞「電池種類を設定する」

ファイルの内容が消えてしまった

本機の初期化をしましたか？

本機の初期化をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われます。

参照 ☞「本機を初期化する」

電源が入った状態で電池を交換していませんか？

電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。また電池種類を正しく設定してください。

参照 ☞「電池種類を設定する」

動作中にACアダプタや電池を抜きませんでしたか？

ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」、電源を切るときの「電源を切る準備中」が表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

前回入力した内容が消えてしまった

本機の初期化をしましたか？

本機の初期化をおこなうと、前回入力した内容はすべて失われます。

電源を切らずに終了しましたか？

ACアダプタ使用時に電源を切らずに操作を終了すると、前回入力した内容がすべて失われます。使い終わったあとは必ず電源を切って終了してください。

印刷履歴に記録されない

QRコードを使った場合など、印刷したラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないこともあります。

参照 ☞「QRコードを入力する」

ラベルを貼り付けることができない

裏紙をはがしていますか？

粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。

参照 ☞「印刷したラベルを貼る」

貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？

表面がザラザラしている場所や、ホコリ、油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

お手入れについて

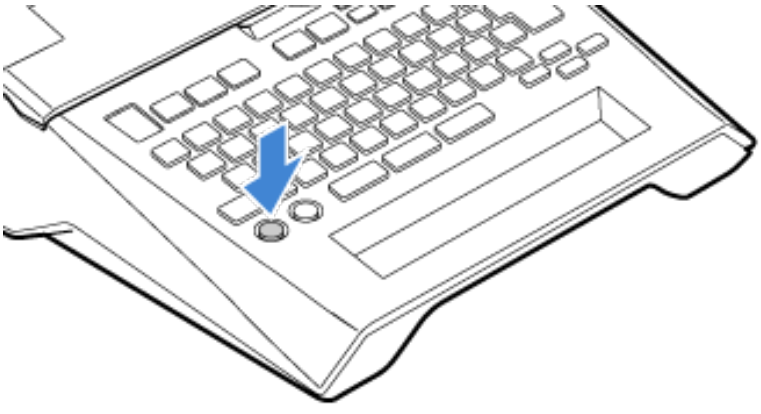
本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、水を含ませ固く絞った布で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

オートトリマーのお手入れ

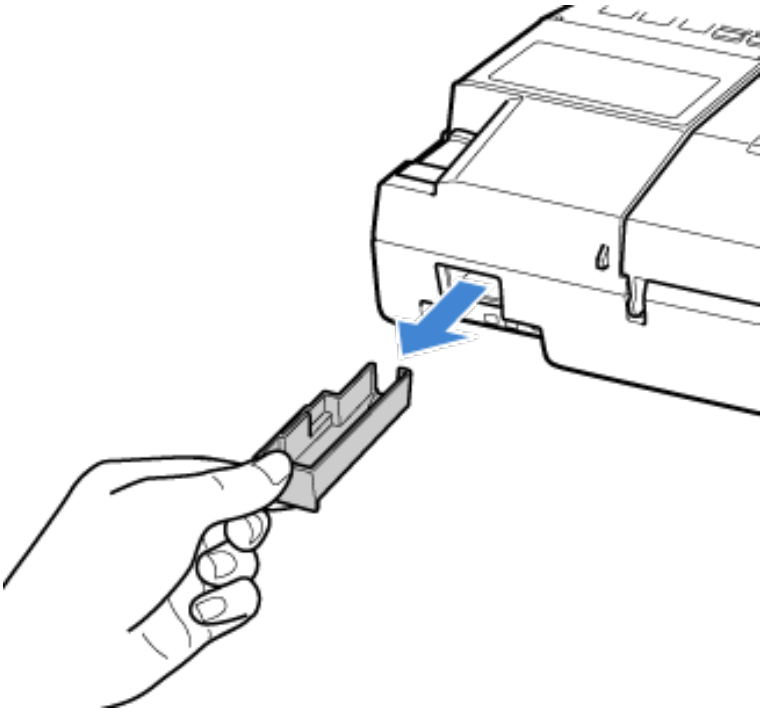
「トリマーカバー」にはオートトリマーの切りクズがたまります。ときどき「トリマーカバー」をはずして掃除してください。

1 ON/OFF を押して電源を切る



⚠注意	「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると刃で指を切ったりするなど、大変危険です。 また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。	

2 「トリマーカバー」をはずす



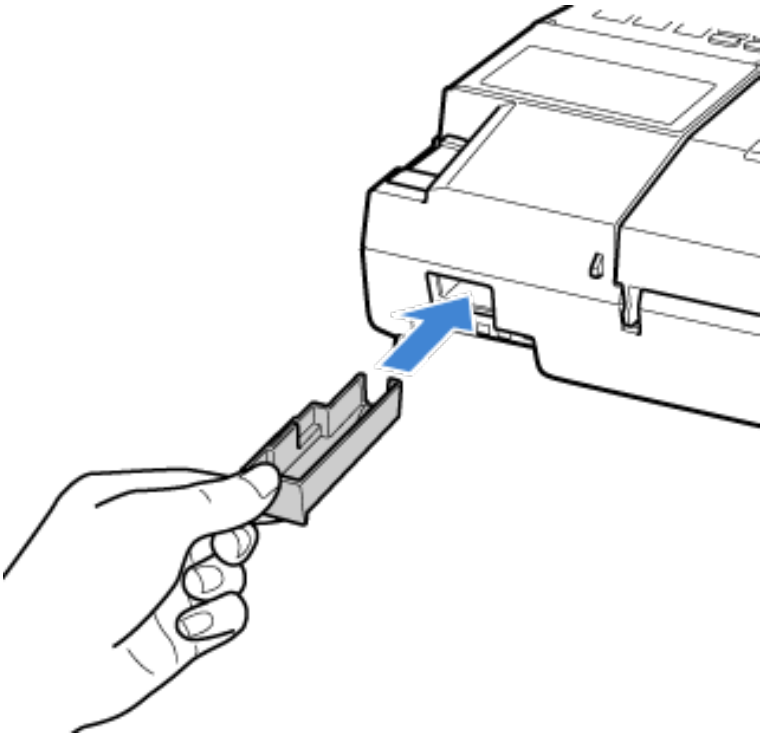
「トリマーカバー」の下側に指を入れ手前に引きます。

3 切りクズを取り除く



「トリマーカバー」内にたまった切りクズを市販の綿棒などで取り除きます。

4 「トリマーカバー」をはめる



「トリマーカバー」をもとのように取り付けます。

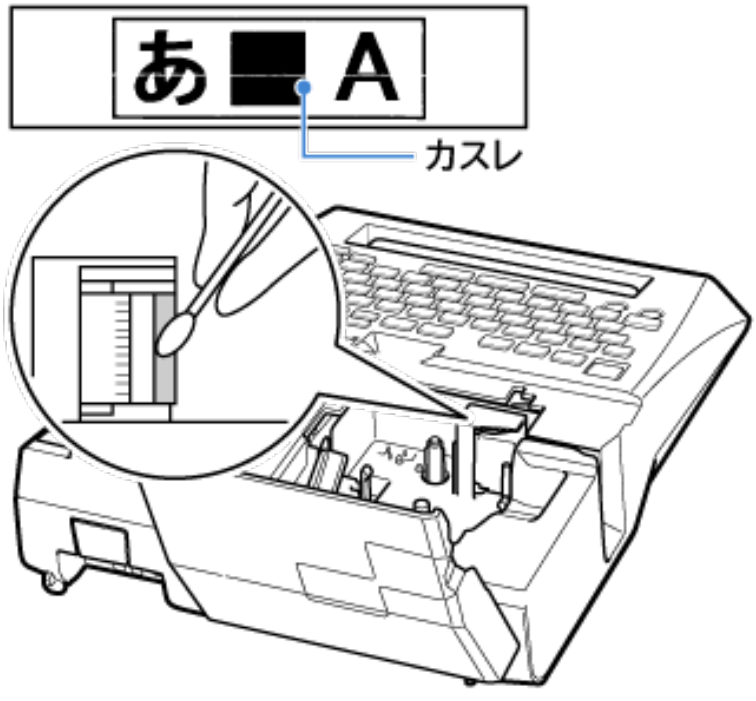
MEMO

・ご購入時、「トリマーカバー」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。
・オートトリマーは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。
・オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 「アフターサービスについて」

印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ(SR24C)をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール(エチルアルコール)を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



ヘッド・クリーニングテープ(別売)を使う

1 ヘッド・クリーニングテープを本機にセットして、電源を入れる

自動で「テープ送り」メニューが表示されます。

2 「テープ送り」を選び、 選択 改行 を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。

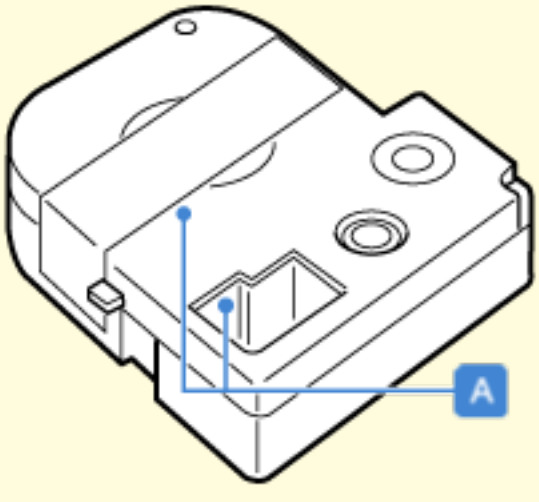
「テープ送り」をおこなったあと、再度「テープ送り」メニューが表示されます。「テープ送り」をもう一度おこなう場合は、「テープ送り」を選び、 選択 改行 を押します。終了する場合は 削除 取消 を押すと、テキスト画面に戻ります。

参照 「5. テープ送りをする」

注意

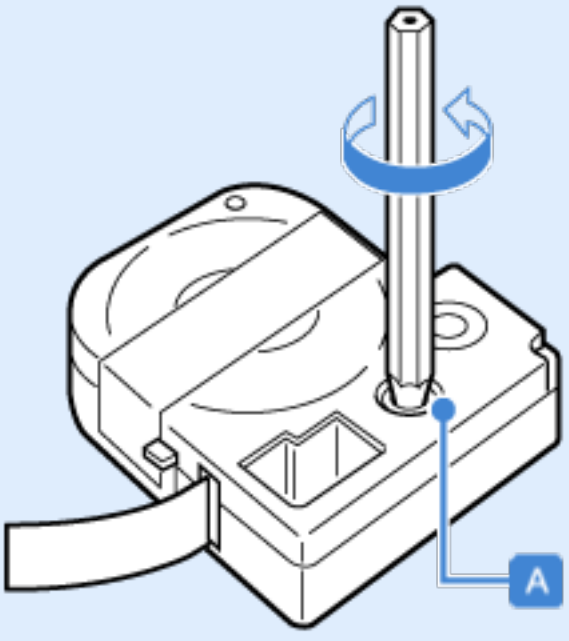
・使用後はもとの箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ、砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドをいためる原因になります。

・図の部分の白いテープがなくなる(A)とテープがすべて巻き取られたことになり、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドをいためるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



MEMO

・本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープはSR24Cをお使いください。
・テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
・テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」(A)を矢印方向に回してたるみを取ってください。



・ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店または当社お客様相談室にご相談ください。
・ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめに見えますが、約120回のクリーニングが可能です。

2026年11月 第1版

おもな仕様

仕様

入力

入力装置	JIS配列準拠キーボード式(65鍵) 文字ボタン39、機能ボタン26
入力状態	ローマ字入力、かなめくり入力、ABC入力 小文字入力、小文字ロック(ABC入力時のみ)、記号入力、外字入力、コピー機能(30文字まで)、コード変換入力(区点コード・JISコード・シフトJISコード)、部首読み入力、部首画数入力、ABC半角入力(QRコード時のみ)
漢字変換方式	ATOK for テプラ(予測入力、学習機能付き連文節変換) 搭載語句数 約156,000語(追加可能)

表示

表示装置	ドットマトリクスFSTN液晶パネル(バックライト付き)
文字表示	130dot×64dot(8文字×4行)
表示濃度	-5～ふつう～+5(11段階)
インジケーター	21個

記憶

文章メモリー	約175文字
内蔵ファイル	可変長データ式(あて名・名前と共用) 約5,000文字/最大99ファイル(ファイル名を含む)
辞書登録	最大30件
外字登録	ビットマップフルライン自動拡大登録 フルライン(16・24・32・48ドット)×4文字
あて名登録	最大99件
名前登録	最大40件
印刷履歴	最大10件
拡張機能	データ転送ソフト「DATAメモリーシステム」SDM9でPCにデータ転送(ファイル、あて名、名前、外字)が可能

フォント

内蔵文字数	全8,327文字 漢字 JIS第1水準2,965字、JIS第2水準3,390字、その他288字 ひらがな・カタカナ・英数字・記号・その他
内蔵フォント	アウトラインフォント 明朝体、ゴシック体、UD体、てがき、丸ゴシック体、行書体（漢字書体・かな書体・英数書体） えれん体、ハッピ体（かな書体） サンセリフHV体、スクリプトBR体、スクリプトPL体、サンセリフST体（英数書体）

印刷

印刷方式	熱転写PRO印刷方式
印刷濃度	-3～±0～+3（7段階）
ヘッド構成	サーマルヘッド（360dpi・256dot）
テープカートリッジ	「テプラ」PROテープカートリッジ 4・6・9・12・18・24mm幅
カッター	ハーフカット機能付きオートカッター
トリマー	センサーつき自動カド丸仕上げ（半径3mm）

印刷機能

文字構成	7段階 ・32×32dot（6ポイント相当） ・48×48dot（10ポイント相当） ・64×64dot（13ポイント相当） ・96×96dot（19ポイント相当） ・128×128dot（26ポイント相当） ・192×192dot（38ポイント相当） ・240×240dot（48ポイント相当） ※テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。
デザインフォーム	172種（テンプレート式）
ビジネスフォーム	10種
ケーブルフォーム	1種（ビジネスフォームに含まれる）
あて名印刷最大	99件 カスタマバーコード印刷機能付
名前印刷最大	40件
特殊印刷	拡大、連続、鏡文字、ピッとコード
りぼん印刷	りぼん連続、お名前タグ
連番機能	加算一方向（繰り返し回数指定可）
バーコード	QRコード、JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF（7種）

電源、その他

主電源	AC100V（専用のACアダプタAC1116J使用のこと）
補助バッテリー	アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）
電源スイッチ	ボタン式
パワーオフ	操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする （外字作成・修正中、ACアダプタ使用時のパソコンリンク中を除く）
PC接続	USBケーブルにて接続
外形寸法	約W193×D238×H66mm
質量	約1,005g（電池、テープカートリッジ除く）

使用条件

動作環境	温度：5～35℃ 湿度：30～80%（非結露）
保存環境	温度：-10～55℃ 湿度：5～80%（非結露）

同梱品/別売品

同梱品

・本体
・ACアダプタ(AC1116J)
・USBケーブル(A-Cタイプ/約100cm)
・基本操作マニュアル(保証書付)

別売品

・PROテープカートリッジ
・ヘッド・クリーニングテープ(SR24C)
・トリマー(RT36W)
・お名前タグメーカー(SRT10)
・スナップボタン(SRTB1)
・テープカートリッジケース(SR4TH)
・キャリングバッグ(SR9B)
・システムトランク(SR10BT)

アフターサービスについて

修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプタ・USBケーブル・テープカートリッジなど一式と保証書をご準備のうえ、当社お客様相談室またはお買い上げ販売店へお問い合わせください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店までお持ちください。なお、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

お客様相談室 0120-79-8107
携帯電話からの場合 0570-06-4759（通話料お客様負担）

株式会社キングジム
東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031
https://www.kingjim.co.jp/

Webからのお問い合わせ https://kingjim.jp/contact/

お客様登録のお願い

お客様登録をしていただきますと、製品・サービスに関する情報提供やお問い合わせの受付など、キングジムがご提供するサポート・サービスを受けることができます。

お客様の個人情報の取り扱いについて

お客様からいただいた個人情報は、以下の目的で使用し、厳正な管理をいたします。

サービスやサポートのご提供・商品のご案内・統計情報としての利用・製品の改善等

なお、当社の個人情報の取り扱いの詳細につきましては、下記の当社ホームページをご覧ください。

お客様登録はこちらから https://kingjim.jp/user/

最新情報について

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。
ホームページアドレス https://www.kingjim.co.jp/

2026年11月 第1版